

東大和市
第8期介護保険事業計画準備調査

報告書

令和2年3月
東大和市

目次

第1章 調査の概要等

1 調査の種類と目的	3
2 調査対象及び回収状況	3
3 調査期間及び調査方法	3
4 集計結果の表し方	4
5 標本誤差	4

第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 集計結果

1 あなたについて	9
2 あなたのご家族や生活状況について	13
3 からだを動かすことについて	21
4 食べることについて	29
5 毎日の生活について	36
6 地域での活動について	49
7 たすけあいについて	57
8 健康について	66
9 認知症にかかる相談窓口の把握について	73
10 自由回答	75
11 生活機能評価等について	76

第3章 介護保険事業計画準備調査 集計結果

記入者について	89
1 ご本人について	89
2 生活の状況・今後の生活等について	92
3 高齢者の福祉サービス等について	104
4 自由回答	106

第4章 在宅介護実態調査 集計結果

A票 調査対象者本人について	109
記入者について	109
1 ご本人について	109
2 介護保険サービス等の利用について	116
3 医療の状況・今後の生活等について	126
B票 主な介護者について	131
記入者について	131
1 主な介護者について	131
2 主な介護者の就労の状況と今後の意向について	137
自由回答	140

第5章 事業者に対する調査 集計結果

1 事業所について	143
2 雇用の状況について	146
3 経営状態について	151
4 必要なサービス等について	156
自由回答	158

第6章 調査結果のまとめ

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果のまとめ	161
2 介護保険事業計画準備調査結果のまとめ	162
3 在宅介護実態調査結果のまとめ	163
4 事業者に対する調査結果のまとめ	164

資料

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 調査票	167
2 介護保険事業計画準備調査 調査票	181
3 在宅介護実態調査 調査票	192
4 事業者に対する調査 調査票	206

第1章

調査の概要等

1 調査の種類と目的

本調査は、令和3年度を初年度とする東大和市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画を策定するにあたり、高齢者等のご意見・ご要望等を把握し、計画策定及び今後の施策の推進に役立てるため、次の4種類のアンケート調査を実施しました。

種類	目的と概要
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査【国調査】	国から示された調査項目を基本とし、地域の抱える課題の特定(地域診断)に資することなどを目的として実施しました。 からだを動かすこと、食べること、毎日の生活、地域での活動、たすけあい、健康などに関する項目を調査しました。
②介護保険事業計画準備調査【市調査】	地域の高齢者がどのような生活をして、どのようなサービスを必要としているか等、地域のニーズや課題等を把握し、高齢者福祉施策や介護保険事業に反映することを目的として実施しました。
③在宅介護実態調査【国調査】	国から示された調査項目を基本とし、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討することを目的として実施しました。
④事業者に対する調査【市調査】	市内で事業を実施している事業所における、従業員の確保や育成、事業運営上の課題等に対する取り組み状況から、市内の事業所の実態を把握することを目的に実施しました。

2 調査対象及び回収状況

種類	調査対象	配布数	回収数	回収率
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査【国調査】	要支援認定を受けている 65 歳以上の市民(施設入所者を除く)の中から無作為抽出(A)	800 人	1,392 人	69.6%
	要介護(要支援)認定を受けていない 65 歳以上の市民の中から無作為抽出(B)	1,200 人		
②介護保険事業計画準備調査【市調査】	要介護(要支援)認定を受けていない 65 歳以上の市民の中から無作為抽出(Bで抽出した者を除く)	1,200 人	773 人	64.4%
③在宅介護実態調査【国調査】	在宅で生活している要支援・要介護者のうち「要支援・要介護認定の更新申請・区分変更申請」をしている者(Aで抽出した者を除く)	850 人	509 人	59.9%
④事業者に対する調査【市調査】	市内の介護保険サービス事業所	105 か所	80 か所	76.2%

3 調査期間及び調査方法

- 調査期間:令和元年 12 月 11 日(水)~12月 25 日(水)
- 調査方法:郵送配布・郵送回収

4 集計結果の表し方

- 設問は単一回答(○はひとつ、1つを選択)、複数回答(いくつでも、複数選択可、特に望むこと3つまでに○等)の2種類があります。
- 図表の数値は、各設問の無回答を含む回答者数に対する百分率(%)で表しています。
- 百分率は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しており、単一回答は、比率の合計が100.0%となるように調整しています。
- 複数回答の設問では、百分率の合計が100%を超えることがあります。
- クロス集計の分析軸となる項目に「無回答」がある場合、これを表示していません。よって、<回答者数>の「全体」と各項目の和が一致しない場合があります。
- 値や回答者数が少ない項目については、グラフ中の%表記、コメントを省略しているものがあります。

5 標本誤差

全体(母集団)の中から一部を抽出して行う標本調査では、調査結果に差が生じることがあり、その誤差のことを標本誤差といい、その誤差を数学的に計算したのが、次の表です。

この表の見方としては、例えば、「ある設問中の選択肢の回答率が50%であった場合、その回答率の誤差の範囲は最高でも±2.5%以内(47.5%~52.5%)である」とみることができます。

- 信頼度95%(同一の調査を100回行えば95回まではこの結果になるであろうという推定)における標本誤差算出式

$$\varepsilon = 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \cdot \frac{p(1-p)}{n}}$$

①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査【国調査】

N 母数※	n 標本数	p 回答率	ε 標本誤差	測定値		信頼区間の1/2幅	信頼区間	
23,013	1,392	50%	2.50	50%		±2.5%	47.5% ~ 52.5%	
		45%	2.50	45%	55%	±2.5%	42.5% ~ 47.5%	52.5% ~ 57.5%
		40%	2.50	40%	60%	±2.5%	37.5% ~ 42.5%	57.5% ~ 62.5%
		35%	2.40	35%	65%	±2.4%	32.6% ~ 37.4%	62.6% ~ 67.4%
		30%	2.30	30%	70%	±2.3%	27.7% ~ 32.3%	67.7% ~ 72.3%
		25%	2.20	25%	75%	±2.2%	22.8% ~ 27.2%	72.8% ~ 77.2%
		20%	2.00	20%	80%	±2.0%	18.0% ~ 22.0%	78.0% ~ 82.0%
		15%	1.80	15%	85%	±1.8%	13.2% ~ 16.8%	83.2% ~ 86.8%
		10%	1.50	10%	90%	±1.5%	8.5% ~ 11.5%	88.5% ~ 91.5%
5%	1.10	5%	95%	±1.1%	3.9% ~ 6.1%	93.9% ~ 96.1%		

※令和元年12月1日現在の65歳以上人口(住民基本台帳)

②介護保険事業計画準備調査【市調査】

N 母数※	n 標本数	p 回答率	ε 標本誤差	測定値		信頼区間 の1/2幅	信頼区間			
23,013	773	50%	3.50	50%		±3.5%	46.5% ~ 53.5%			
		45%	3.40	45%	55%	±3.4%	41.6% ~ 48.4%	51.6% ~ 58.4%		
		40%	3.40	40%	60%	±3.4%	36.6% ~ 43.4%	56.6% ~ 63.4%		
		35%	3.30	35%	65%	±3.3%	31.7% ~ 38.3%	61.7% ~ 68.3%		
		30%	3.20	30%	70%	±3.2%	26.8% ~ 33.2%	66.8% ~ 73.2%		
		25%	3.00	25%	75%	±3.0%	22.0% ~ 28.0%	72.0% ~ 78.0%		
		20%	2.80	20%	80%	±2.8%	17.2% ~ 22.8%	77.2% ~ 82.8%		
		15%	2.50	15%	85%	±2.5%	12.5% ~ 17.5%	82.5% ~ 87.5%		
		10%	2.10	10%	90%	±2.1%	7.9% ~ 12.1%	87.9% ~ 92.1%		
		5%	1.50	5%	95%	±1.5%	3.5% ~ 6.5%	93.5% ~ 96.5%		

※令和元年12月1日現在の65歳以上人口(住民基本台帳)

③在宅介護実態調査【国調査】

N 母数※	n 標本数	p 回答率	ε 標本誤差	測定値		信頼区間 の1/2幅	信頼区間			
3,752	509	50%	4.00	50%		±4.0%	46.0% ~ 54.0%			
		45%	4.00	45%	55%	±4.0%	41.0% ~ 49.0%	51.0% ~ 59.0%		
		40%	4.00	40%	60%	±4.0%	36.0% ~ 44.0%	56.0% ~ 64.0%		
		35%	3.90	35%	65%	±3.9%	31.1% ~ 38.9%	61.1% ~ 68.9%		
		30%	3.70	30%	70%	±3.7%	26.3% ~ 33.7%	66.3% ~ 73.7%		
		25%	3.50	25%	75%	±3.5%	21.5% ~ 28.5%	71.5% ~ 78.5%		
		20%	3.20	20%	80%	±3.2%	16.8% ~ 23.2%	76.8% ~ 83.2%		
		15%	2.90	15%	85%	±2.9%	12.1% ~ 17.9%	82.1% ~ 87.9%		
		10%	2.40	10%	90%	±2.4%	7.6% ~ 12.4%	87.6% ~ 92.4%		
		5%	1.80	5%	95%	±1.8%	3.2% ~ 6.8%	93.2% ~ 96.8%		

※令和元年12月末日現在の要支援・要介護認定者数から施設入所者数を除いた人数(介護保険事業状況報告月報)

④事業者に対する調査【市調査】

N 母数※	n 標本数	p 回答率	ε 標本誤差	測定値		信頼区間 の1/2幅	信頼区間			
105	80	50%	5.40	50%		±5.4%	44.6% ~ 55.4%			
		45%	5.30	45%	55%	±5.3%	39.7% ~ 50.3%	49.7% ~ 60.3%		
		40%	5.30	40%	60%	±5.3%	34.7% ~ 45.3%	54.7% ~ 65.3%		
		35%	5.10	35%	65%	±5.1%	29.9% ~ 40.1%	59.9% ~ 70.1%		
		30%	4.90	30%	70%	±4.9%	25.1% ~ 34.9%	65.1% ~ 74.9%		
		25%	4.70	25%	75%	±4.7%	20.3% ~ 29.7%	70.3% ~ 79.7%		
		20%	4.30	20%	80%	±4.3%	15.7% ~ 24.3%	75.7% ~ 84.3%		
		15%	3.80	15%	85%	±3.8%	11.2% ~ 18.8%	81.2% ~ 88.8%		
		10%	3.20	10%	90%	±3.2%	6.8% ~ 13.2%	86.8% ~ 93.2%		
		5%	2.30	5%	95%	±2.3%	2.7% ~ 7.3%	92.7% ~ 97.3%		

※市内介護保険サービス事業所数

第2章

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

集計結果

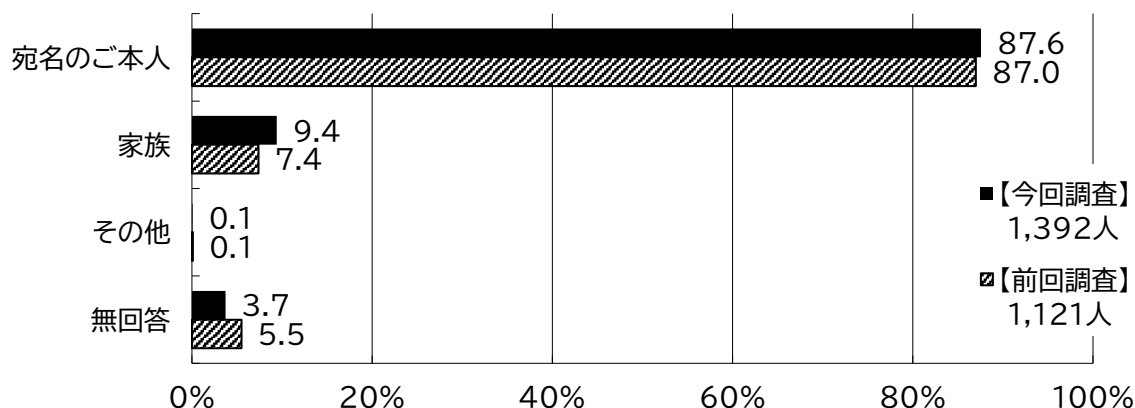
【調査の対象者】

介護保険被保険者(65歳以上の方)のうち、介護保険の要支援認定を受けている方及び要介護・要支援認定を受けていない方

1 あなたについて

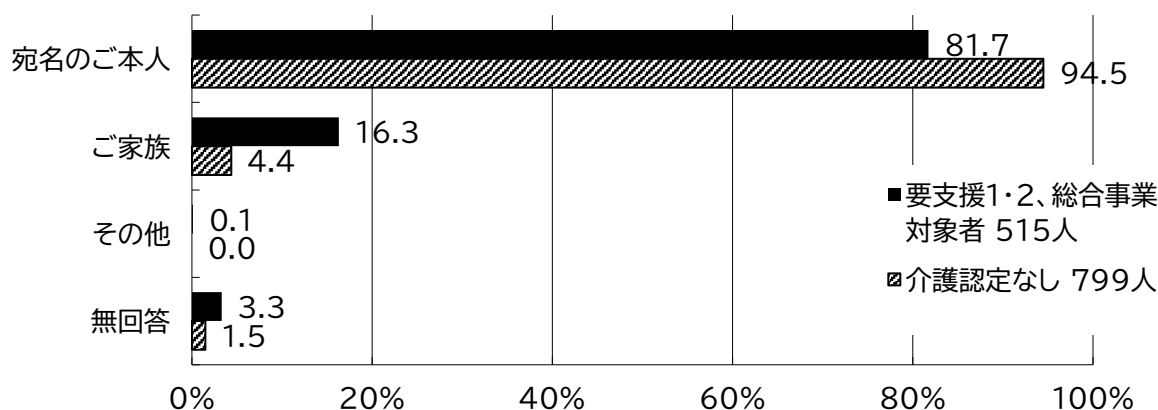
①この調査票をご記入されるのはどなたですか。番号に○をつけてください。

- 「宛名のご本人」が87.6%、「ご家族」が9.4%となっています。



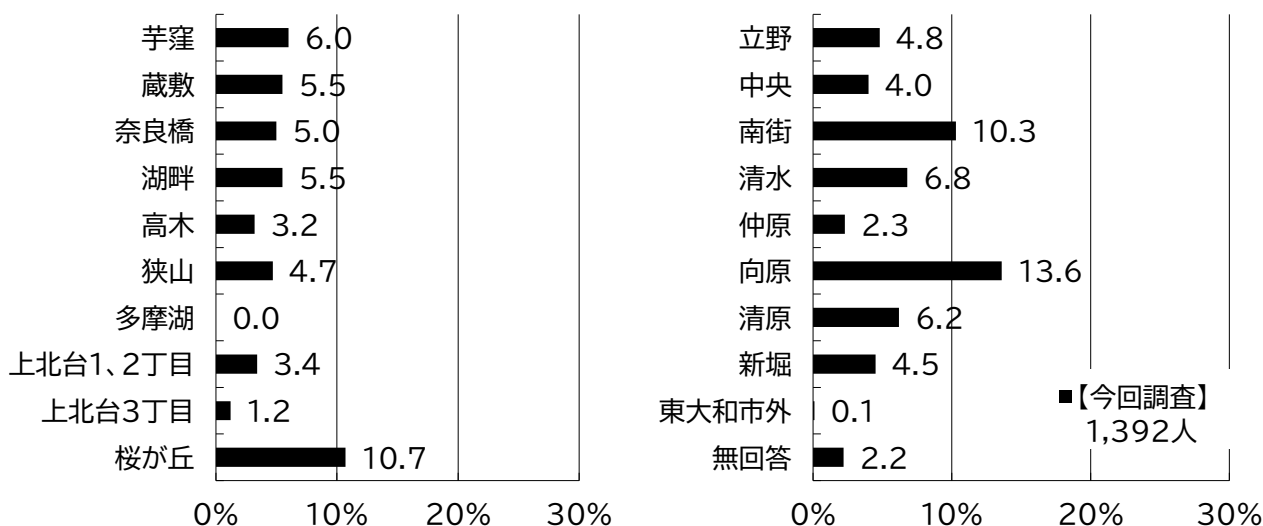
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「宛名のご本人」が81.7%、「ご家族」が16.3%となっています。
- 介護認定なしでは、「宛名のご本人」が94.5%、「ご家族」が4.4%となっています。

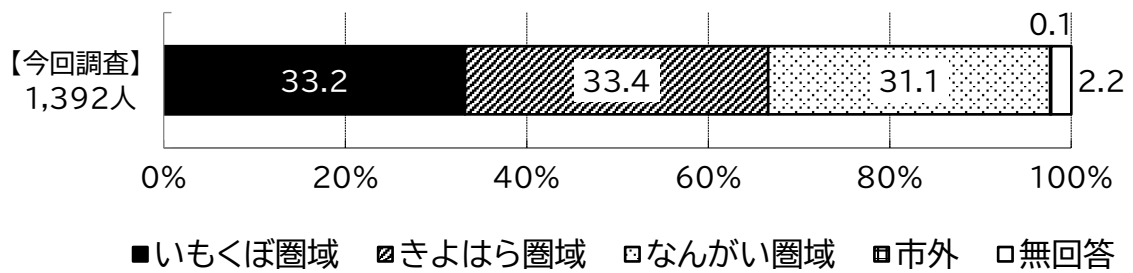


②あなたの居住区をお教えてください。

- 「向原」が13.6%、「桜が丘」が10.7%、「南街」が10.3%と、これらが上位三つで、次いで「清水」が6.8%と続いています。

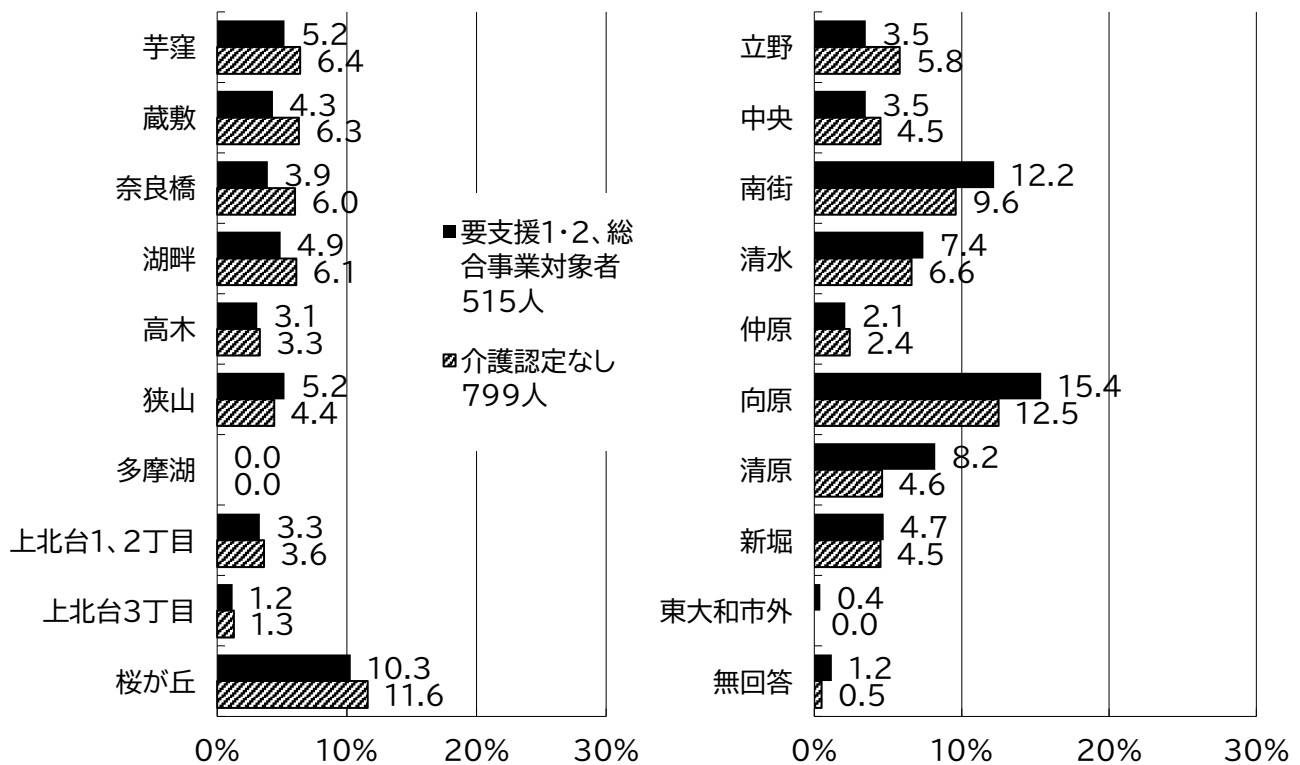


- 日常生活圏域で見ると、「きよはら圏域」が 33.4%、「いもくぼ圏域」が 33.2%、「なんがい圏域」が 31.1%と続いています。



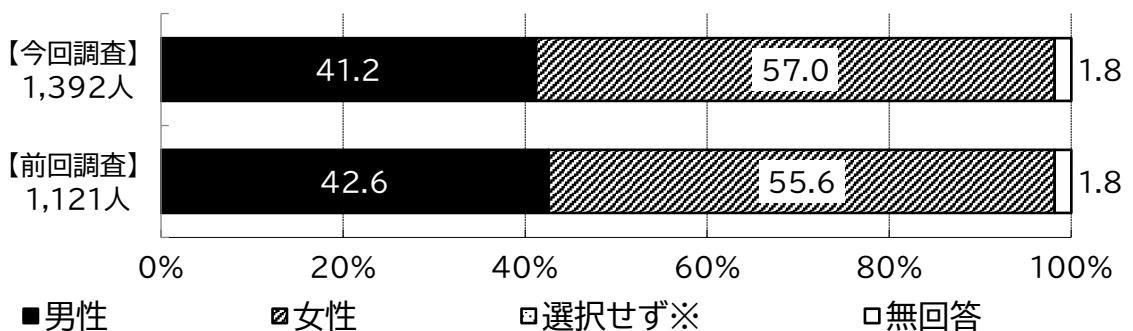
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「向原」が 15.4%、「南街」が 12.2%、「桜が丘」が 10.3%と、これらが上位三つで、次いで「清原」が 8.2%と続いています。
- 介護認定なしでは、「向原」が 12.5%、「桜が丘」が 11.6%、「南街」が 9.6%と、これらが上位三つで、次いで「清水」が 7.4%と続いています。



③令和元年12月1日現在のあなたの性別をお教えてください。

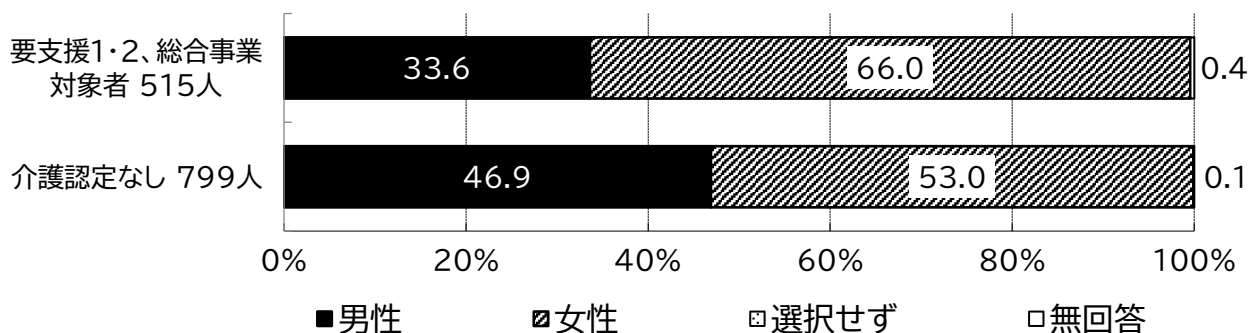
- 「女性」が 57.0%、「男性」が 41.2%となっています。なお、「選択せず」との回答はありません。



※は【前回】には選択肢なし

【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「女性」が66.0%、「男性」が33.6%となっています。
- 介護認定なしでは、「女性」が53.0%、「男性」が46.9%となっています。



【家族構成別】

- 家族構成別で見ると、1人暮らしは「女性」が70.7%となっています。

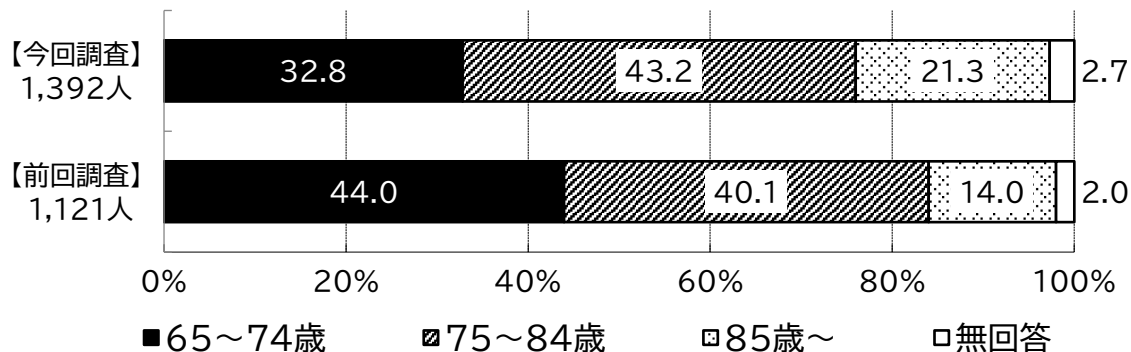
(単位:%)

		男性	女性	選択せず	無回答
2-問1 家族構成	全体 1,392人	41.2	57.0	0.0	1.8
	1人暮らし 355人	27.0	70.7	0.0	2.3
	夫婦2人暮らし 594人	54.1	44.4	0.0	1.5
	息子・娘との2世帯 224人	33.0	65.2	0.0	1.8

※網掛けは、各属性において最も回答率が高いもの(以降も同様)

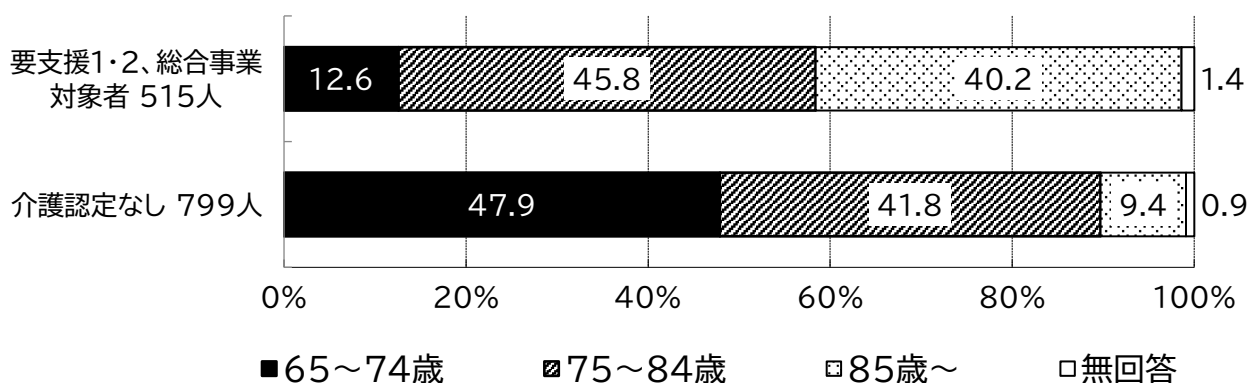
④令和元年12月1日現在のあなたの満年齢をお教えてください。

- 「75～84歳」が43.2%と最も高く、次いで「65～74歳」が32.8%、「85歳～」が21.3%と続いています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「75～84歳」が45.8%と最も高く、次いで「85歳～」が40.2%、「65～74歳」が12.6%と続いています。
- 介護認定なしでは、「65～74歳」が47.9%と最も高く、次いで「75～84歳」が41.8%、「85歳～」が9.4%と続いています。



【日常生活圏域別】

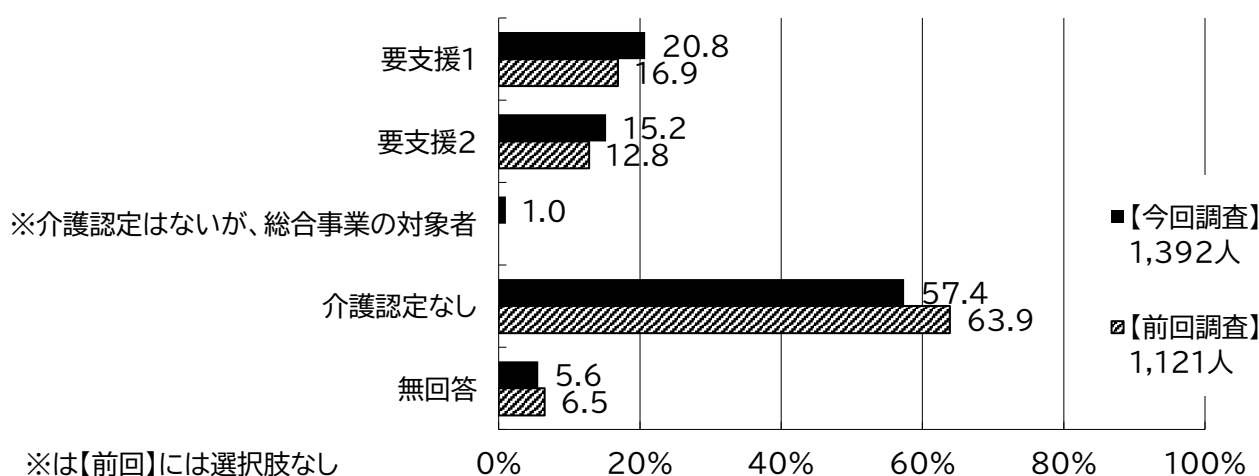
- 日常生活圏域別で見ると、きよはら圏域は75歳以上の後期高齢者の割合が71.8%と比較的高くなっています。

(単位:%)

		65~74歳	75~84歳	85歳~	無回答
	全体 1,392人	32.8	43.2	21.3	2.7
1-② 日常生活圏域	いもくぼ圏域 462人	33.1	44.4	20.8	1.7
	きよはら圏域 465人	28.2	48.8	23.0	0.0
	なんがい圏域 433人	39.2	39.0	20.6	1.2

⑤あなたの現在の要介護度をお教えてください。

- 「介護認定なし」が57.4%と最も高く、次いで「要支援1」が20.8%、「要支援2」が15.2%と続いています。



【年齢別等】

- 年齢別で見ると、85歳~は「要支援1」が36.8%、「要支援2」が31.8%と、要支援認定者が68.6%となっています。
- 日常生活圏域別で見ると、きよはら圏域は要支援認定者が41.3%と比較的高くなっています。
- 家族構成別で見ると、1人暮らしは要支援認定者が52.7%と比較的高くなっています。

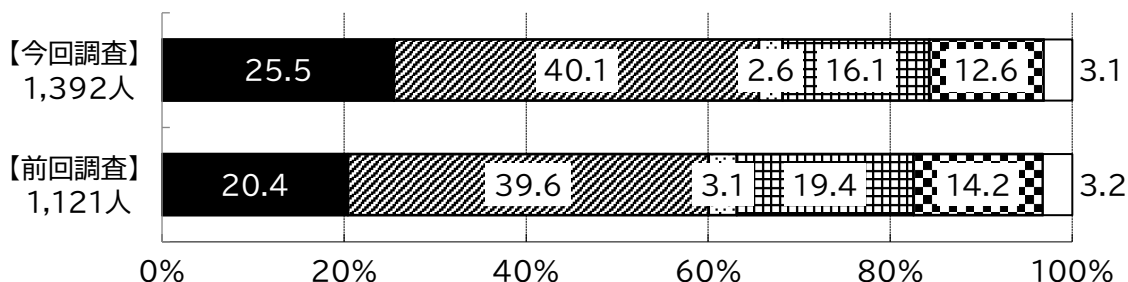
(単位:%)

		要支援1	要支援2	介護認定はないが、総合事業の対象者	介護認定なし	無回答
	全体 1,392人	20.8	15.2	1.0	57.4	5.6
1-④ 年齢	65~74歳 456人	7.9	5.9	0.4	84.0	1.8
	75~84歳 602人	23.4	14.5	1.3	55.5	5.3
	85歳~ 296人	36.8	31.8	1.4	25.3	5.1
1-② 日常生活圏域	いもくぼ圏域 462人	17.1	14.5	1.7	62.3	4.3
	きよはら圏域 465人	23.7	17.6	0.6	52.7	5.6
	なんがい圏域 433人	22.2	13.6	0.7	60.5	3.0
	市外 2人	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2-問1 家族構成	1人暮らし 355人	29.6	23.1	0.8	41.1	5.6
	夫婦2人暮らし 594人	16.2	11.1	1.0	66.3	5.4
	息子・娘との2世帯 224人	23.7	13.4	1.3	55.4	6.3

2 あなたのご家族や生活状況について

問1 家族構成をお教えてください。

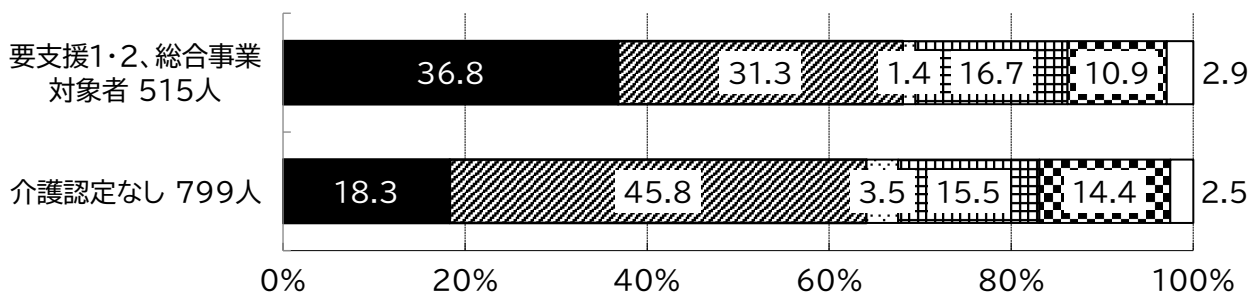
- 「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が40.1%と最も高く、次いで「1人暮らし」が25.5%、「息子・娘との2世帯」が16.1%と続いています。



- 1人暮らし
- ▨ 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)
- ▩ その他
- ▧ 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)
- ▦ 息子・娘との2世帯
- 無回答

【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「1人暮らし」が36.8%と最も高く、次いで「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が31.3%、「息子・娘との2世帯」が16.7%と続いています。
- 介護認定なしでは、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が45.8%と最も高く、次いで「1人暮らし」が18.3%、「息子・娘との2世帯」が15.5%と続いています。



- 1人暮らし
- ▨ 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)
- ▩ その他
- ▧ 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)
- ▦ 息子・娘との2世帯
- 無回答

【年齢別等】

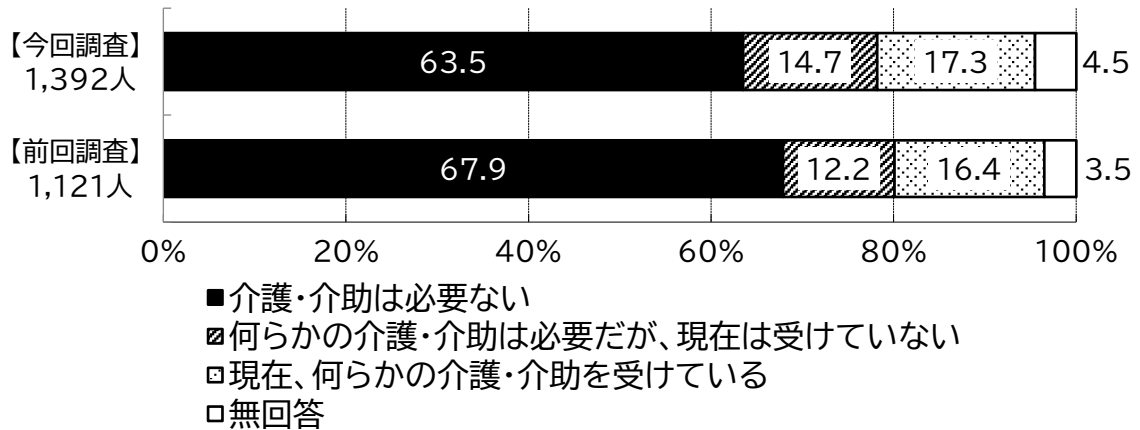
- 年齢別で見ると、85歳～は「1人暮らし」が32.4%と最も高く、次いで「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が28.0%、「息子・娘との2世帯」が23.0%と続いています。
- 日常生活圏域別で見ると、きよはら圏域は「1人暮らし」が32.0%と比較的高くなっています。

(単位:%)

		1人暮らし	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	息子・娘との2世帯	その他	無回答
	全体 1,392人	25.5	40.1	2.6	16.1	12.6	3.1
1-④ 年齢	65～74歳 456人	17.8	46.0	5.3	12.7	16.4	1.8
	75～84歳 602人	27.7	42.1	1.0	15.3	10.6	3.3
	85歳～ 296人	32.4	28.0	1.4	23.0	11.5	3.7
1-② 日常生活圏域	いもくぼ圏域 462人	20.1	39.5	2.8	19.0	16.2	2.4
	きよはら圏域 465人	32.0	37.2	2.4	13.5	11.2	3.7
	なんがい圏域 433人	24.0	44.1	2.8	15.2	11.1	2.8

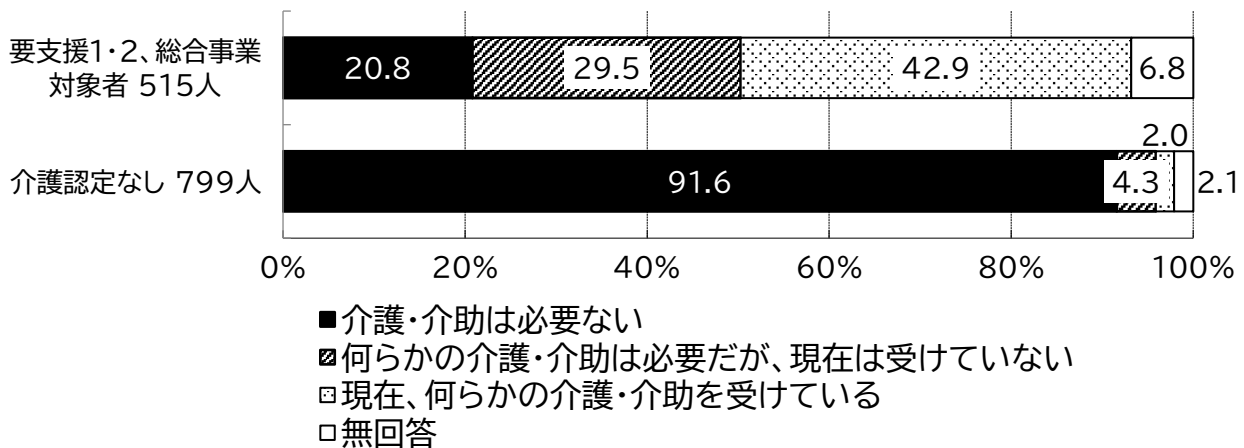
問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

- 「介護・介助は必要ない」が63.5%と最も高く、次いで「現在、何らかの介護・介助を受けている」が17.3%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が14.7%と続いています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「現在、何らかの介護・介助を受けている」が42.9%と最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が29.5%、「介護・介助は必要ない」が20.8%と続いています。
- 介護認定なしでは、「介護・介助は必要ない」が91.6%と最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が4.3%、「現在、何らかの介護・介助を受けている」が2.0%と続いています。



【年齢別等】

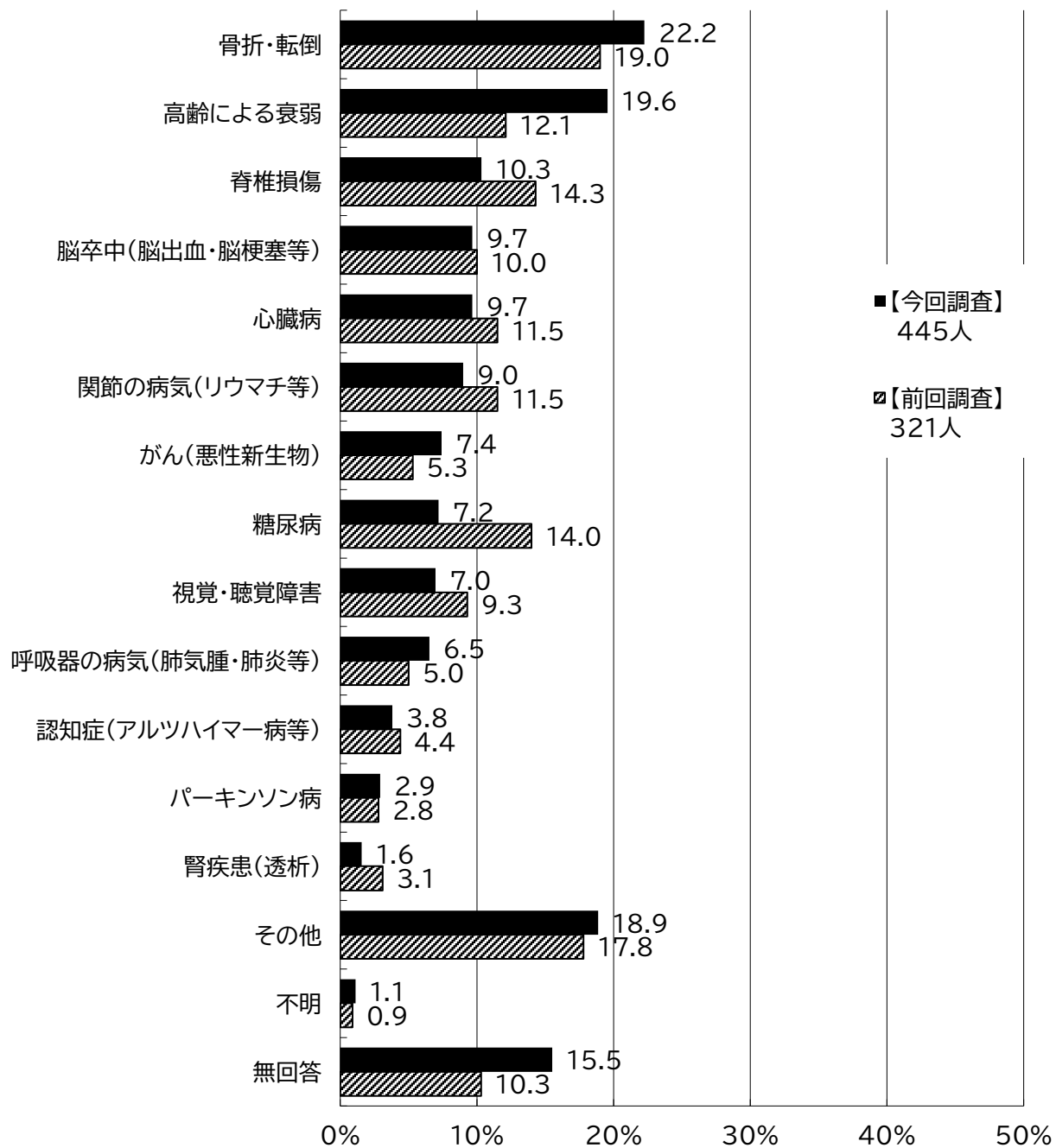
- 年齢別で見ると、85歳～は「現在、何らかの介護・介助を受けている」が35.5%、「介護・介助は必要ない」が32.4%と比較的高くなっています。
- 要介護度別で見ると、要支援1は「現在、何らかの介護・介助を受けている」が35.3%、要支援2は同回答が55.2%となっています。

(単位:%)

		介護・介助は必要ない	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	現在、何らかの介護・介助を受けている	無回答
	全体 1,392人	63.5	14.7	17.3	4.5
1-④ 年齢	65～74歳 456人	85.0	5.5	7.7	1.8
	75～84歳 602人	62.7	15.4	16.1	5.8
	85歳～ 296人	32.4	27.4	35.5	4.7
1-⑤ 要介護度	要支援1 289人	28.0	29.8	35.3	6.9
	要支援2 212人	10.4	27.8	55.2	6.6
	介護認定なし 799人	91.6	4.3	2.0	2.1

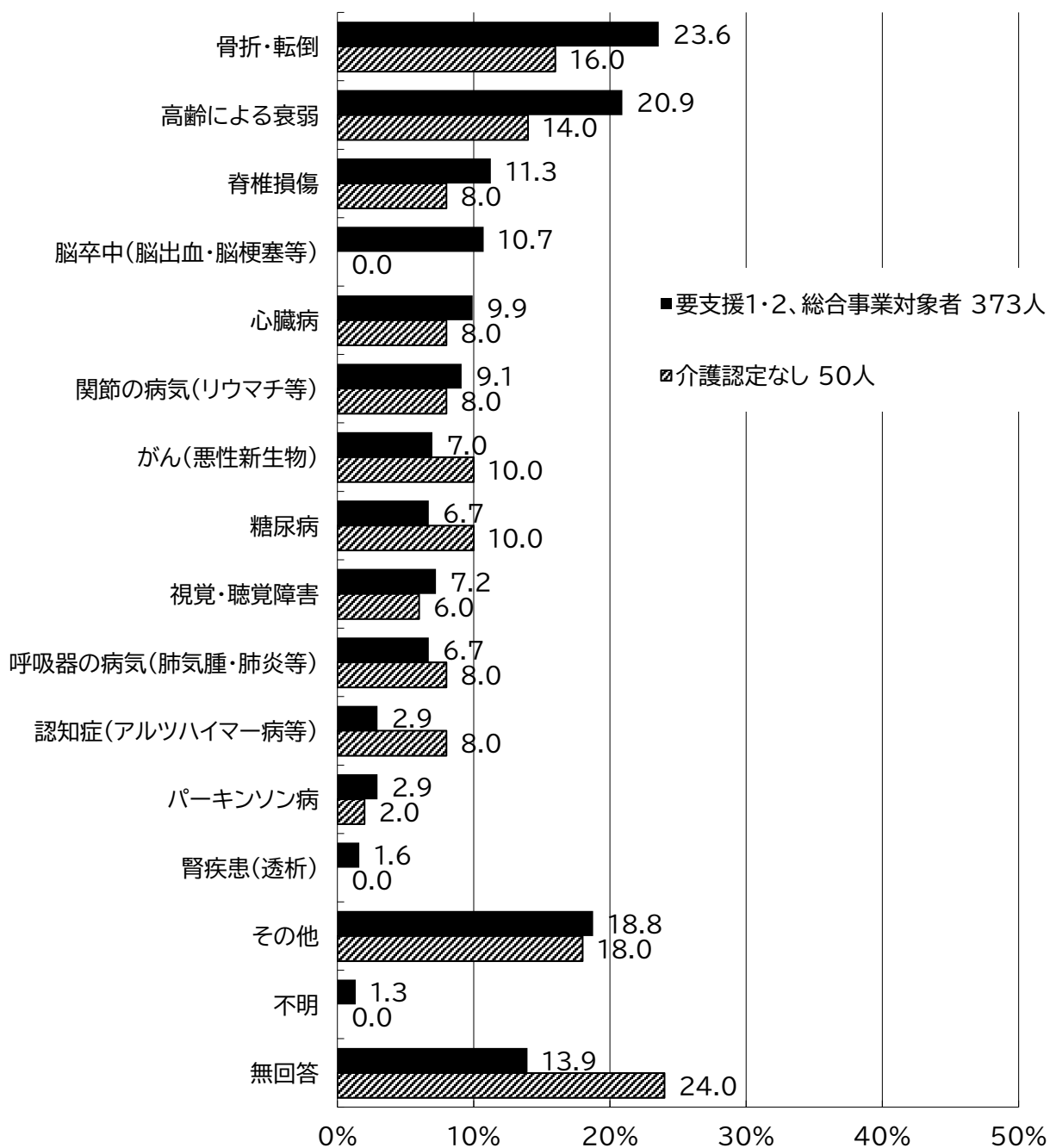
問2-1 【問2において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか(いくつでも)

- 「骨折・転倒」が 22.2%と最も高く、次いで「高齢による衰弱」が 19.6%、「その他」が 18.9%と続いています。



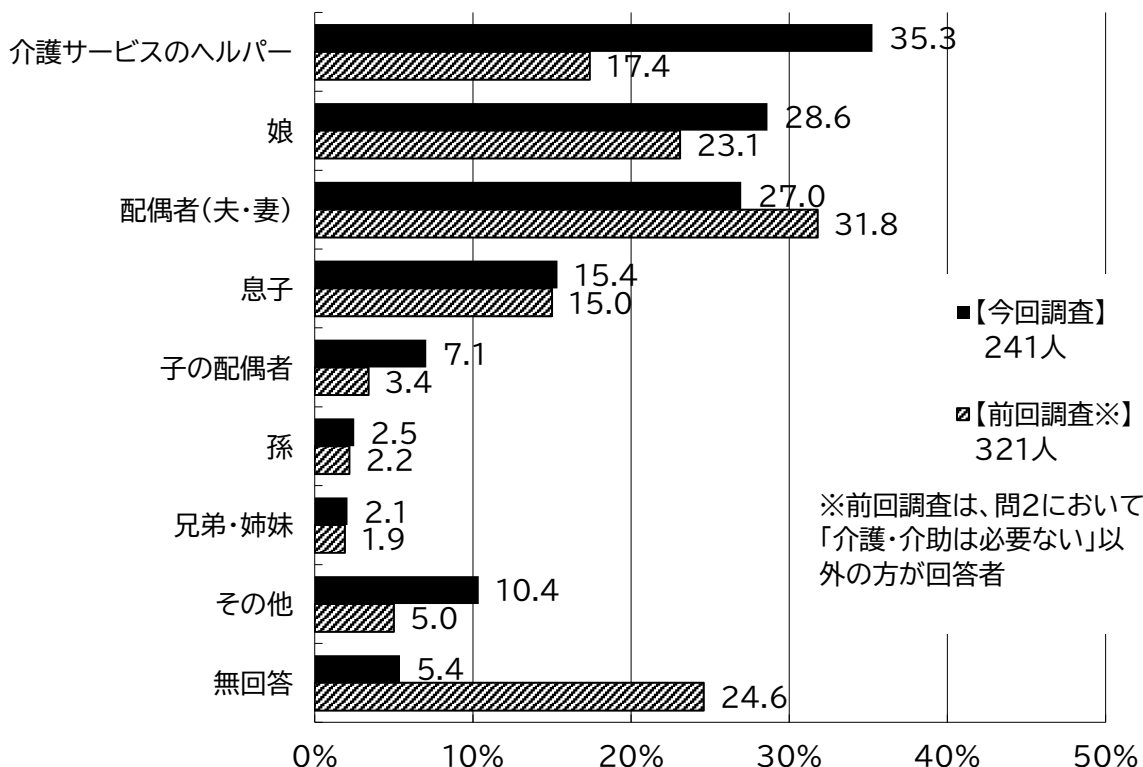
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「骨折・転倒」が 23.6%と最も高く、次いで「高齢による衰弱」が 20.9%、「その他」が18.8%と続いています。
- 介護認定なしでは、「その他」が 18.0%と最も高く、次いで「骨折・転倒」が 16.0%、「高齢による衰弱」が 14.0%と続いています。



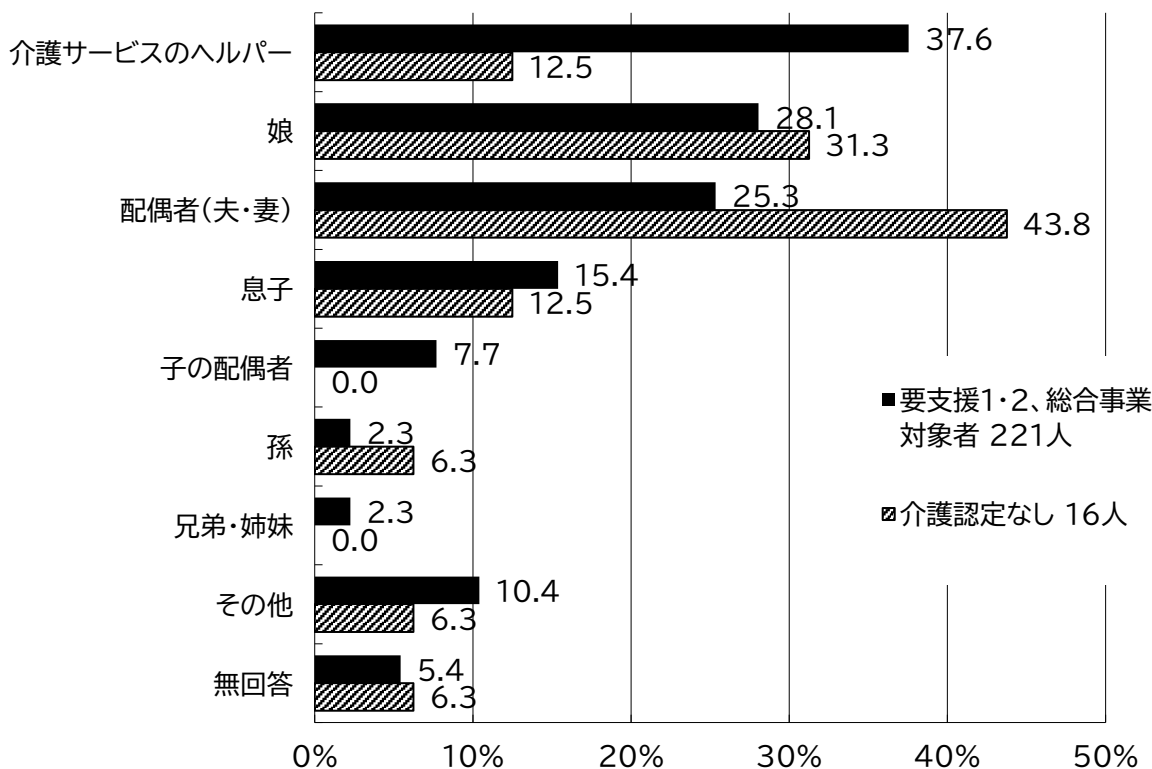
問2-2 【問2において「3. 現在、何らかの介護・介助を受けている」の方のみ】
主にどなたの介護、介助を受けていますか(いくつでも)

- 「介護サービスのヘルパー」が 35.3%と最も高く、次いで「娘」が 28.6%、「配偶者(夫・妻)」が 27.0%と続いています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「介護サービスのヘルパー」が 37.6%と最も高く、次いで「娘」が 28.1%、「配偶者(夫・妻)」が 25.3%と続いています。
- 介護認定なしでは、「配偶者(夫・妻)」が 43.8%と最も高く、次いで「娘」が 31.3%、「息子」、「介護サービスのヘルパー」がいずれも 12.5%と続いています。



【年齢別等】

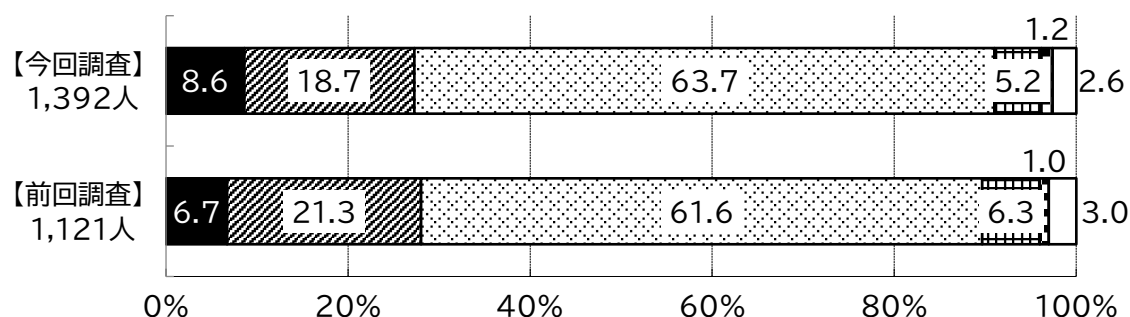
- 年齢別で見ると、85歳～は「娘」が38.1%、「息子」が21.0%と比較的高くなっています。
- 要介護度別で見ると、要支援1、要支援2は「介護サービスのヘルパー」が最も高く、要支援2は同回答が41.0%となっています。
- 家族構成別で見ると、1人暮らしは「介護サービスのヘルパー」が63.2%、夫婦2人暮らしは「配偶者(夫・妻)」が68.1%と比較的高くなっています。

(単位:%)

		配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の配 偶者	孫	兄弟・ 姉妹	介護サ ービス のヘル パー	その他	無回答
	全体 241人	27.0	15.4	28.6	7.1	2.5	2.1	35.3	10.4	5.4
1-④ 年齢	65～74歳 35人	40.0	8.6	5.7	2.9	2.9	2.9	40.0	14.3	11.4
	75～84歳 97人	30.9	12.4	26.8	7.2	0.0	3.1	37.1	11.3	3.1
	85歳～ 105人	18.1	21.0	38.1	7.6	4.8	1.0	31.4	7.6	5.7
1-⑤ 要介護度	要支援1 102人	29.4	15.7	24.5	4.9	1.0	2.0	34.3	12.7	3.9
	要支援2 117人	22.2	13.7	31.6	9.4	2.6	2.6	41.0	8.5	6.8
	介護認定なし 16人	43.8	12.5	31.3	0.0	6.3	0.0	12.5	6.3	6.3
2-問1 家族構成	1人暮らし 87人	2.3	9.2	23.0	8.0	2.3	2.3	63.2	13.8	3.4
	夫婦2人暮らし 69人	68.1	2.9	15.9	0.0	0.0	1.4	20.3	11.6	10.1
	息子・娘との2世帯 53人	13.2	32.1	50.9	13.2	5.7	1.9	15.1	3.8	1.9

問3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

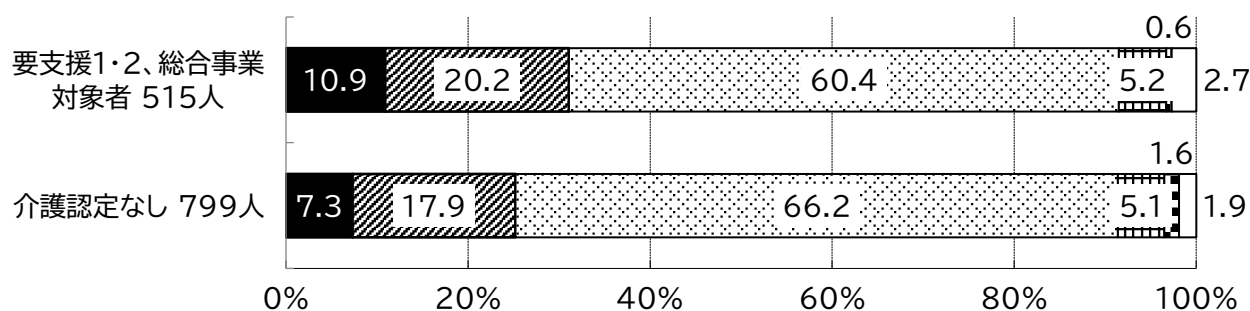
- 「ふつう」が63.7%と最も高く、次いで「やや苦しい」が18.7%、「大変苦しい」が8.6%と続いています。



■ 大変苦しい ■ やや苦しい □ ふつう ■ ややゆとりがある ■ 大変ゆとりがある □ 無回答

【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「ふつう」が60.4%と最も高く、次いで「やや苦しい」が20.2%、「大変苦しい」が10.9%と続いています。
- 介護認定なしでは、「ふつう」が66.2%と最も高く、次いで「やや苦しい」が17.9%、「大変苦しい」が7.3%と続いています。



■ 大変苦しい ■ やや苦しい □ ふつう ■ ややゆとりがある ■ 大変ゆとりがある □ 無回答

【家族構成別等】

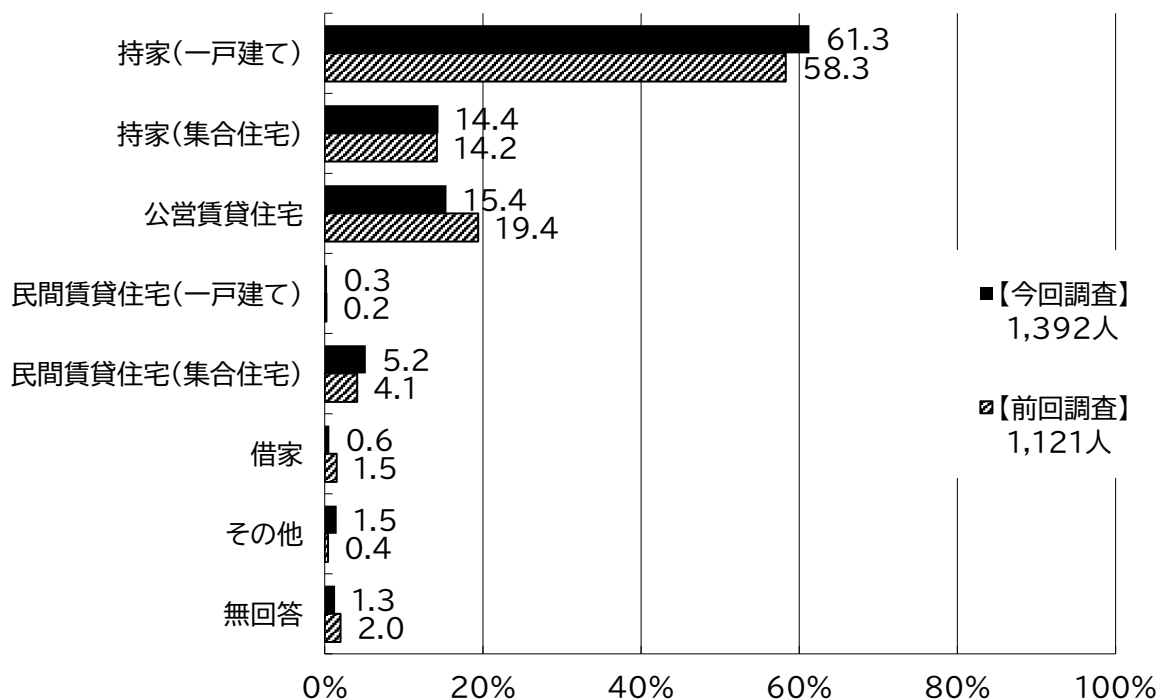
- 家族構成別で見ると、1人暮らしは「大変苦しい」、「やや苦しい」が合わせて33.0%と比較的高くなっています。
- お住まい別で見ると、賃貸・貸家は「大変苦しい」、「やや苦しい」が合わせて48.6%と比較的高くなっています。

(単位:%)

		大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答
	全体 1,392人	8.6	18.7	63.7	5.2	1.2	2.6
2-問1 家族構成	1人暮らし 355人	11.3	21.7	60.3	3.9	1.1	1.7
	夫婦2人暮らし 594人	8.8	16.7	67.9	4.5	0.8	1.3
	息子・娘との2世帯 224人	5.8	20.5	59.8	10.3	1.8	1.8
2-問4 お住まい	持ち家 1,053人	5.7	15.6	68.8	6.0	1.5	2.4
	賃貸・貸家 300人	17.3	31.3	48.4	2.0	0.0	1.0

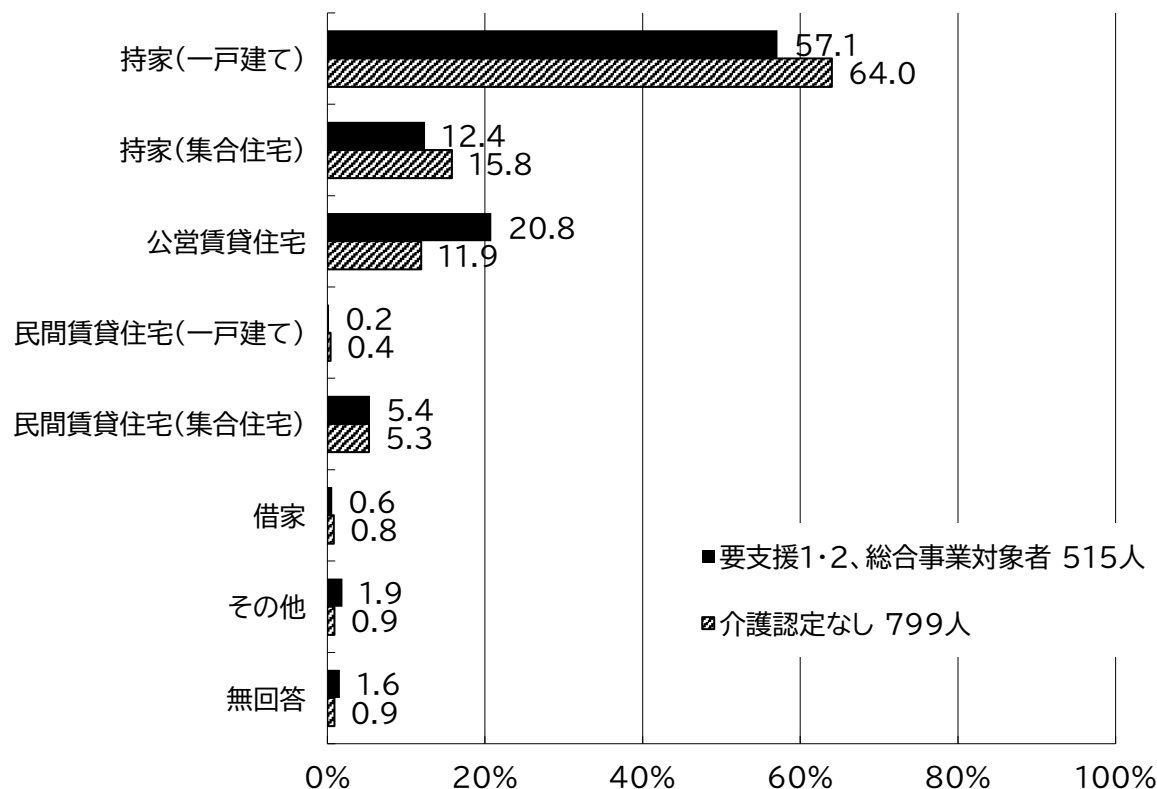
問4 お住まいは一戸建て、又は集合住宅のどちらですか。

- 「持家(一戸建て)」が 61.3%と最も高く、次いで「公営賃貸住宅」が 15.4%、「持家(集合住宅)」が 14.4%と続いています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「持家(一戸建て)」が 57.1%と最も高く、次いで「公営賃貸住宅」が 20.8%、「持家(集合住宅)」が 12.4%と続いています。
- 介護認定なしでは、「持家(一戸建て)」が 64.0%と最も高く、次いで「持家(集合住宅)」が 15.8%、「公営賃貸住宅」が 11.9%と続いています。



【日常生活圏域別等】

- 日常生活圏域別で見ると、いずれの圏域も「持家(一戸建て)」が最も高い一方、きよはら圏域は「公営賃貸住宅」が28.4%、なんがい圏域は「持家(集合住宅)」が36.7%と、それぞれ比較的高くなっています。
- 家族構成別で見ると、いずれの圏域も「持家(一戸建て)」が最も高い一方、1人暮らしは「公営賃貸住宅」が29.0%と比較的高くなっています。

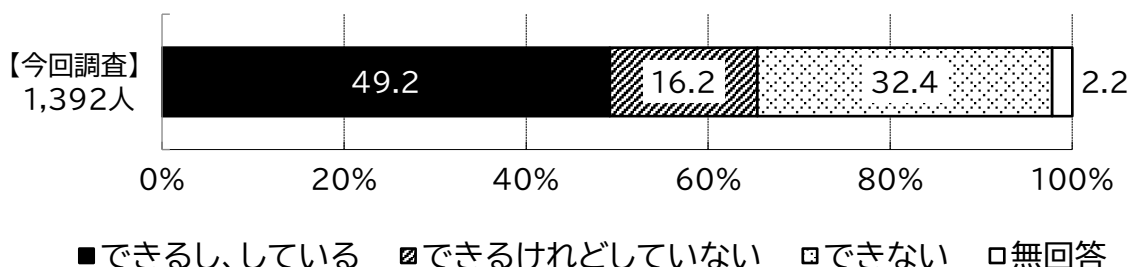
(単位:%)

		持家 (一戸 建て)	持家 (集合 住宅)	公営賃 貸住宅	民間賃 貸住宅 (一戸 建て)	民間賃 貸住宅 (集合 住宅)	借家	その他	無回答
	全体 1,392人	61.3	14.4	15.4	0.3	5.2	0.6	1.5	1.3
1-② 日常生活 圏域	いもくぼ圏域 462人	75.7	6.1	11.7	0.4	3.9	0.9	0.9	0.4
	きよはら圏域 465人	58.3	2.4	28.4	0.4	6.2	0.6	1.5	2.2
	なんがい圏域 433人	49.0	36.7	5.1	0.0	6.0	0.2	2.3	0.7
2-① 家族構成	1人暮らし 355人	42.3	13.2	29.0	0.6	10.4	1.1	1.7	1.7
	夫婦2人暮らし 594人	63.6	19.0	12.5	0.0	2.9	0.5	1.3	0.2
	息子・娘との2世帯 224人	72.9	10.7	10.3	0.4	4.0	0.0	1.3	0.4

3 からだを動かすことについて

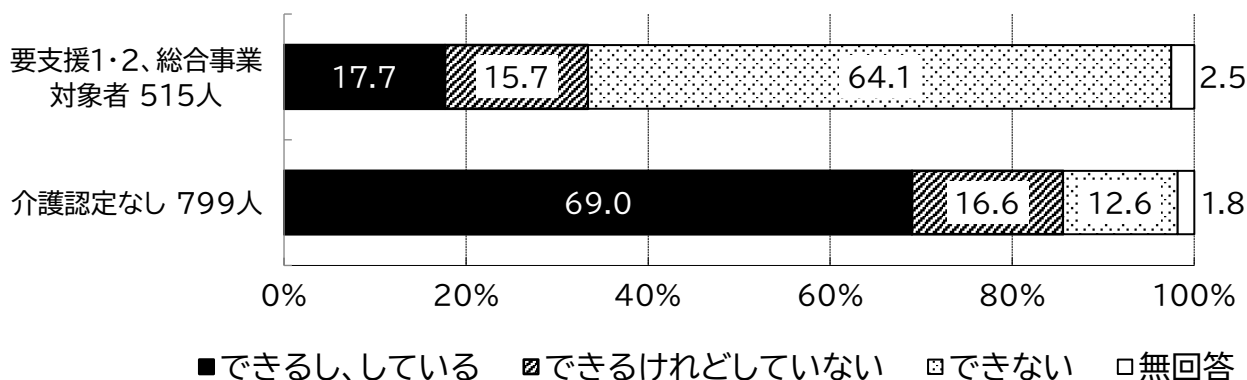
問1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。

- 「できるし、している」が49.2%と最も高く、次いで「できない」が32.4%、「できるけれどしていない」が16.2%と続いています。



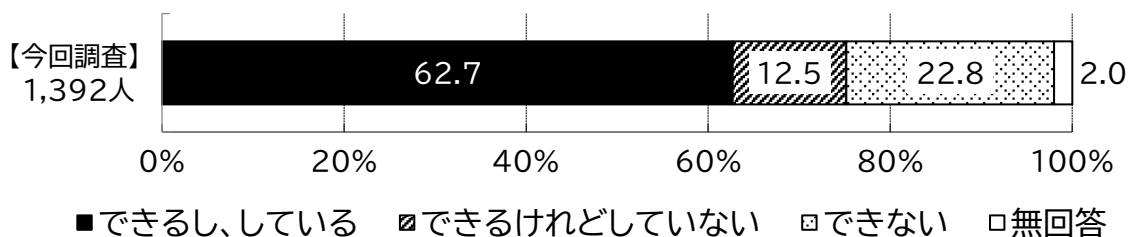
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「できない」が64.1%と最も高く、次いで「できるし、している」が17.7%、「できるけれどしていない」が15.7%と続いています。
- 介護認定なしでは、「できるし、している」が69.0%と最も高く、次いで「できるけれどしていない」が16.6%、「できない」が12.6%と続いています。



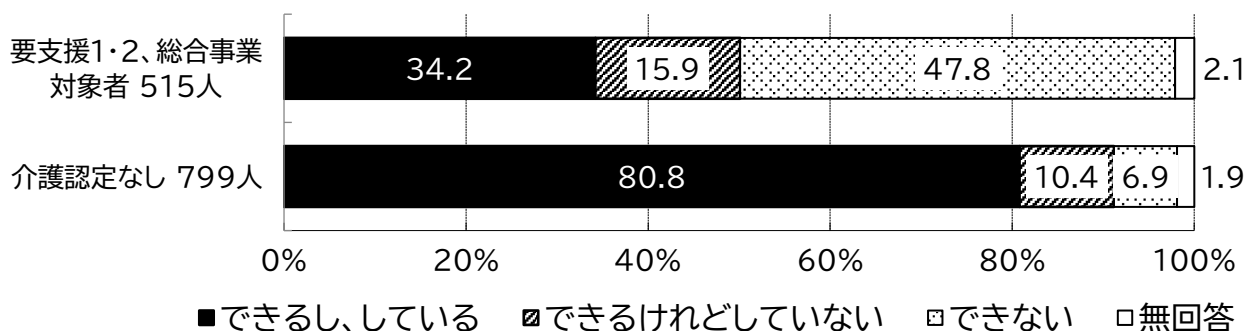
問2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。

- 「できるし、している」が 62.7%と最も高く、次いで「できない」が 22.8%、「できるけれどしていない」が 12.5%と続いています。



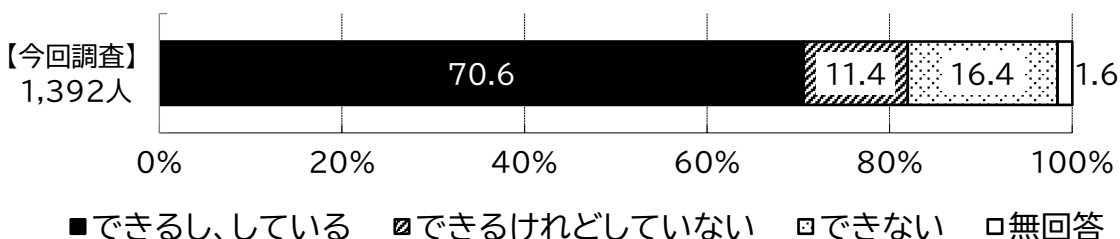
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「できない」が 47.8%と最も高く、次いで「できるし、している」が 34.2%、「できるけれどしていない」が 15.9%と続いています。
- 介護認定なしでは、「できるし、している」が 80.8%と最も高く、次いで「できるけれどしていない」が 10.4%、「できない」が 6.9%と続いています。



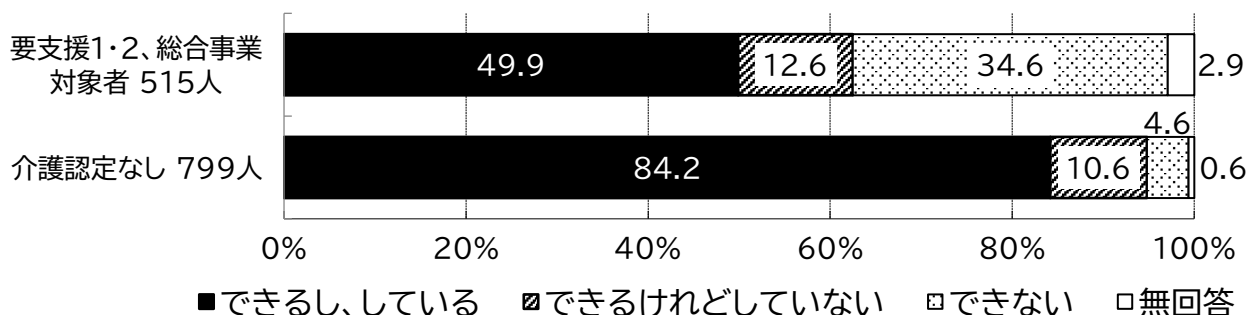
問3 15分位続けて歩いていますか。

- 「できるし、している」が 70.6%と最も高く、次いで「できない」が 16.4%、「できるけれどしていない」が 11.4%と続いています。



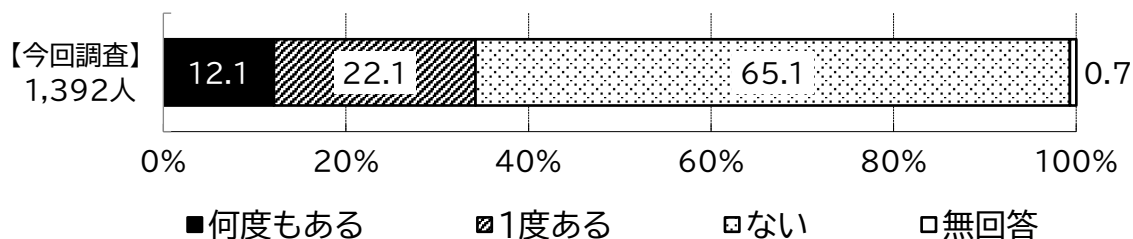
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「できるし、している」が 49.9%と最も高く、次いで「できない」が 34.6%、「できるけれどしていない」が 12.6%と続いています。
- 介護認定なしでは、「できるし、している」が 84.2%と最も高く、次いで「できるけれどしていない」が 10.6%、「できない」が 4.6%と続いています。



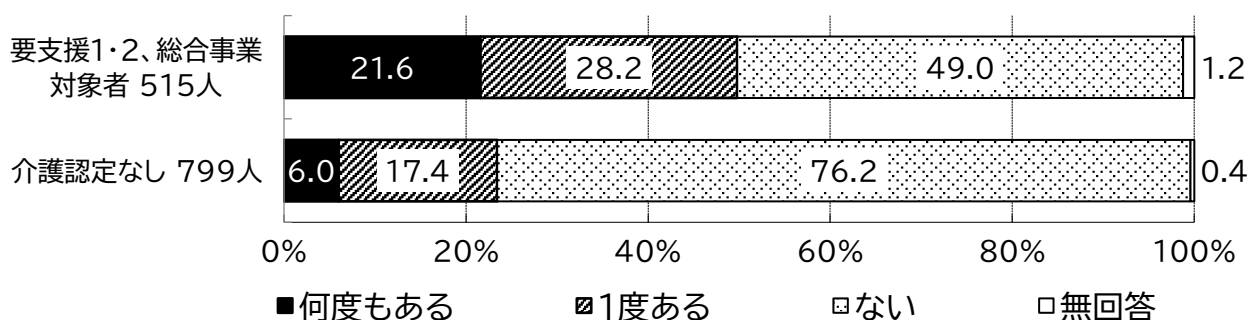
問4 過去1年間に転んだ経験がありますか。

- 「ない」が65.1%と最も高く、次いで「1度ある」が22.1%、「何度もある」が12.1%と続いています。



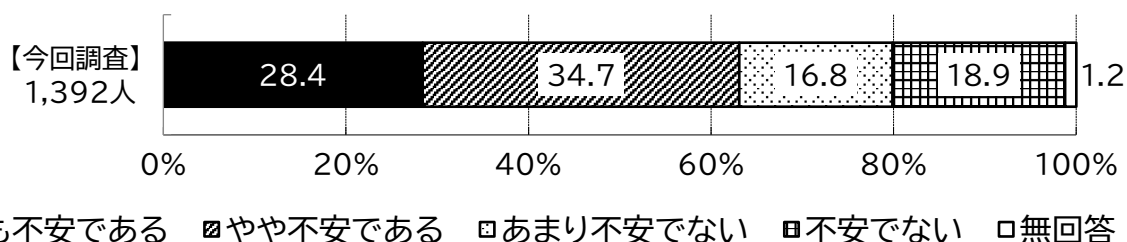
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「ない」が49.0%と最も高く、次いで「1度ある」が28.2%、「何どもある」が21.6%と続いています。
- 介護認定なしでは、「ない」が76.2%と最も高く、次いで「1度ある」が17.4%、「何どもある」が6.0%と続いています。



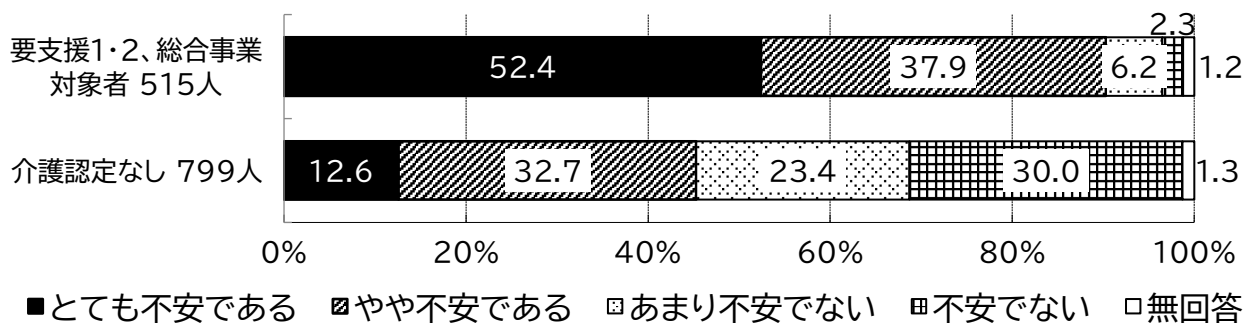
問5 転倒に対する不安は大きいですか。

- 「やや不安である」が34.7%と最も高く、次いで「とても不安である」が28.4%、「不安でない」が18.9%、「あまり不安でない」が16.8%と続いています。



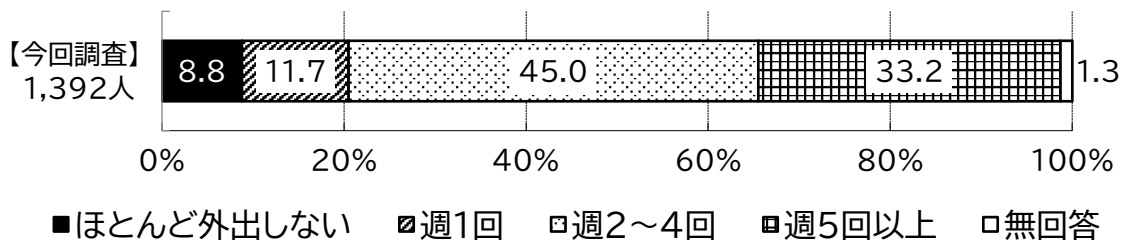
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「とても不安である」が52.4%と最も高く、次いで「やや不安である」が37.9%、「あまり不安でない」が6.2%と続いています。
- 介護認定なしでは、「やや不安である」が32.7%と最も高く、次いで「不安でない」が30.0%、「あまり不安でない」が23.4%と続いています。



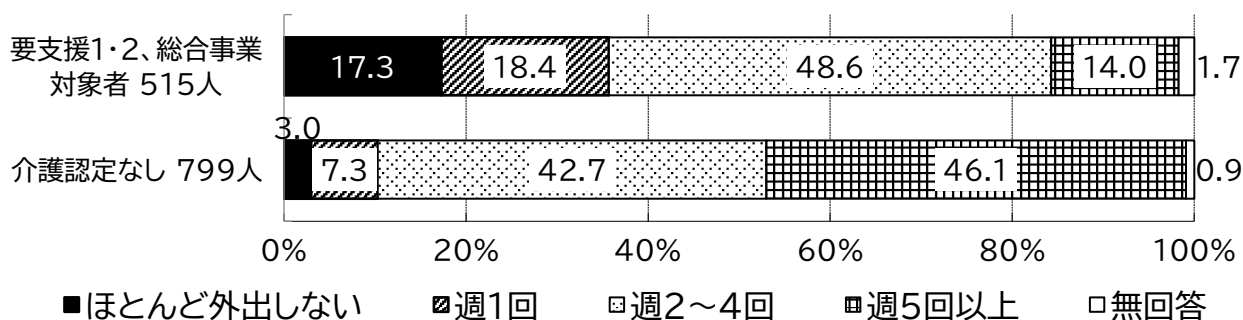
問6 週に1回以上は外出していますか。

- 「週2～4回」が45.0%と最も高く、次いで「週5回以上」が33.2%、「週1回」が11.7%と続いています。



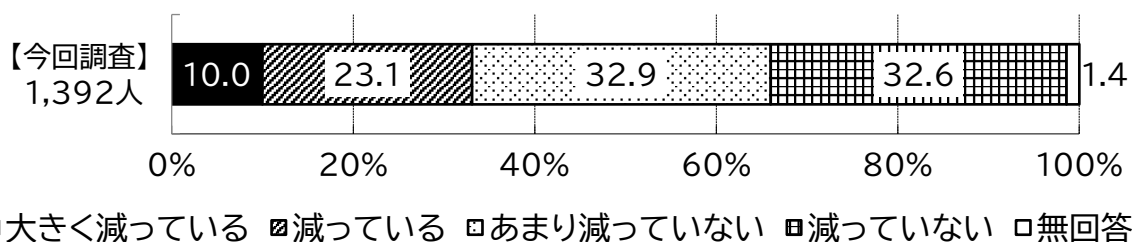
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「週2～4回」が48.6%と最も高く、次いで「週1回」が18.4%、「ほとんど外出しない」が17.3%と続いています。
- 介護認定なしでは、「週5回以上」が46.1%と最も高く、次いで「週2～4回」が42.7%、「週1回」が7.3%と続いています。



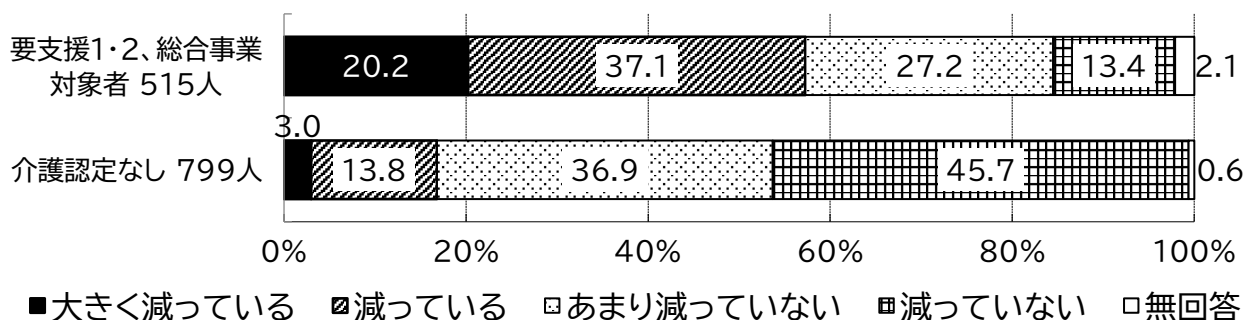
問7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。

- 「あまり減っていない」が32.9%と最も高く、次いで「減っていない」が32.6%、「減っている」が23.1%と続いています。



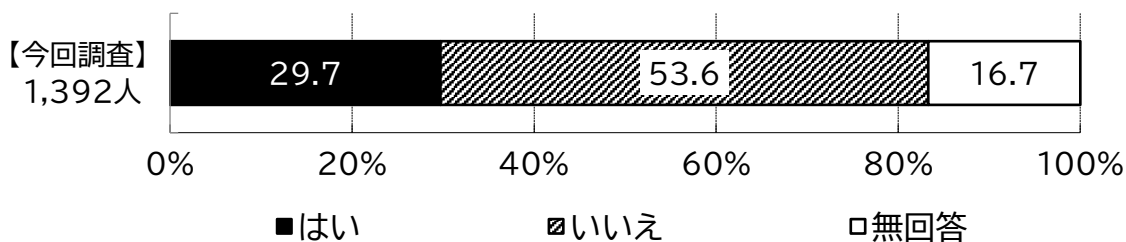
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「減っている」が37.1%と最も高く、次いで「あまり減っていない」が27.2%、「大きく減っている」が20.2%と続いています。
- 介護認定なしでは、「減っていない」が45.7%と最も高く、次いで「あまり減っていない」が36.9%、「減っている」が13.8%と続いています。



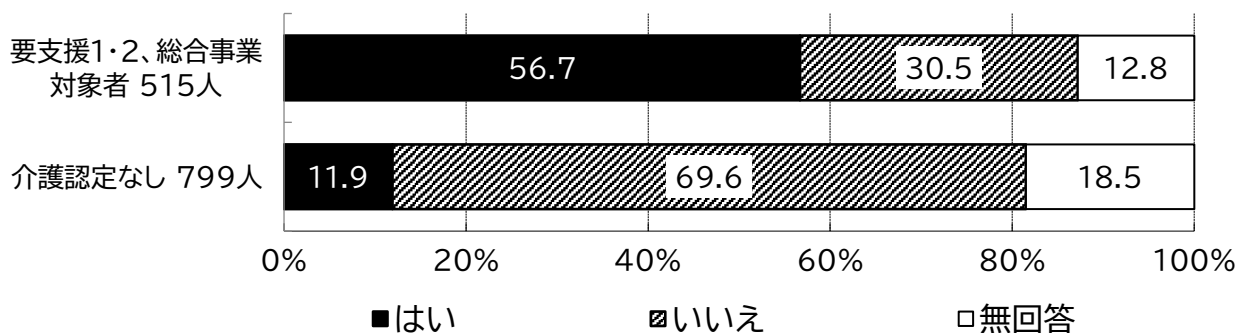
問8 外出を控えていますか。

- 「いいえ」が53.6%、「はい」が29.7%となっています。



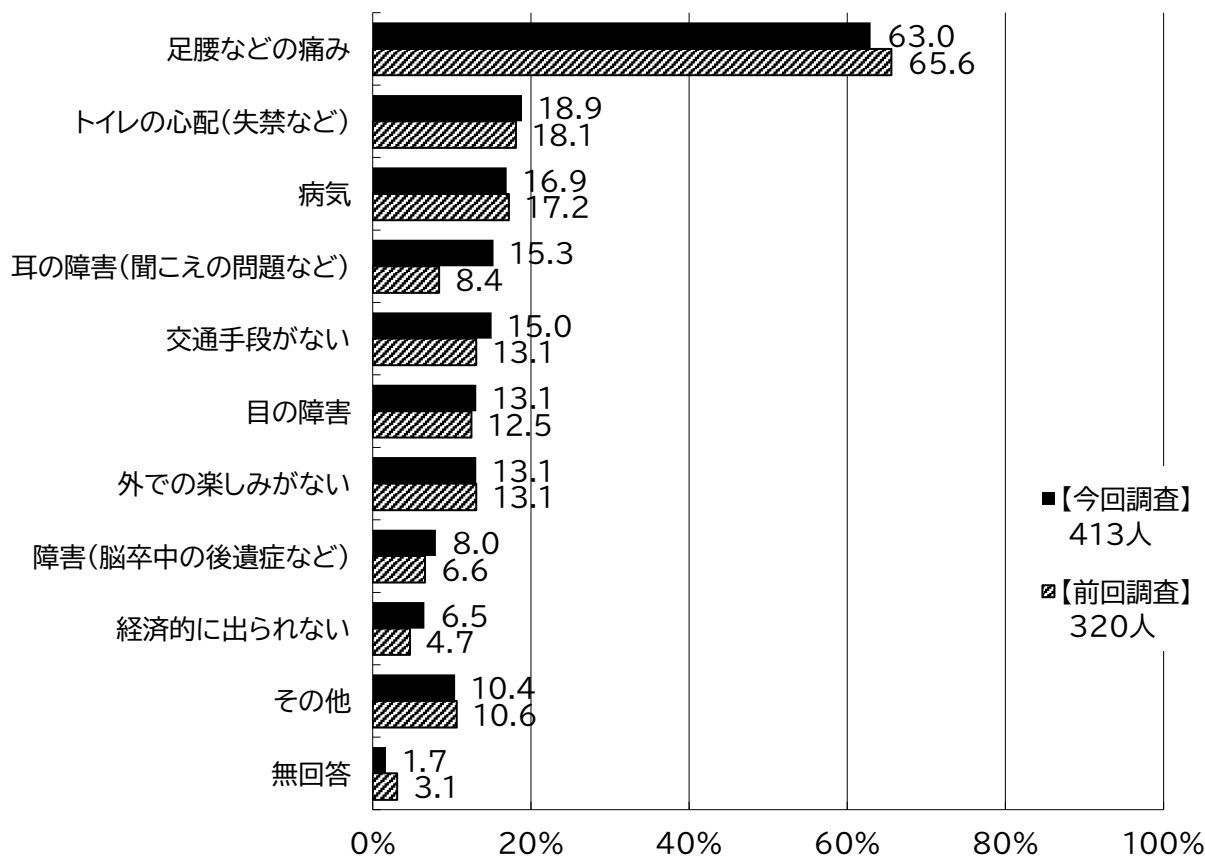
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「はい」が56.7%、「いいえ」が30.5%となっています。
- 介護認定なしでは、「いいえ」が69.6%、「はい」が11.9%となっています。



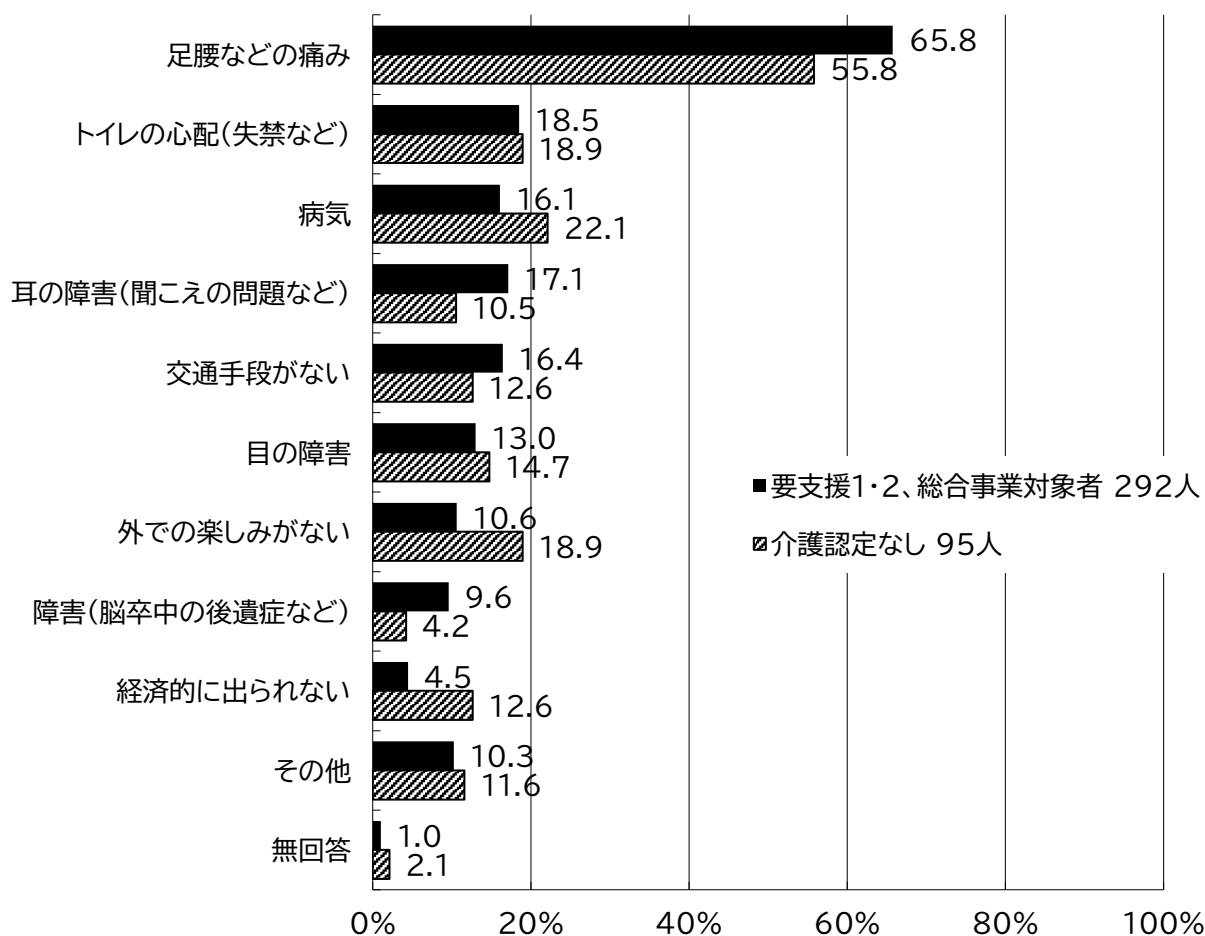
問8-1 【問8で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】 外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも)

- 「足腰などの痛み」が63.0%と最も高く、次いで「トイレの心配(失禁など)」が18.9%、「病気」が16.9%と続いています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「足腰などの痛み」が 65.8%と最も高く、次いで「トイレの心配(失禁など)」が 18.5%、「耳の障害(聞こえの問題など)」が 17.1%と続いています。
- 介護認定なしでは、「足腰などの痛み」が 55.8%と最も高く、次いで「病気」が 22.1%、「トイレの心配(失禁など)」、「外での楽しみがない」がいずれも 18.9%と続いています。



【暮らしの経済的な状況別】

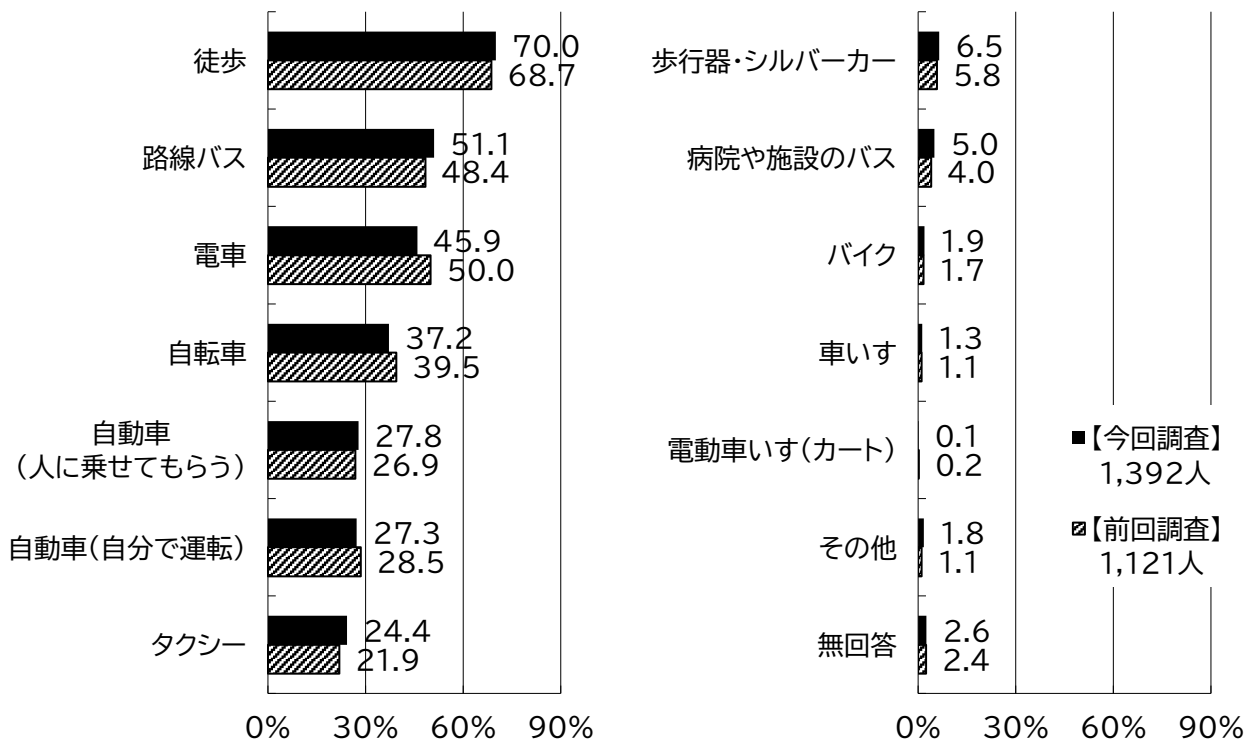
- 暮らしの経済的な状況別で見ると、いずれの状況も「足腰などの痛み」が最も高い一方、大変苦しい・やや苦しいという場合は「病気」が 24.7%、「交通手段がない」が 24.0%、「経済的に出られない」が 15.3%と、それぞれ比較的高くなっています。

(単位:%)

	病 気	障 害(脳 卒 中 の 後 遺 症 な ど)	足 腰 な ど の 痛 み	ト イ レ の 心 配 (失 禁 な ど)	耳 の 障 害(聞 こ え の 問 題 な ど)	目 の 障 害	外 で の 楽 し み が な い	経 済 的 に 出 ら れ な い	交 通 手 段 が な い	そ の 他	無 回 答
全体 413人	16.9	8.0	63.0	18.9	15.3	13.1	13.1	6.5	15.0	10.4	1.7
2-問2 暮らしの 経済的な 状況											
大変苦しい・やや 苦しい 150人	24.7	8.0	66.7	21.3	18.0	14.0	16.7	15.3	24.0	10.0	0.7
ふつう 234人	12.0	7.7	61.5	18.4	12.8	13.7	11.1	0.9	8.5	11.5	1.7
ややゆとりがあ る・大変ゆとりが ある 19人	10.5	10.5	63.2	5.3	21.1	0.0	15.8	0.0	15.8	5.3	5.3

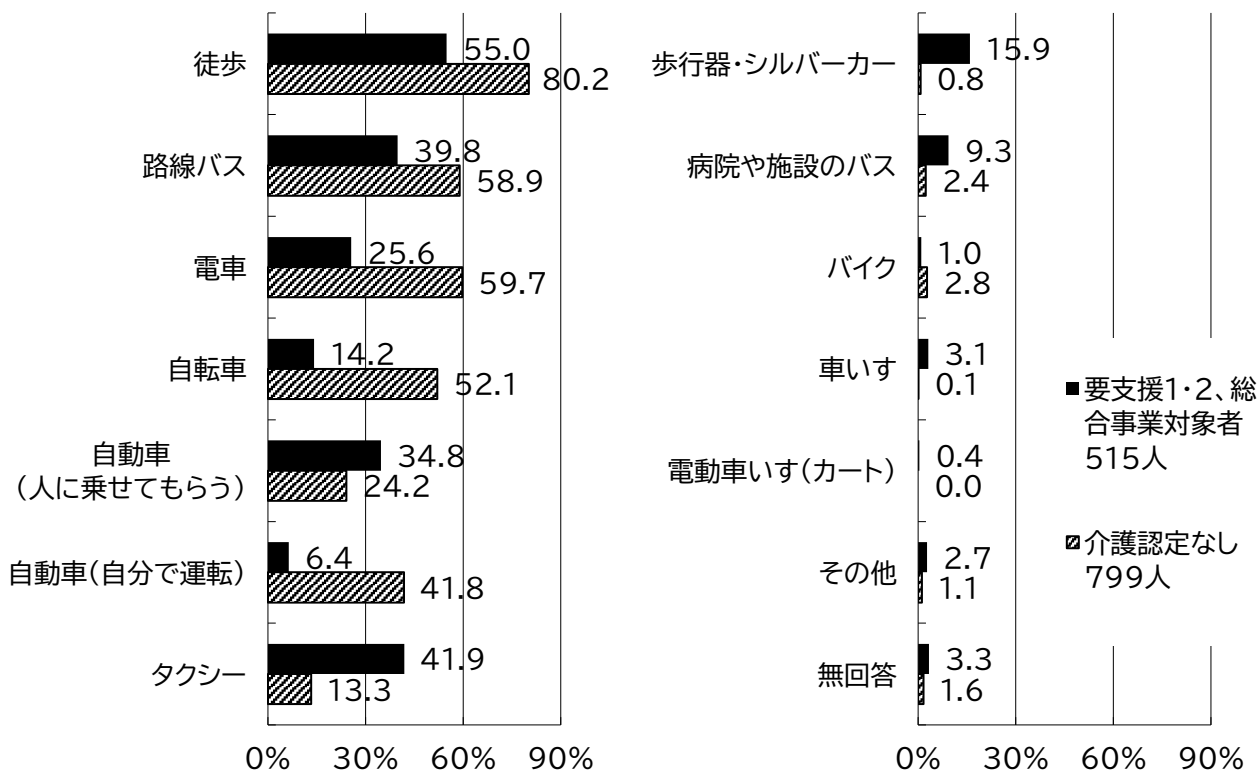
問9 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも)

- 「徒歩」が70.0%と最も高く、次いで「路線バス」が51.1%、「電車」が45.9%と続いています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「徒歩」が55.0%と最も高く、次いで「タクシー」が41.9%、「路線バス」が39.8%と続いています。
- 介護認定なしでは、「徒歩」が80.2%と最も高く、次いで「電車」が59.7%、「路線バス」が58.9%と続いています。



【年齢別等】

- 年齢で見ると、いずれも「徒歩」が最も高い一方、85歳～は「タクシー」が39.2%と比較的高くなっています。
- 性別で見ると、いずれも「徒歩」が最も高い一方、男性は「自動車(自分で運転)」が46.8%、女性は同回答が13.6%と男女で差が見られます。
- 要介護度別で見ると、要支援1や介護認定なしは「徒歩」が最も高い一方、要支援2は「タクシー」が45.3%と最も高くなっています。
- 家族構成別で見ると、いずれも「徒歩」が最も高い一方、1人暮らしは「タクシー」が30.4%と比較的高くなっています。

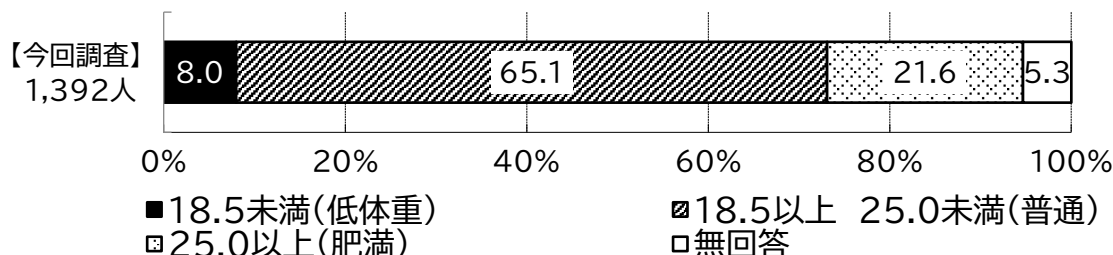
(単位:%)

		徒歩	自転車	バイク	自動車(自分で運転)	自動車(人に乗せてもらう)	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす(カート)	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
	全体 1,392人	70.0	37.2	1.9	27.3	27.8	45.9	51.1	5.0	1.3	0.1	6.5	24.4	1.8	2.6
1-④ 年齢	65～74歳 456人	81.4	56.4	3.5	49.6	24.8	62.9	55.0	1.8	0.9	0.2	0.7	13.2	2.0	1.5
	75～84歳 602人	68.3	33.1	1.7	21.4	27.7	43.2	53.0	6.3	0.8	0.0	6.0	25.4	1.0	3.2
	85歳～ 296人	56.8	15.9	0.3	6.1	34.1	25.0	41.6	7.8	2.7	0.3	16.2	39.2	3.4	2.7
1-③ 性別	男性 573人	77.0	46.9	3.1	46.8	17.1	47.3	44.3	4.2	1.4	0.3	2.1	20.4	1.2	2.1
	女性 794人	65.1	30.0	1.1	13.6	36.3	44.8	56.0	5.8	1.3	0.0	9.6	27.2	2.3	2.6
1-⑤ 要介護度	要支援1 289人	64.7	18.0	1.0	6.9	32.2	29.4	45.7	8.0	2.8	0.3	11.4	39.8	2.1	2.1
	要支援2 212人	41.0	7.5	0.9	4.7	39.6	19.8	31.6	11.3	3.8	0.5	22.6	45.3	3.8	4.7
	介護認定なし 799人	80.2	52.1	2.8	41.8	24.2	59.7	58.9	2.4	0.1	0.0	0.8	13.3	1.1	1.6
2-問1 家族構成	1人暮らし 355人	68.2	29.9	1.4	14.4	19.4	42.5	57.5	6.8	0.8	0.0	12.4	30.4	3.4	2.5
	夫婦2人暮らし 594人	74.7	44.6	1.9	34.7	27.4	49.3	51.7	4.0	1.0	0.3	3.4	22.1	0.7	1.7
	息子・娘との2 世帯 224人	66.5	29.5	1.3	21.9	37.5	42.9	45.1	6.3	1.8	0.0	7.1	23.2	0.0	3.6

4 食べることについて

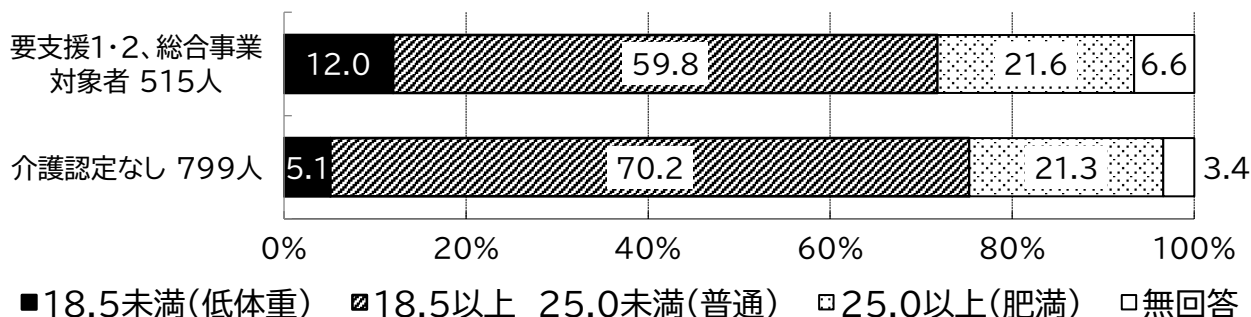
問1 身長・体重を教えてください。(身長・体重からBMIを算出)

- 身長・体重から算出したBMIは、「18.5以上 25.0未満(普通)」が65.1%、「25.0以上(肥満)」が21.6%、「18.5未満(低体重)」が8.0%と続いています。



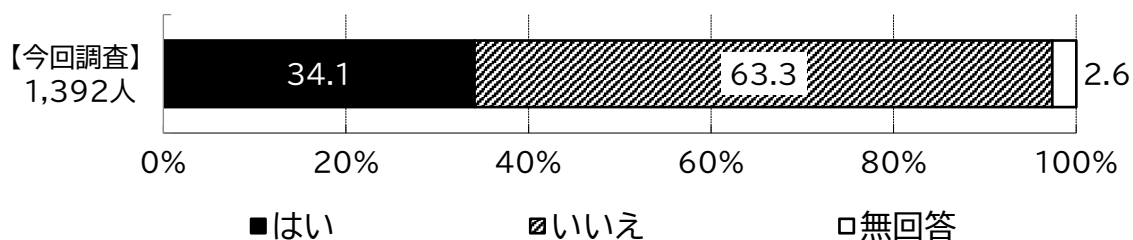
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「18.5以上 25.0未満(普通)」が59.8%と最も高く、次いで「25.0以上(肥満)」が21.6%、「18.5未満(低体重)」が12.0%と続いています。
- 介護認定なしでは、「18.5以上 25.0未満(普通)」が70.2%と最も高く、次いで「25.0以上(肥満)」が21.3%、「18.5未満(低体重)」が5.1%と続いています。



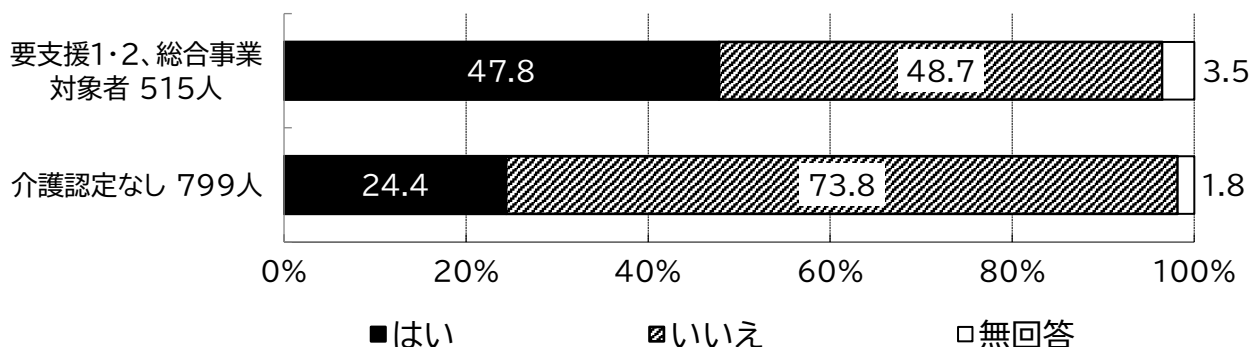
問2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

- 「いいえ」が63.3%、「はい」が34.1%となっています。



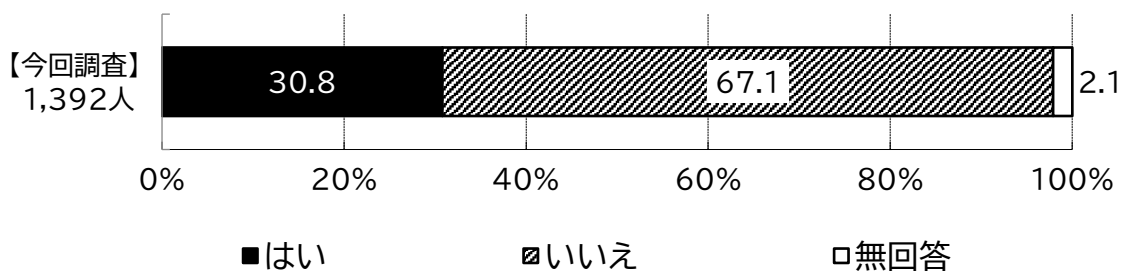
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「いいえ」が48.7%、「はい」が47.8%となっています。
- 介護認定なしでは、「いいえ」が73.8%、「はい」が24.4%となっています。



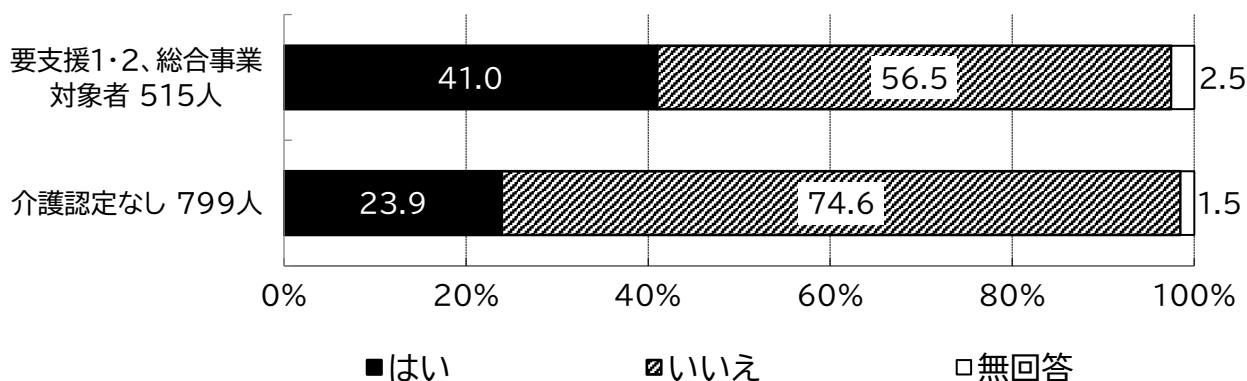
問3 お茶や汁物等でむせることがありますか。

- 「いいえ」が67.1%、「はい」が30.8%となっています。



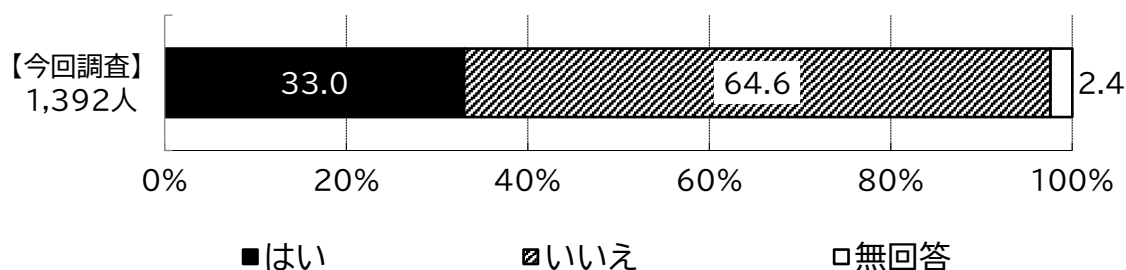
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「いいえ」が56.5%、「はい」が41.0%となっています。
- 介護認定なしでは、「いいえ」が74.6%、「はい」が23.9%となっています。



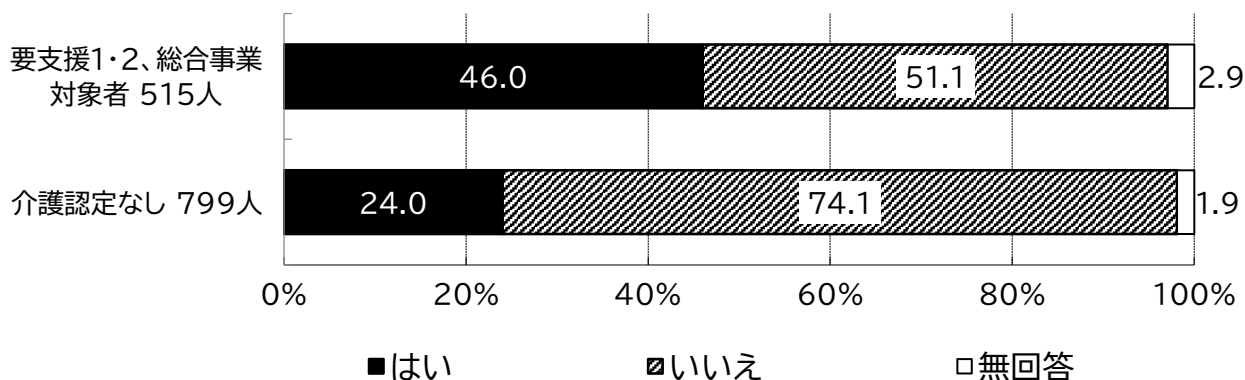
問4 口の渇きが気になりますか。

- 「いいえ」が64.6%、「はい」が33.0%となっています。



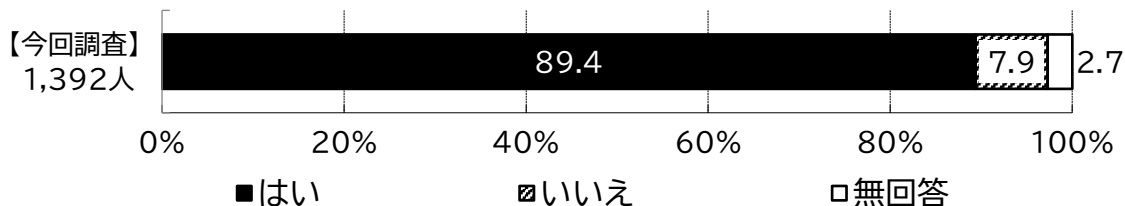
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「いいえ」が51.1%、「はい」が46.0%となっています。
- 介護認定なしでは、「いいえ」が74.1%、「はい」が24.0%となっています。



問5 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか。

- 「はい」が89.4%、「いいえ」が7.9%となっています。



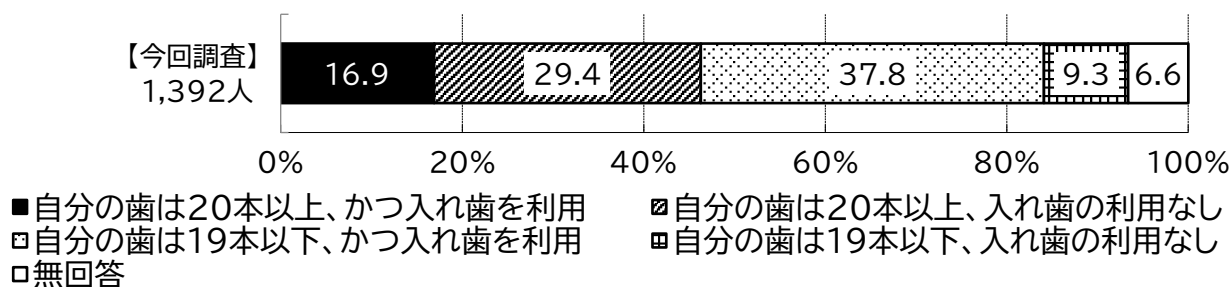
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「はい」が86.6%、「いいえ」が10.1%となっています。
- 介護認定なしでは、「はい」が91.6%、「いいえ」が6.3%となっています。



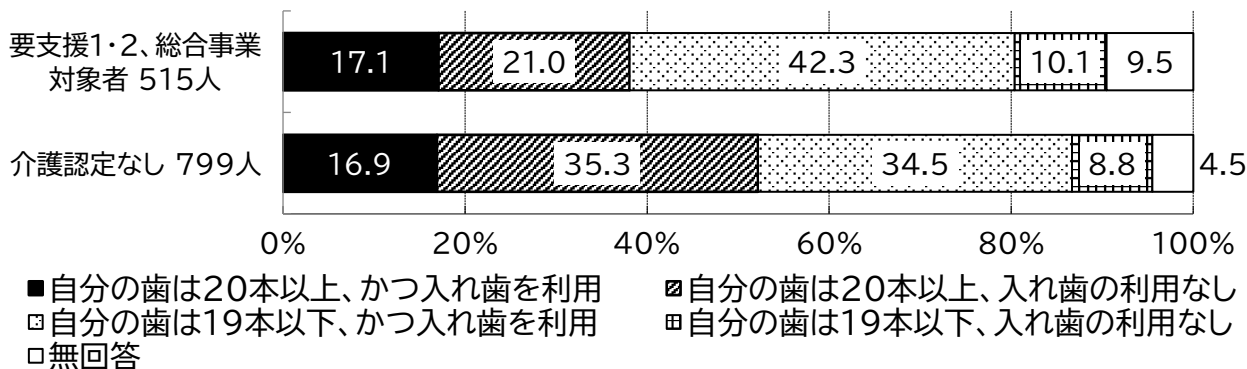
問6 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。

- 「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が37.8%と最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が29.4%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が16.9%と続いています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が42.3%と最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が21.0%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が17.1%と続いています。
- 介護認定なしでは、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が35.3%と最も高く、次いで「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が34.5%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が16.9%と続いています。



【年齢別】

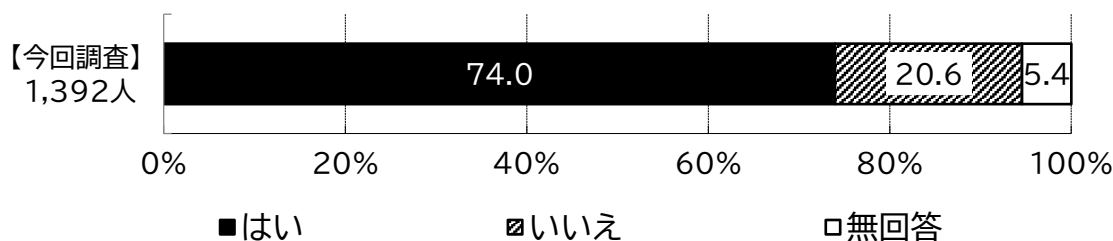
- 年齢別で見ると、自分の歯が20本以上の割合は65～74歳で56.8%、75～84歳で45.8%、85歳～で33.2%となっています。

(単位:%)

		自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	無回答
	全体 1,392人	16.9	29.4	37.8	9.3	6.6
1-④ 年齢	65～74歳 456人	16.7	40.1	27.2	12.9	3.1
	75～84歳 602人	17.6	28.2	39.4	7.8	7.0
	85歳～ 296人	16.6	16.6	49.6	6.4	10.8

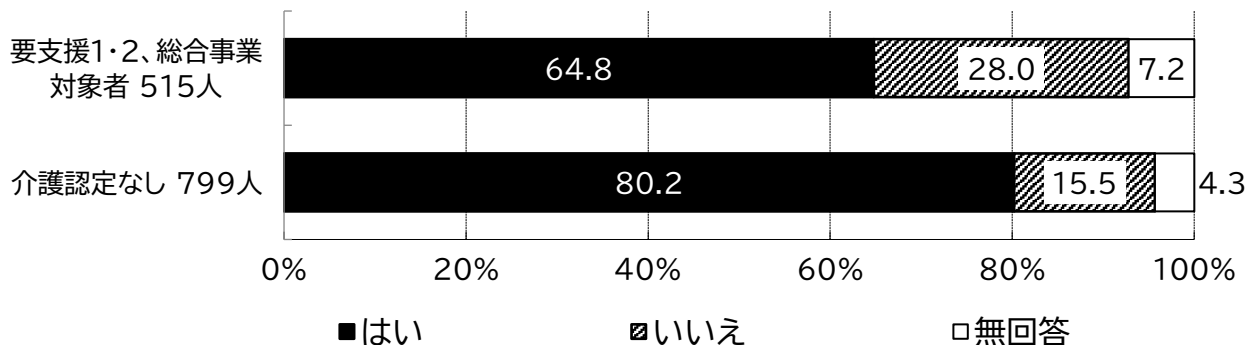
問6-1 噛み合わせは良いですか。

- 「はい」が74.0%、「いいえ」が20.6%となっています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

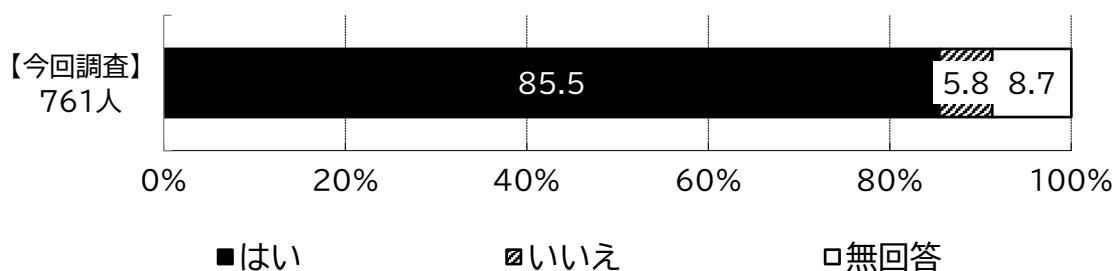
- 要支援1・2、総合事業対象者では、「はい」が64.8%、「いいえ」が28.0%となっています。
- 介護認定なしでは、「はい」が80.2%、「いいえ」が15.5%となっています。



問6-2 【問6で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】

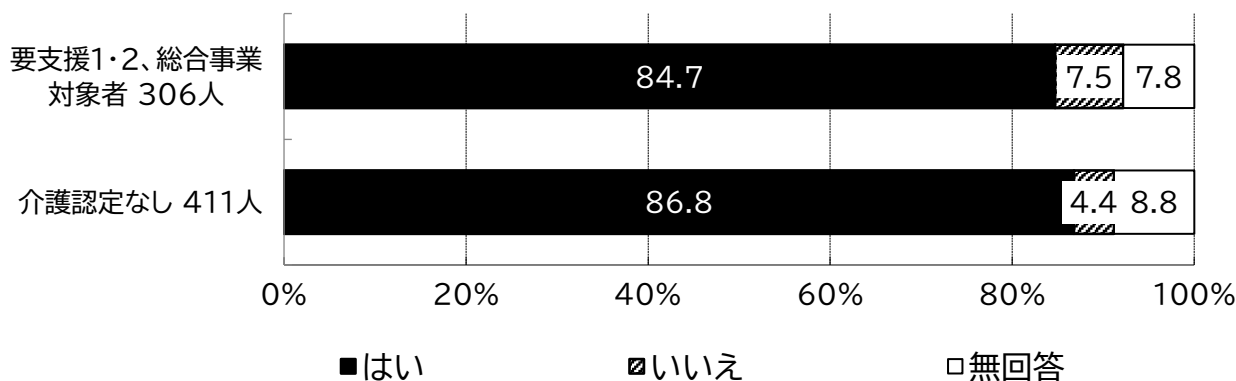
毎日入れ歯の手入れをしていますか。

- 「はい」が85.5%、「いいえ」が5.8%となっています。



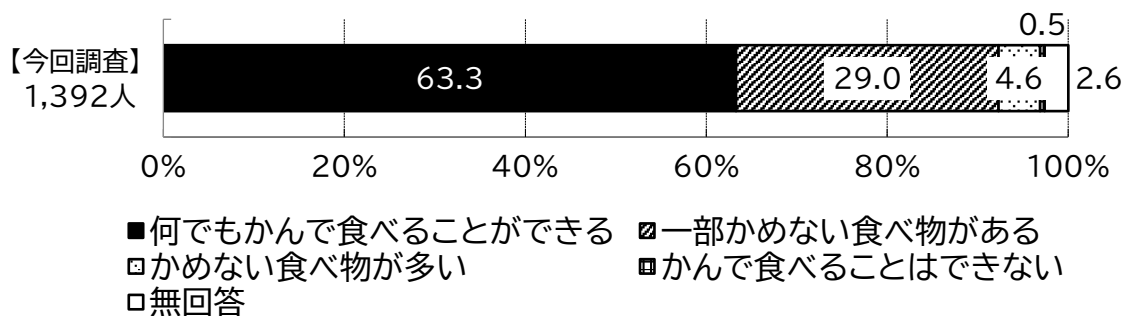
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「はい」が84.7%、「いいえ」が7.5%となっています。
- 介護認定なしでは、「はい」が86.8%、「いいえ」が4.4%となっています。



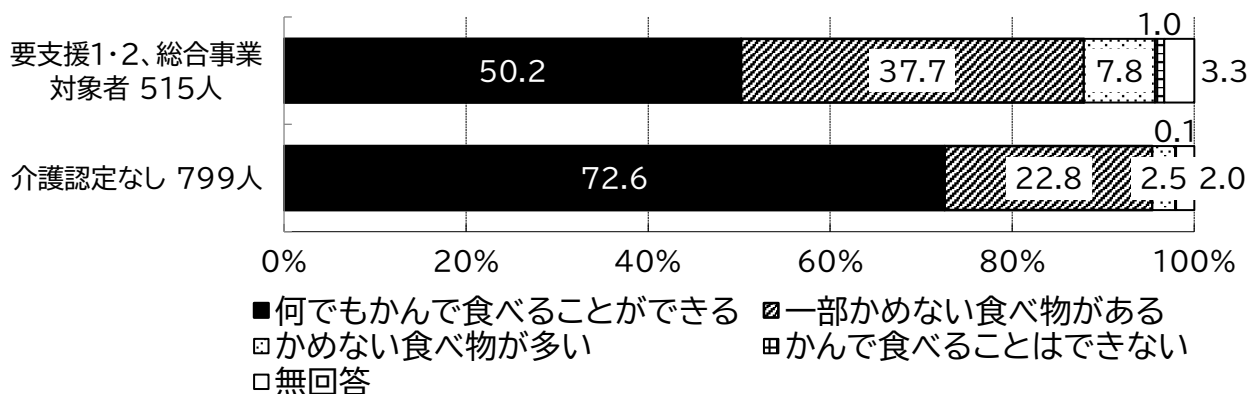
問7 何でもよくかんで食べられますか。

- 「何でもかんで食べることができる」が63.3%と最も高く、次いで「一部かめない食べ物がある」が29.0%、「かめない食べ物が多い」が4.6%と続いています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「何でもかんで食べることができる」が50.2%と最も高く、次いで「一部かめない食べ物がある」が37.7%、「かめない食べ物が多い」が7.8%と続いています。
- 介護認定なしでは、「何でもかんで食べることができる」が72.6%と最も高く、次いで「一部かめない食べ物がある」が22.8%、「かめない食べ物が多い」が2.5%と続いています。



【年齢別等】

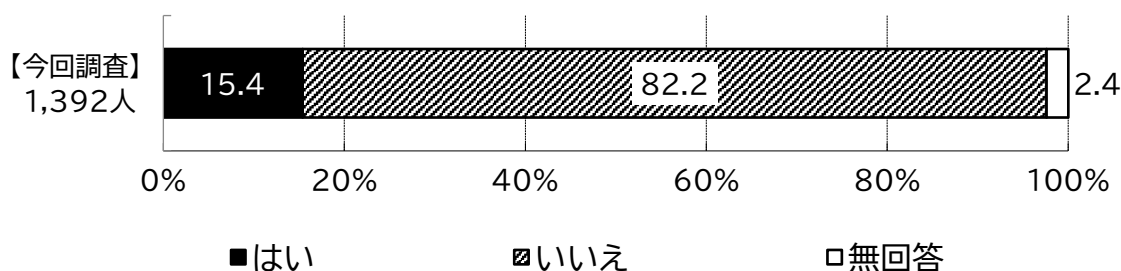
- 年齢別で見ると、「何でもかんで食べることができる」という割合は 65～74 歳で 70.6%、75～84 歳で 62.6%、85 歳～で 55.0%となっています。
- 要介護度別で見ると、「何でもかんで食べることができる」という割合は要支援1で 54.3%、要支援2で 43.4%、介護認定なしで 72.6%となっています。

(単位:%)

		何でもかんで食べることができる	一部かめない食べ物がある	かめない食べ物が 多い	かんで食べ ることはでき ない	無回答
	全体 1,392 人	63.3	29.0	4.6	0.5	2.6
1-④ 年齢	65～74 歳 456 人	70.6	23.2	4.2	0.2	1.8
	75～84 歳 602 人	62.6	30.4	3.7	0.5	2.8
	85 歳～ 296 人	55.0	33.8	6.8	0.7	3.7
1-⑤ 要介護度	要支援1 289 人	54.3	36.0	7.3	0.0	2.4
	要支援2 212 人	43.4	41.0	9.0	2.4	4.2
	介護認定なし 799 人	72.6	22.8	2.5	0.1	2.0

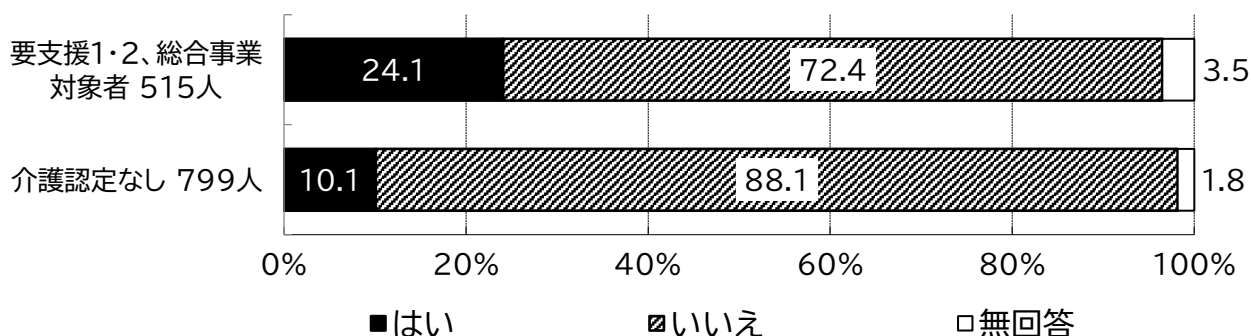
問8 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。

- 「いいえ」が 82.2%、「はい」が 15.4%となっています。



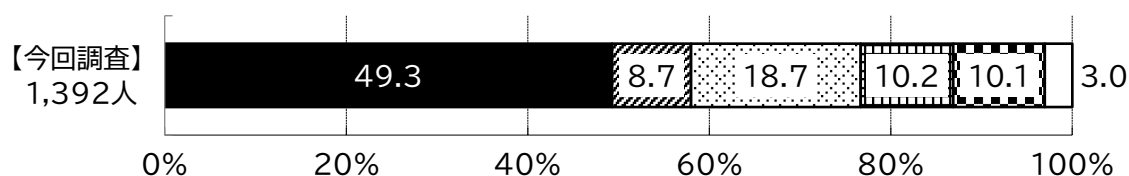
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「いいえ」が 72.4%、「はい」が 24.1%となっています。
- 介護認定なしでは、「いいえ」が 88.1%、「はい」が 10.1%となっています。



問9 どなたかと食事をとる機会がありますか。

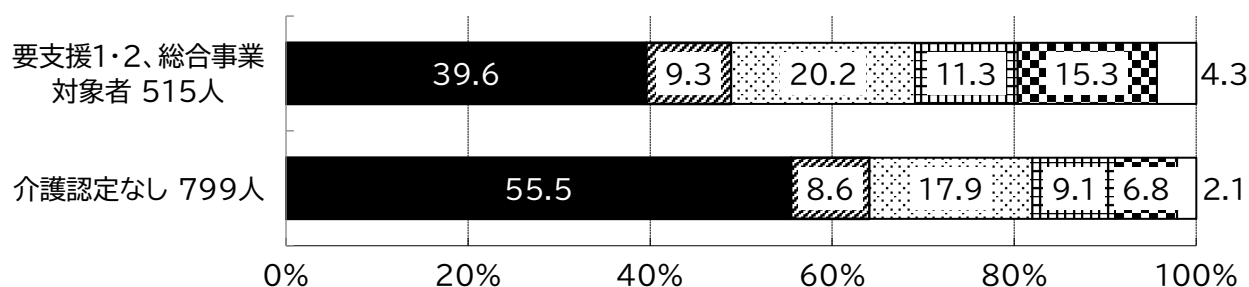
- 「毎日ある」が49.3%と最も高く、次いで「月に何度かある」が18.7%、「年に何度かある」が10.2%と続いています。



■毎日ある ■週に何度かある ■月に何度かある ■年に何度かある ■ほとんどない □無回答

【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「毎日ある」が39.6%と最も高く、次いで「月に何度かある」が20.2%、「ほとんどない」が15.3%と続いています。
- 介護認定なしでは、「毎日ある」が55.5%と最も高く、次いで「月に何度かある」が17.9%、「年に何度かある」が9.1%と続いています。



■毎日ある ■週に何度かある ■月に何度かある ■年に何度かある ■ほとんどない □無回答

【家族構成別】

- 家族構成別で見ると、1人暮らしは「月に何度かある」が39.8%と最も高く、「ほとんどない」が18.6%と比較的高くなっています。

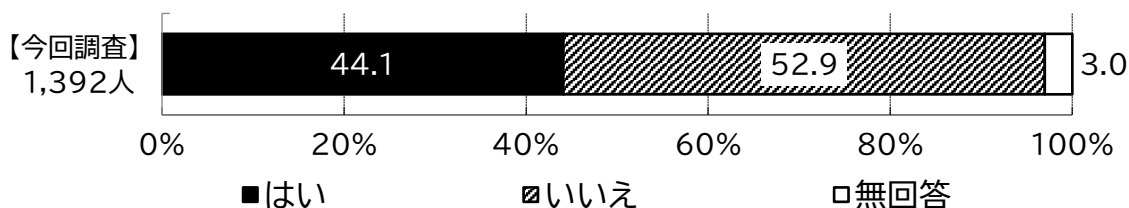
(単位:%)

		毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
	全体 1,392人	49.3	8.7	18.7	10.2	10.1	3.0
2-1 家族構成	1人暮らし 355人	4.2	15.5	39.8	19.4	18.6	2.5
	夫婦2人暮らし 594人	64.3	4.4	13.6	6.6	8.1	3.0
	息子・娘との2世帯 224人	65.1	9.4	7.6	6.7	6.3	4.9

5 毎日の生活について

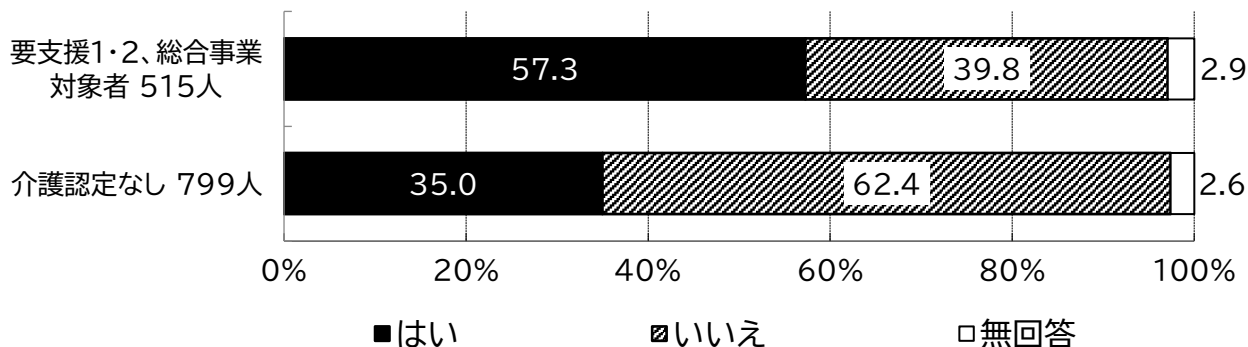
問1 物忘れが多いと感じますか。

- 「いいえ」が52.9%、「はい」が44.1%となっています。



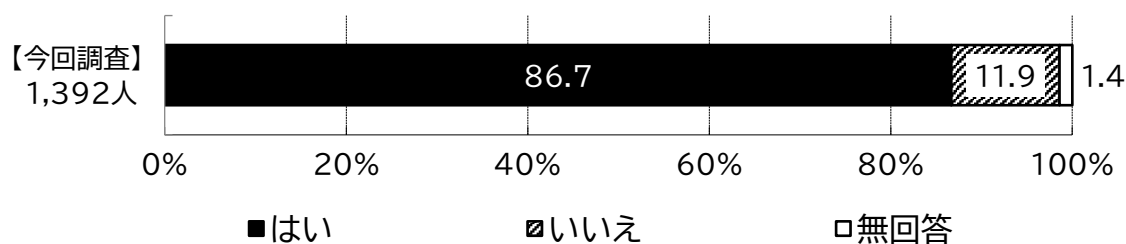
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「はい」が57.3%、「いいえ」が39.8%となっています。
- 介護認定なしでは、「いいえ」が62.4%、「はい」が35.0%となっています。



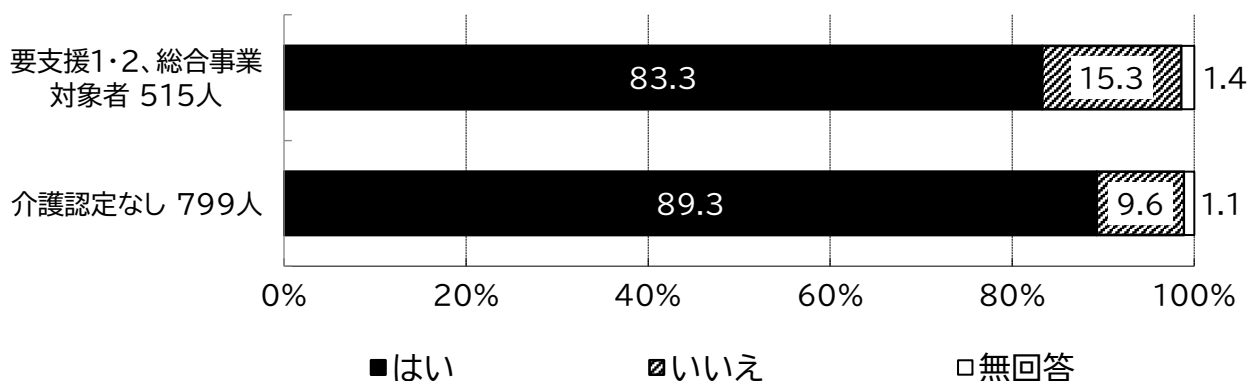
問2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。

- 「はい」が86.7%、「いいえ」が11.9%となっています。



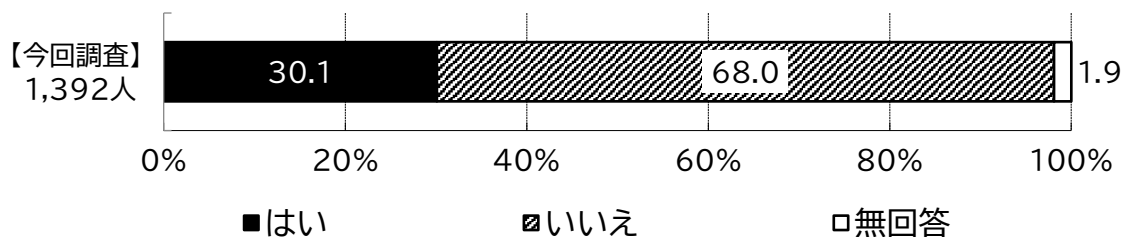
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「はい」が83.3%、「いいえ」が15.3%となっています。
- 介護認定なしでは、「はい」が89.3%、「いいえ」が9.6%となっています。



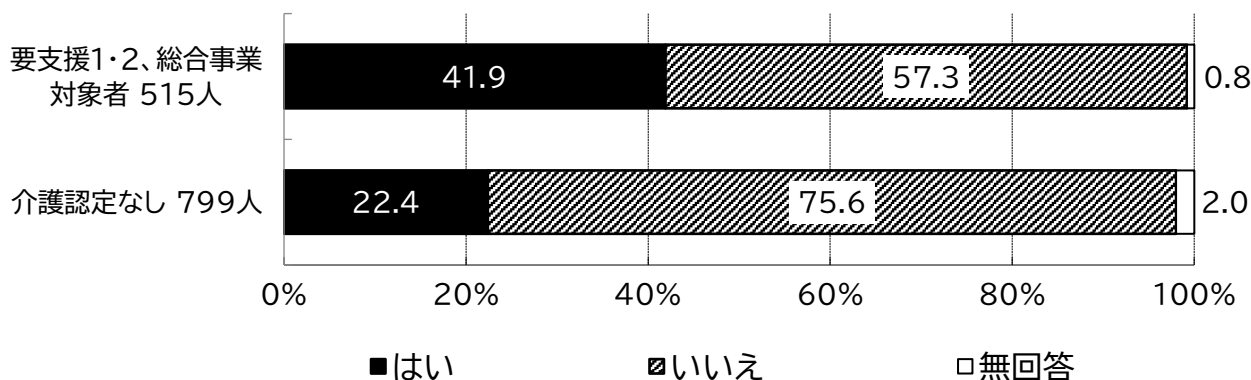
問3 今日が何月何日かわからない時がありますか。

- 「いいえ」が68.0%、「はい」が30.1%となっています。



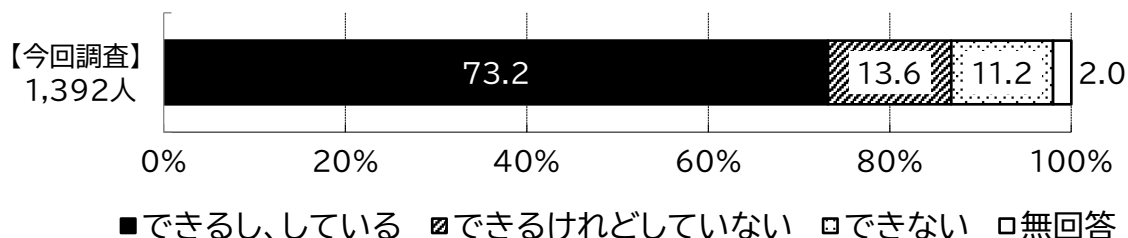
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「いいえ」が57.3%、「はい」が41.9%となっています。
- 介護認定なしでは、「いいえ」が75.6%、「はい」が22.4%となっています。



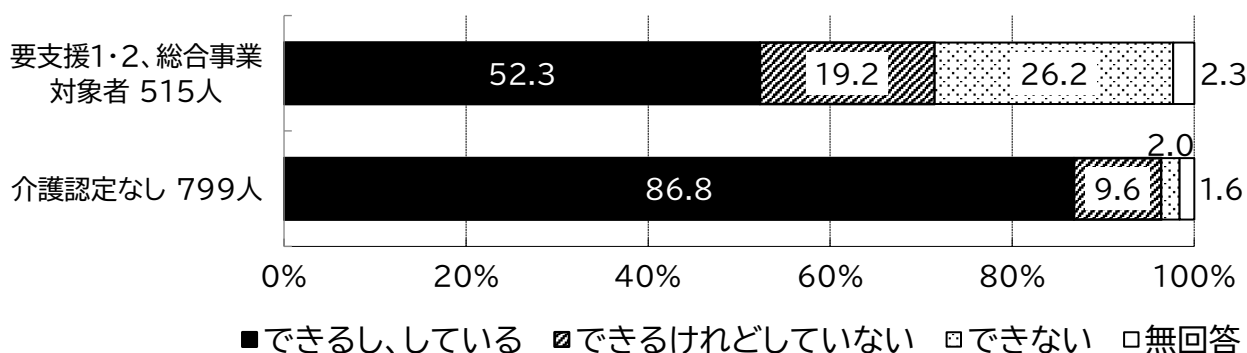
問4 バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)

- 「できるし、している」が73.2%と最も高く、次いで「できるけれどしていない」が13.6%、「できない」が11.2%と続いています。



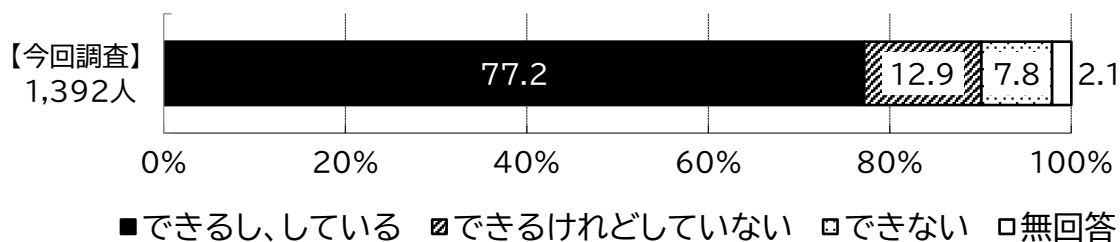
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「できるし、している」が52.3%と最も高く、次いで「できない」が26.2%、「できるけれどしていない」が19.2%と続いています。
- 介護認定なしでは、「できるし、している」が86.8%と最も高く、次いで「できるけれどしていない」が9.6%、「できない」が2.0%と続いています。



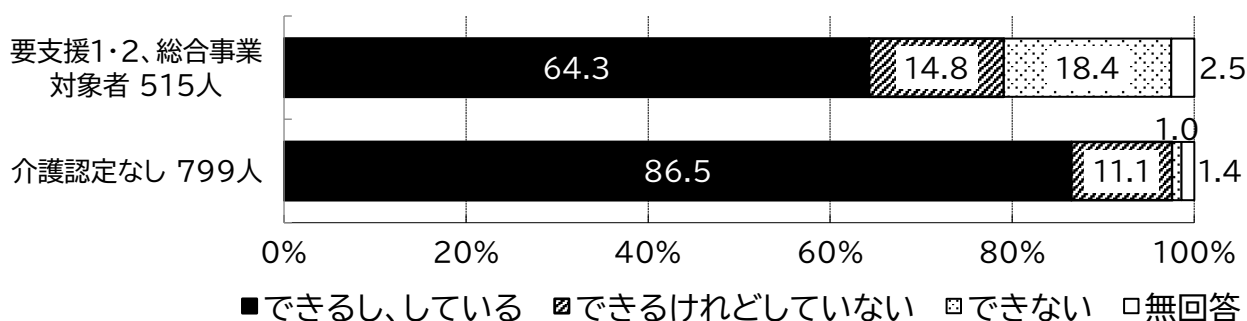
問5 自分で食品・日用品の買物をしていますか。

- 「できるし、している」が77.2%と最も高く、次いで「できるけれどしていない」が12.9%、「できない」が7.8%と続いています。



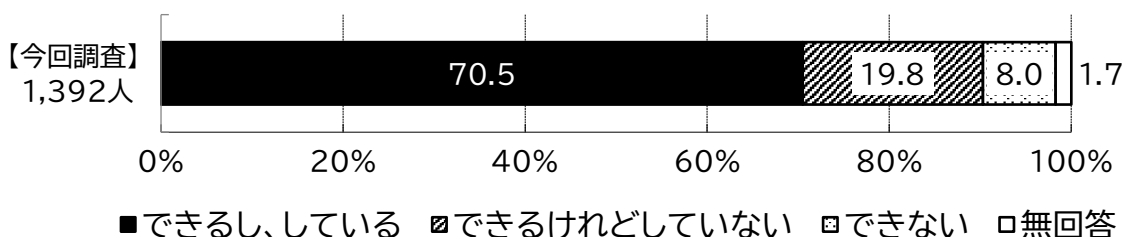
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「できるし、している」が64.3%と最も高く、次いで「できない」が18.4%、「できるけれどしていない」が14.8%と続いています。
- 介護認定なしでは、「できるし、している」が86.5%と最も高く、次いで「できるけれどしていない」が11.1%、「できない」が1.0%と続いています。



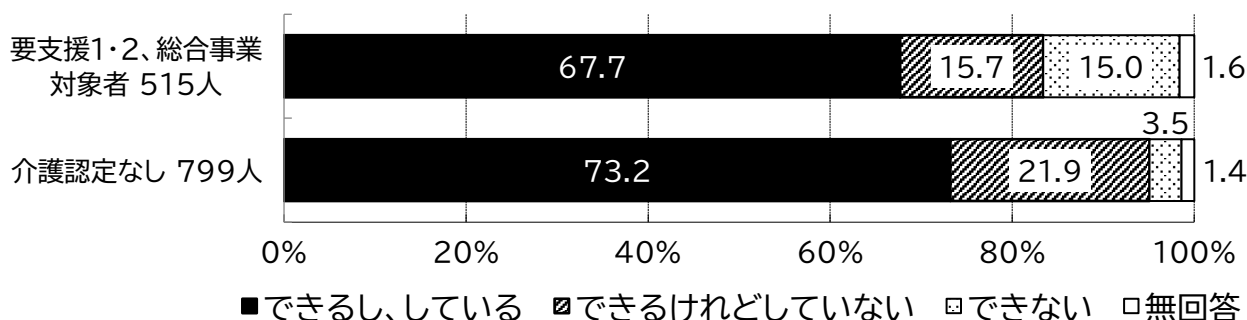
問6 自分で食事の用意をしていますか。

- 「できるし、している」が70.5%と最も高く、次いで「できるけれどしていない」が19.8%、「できない」が8.0%と続いています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「できるし、している」が67.7%と最も高く、次いで「できるけれどしていない」が15.7%、「できない」が15.0%と続いています。
- 介護認定なしでは、「できるし、している」が73.2%と最も高く、次いで「できるけれどしていない」が21.9%、「できない」が3.5%と続いています。



【現在治療中、又は後遺症のある病気別】

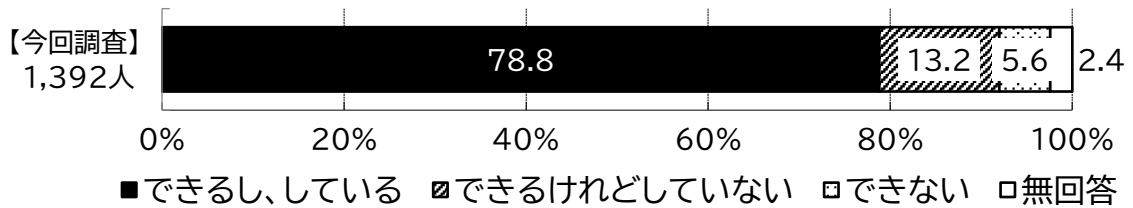
- 現在治療中、又は後遺症のある病気別で見ると、ない場合は「できるし、している」が 70.8%となっており、同回答は脳卒中(脳出血・脳梗塞等)、腎臓・前立腺の病気、がん(悪性新生物)等の場合で比較的低い回答率となっています。

(単位:%)

		できるし、 している	できるけ れどして いない	できない	無回答
	全体 1,392 人	70.5	19.8	8.0	1.7
8-問7 現在治療中、 又は後遺症 のある病気	ない 144 人	70.8	24.3	4.2	0.7
	高血圧 634 人	71.1	18.0	9.3	1.6
	脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 64 人	50.0	20.3	28.1	1.6
	心臓病 169 人	66.8	21.9	8.9	2.4
	糖 尿 病 188 人	66.5	25.0	8.0	0.5
	高脂血症(脂質異常) 214 人	79.5	13.1	6.5	0.9
	呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等) 96 人	68.8	20.8	9.4	1.0
	胃腸・肝臓・胆のうの病気 62 人	67.7	24.2	6.5	1.6
	腎臓・前立腺の病気 110 人	50.9	35.5	13.6	0.0
	筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) 275 人	81.8	10.9	6.2	1.1
	外傷(転倒・骨折等) 93 人	69.9	20.4	8.6	1.1
	がん(悪性新生物) 73 人	54.8	27.4	16.4	1.4
	血液・免疫の病気 20 人	70.0	15.0	15.0	0.0
	うつ病 32 人	68.6	18.8	6.3	6.3
	認知症(アルツハイマー病等) 19 人	26.3	15.8	57.9	0.0
	パーキンソン病 22 人	59.1	31.8	9.1	0.0
	目の病気 272 人	73.1	16.2	9.6	1.1
	耳の病気 103 人	69.9	15.5	13.6	1.0
	その他 183 人	74.9	14.2	8.2	2.7

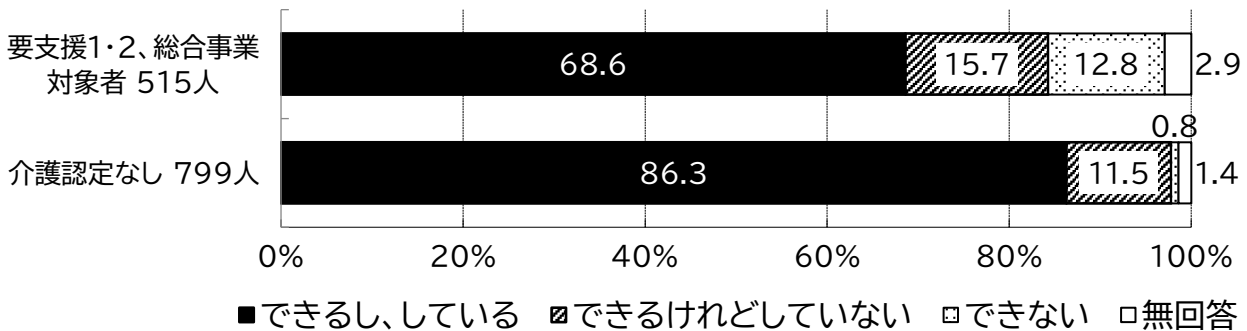
問7 自分で請求書の支払いをしていますか。

- 「できるし、している」が78.8%と最も高く、次いで「できるけれどしていない」が13.2%、「できない」が5.6%と続いています。



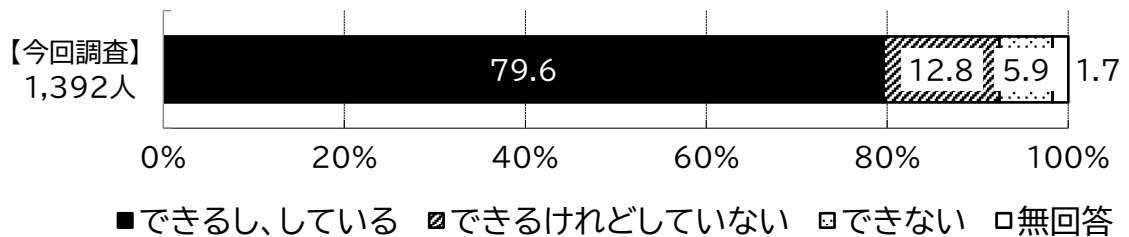
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「できるし、している」が68.6%と最も高く、次いで「できるけれどしていない」が15.7%、「できない」が12.8%と続いています。
- 介護認定なしでは、「できるし、している」が86.3%と最も高く、次いで「できるけれどしていない」が11.5%、「できない」が0.8%と続いています。



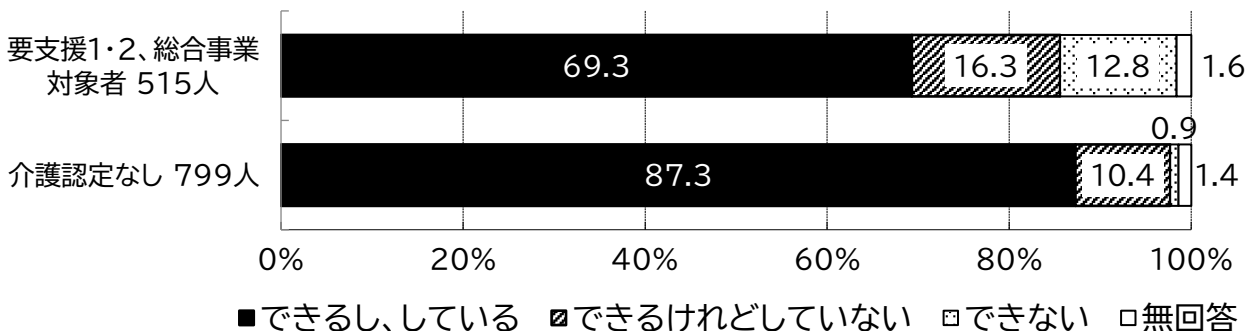
問8 自分で預貯金の出し入れをしていますか。

- 「できるし、している」が79.6%と最も高く、次いで「できるけれどしていない」が12.8%、「できない」が5.9%と続いています。



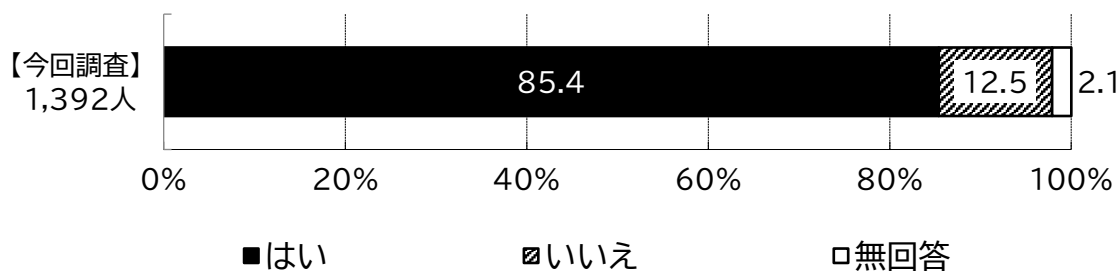
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「できるし、している」が69.3%と最も高く、次いで「できるけれどしていない」が16.3%、「できない」が12.8%と続いています。
- 介護認定なしでは、「できるし、している」が87.3%と最も高く、次いで「できるけれどしていない」が10.4%、「できない」が0.9%と続いています。



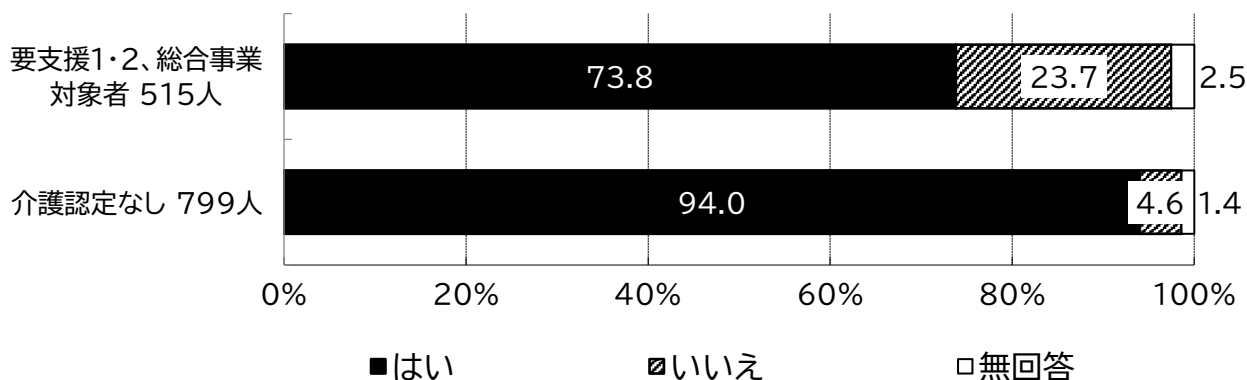
問9 年金などの書類(市役所や病院などに出す書類)が書けますか。

- 「はい」が85.4%、「いいえ」が12.5%となっています。



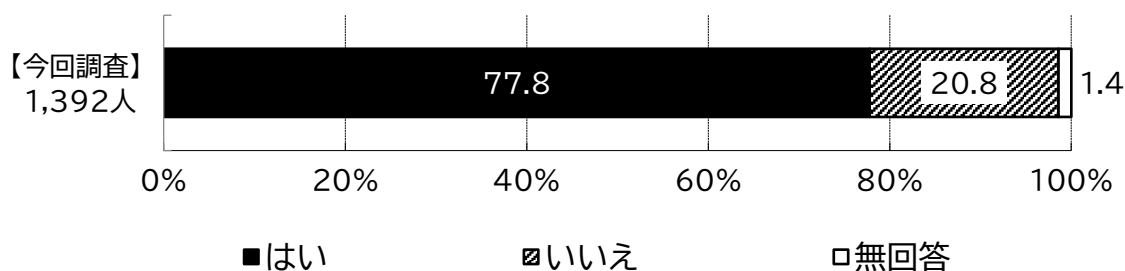
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「はい」が73.8%、「いいえ」が23.7%となっています。
- 介護認定なしでは、「はい」が94.0%、「いいえ」が4.6%となっています。



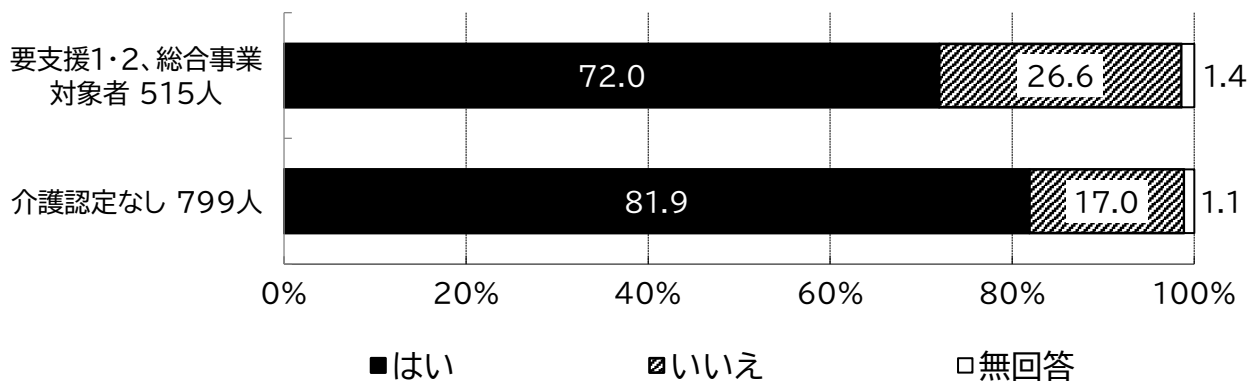
問10 新聞を読んでいますか。

- 「はい」が77.8%、「いいえ」が20.8%となっています。



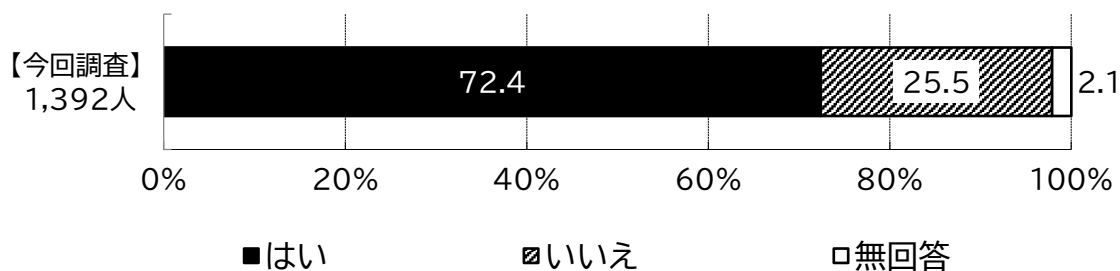
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「はい」が72.0%、「いいえ」が26.6%となっています。
- 介護認定なしでは、「はい」が81.9%、「いいえ」が17.0%となっています。



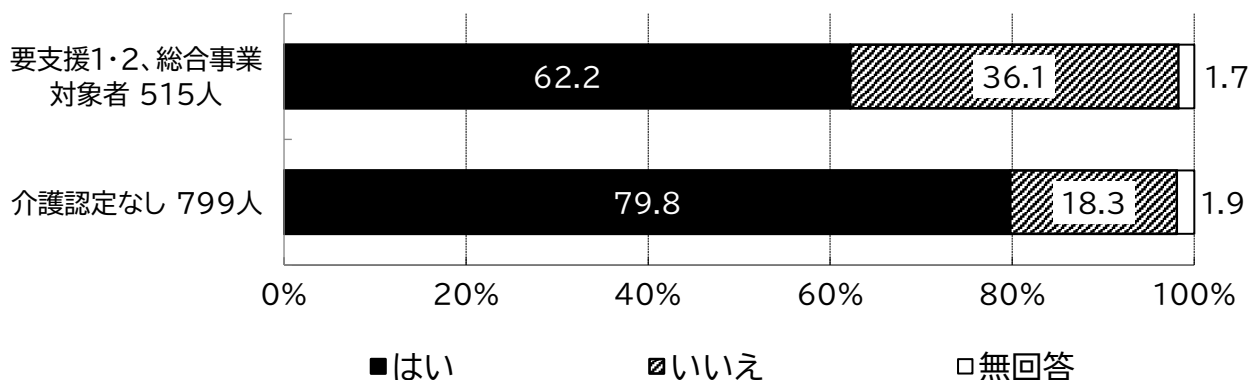
問11 本や雑誌を読んでいますか。

- 「はい」が72.4%、「いいえ」が25.5%となっています。



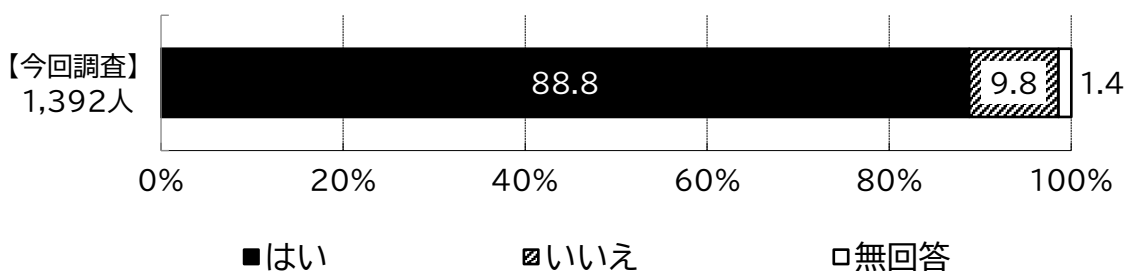
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「はい」が62.2%、「いいえ」が36.1%となっています。
- 介護認定なしでは、「はい」が79.8%、「いいえ」が18.3%となっています。



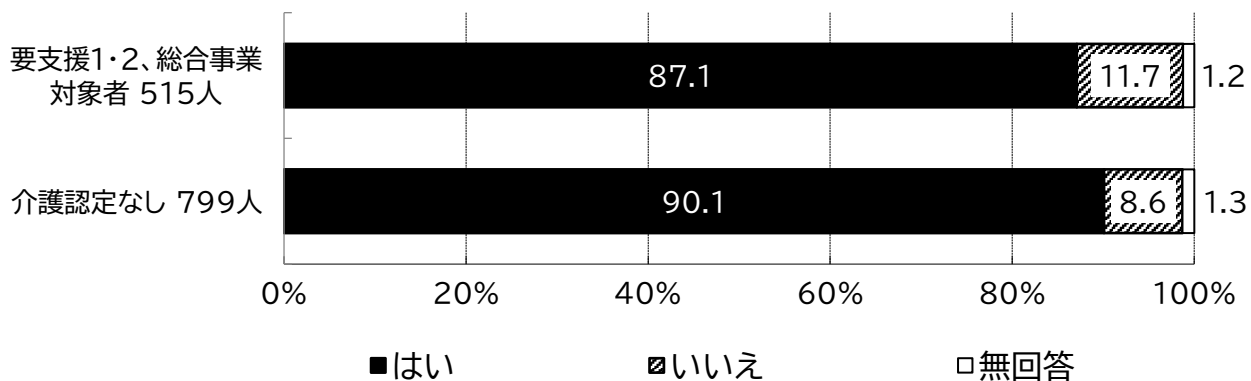
問12 健康についての記事や番組に関心がありますか。

- 「はい」が88.8%、「いいえ」が9.8%となっています。



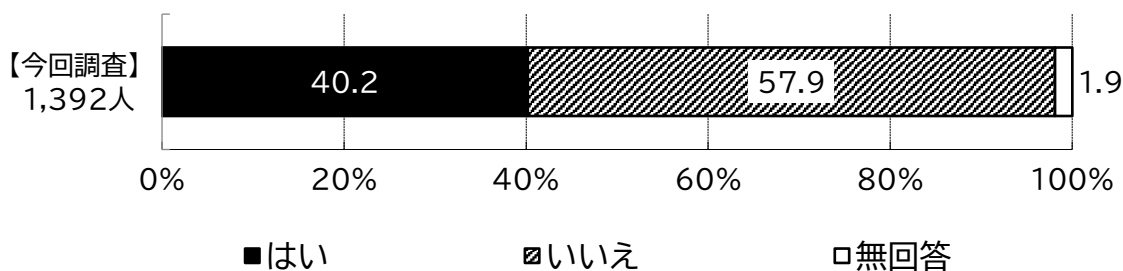
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「はい」が87.1%、「いいえ」が11.7%となっています。
- 介護認定なしでは、「はい」が90.1%、「いいえ」が8.6%となっています。



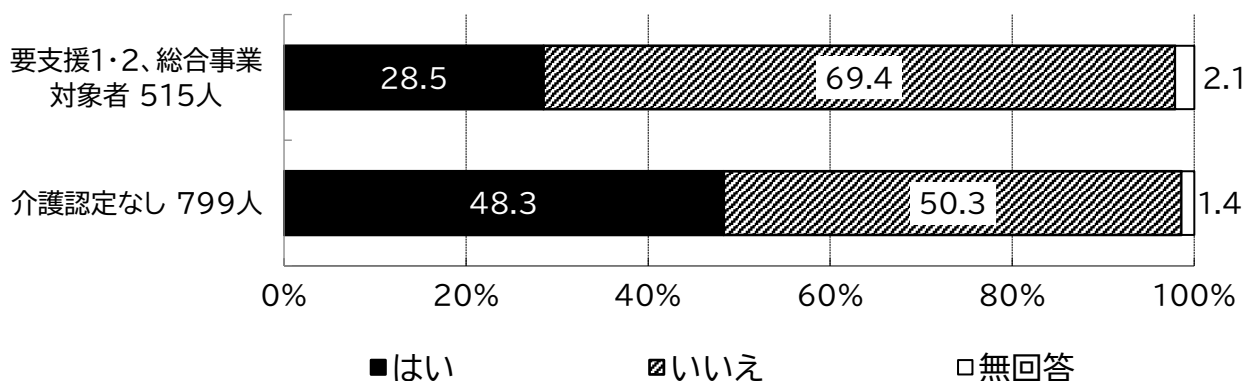
問13 友人の家を訪ねていますか。

- 「いいえ」が57.9%、「はい」が40.2%となっています。



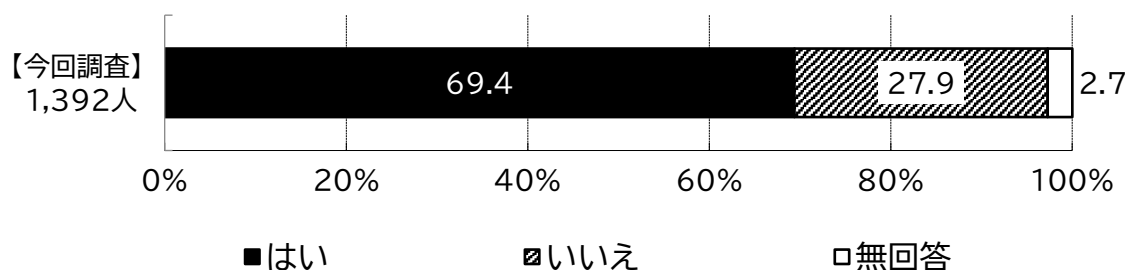
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「いいえ」が69.4%、「はい」が28.5%となっています。
- 介護認定なしでは、「いいえ」が50.3%、「はい」が48.3%となっています。



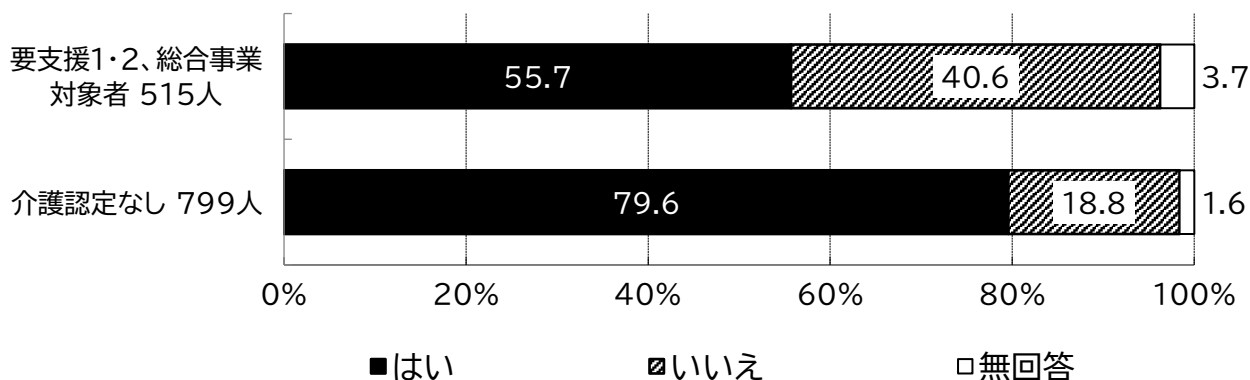
問14 家族や友人の相談にのっていますか。

- 「はい」が69.4%、「いいえ」が27.9%となっています。



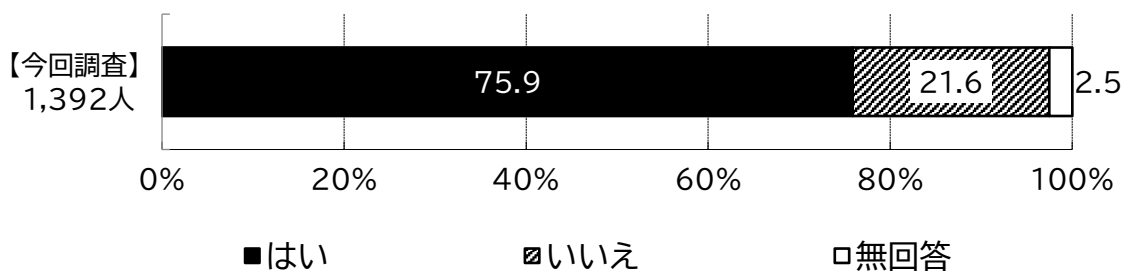
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「はい」が55.7%、「いいえ」が40.6%となっています。
- 介護認定なしでは、「はい」が79.6%、「いいえ」が18.8%となっています。



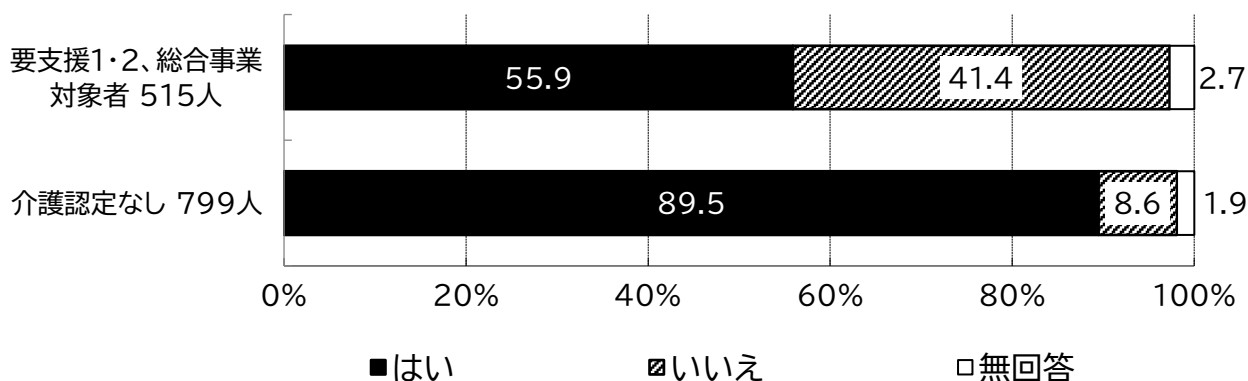
問15 病人を見舞うことができますか。

- 「はい」が75.9%、「いいえ」が21.6%となっています。



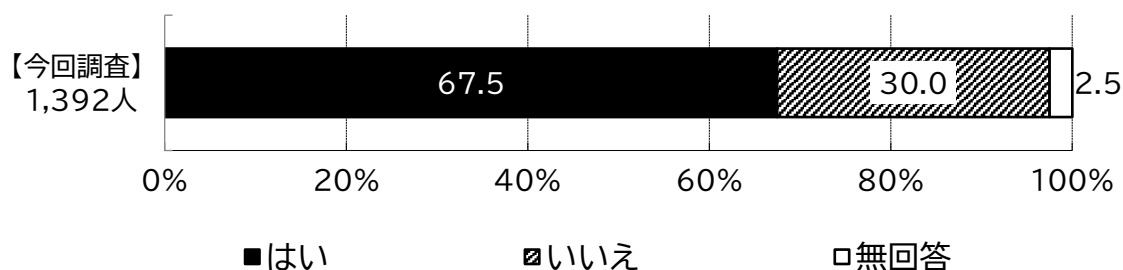
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「はい」が55.9%、「いいえ」が41.4%となっています。
- 介護認定なしでは、「はい」が89.5%、「いいえ」が8.6%となっています。



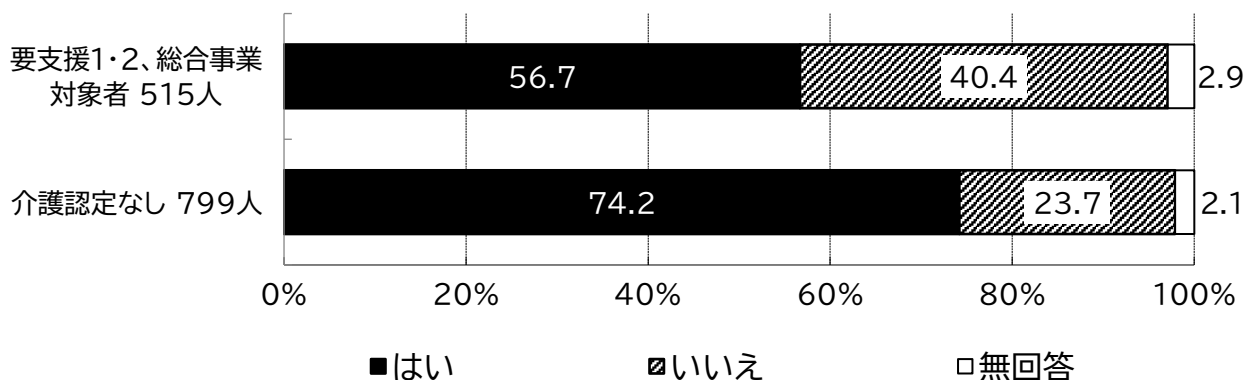
問16 若い人に自分から話しかけることがありますか。

- 「はい」が67.5%、「いいえ」が30.0%となっています。



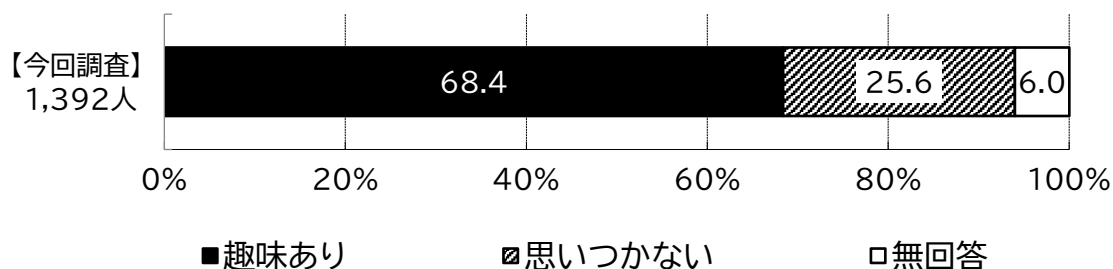
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「はい」が56.7%、「いいえ」が40.4%となっています。
- 介護認定なしでは、「はい」が74.2%、「いいえ」が23.7%となっています。



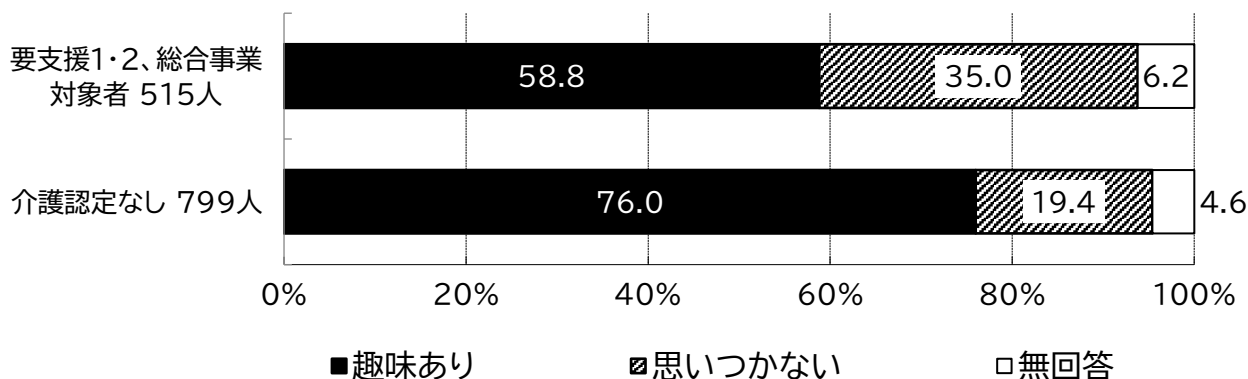
問17 趣味はありますか。

- 「趣味あり」が68.4%、「思いつかない」が25.6%となっています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「趣味あり」が58.8%、「思いつかない」が35.0%となっています。
- 介護認定なしでは、「趣味あり」が76.0%、「思いつかない」が19.4%となっています。



【年齢別等】

- 年齢別で見ると、「趣味あり」の割合は65～74歳で74.4%、75～84歳で70.4%、85歳～で55.1%となっています。
- 性別で見ると、男女で「趣味あり」の割合に大きな差は見られません。
- 生きがいの有無別で見ると、生きがいありの場合は「趣味あり」が79.7%、思いつかない場合は同回答が39.8%と、大きな差が見られます。

(単位:%)

		趣味あり	思いつかない	無回答
全体 1,392人		68.4	25.6	6.0
1-④ 年齢	65～74歳 456人	74.4	21.7	3.9
	75～84歳 602人	70.4	23.8	5.8
	85歳～ 296人	55.1	35.8	9.1
1-③ 性別	男性 573人	67.7	26.4	5.9
	女性 794人	68.9	25.3	5.8
5-問18 生きがい	生きがいあり 1,015人	79.7	15.6	4.7
	思いつかない 352人	39.8	56.2	4.0

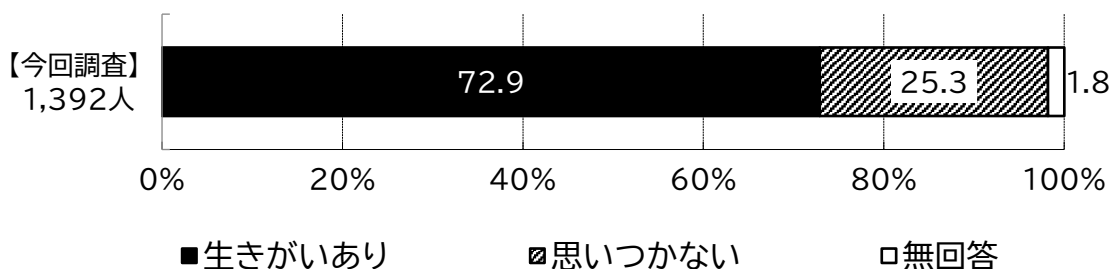
【具体的な趣味 上位10】

音楽・歌・カラオケ・楽器	178件
スポーツ・釣り・スポーツ観戦	173件
読書	138件
花・庭木の手入れ・ガーデニング・園芸・野菜・畑	119件
絵・絵手紙・書道	96件

旅行・ドライブ	75件
散歩・ウォーキング・ジョギング・山歩き	75件
手芸・編み物・洋裁・小物づくり	68件
映画・テレビ・観劇	57件
料理・食事	24件

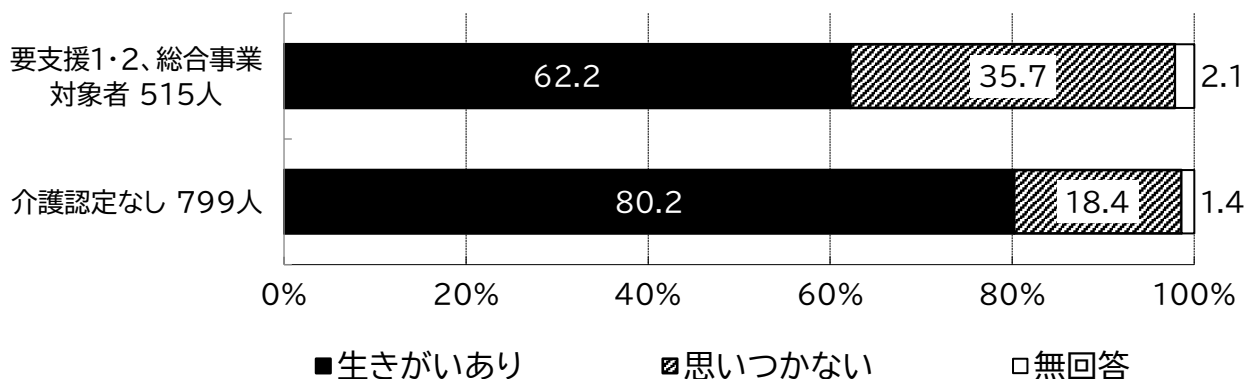
問18 生きがいがありますか。

- 「生きがいあり」が72.9%、「思いつかない」が25.3%となっています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「生きがいあり」が62.2%、「思いつかない」が35.7%となっています。
- 介護認定なしでは、「生きがいあり」が80.2%、「思いつかない」が18.4%となっています。



【年齢別等】

- 年齢別で見ると、「生きがいあり」の割合は65～74歳で81.4%、75～84歳で72.1%、85歳～で62.8%となっています。
- 性別で見ると、女性は「生きがいあり」が75.5%と、男性と比べて高くなっています。
- 趣味の有無別で見ると、趣味ありの場合は「生きがいあり」が84.9%、思いつかない場合は同回答が44.4%と、大きな差が見られます。

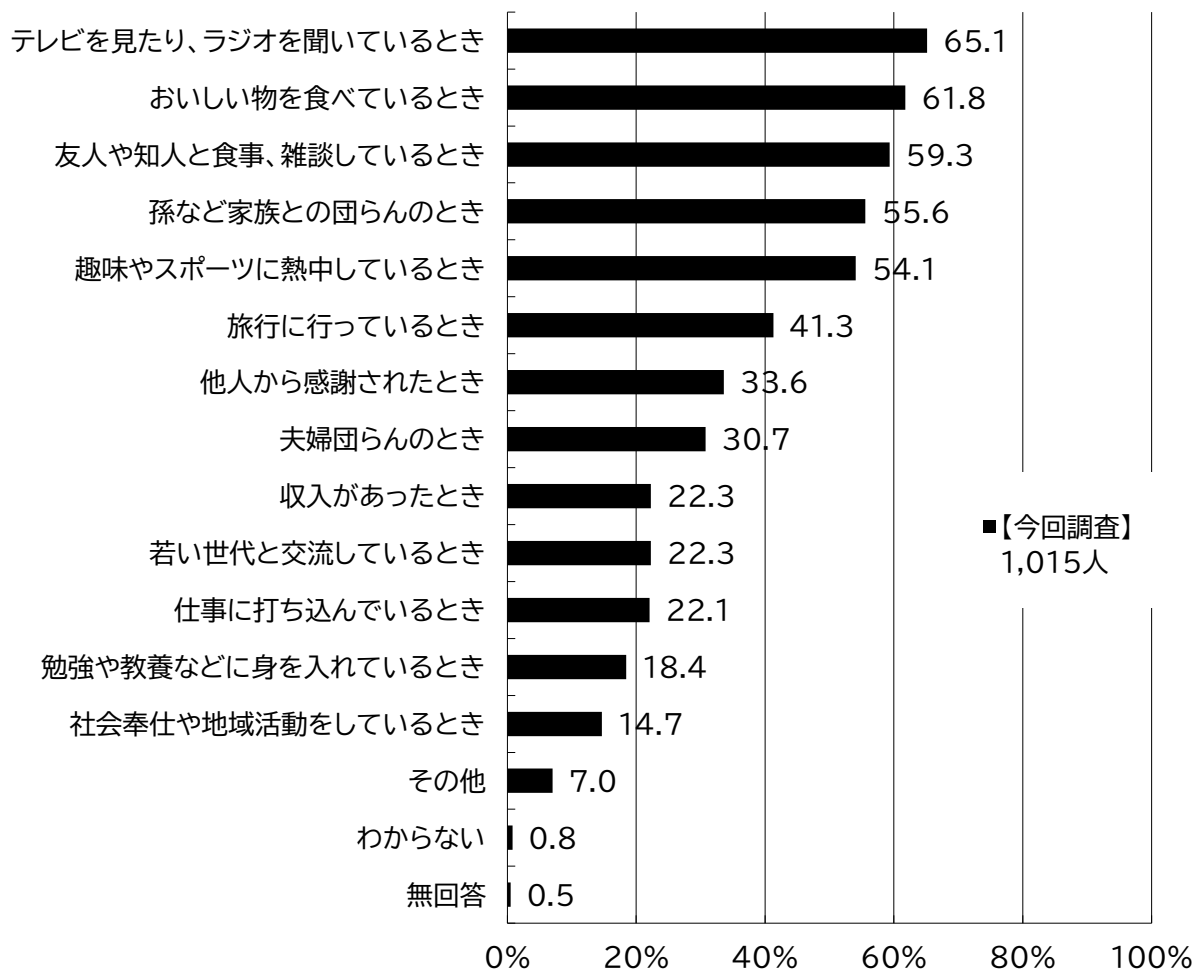
(単位:%)

		生きがいあり	思いつかない	無回答
	全体 1,392人	72.9	25.3	1.8
1-④ 年齢	65～74歳 456人	81.4	17.5	1.1
	75～84歳 602人	72.1	26.1	1.8
	85歳～ 296人	62.8	34.8	2.4
1-③ 性別	男性 573人	69.6	28.1	2.3
	女性 794人	75.5	23.2	1.3
5-問17 趣味	趣味あり 953人	84.9	14.7	0.4
	思いつかない 356人	44.4	55.6	0.0

問18-1 【問18で「1. 生きがいあり」の方のみ】

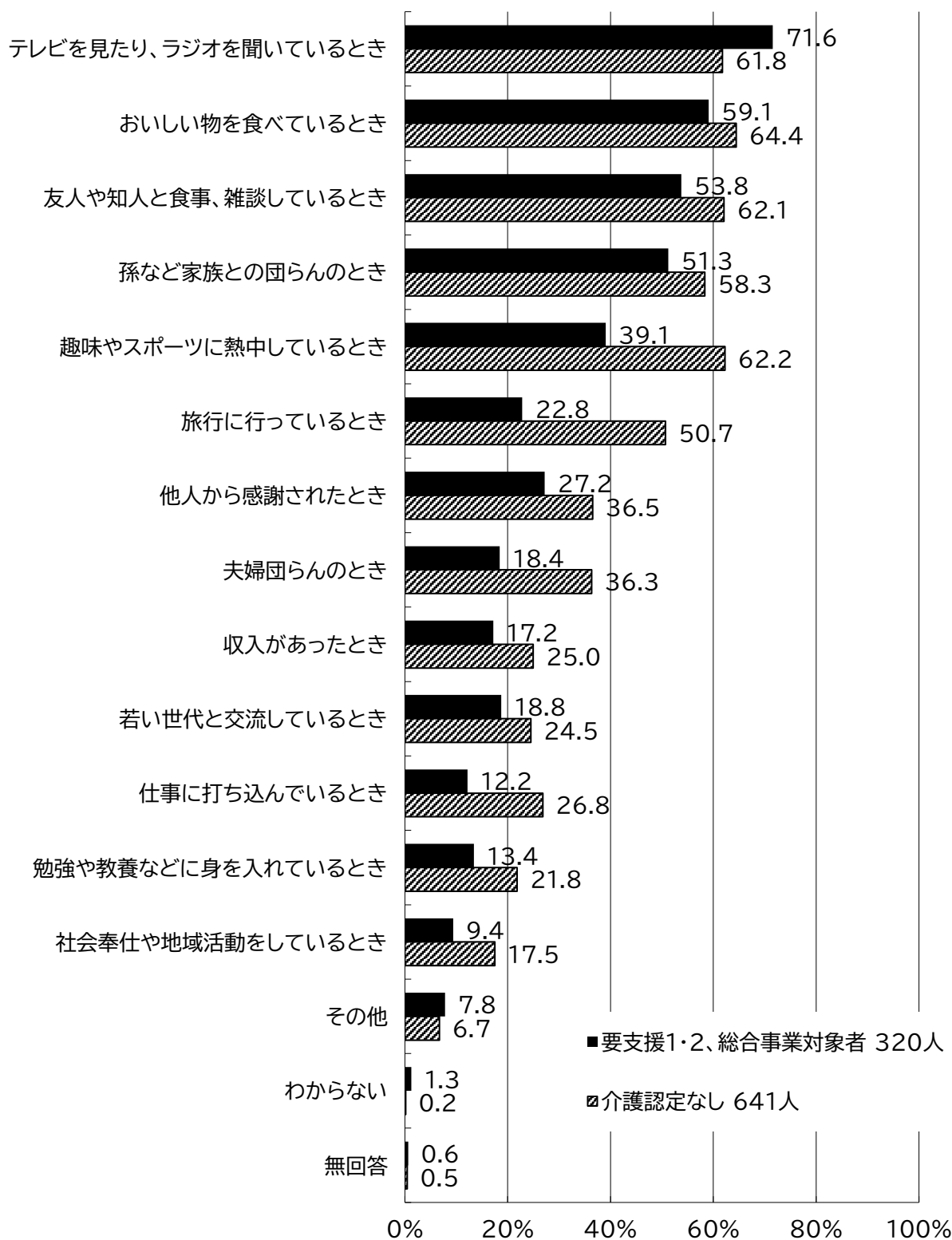
生きがい(喜びや楽しみ)を感じるのはどのような時ですか。(いくつでも)

- 「テレビを見たり、ラジオを聞いているとき」が 65.1%と最も高く、次いで「おいしい物を食べているとき」が 61.8%、「友人や知人と食事、雑談しているとき」が 59.3%と続いています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「テレビを見たり、ラジオを聞いているとき」が 71.6%と最も高く、次いで「おいしい物を食べているとき」が 59.1%、「友人や知人と食事、雑談しているとき」が 53.8%と続いています。
- 介護認定なしでは、「おいしい物を食べているとき」が 64.4%と最も高く、次いで「趣味やスポーツに熱中しているとき」が 62.2%、「友人や知人と食事、雑談しているとき」が 62.1%と続いています。

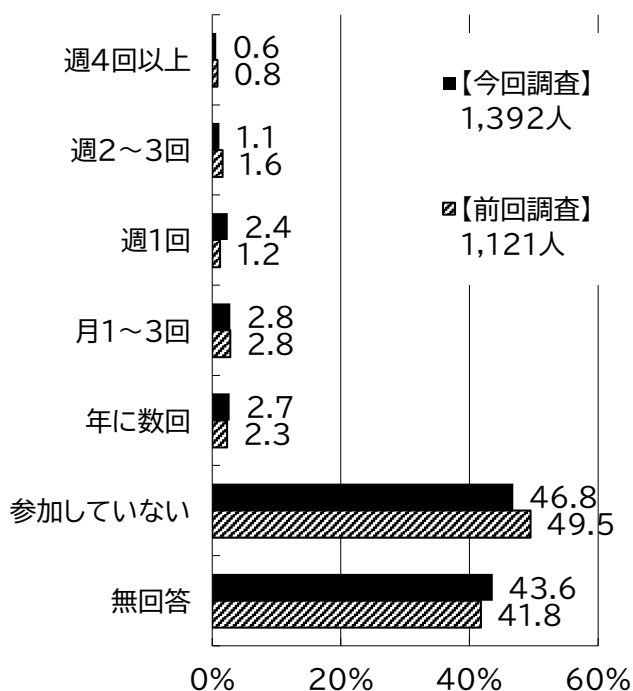


6 地域での活動について

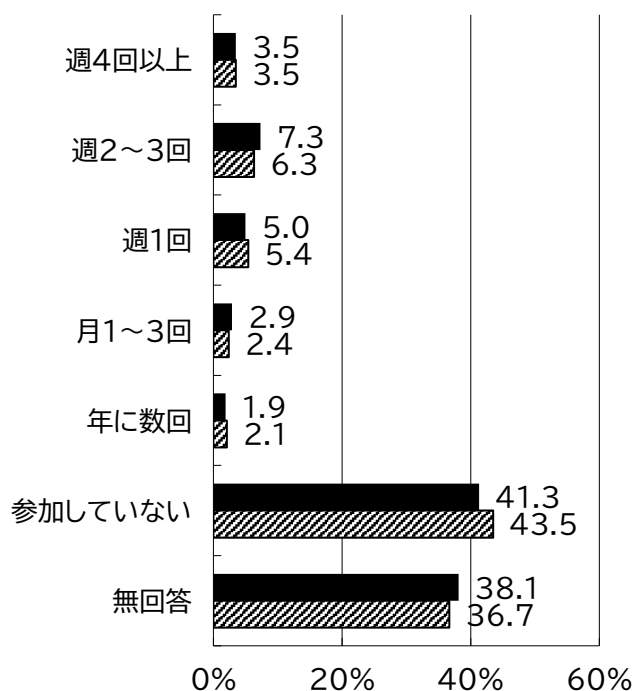
問1 会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

- ボランティアのグループは、「週1回」以上の参加率が4.1%となっています。
- スポーツ関係のグループやクラブは、「週1回」以上の参加率が15.8%となっています。
- 趣味関係のグループは、「週1回」以上の参加率が11.9%となっています。
- 学習・教養サークルは、「週1回」以上の参加率が3.0%となっています。

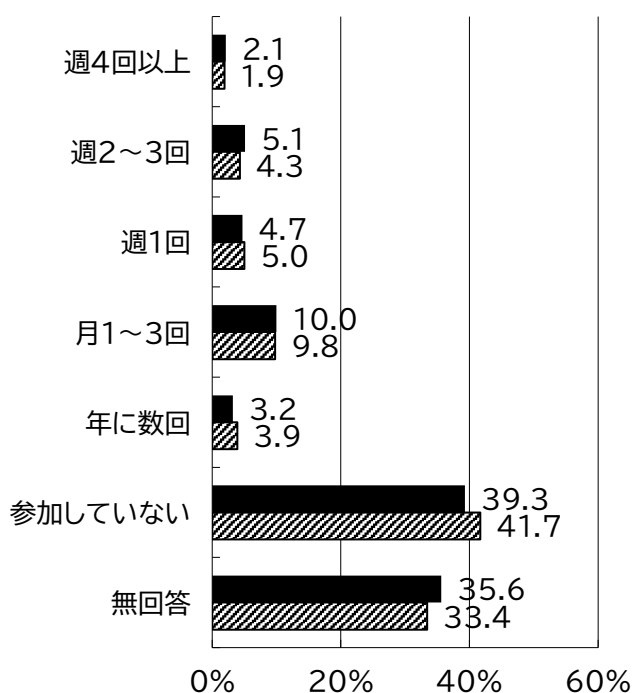
①ボランティアのグループ



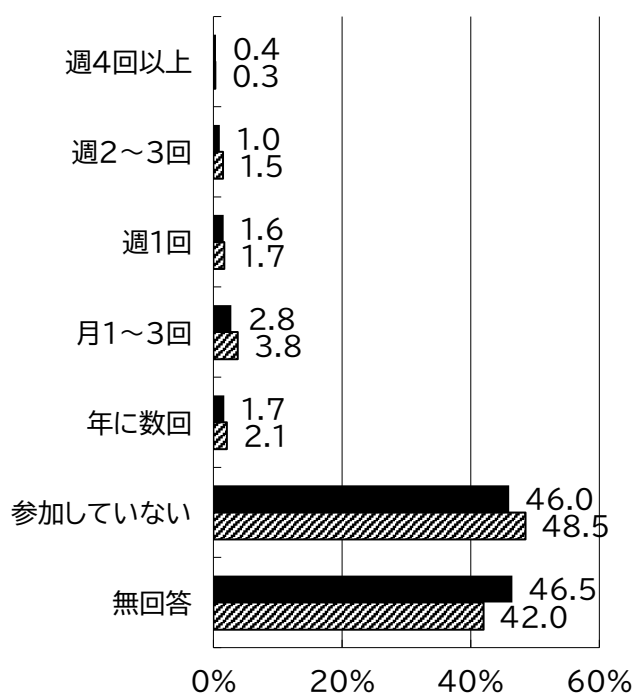
②スポーツ関係のグループやクラブ



③趣味関係のグループ

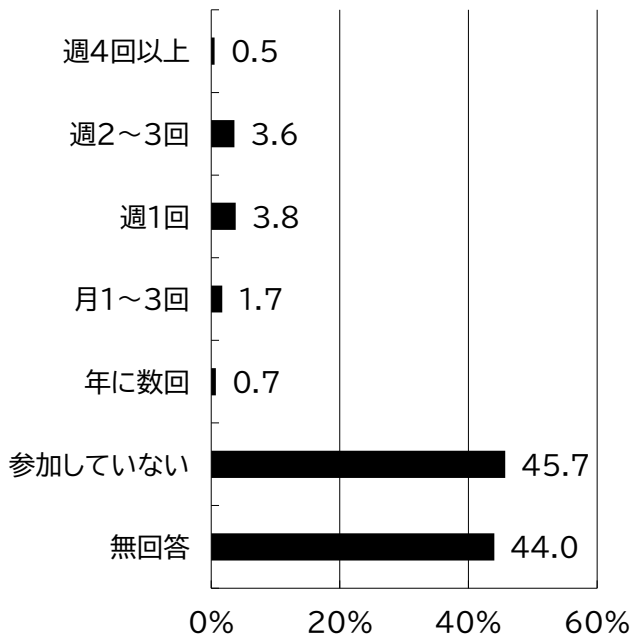


④学習・教養サークル

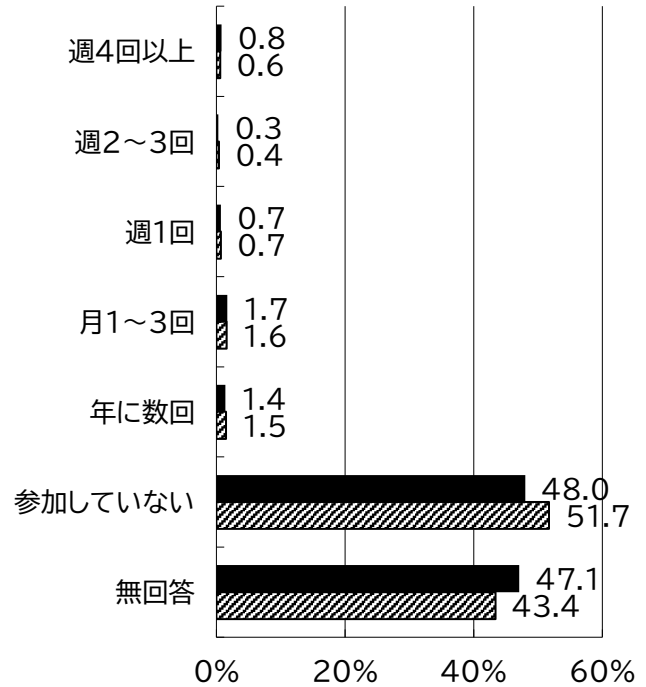


- 介護予防のためのグループ・通いの場・サロン等は、「週1回」以上の参加率が7.9%となっています。
- 老人クラブは、「週1回」以上の参加率が1.8%となっています。
- 自治会は、「週1回」以上の参加率が1.3%となっています。
- 収入のある仕事は、「週1回」以上の参加率が11.0%となっています。

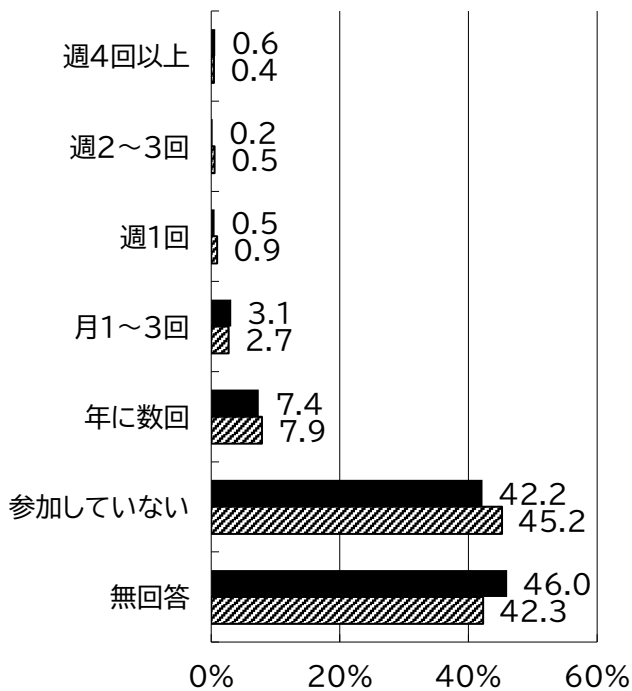
⑤介護予防のためのグループ
・通いの場・サロン等



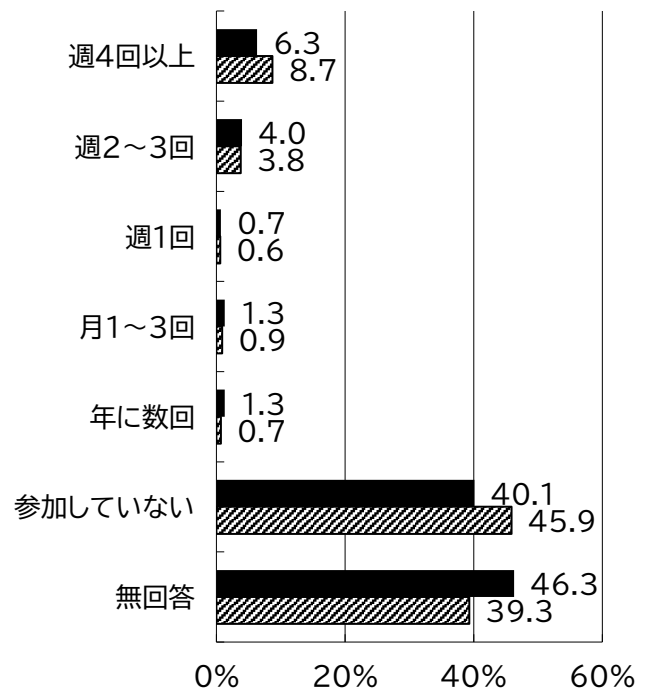
⑥老人クラブ



⑦自治会



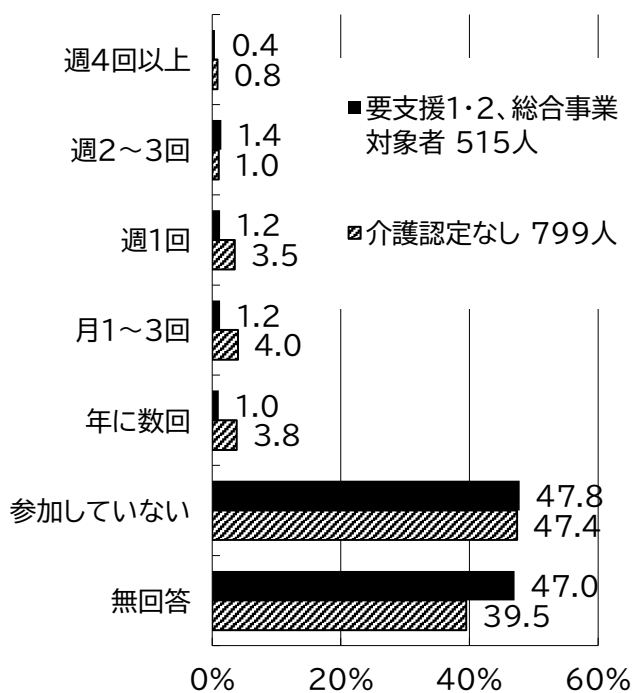
⑧収入のある仕事



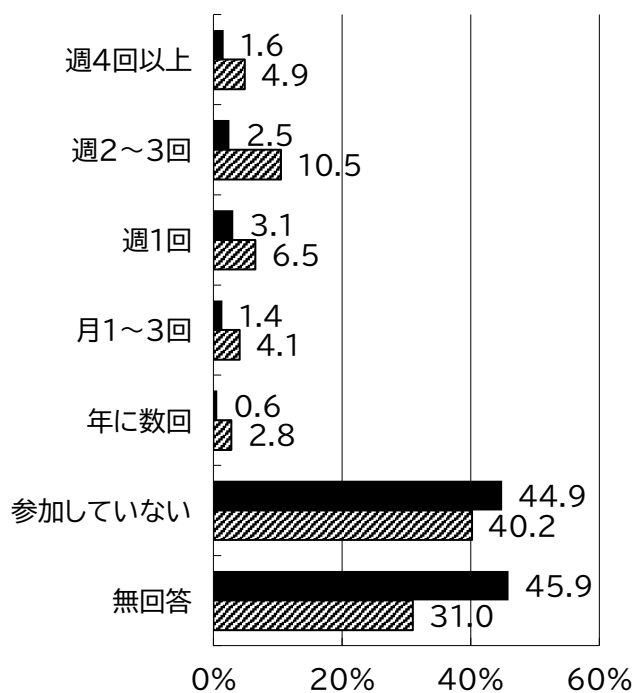
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- ボランティアのグループは、要支援1・2、総合事業対象者では、「週1回」以上の参加率が3.0%となっています。介護認定なしでは、「週1回」以上の参加率が5.3%となっています。
- スポーツ関係のグループやクラブは、要支援1・2、総合事業対象者では、「週1回」以上の参加率が7.2%となっています。介護認定なしでは、「週1回」以上の参加率が21.9%となっています。
- 趣味関係のグループは、要支援1・2、総合事業対象者では、「週1回」以上の参加率が8.2%となっています。介護認定なしでは、「週1回」以上の参加率が14.3%となっています。
- 学習・教養サークルは、要支援1・2、総合事業対象者では、「週1回」以上の参加率が2.4%となっています。介護認定なしでは、「週1回」以上の参加率が3.5%となっています。

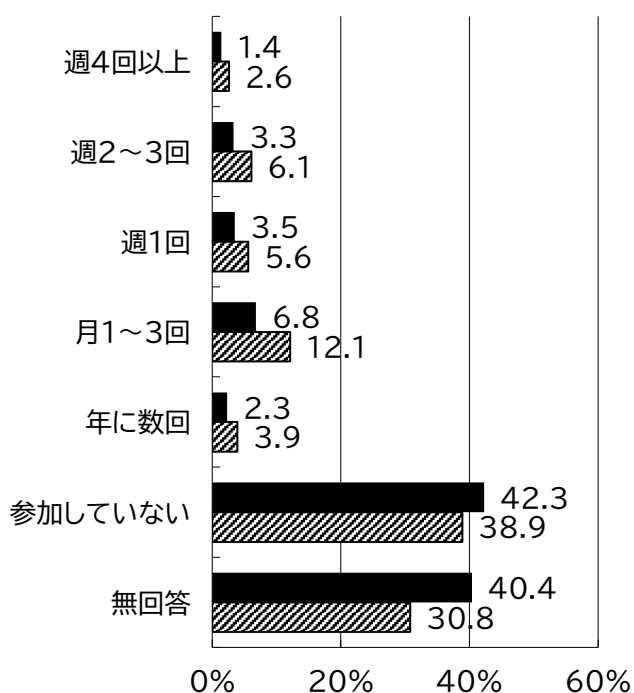
①ボランティアのグループ



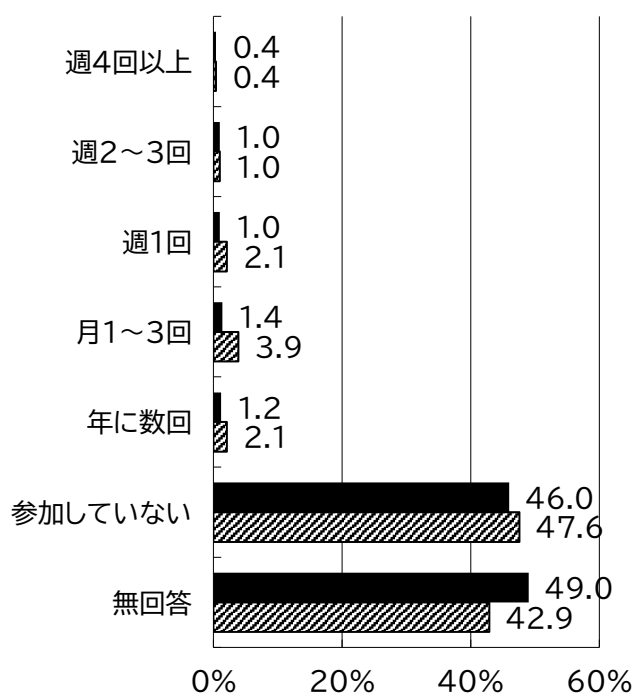
②スポーツ関係のグループやクラブ



③趣味関係のグループ

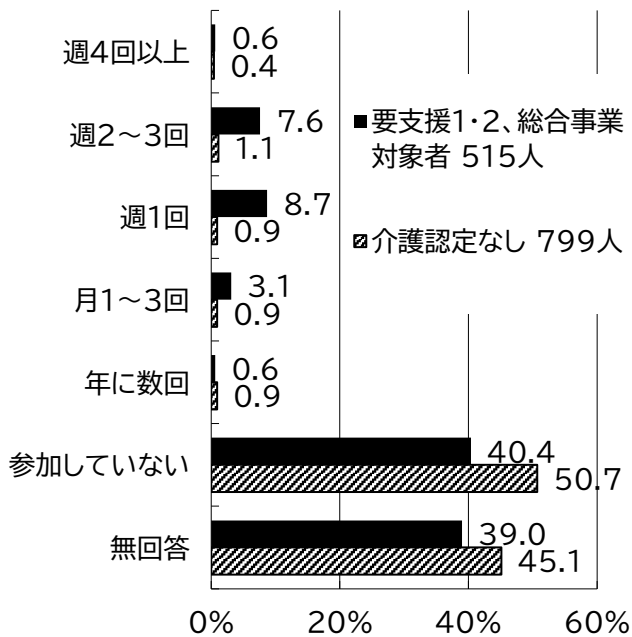


④学習・教養サークル

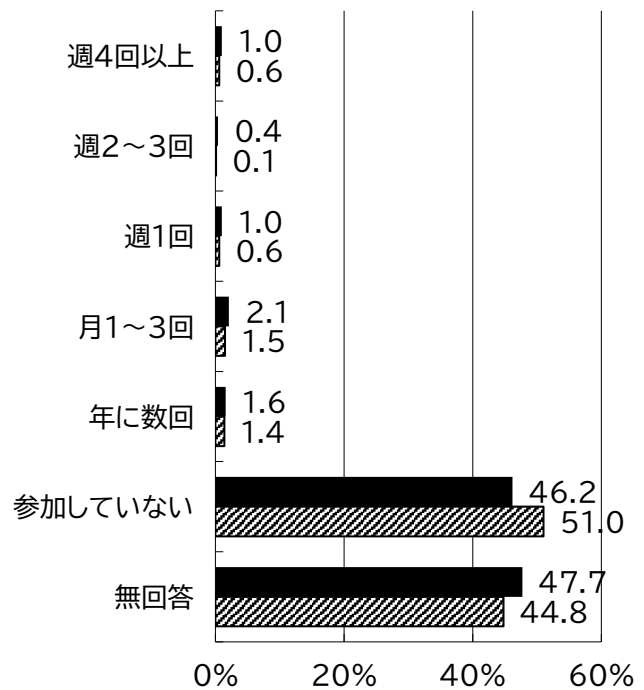


- 介護予防のためのグループ・通いの場・サロン等は、要支援1・2、総合事業対象者では、「週1回」以上の参加率が16.9%となっています。介護認定なしでは、「週1回」以上の参加率が2.4%となっています。
- 老人クラブは、要支援1・2、総合事業対象者では、「週1回」以上の参加率が2.4%となっています。介護認定なしでは、「週1回」以上の参加率が1.3%となっています。
- 自治会は、要支援1・2、総合事業対象者では、「週1回」以上の参加率が1.2%となっています。介護認定なしでは、「週1回」以上の参加率が1.2%となっています。
- 収入のある仕事は、要支援1・2、総合事業対象者では、「週1回」以上の参加率が1.8%となっています。介護認定なしでは、「週1回」以上の参加率が17.5%となっています。

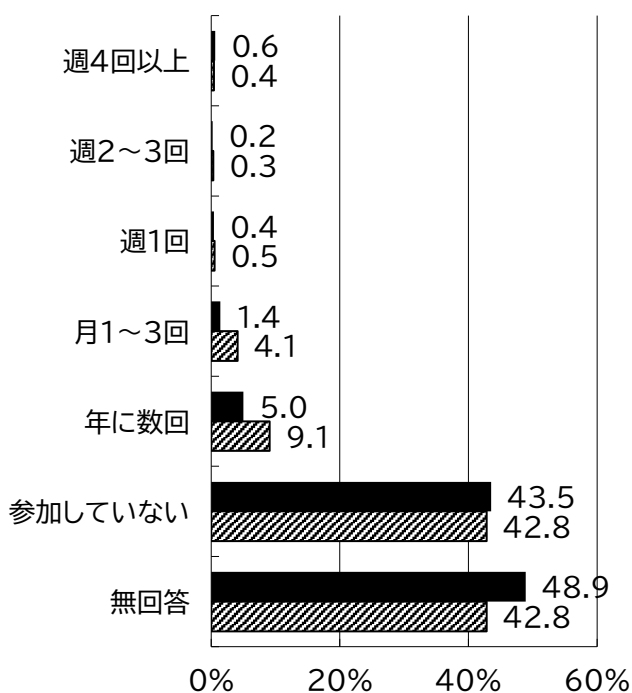
⑤介護予防のためのグループ
・通いの場・サロン等



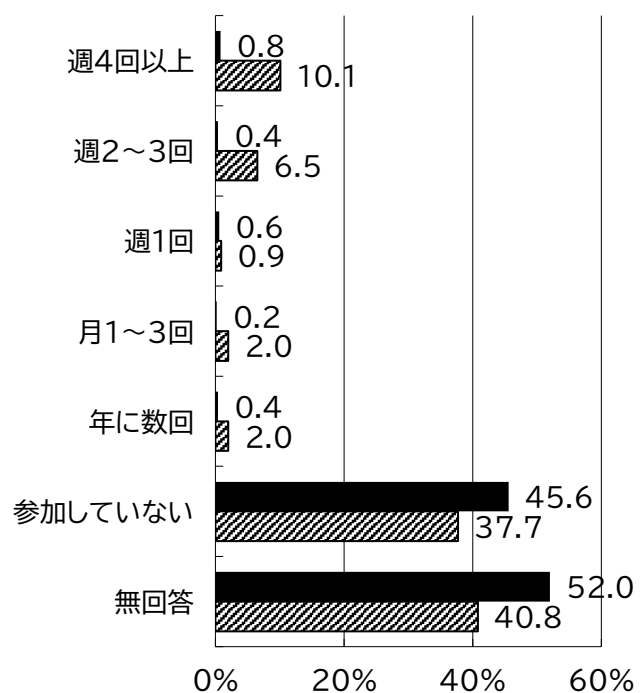
⑥老人クラブ



⑦自治会

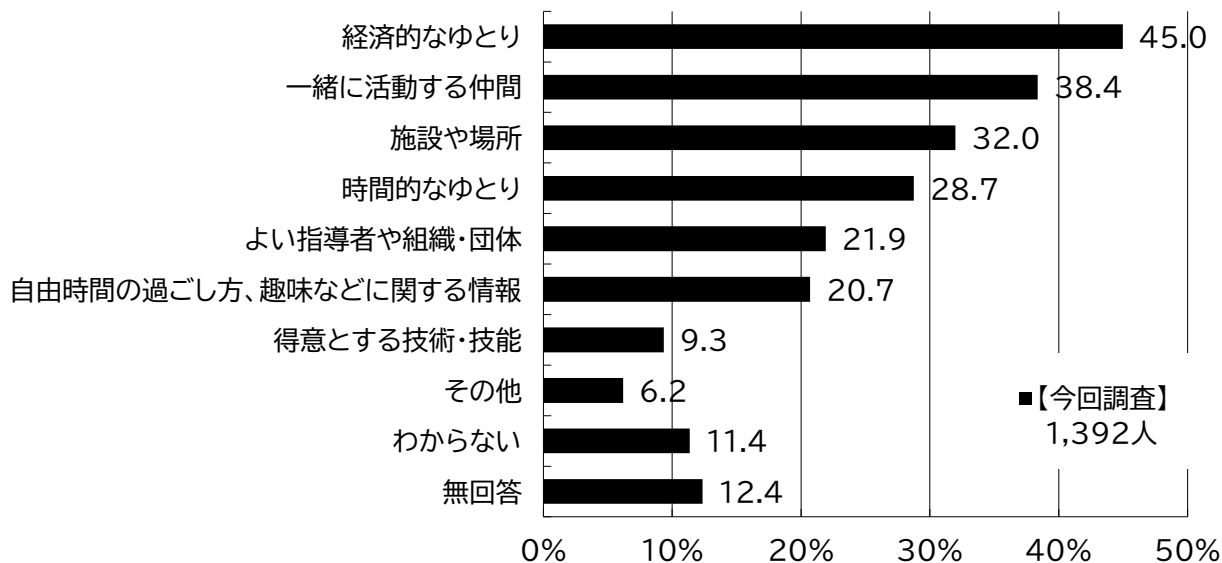


⑧収入のある仕事



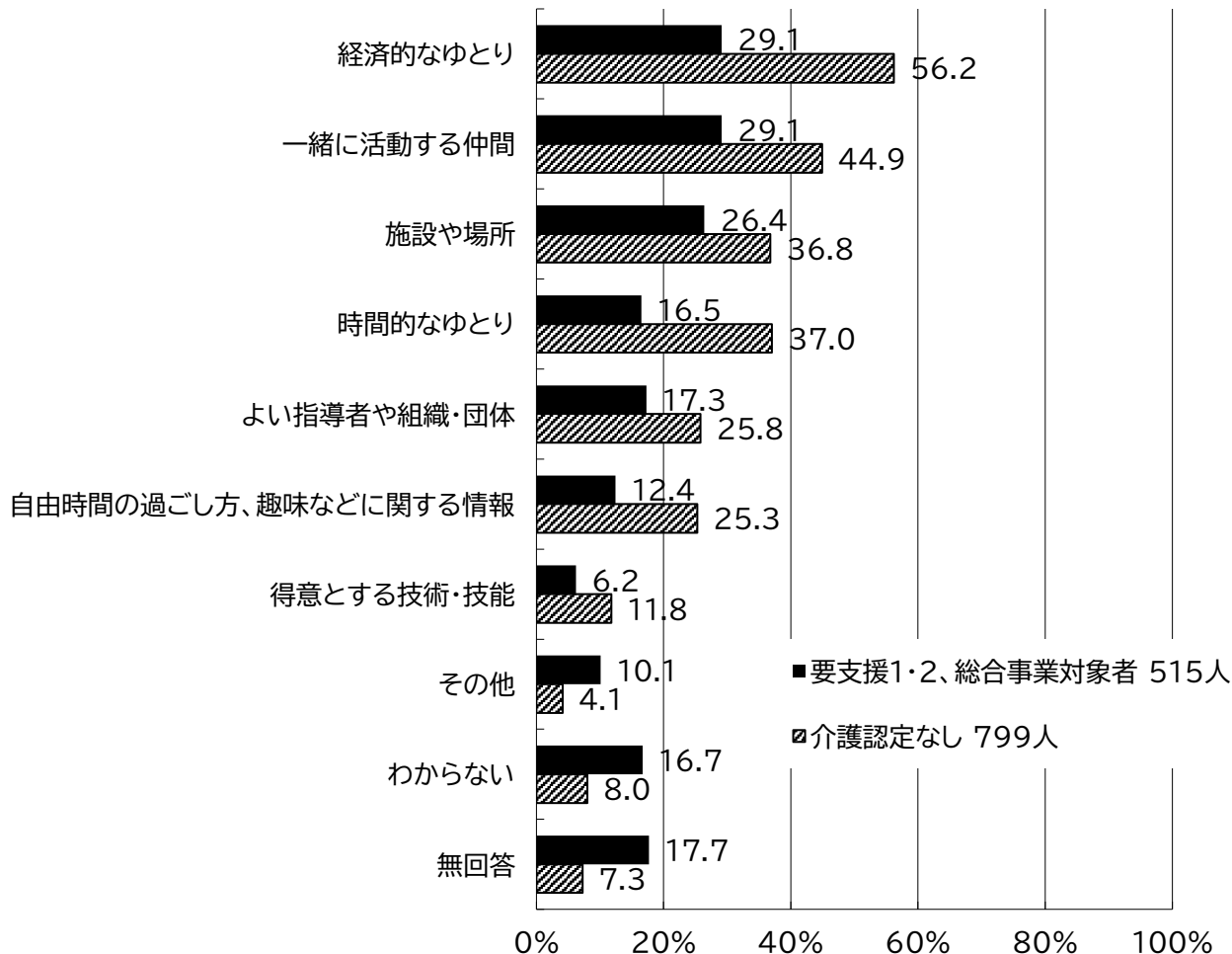
問2 あなたが、趣味などの活動や自由時間における活動を活発に行うためには、どのようなことが必要だと思いますか。(いくつかでも)

- 「経済的なゆとり」が45.0%と最も高く、次いで「一緒に活動する仲間」が38.4%、「施設や場所」が32.0%と続いています。



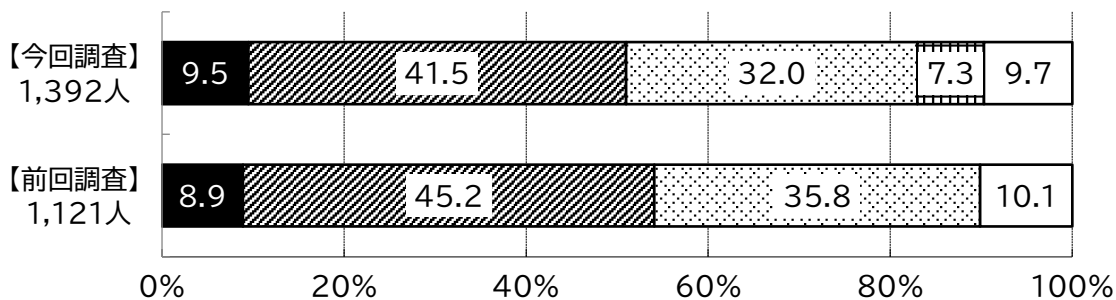
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「経済的なゆとり」、「一緒に活動する仲間」がいずれも29.1%と最も高く、次いで「施設や場所」が26.4%、「よい指導者や組織・団体」が17.3%と続いています。
- 介護認定なしでは、「経済的なゆとり」が56.2%と最も高く、次いで「一緒に活動する仲間」が44.9%、「時間的なゆとり」が37.0%と続いています。



問3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

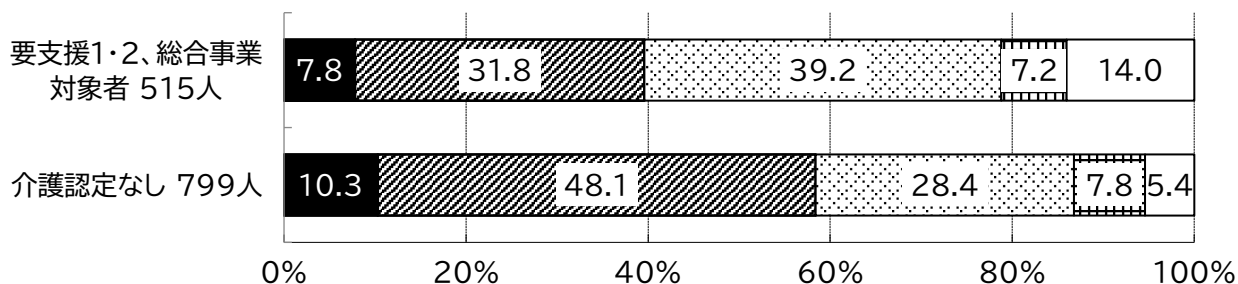
- 「参加してもよい」が 41.5%と最も高く、次いで「参加したくない」が 32.0%、「是非参加したい」が 9.5%と続いています。



■是非参加したい ■参加してもよい □参加したくない ■既に参加している※ □無回答
※は【前回】には選択肢なし

【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「参加したくない」が39.2%と最も高く、次いで「参加してもよい」が31.8%、「是非参加したい」が7.8%と続いています。
- 介護認定なしでは、「参加してもよい」が48.1%と最も高く、次いで「参加したくない」が28.4%、「是非参加したい」が10.3%と続いています。



■是非参加したい ■参加してもよい □参加したくない ■既に参加している □無回答

【日常生活圏域別等】

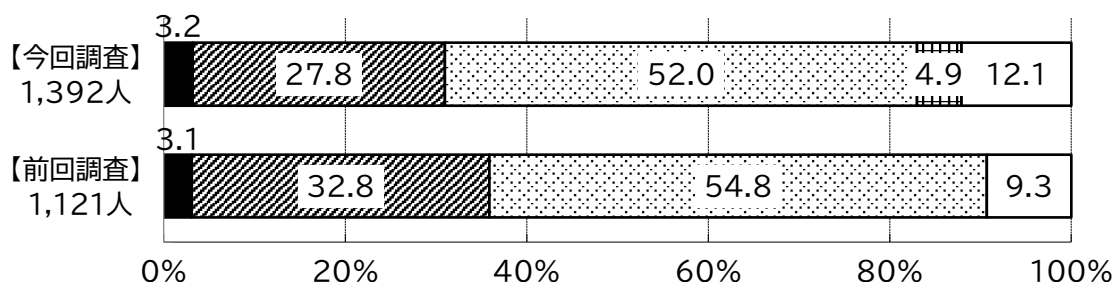
- 日常生活圏域別で見ると、いずれも「参加してもよい」が最も高く、「既に参加している」との割合は、いもくぼ圏域で9.3%、きよはら圏域で4.5%、なんがい圏域で8.3%となっています。
- 性別で見ると、「既に参加している」との割合は、女性で8.4%、男性で5.8%、「是非参加したい」との割合は女性で10.6%、男性で8.0%となっています。
- 要介護度別で見ると、介護認定なしの場合は「是非参加したい」が10.3%、「参加してもよい」が48.1%となっています。

(単位:%)

		是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
	全体 1,392人	9.5	41.5	32.0	7.3	9.7
1-② 日常生活圏域	いもくぼ圏域 462人	8.0	40.9	34.2	9.3	7.6
	きよはら圏域 465人	11.0	41.3	32.7	4.5	10.5
	なんがい圏域 433人	9.7	43.0	29.1	8.3	9.9
1-③ 性別	男性 573人	8.0	45.2	34.2	5.8	6.8
	女性 794人	10.6	39.1	30.6	8.4	11.3
1-⑤ 要介護度	要支援1 289人	8.3	32.9	39.4	6.6	12.8
	要支援2 212人	6.1	30.7	40.1	8.0	15.1
	介護認定なし 799人	10.3	48.1	28.4	7.8	5.4

問4 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。

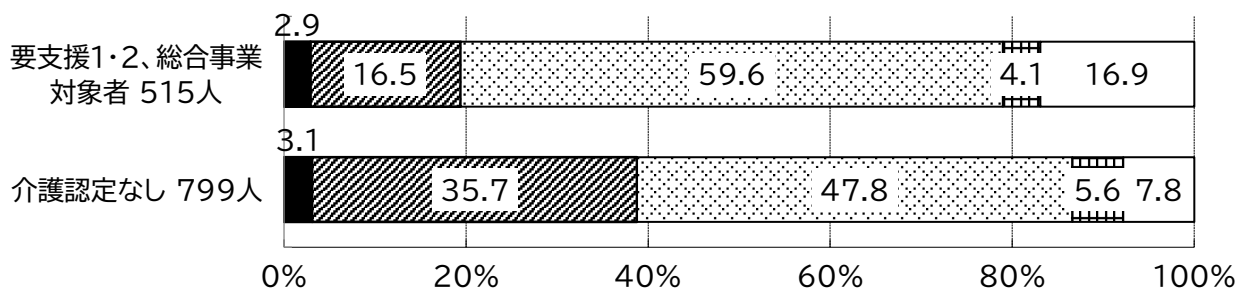
- 「参加したくない」が 52.0%と最も高く、次いで「参加してもよい」が 27.8%、「既に参加している」が 4.9%と続いています。



■是非参加したい ■参加してもよい □参加したくない ■既に参加している※ □無回答
※は【前回】には選択肢なし

【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「参加したくない」が 59.6%と最も高く、次いで「参加してもよい」が 16.5%、「既に参加している」が 4.1%と続いています。
- 介護認定なしでは、「参加したくない」が 47.8%と最も高く、次いで「参加してもよい」が 35.7%、「既に参加している」が 5.6%と続いています。



■是非参加したい ■参加してもよい □参加したくない ■既に参加している □無回答

【日常生活圏域別等】

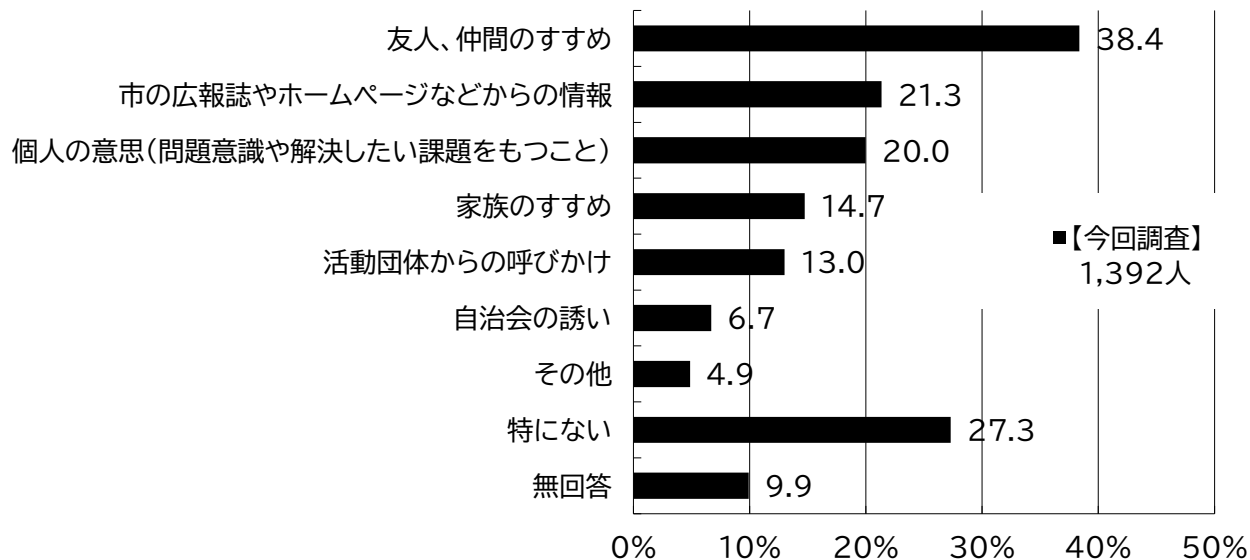
- 日常生活圏域別で見ると、いずれも「参加したくない」が最も高く、「既に参加している」との割合は、いもくぼ圏域で 5.8%、きよはら圏域で 4.3%、なんがい圏域で 4.6%となっています。
- 性別で見ると、「既に参加している」との割合は、女性で 5.8%、男性で 3.7%、「是非参加したい」との割合は女性で 3.0%、男性で 3.3%となっています。
- 要介護度別で見ると、介護認定なしの場合は「是非参加したい」が 3.1%、「参加してもよい」が 35.7%となっています。

(単位:%)

		是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
	全体 1,392人	3.2	27.8	52.0	4.9	12.1
1-② 日常生活圏域	いもくぼ圏域 462人	2.4	26.4	53.7	5.8	11.7
	きよはら圏域 465人	3.2	24.9	54.3	4.3	13.3
	なんがい圏域 433人	3.9	32.1	48.8	4.6	10.6
1-③ 性別	男性 573人	3.3	34.9	51.3	3.7	6.8
	女性 794人	3.0	22.7	52.8	5.8	15.7
1-⑤ 要介護度	要支援1 289人	3.8	16.3	59.5	3.8	16.6
	要支援2 212人	1.4	16.0	60.0	4.7	17.9
	介護認定なし 799人	3.1	35.7	47.8	5.6	7.8

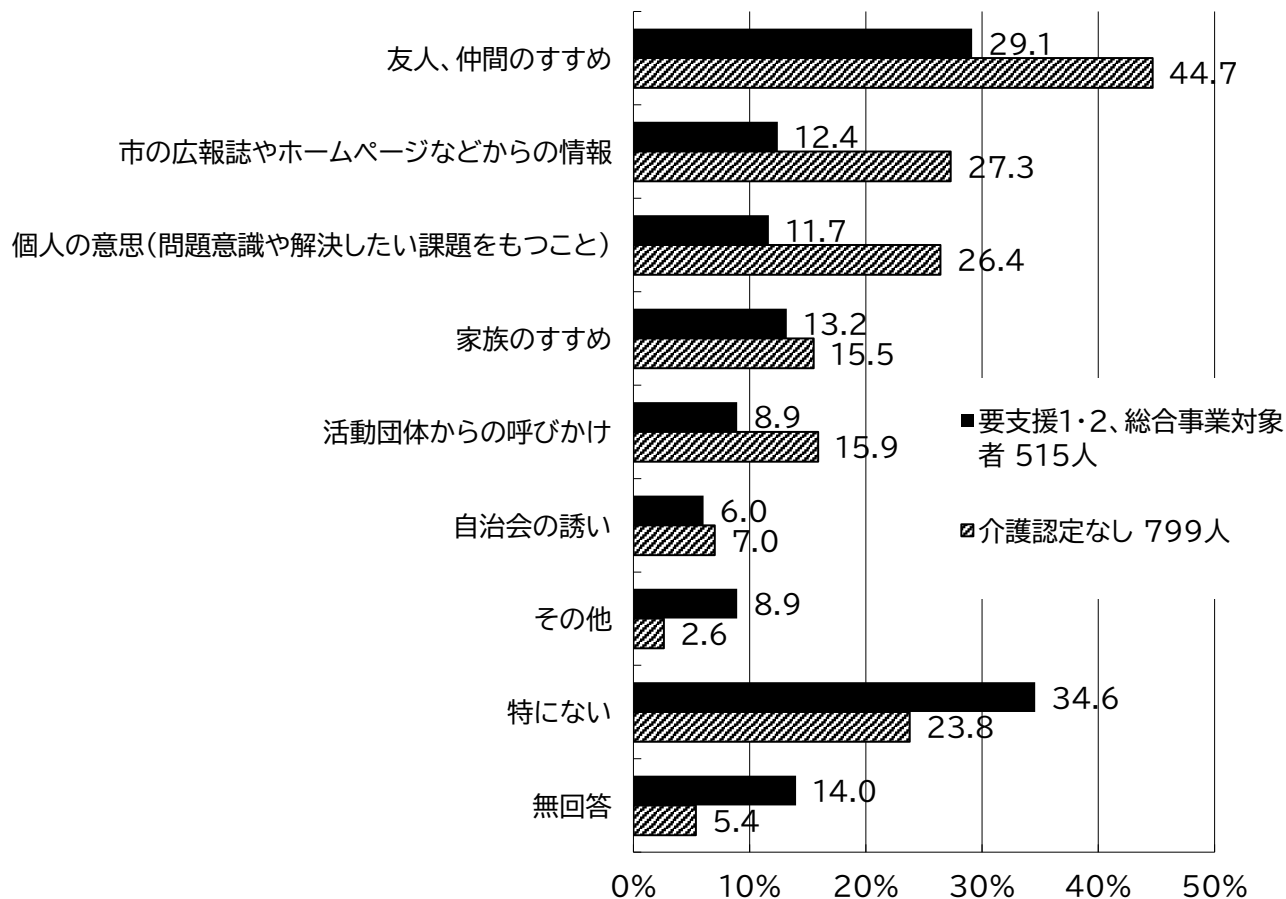
問5 あなたは、どのようなきっかけがあれば、個人又は友人と、あるいはグループや団体で自主的に行われている活動に参加したいと思いますか。(いくつでも)

- 「友人、仲間のすすめ」が38.4%と最も高く、次いで「特にない」が27.3%、「市の広報誌やホームページなどからの情報」が21.3%と続いています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「特にない」が34.6%と最も高く、次いで「友人、仲間のすすめ」が29.1%、「家族のすすめ」が13.2%と続いています。
- 介護認定なしでは、「友人、仲間のすすめ」が44.7%と最も高く、次いで「市の広報誌やホームページなどからの情報」が27.3%、「個人の意思(問題意識や解決したい課題をもつこと)」が26.4%と続いています。

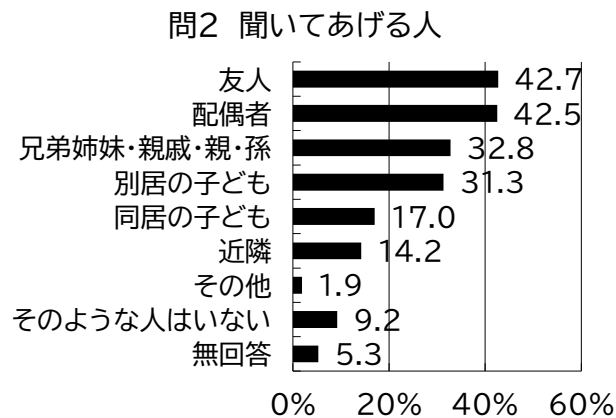
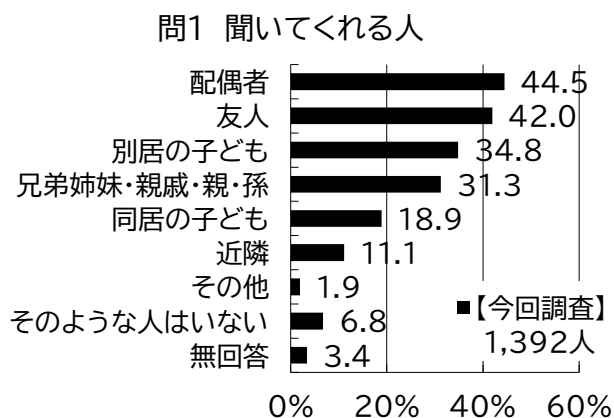


7 たすけあいについて

問1 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(いくつでも)

問2 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(いくつでも)

- 問1は、「配偶者」が44.5%と最も高く、次いで「友人」が42.0%、「別居の子ども」が34.8%と続いています。
- 問2は、「友人」が42.7%と最も高く、次いで「配偶者」が42.5%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が32.8%と続いています。

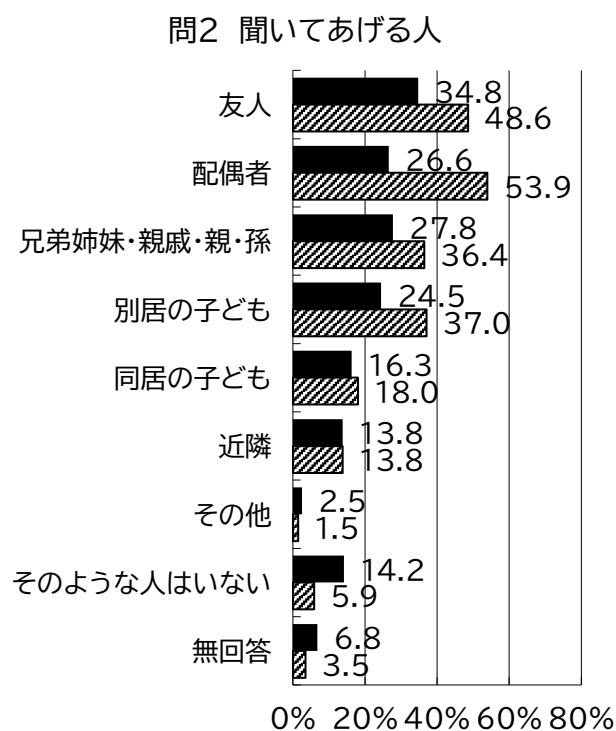
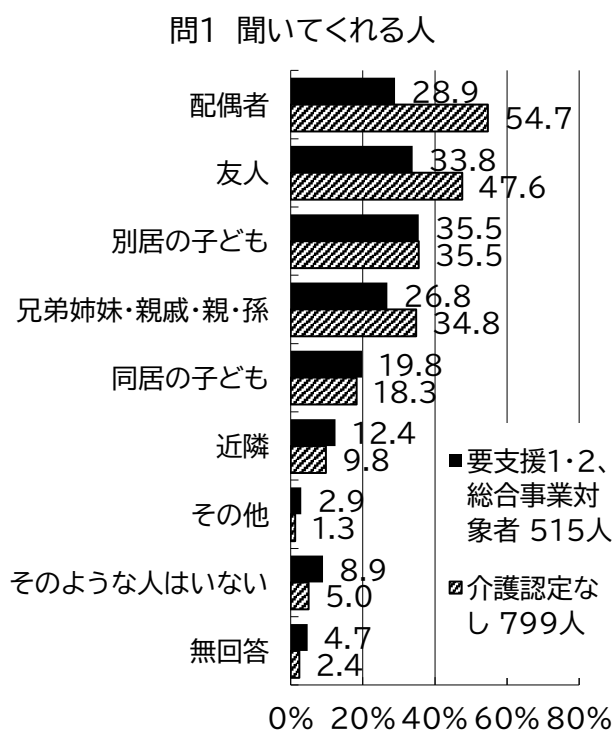


【問1 1-⑤ 現在の要介護度別】

- 問1について、要支援1・2、総合事業対象者では、「別居の子ども」が35.5%と最も高く、次いで「友人」が33.8%、「配偶者」が28.9%と続いています。
- 問1について、介護認定なしでは、「配偶者」が54.7%と最も高く、次いで「友人」が47.6%、「別居の子ども」が35.5%と続いています。

【問2 1-⑤ 現在の要介護度別】

- 問2について、要支援1・2、総合事業対象者では、「友人」が34.8%と最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が27.8%、「配偶者」が26.6%と続いています。
- 問2について、介護認定なしでは、「配偶者」が53.9%と最も高く、次いで「友人」が48.6%、「別居の子ども」が37.0%と続いています。

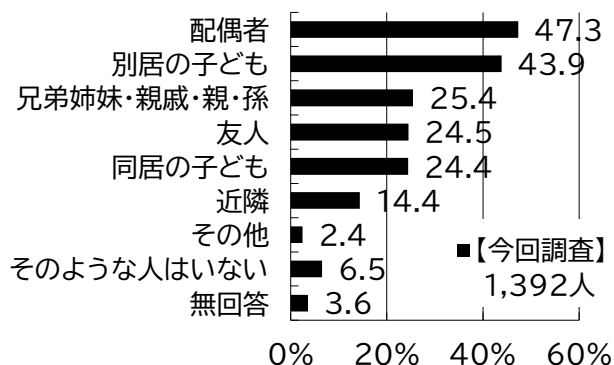


問3 あなたのちょっとした手伝いや用事をお願いできる人(いくつでも)

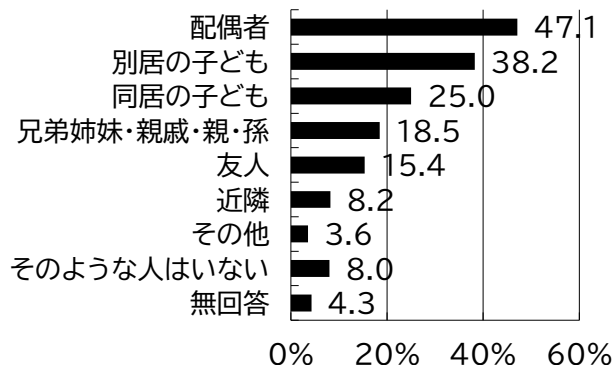
問4 あなたの家事や買い物などをしてくれる(お願いできる)人(いくつでも)

- 問3は、「配偶者」が47.3%と最も高く、次いで「別居の子ども」が43.9%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が25.4%と続いています。
- 問4は、「配偶者」が47.1%と最も高く、次いで「別居の子ども」が38.2%、「同居の子ども」が25.0%と続いています。

問3 手伝いや用事をお願いできる人



問4 家事や買い物をお願いできる人



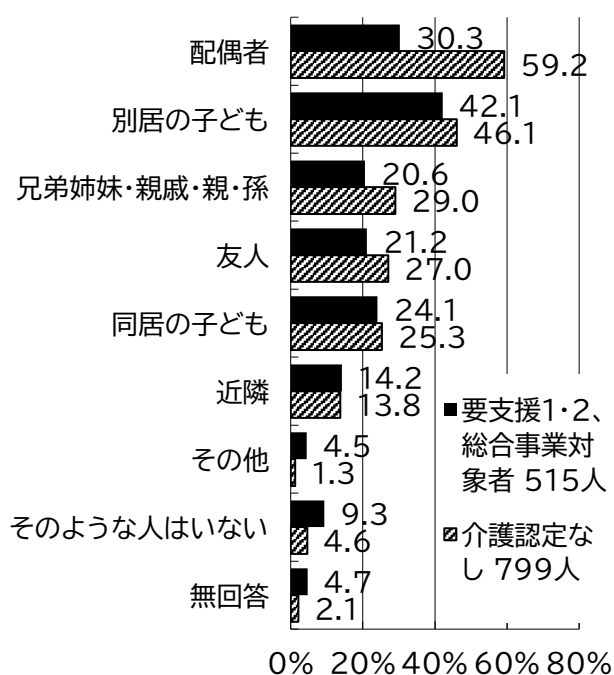
【問3 1-⑤ 現在の要介護度別】

- 問3について、要支援1・2、総合事業対象者では、「別居の子ども」が42.1%と最も高く、次いで「配偶者」が30.3%、「同居の子ども」が24.1%と続いています。
- 問3について、介護認定なしでは、「配偶者」が59.2%と最も高く、次いで「別居の子ども」が46.1%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が29.0%と続いています。

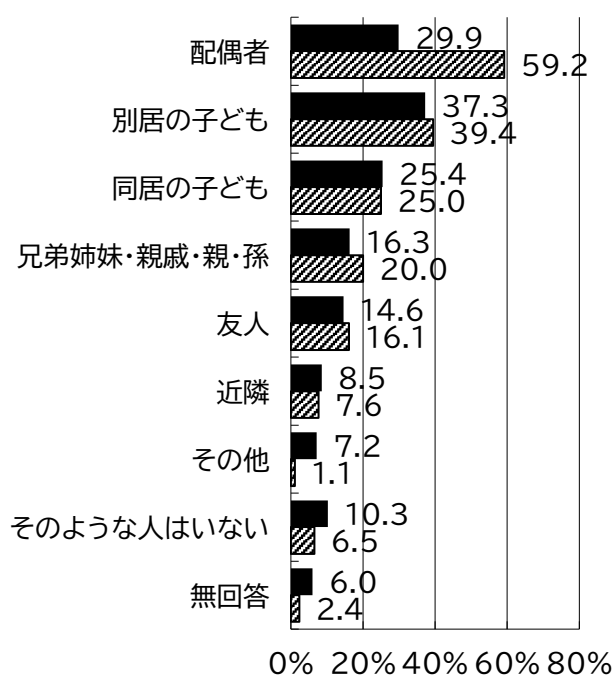
【問4 1-⑤ 現在の要介護度別】

- 問4について、要支援1・2、総合事業対象者では、「別居の子ども」が37.3%と最も高く、次いで「配偶者」が29.9%、「同居の子ども」が25.4%と続いています。
- 問4について、介護認定なしでは、「配偶者」が59.2%と最も高く、次いで「別居の子ども」が39.4%、「同居の子ども」が25.0%と続いています。

問3 手伝いや用事をお願いできる人



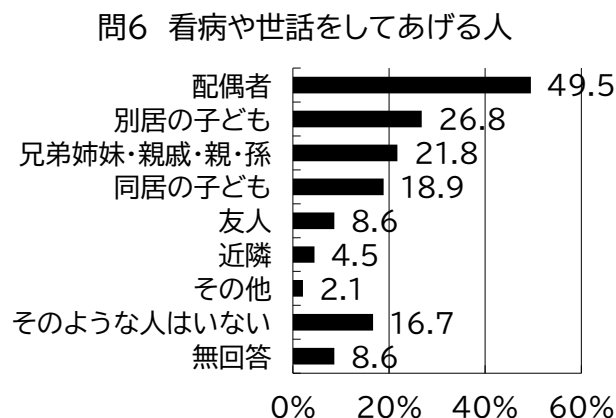
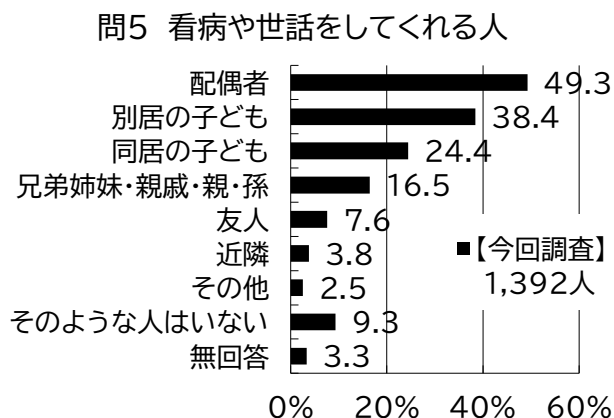
問4 家事や買い物をお願いできる人



問5 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(いくつでも)

問6 反対に、看病や世話をしてあげる人(いくつでも)

- 問5は、「配偶者」が 49.3%と最も高く、次いで「別居の子ども」が 38.4%、「同居の子ども」が 24.4%と続いています。
- 問6は、「配偶者」が 49.5%と最も高く、次いで「別居の子ども」が 26.8%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 21.8%と続いています。

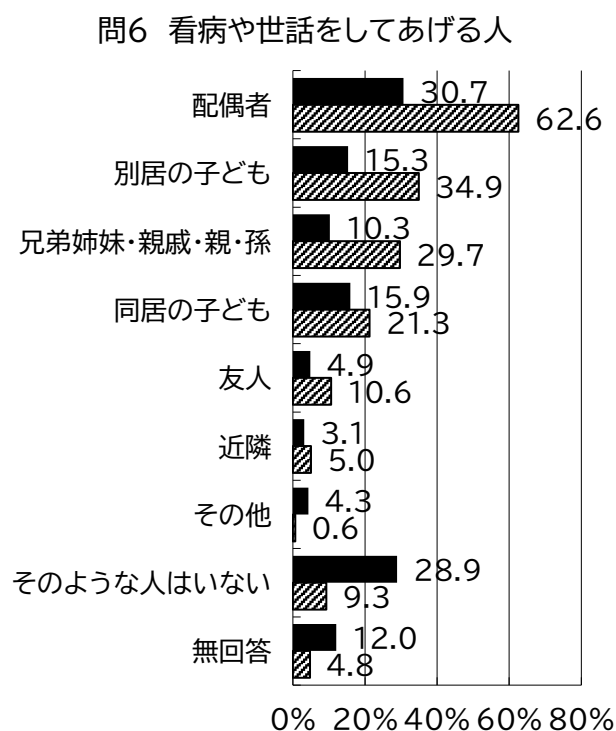
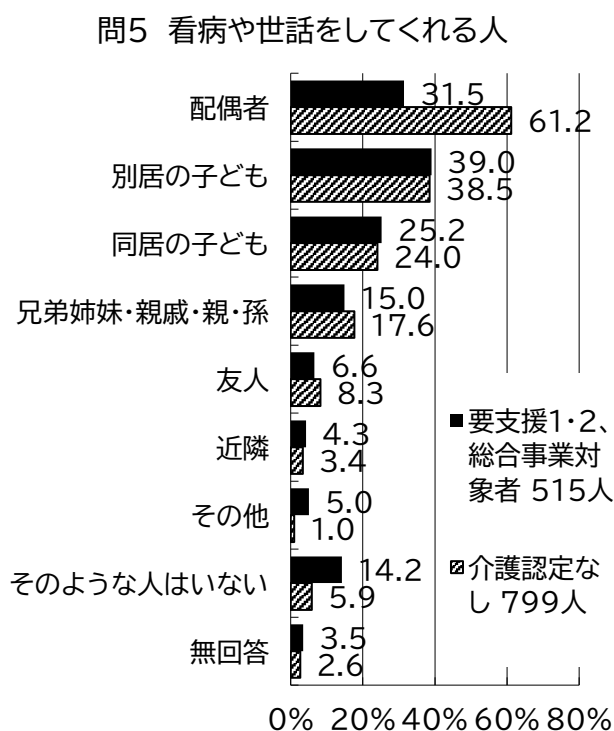


【問5 1-⑤ 現在の要介護度別】

- 問5について、要支援1・2、総合事業対象者では、「別居の子ども」が 39.0%と最も高く、次いで「配偶者」が 31.5%、「同居の子ども」が 25.2%と続いています。
- 問5について、介護認定なしでは、「配偶者」が 61.2%と最も高く、次いで「別居の子ども」が 38.5%、「同居の子ども」が 24.0%と続いています。

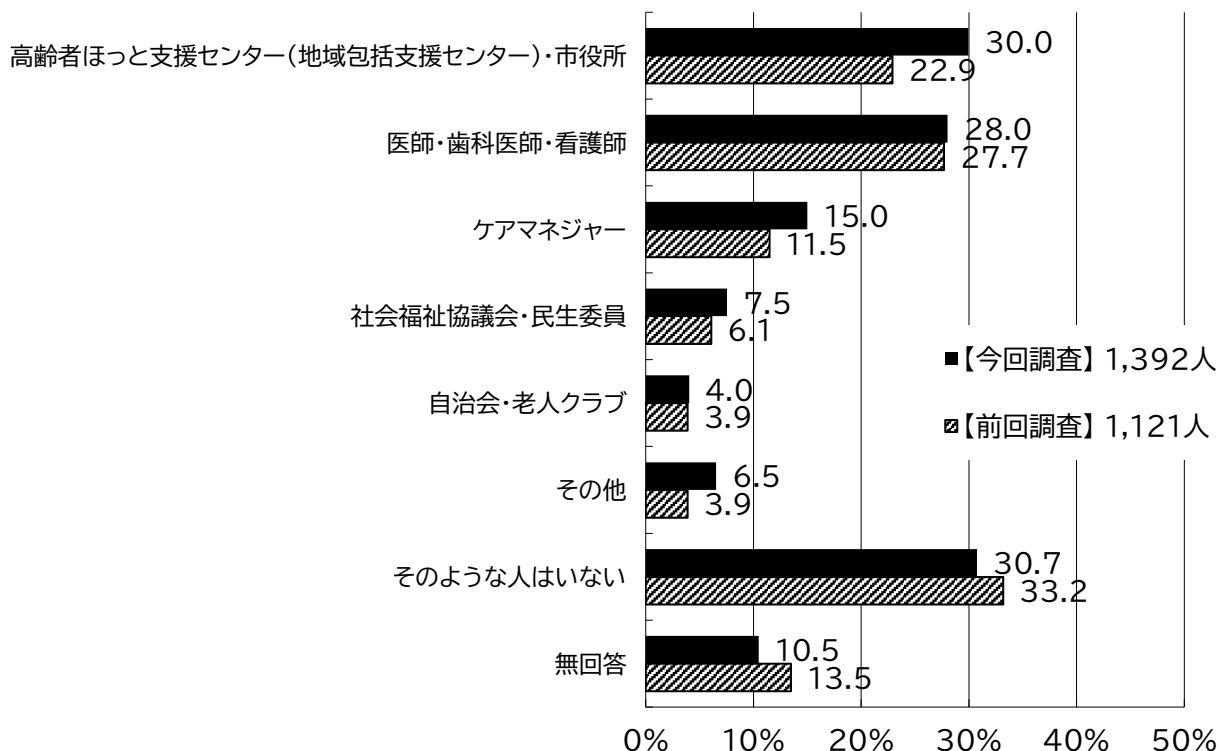
【問6 1-⑤ 現在の要介護度別】

- 問6について、要支援1・2、総合事業対象者では、「配偶者」が 30.7%と最も高く、次いで「そのような人はいない」が 28.9%、「同居の子ども」が 15.9%と続いています。
- 問6について、介護認定なしでは、「配偶者」が 62.6%と最も高く、次いで「別居の子ども」が 34.9%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 29.7%と続いています。



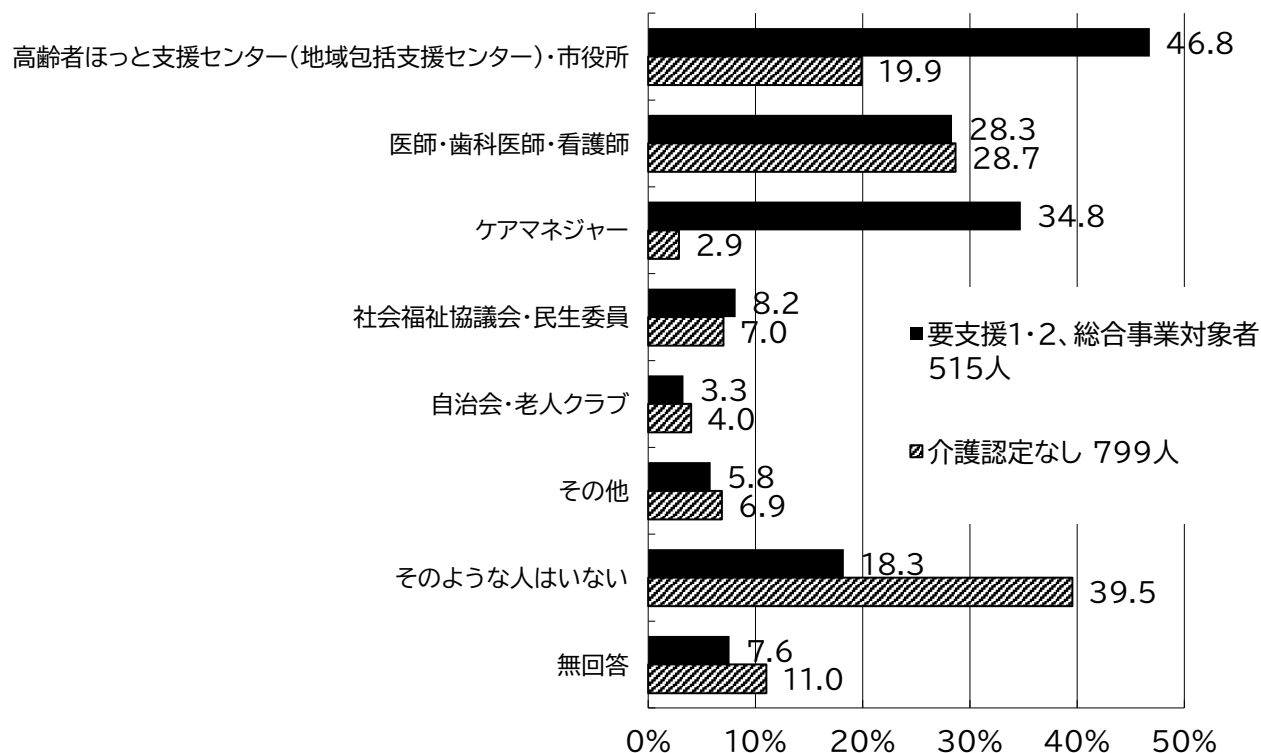
問7 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(いくつでも)

- 「そのような人はいない」が30.7%と最も高く、次いで「高齢者ほっと支援センター(地域包括支援センター)・市役所」が30.0%、「医師・歯科医師・看護師」が28.0%と続いています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「高齢者ほっと支援センター(地域包括支援センター)・市役所」が46.8%と最も高く、次いで「ケアマネジャー」が34.8%、「医師・歯科医師・看護師」が28.3%と続いています。
- 介護認定なしでは、「そのような人はいない」が39.5%と最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が28.7%、「高齢者ほっと支援センター(地域包括支援センター)・市役所」が19.9%と続いています。



【年齢別等】

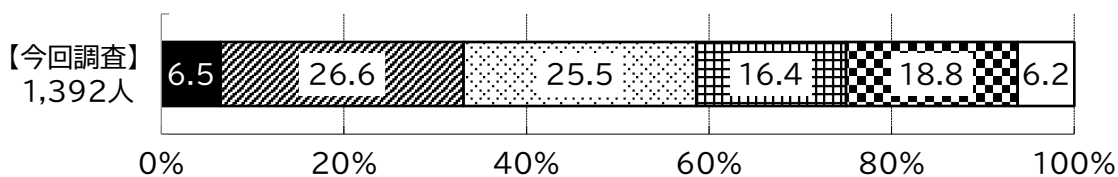
- 年齢別で見ると、65～74歳は「そのような人はいない」が41.2%と最も高く、75～84歳、85歳～はいずれも「高齢者ほっと支援センター(地域包括支援センター)・市役所」が最も高くなっています。
- 日常生活圏域別で見ると、きよはら圏域は要支援認定者の割合が比較的高いことから、「高齢者ほっと支援センター(地域包括支援センター)・市役所」が32.0%と最も高く、「ケアマネジャー」が19.4%と比較的高くなっています。
- 要介護度別で見ると、「高齢者ほっと支援センター(地域包括支援センター)・市役所」の割合は要支援1で45.0%、要支援2で50.0%となっています。
- 家族構成別で見ると、1人暮らしは「高齢者ほっと支援センター(地域包括支援センター)・市役所」が41.1%と最も高く、「そのような人はいない」という回答は23.9%と比較的低くなっています。

(単位:%)

		自派会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	高齢者ほっと支援センター(地域包括支援センター)・市役所	その他	そのような人はいない	無回答
	全体 1,392人	4.0	7.5	15.0	28.0	30.0	6.5	30.7	10.5
1-④ 年齢	65～74歳 456人	3.5	6.4	6.4	29.6	22.1	6.4	41.2	8.1
	75～84歳 602人	4.7	8.3	18.1	25.6	30.6	7.8	27.9	10.8
	85歳～ 296人	3.0	7.4	22.0	31.1	41.2	4.4	20.6	12.5
1-② 日常生活 圏域	いもくぼ圏域 462人	5.2	8.9	11.0	27.7	30.1	5.8	34.6	10.0
	きよはら圏域 465人	3.7	6.2	19.4	28.0	32.0	7.1	25.4	11.2
	なんがい圏域 433人	3.0	7.4	13.9	28.6	27.5	6.5	32.6	10.2
1-⑤ 要介護度	要支援1 289人	4.2	9.0	32.5	30.4	45.0	6.6	19.0	7.6
	要支援2 212人	1.9	6.6	39.2	25.5	50.0	5.2	16.5	7.5
	介護認定なし 799人	4.0	7.0	2.9	28.7	19.9	6.9	39.5	11.0
2-問1 家族構成	1人暮らし 355人	3.4	9.9	21.7	26.2	41.1	7.9	23.9	8.2
	夫婦2人暮らし 594人	4.7	7.6	11.8	28.5	25.8	5.7	34.2	10.8
	息子・娘との2世帯 224人	4.0	4.5	15.6	29.5	26.3	5.8	29.9	12.5

問8 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。

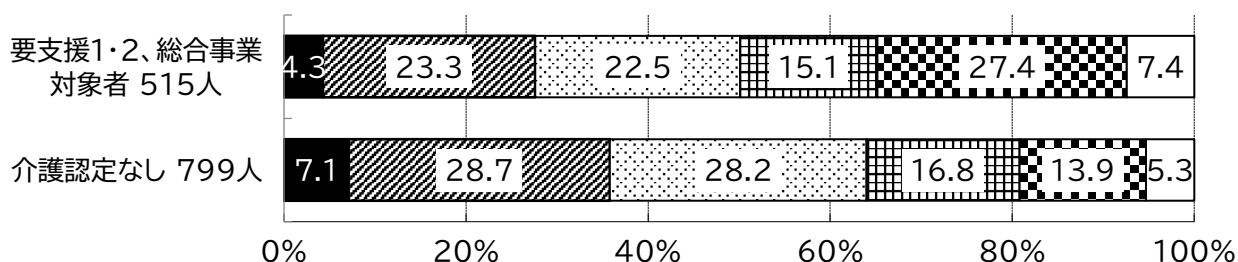
- 「週に何度かある」が26.6%と最も高く、次いで「月に何度かある」が25.5%、「ほとんどない」が18.8%と続いています。



■毎日ある ■週に何度かある □月に何度かある ■年に何度かある □ほとんどない □無回答

【1-⑤ 現在の要介護度別】

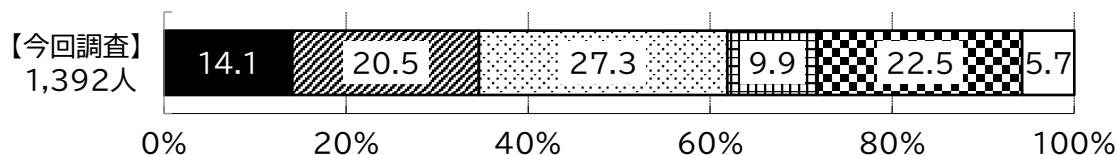
- 要支援1・2、総合事業対象者では、「ほとんどない」が27.4%と最も高く、次いで「週に何度かある」が23.3%、「月に何度かある」が22.5%と続いています。
- 介護認定なしでは、「週に何度かある」が28.7%と最も高く、次いで「月に何度かある」が28.2%、「年に何度かある」が16.8%と続いています。



■毎日ある ■週に何度かある □月に何度かある ■年に何度かある □ほとんどない □無回答

問9 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。

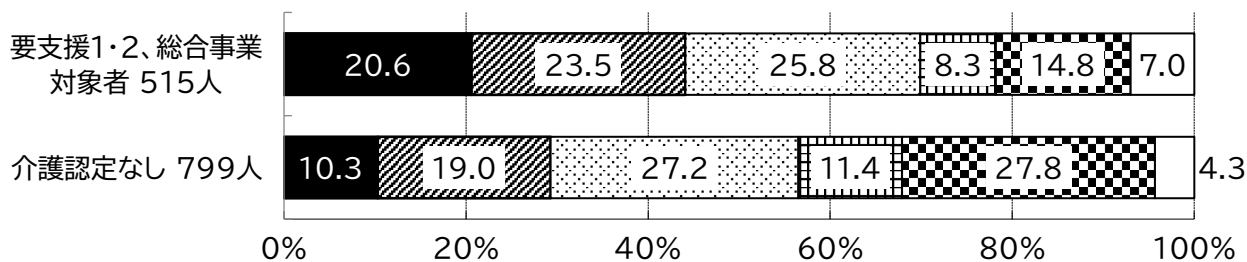
- 「3～5人」が27.3%と最も高く、次いで「10人以上」が22.5%、「1～2人」が20.5%と続いています。



■0人(いない) ■1～2人 □3～5人 ■6～9人 ■10人以上 □無回答

【1-⑤ 現在の要介護度別】

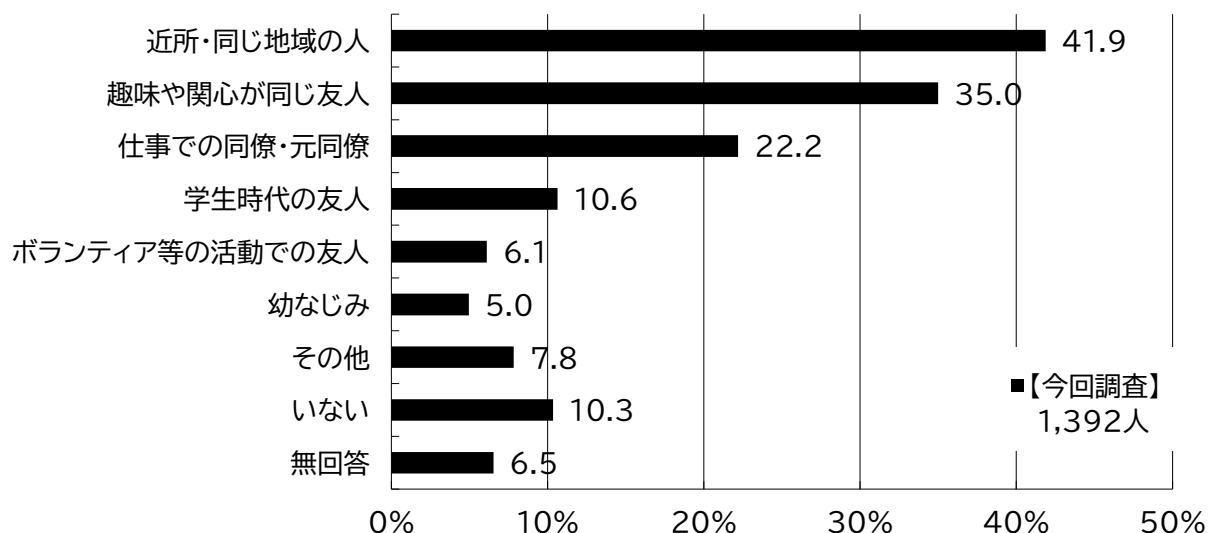
- 要支援1・2、総合事業対象者では、「3～5人」が25.8%と最も高く、次いで「1～2人」が23.5%、「0人(いない)」が20.6%と続いています。
- 介護認定なしでは、「10人以上」が27.8%と最も高く、次いで「3～5人」が27.2%、「1～2人」が19.0%と続いています。



■0人(いない) ■1～2人 □3～5人 ■6～9人 □10人以上 □無回答

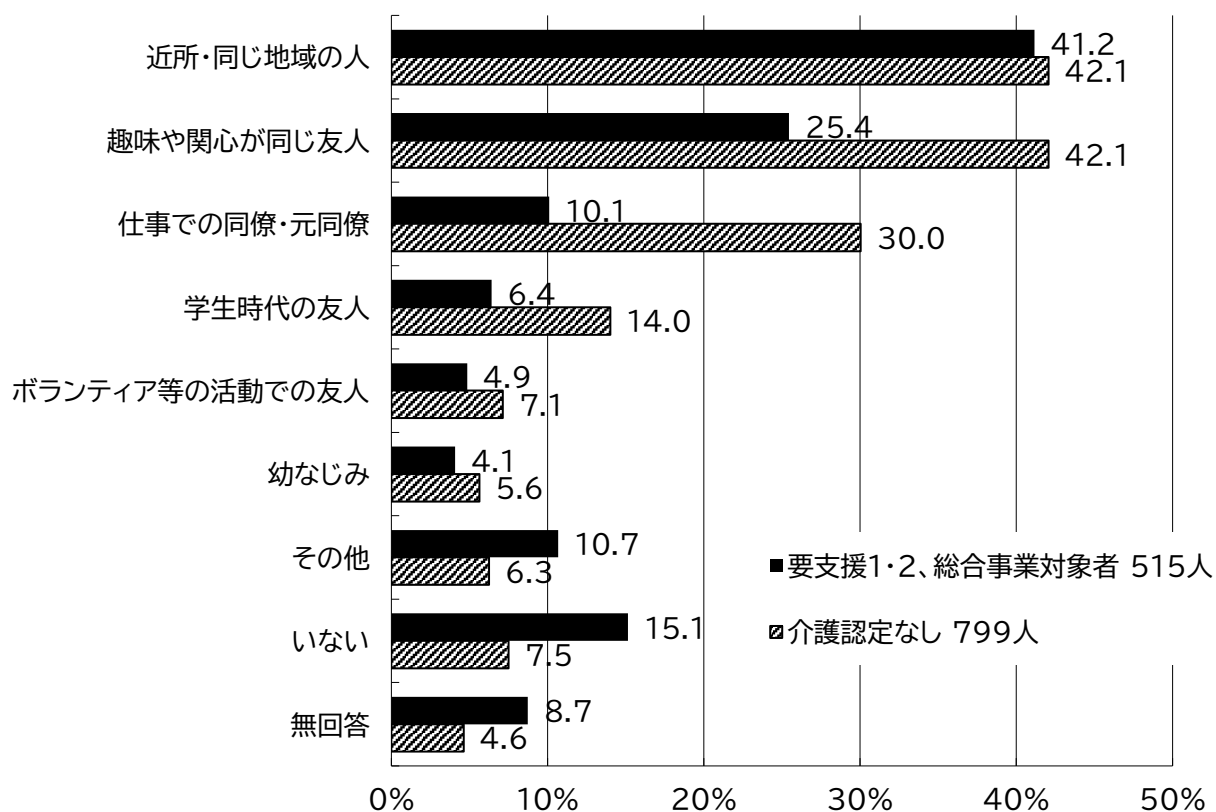
問10 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)

- 「近所・同じ地域の人」が 41.9%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が 35.0%、「仕事での同僚・元同僚」が 22.2%と続いています。



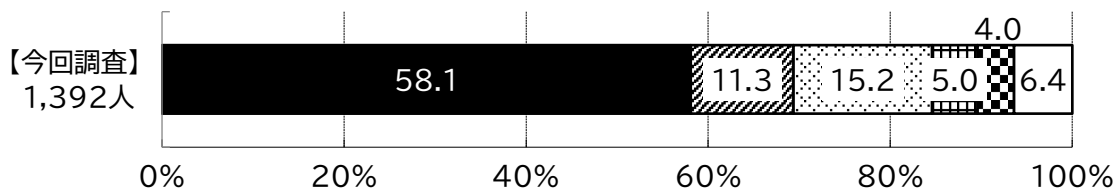
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「近所・同じ地域の人」が 41.2%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が 25.4%、「いない」が 15.1%と続いています。
- 介護認定なしでは、「近所・同じ地域の人」、「趣味や関心が同じ友人」がいずれも 42.1%と最も高く、次いで「仕事での同僚・元同僚」が 30.0%、「学生時代の友人」が 14.0%と続いています。



問11 一日中、誰とも顔を合わせない(会わない)、誰とも話をしないという日が、どのくらいありますか。

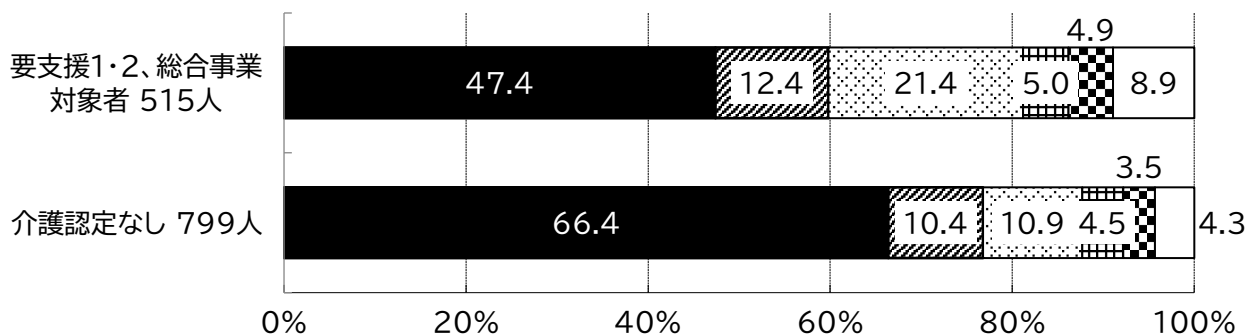
- 「ほとんどない(毎日、誰かと会ったり、会話をしている)」が 58.1%と最も高く、次いで「週に2～3日程度ある」が 15.2%、「週に1日程度ある」が 11.3%と続いています。



- ほとんどない(毎日、誰かと会ったり、会話をしている)
- ▨ 週に1日程度ある
- ▩ 週に2～3日程度ある
- ▧ 週に4～5日程度ある
- ▣ ほとんど毎日、誰とも顔を合わせない
- 無回答

【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「ほとんどない(毎日、誰かと会ったり、会話をしている)」が 47.4%と最も高く、次いで「週に2～3日程度ある」が 21.4%、「週に1日程度ある」が 12.4%と続いています。
- 介護認定なしでは、「ほとんどない(毎日、誰かと会ったり、会話をしている)」が 66.4%と最も高く、次いで「週に2～3日程度ある」が 10.9%、「週に1日程度ある」が 10.4%と続いています。



- ほとんどない(毎日、誰かと会ったり、会話をしている)
- ▨ 週に1日程度ある
- ▩ 週に2～3日程度ある
- ▧ 週に4～5日程度ある
- ▣ ほとんど毎日、誰とも顔を合わせない
- 無回答

【日常生活圏域別等】

- 日常生活圏域別で見ると、「週に4～5日程度ある」、「ほとんど毎日、誰とも顔を合わせない」を合わせた割合は、いもくぼ圏域で7.6%、きよはら圏域で9.9%、なんがい圏域で9.0%となっています。
- 家族構成別で見ると、「週に4～5日程度ある」、「ほとんど毎日、誰とも顔を合わせない」を合わせた割合は、1人暮らしで12.4%、夫婦2人暮らしで9.2%、息子・娘との2世帯で4.0%となっています。

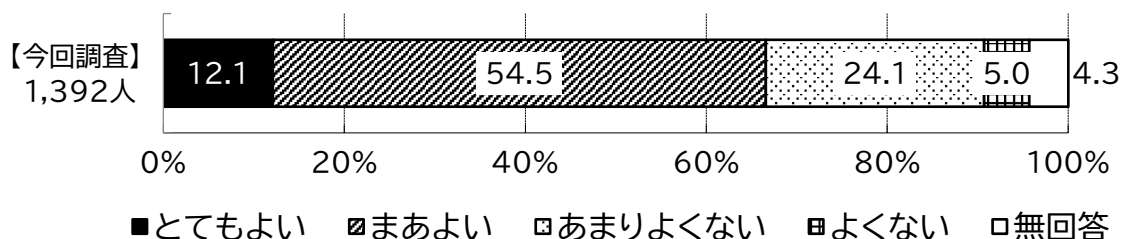
(単位:%)

		ほとんどない(毎日、誰かと会ったり、会話をしている)	週に1日程度ある	週に2～3日程度ある	週に4～5日程度ある	ほとんど毎日、誰とも顔を合わせない	無回答
	全体 1,392人	58.1	11.3	15.2	5.0	4.0	6.4
1-② 日常生活圏域	いもくぼ圏域 462人	62.7	10.8	12.8	4.8	2.8	6.1
	きよはら圏域 465人	51.9	11.8	18.7	5.4	4.5	7.7
	なんがい圏域 433人	61.0	10.9	14.3	4.6	4.4	4.8
2-問1 家族構成	1人暮らし 355人	33.2	19.7	29.3	5.6	6.8	5.4
	夫婦2人暮らし 594人	64.3	10.6	9.3	5.2	4.0	6.6
	息子・娘との2世帯 224人	71.9	5.8	11.6	2.7	1.3	6.7

8 健康について

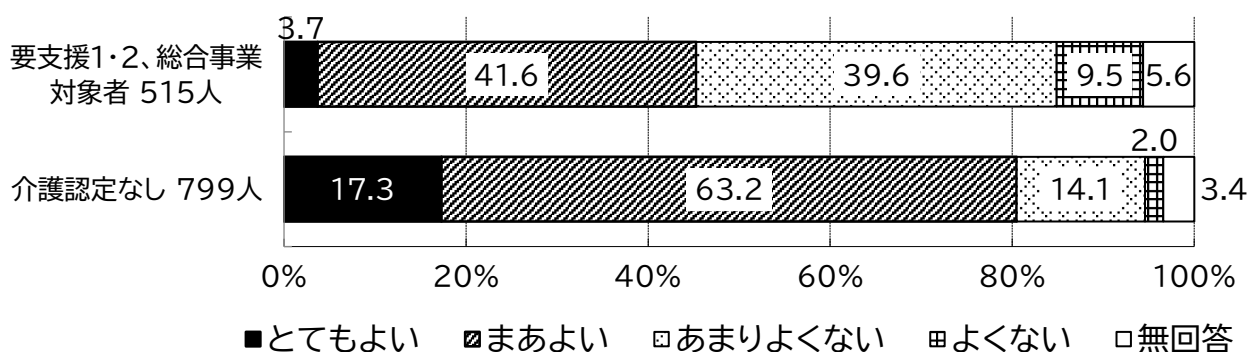
問1 現在のあなたの健康状態はいかがですか。

- 「まあよい」が54.5%と最も高く、次いで「あまりよくない」が24.1%、「とてもよい」が12.1%と続いています。



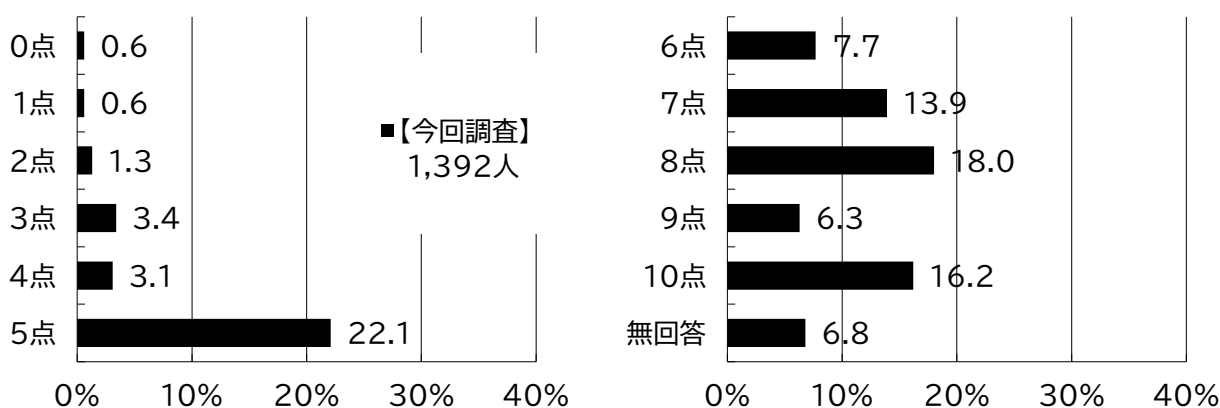
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「まあよい」が41.6%と最も高く、次いで「あまりよくない」が39.6%、「よくない」が9.5%と続いています。
- 介護認定なしでは、「まあよい」が63.2%と最も高く、次いで「とてもよい」が17.3%、「あまりよくない」が14.1%と続いています。



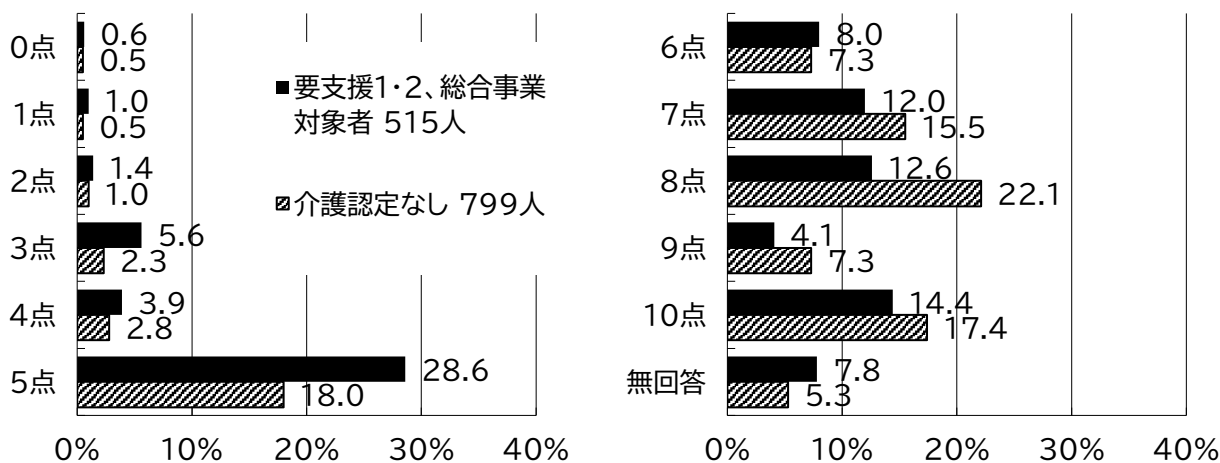
問2 あなたは、現在どの程度幸せですか。(「とても不幸」が0点、「とても幸せ」が10点)

- 「5点」が22.1%と最も高く、次いで「8点」が18.0%、「10点」が16.2%と続いています。
- 平均点は「6.9点」となっています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「5点」が28.6%と最も高く、次いで「10点」が14.4%、「8点」が12.6%と続いています。平均点は「6.5点」となっています。
- 介護認定なしでは、「8点」が22.1%と最も高く、次いで「5点」が18.0%、「10点」が17.4%と続いています。平均点は「7.0点」となっています。



【属性別 平均点】

- 属性別で見ると、暮らしの経済的な状況で「ややゆとりがある・大変ゆとりがある」という場合は8.1点と比較的高く、次いで、生きがいの有無で「生きがいあり」の場合が7.4点、家族構成で「息子・娘との2世帯」の場合が7.3点、要介護度で「介護認定なし」の場合や暮らしの経済的な状況で「ふつう」という場合が7.2点などと続いています。

属性	平均点
全体 1,392人	6.9点
1-④ 年齢	
65~74歳 456人	7.0点
75~84歳 602人	6.8点
85歳~ 296人	6.9点
1-② 日常生活圏域	
いもくぼ圏域 462人	7.0点
きよはら圏域 465人	6.7点
なんがい圏域 433人	7.0点
1-③ 性別	
男性 573人	6.6点
女性 794人	7.1点
1-⑤ 要介護度	
要支援1 289人	6.4点
要支援2 212人	6.5点
介護認定なし 799人	7.2点
2-問1 家族構成	
1人暮らし 355人	6.3点
夫婦2人暮らし 594人	7.0点
息子・娘との2世帯 224人	7.3点
2-問2 暮らしの経済的な状況	
大変苦しい・やや苦しい 380人	5.9点
ふつう 887人	7.2点
ややゆとりがある・大変ゆとりがある 89人	8.1点

属性	平均点
2-問4 持ち家 1,053人	7.1点
お住まい 賃貸・貸家 300人	6.2点
5-問17 趣味あり 953人	7.1点
趣味 思いつかない 356人	6.2点
5-問18 生きがいあり 1,015人	7.4点
生きがい 思いつかない 352人	5.5点

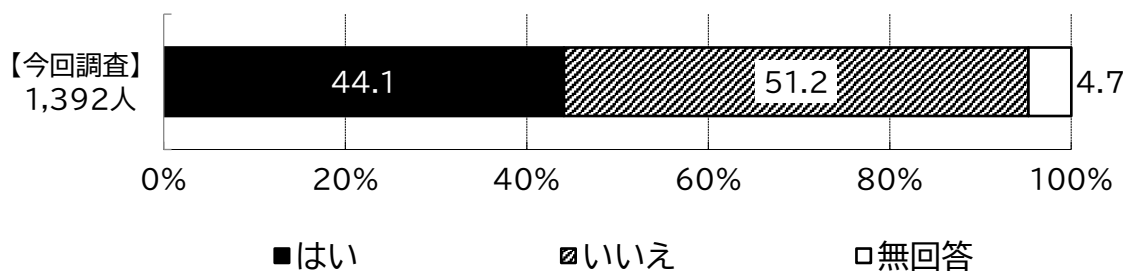
【誰かと会う頻度別 平均点】

- 誰かと会う頻度別で見ると、「ほとんどない(毎日、誰かと会ったり、会話をしている)」という場合は7.4点と比較的高い一方、「ほとんど毎日、誰とも顔を合わせない」という場合は5.1点と比較的低くなっています。

属性	平均点
7-問11 一日中、誰とも顔を合わせない(会わない)、誰とも話をしないという日が、どのくらいありますか。	
ほとんどない(毎日、誰かと会ったり、会話をしている) 809人	7.4点
週に1日程度ある 157人	6.3点
週に2~3日程度ある 211人	6.2点
週に4~5日程度ある 70人	6.3点
ほとんど毎日、誰とも顔を合わせない 56人	5.1点

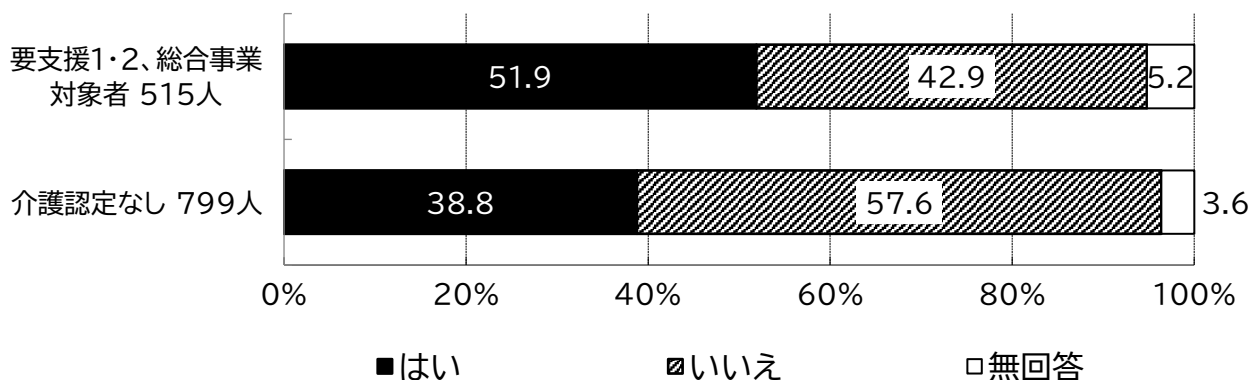
問3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

- 「いいえ」が51.2%、「はい」が44.1%となっています。



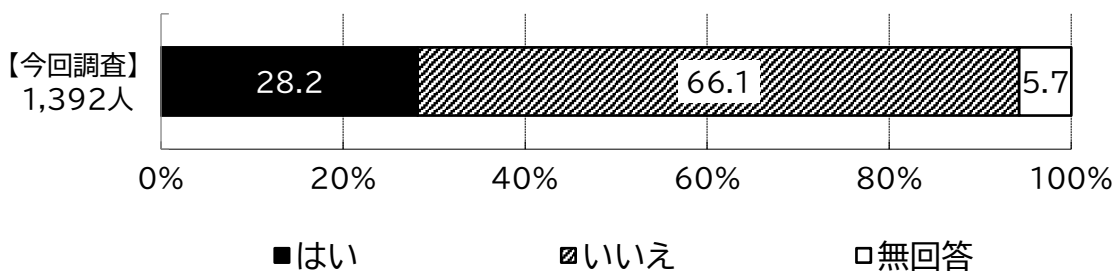
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「はい」が51.9%、「いいえ」が42.9%となっています。
- 介護認定なしでは、「いいえ」が57.6%、「はい」が38.8%となっています。



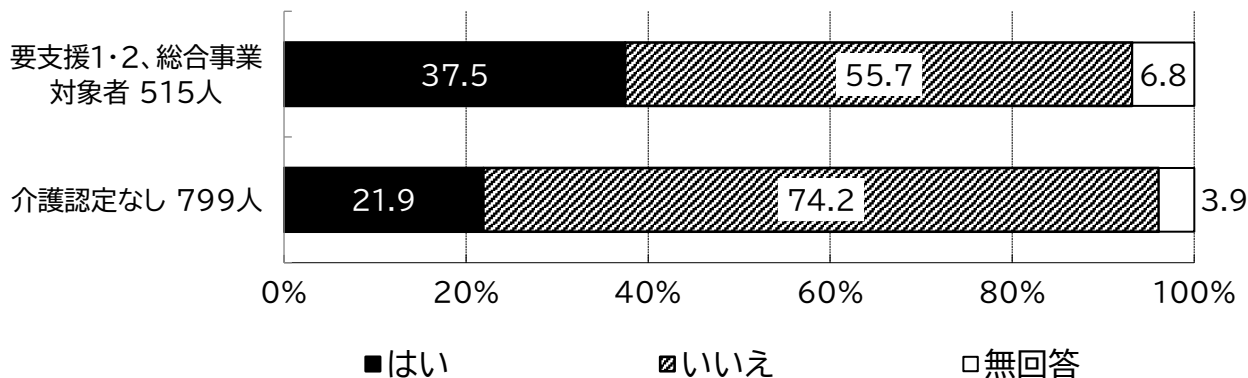
問4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。

- 「いいえ」が66.1%、「はい」が28.2%となっています。



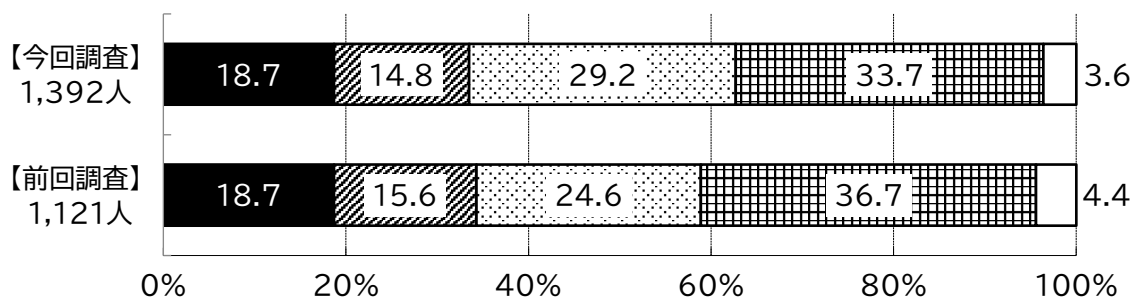
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「いいえ」が55.7%、「はい」が37.5%となっています。
- 介護認定なしでは、「いいえ」が74.2%、「はい」が21.9%となっています。



問5 お酒は飲みますか。

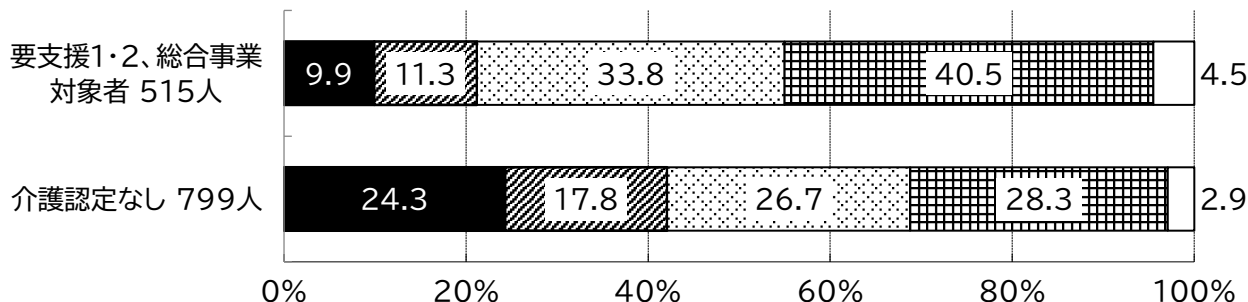
- 「もともと飲まない」が33.7%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」が29.2%、「ほぼ毎日飲む」が18.7%、「時々飲む」が14.8%と続いています。



■ほぼ毎日飲む ■時々飲む □ほとんど飲まない ■もともと飲まない □無回答

【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「もともと飲まない」が40.5%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」が33.8%、「時々飲む」が11.3%と続いています。
- 介護認定なしでは、「もともと飲まない」が28.3%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」が26.7%、「ほぼ毎日飲む」が24.3%と続いています。



■ほぼ毎日飲む ■時々飲む □ほとんど飲まない ■もともと飲まない □無回答

【性別】

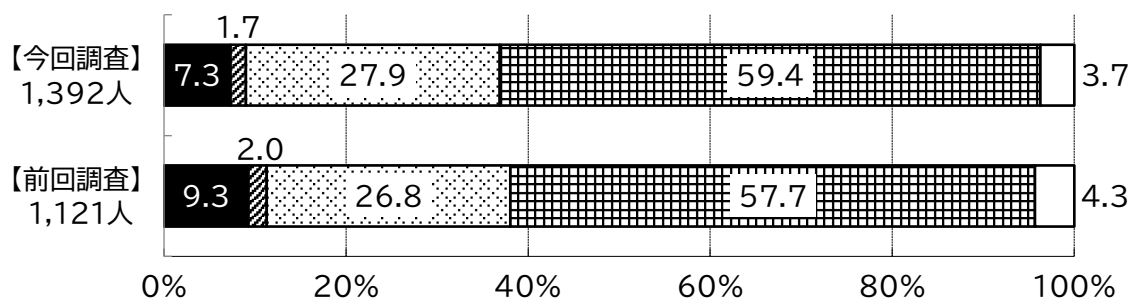
- 性別で見ると、男性は「ほぼ毎日飲む」が35.1%と最も高く、女性は「もともと飲まない」が46.1%と最も高くなっています。

(単位:%)

		ほぼ毎日 飲む	時々飲む	ほとんど 飲まない	もともと 飲まない	無回答
	全体 1,392人	18.7	14.8	29.2	33.7	3.6
1-③ 性別	男性 573人	35.1	16.8	27.1	16.8	4.2
	女性 794人	6.7	13.6	30.7	46.1	2.9

問6 タバコは吸っていますか。

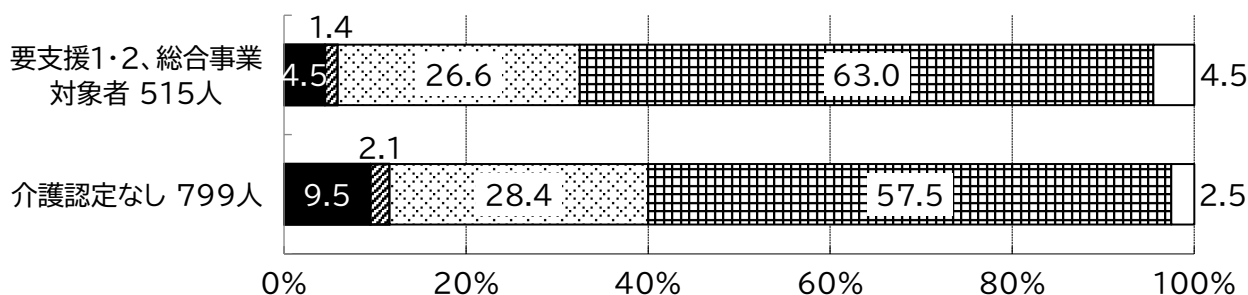
- 「もともと吸っていない」が 59.4%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が 27.9%、「ほぼ毎日吸っている」が 7.3%と続いています。



- ほぼ毎日吸っている
- ▨ 時々吸っている
- ▩ 吸っていたがやめた
- ▧ もともと吸っていない
- 無回答

【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「もともと吸っていない」が 63.0%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が 26.6%、「ほぼ毎日吸っている」が 4.5%と続いています。
- 介護認定なしでは、「もともと吸っていない」が 57.5%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が 28.4%、「ほぼ毎日吸っている」が 9.5%と続いています。



- ほぼ毎日吸っている
- ▨ 時々吸っている
- ▩ 吸っていたがやめた
- ▧ もともと吸っていない
- 無回答

【性別】

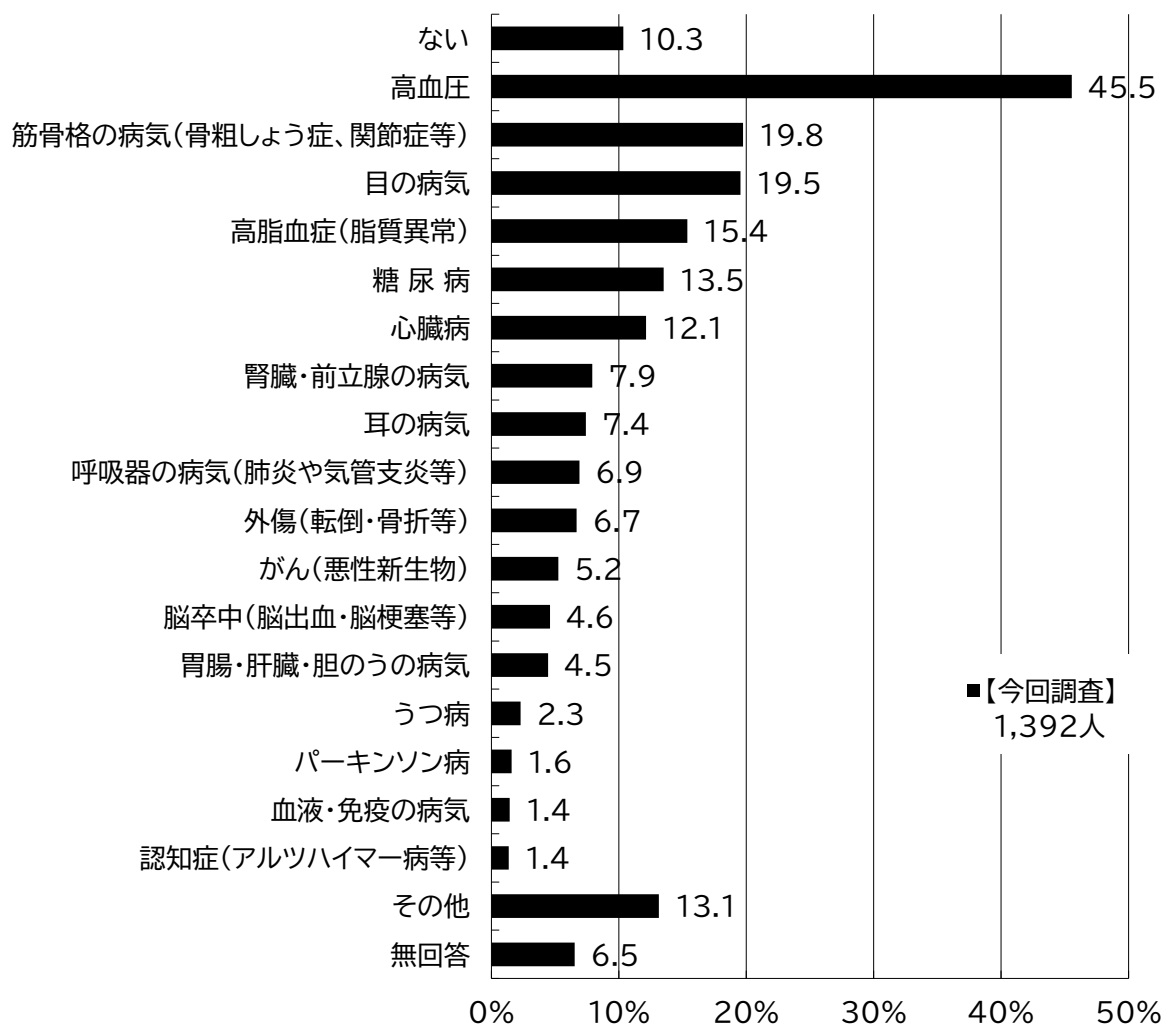
- 性別で見ると、男性は「吸っていたがやめた」が 53.4%と最も高く、「ほぼ毎日吸っている」は 13.3%となっています。女性は「もともと吸っていない」が 83.0%と最も高くなっています。

(単位:%)

		ほぼ毎日吸っている	時々吸っている	吸っていたがやめた	もともと吸っていない	無回答
	全体 1,392人	7.3	1.7	27.9	59.4	3.7
1-③ 性別	男性 573人	13.3	2.4	53.4	27.4	3.5
	女性 794人	3.1	1.1	9.4	83.0	3.4

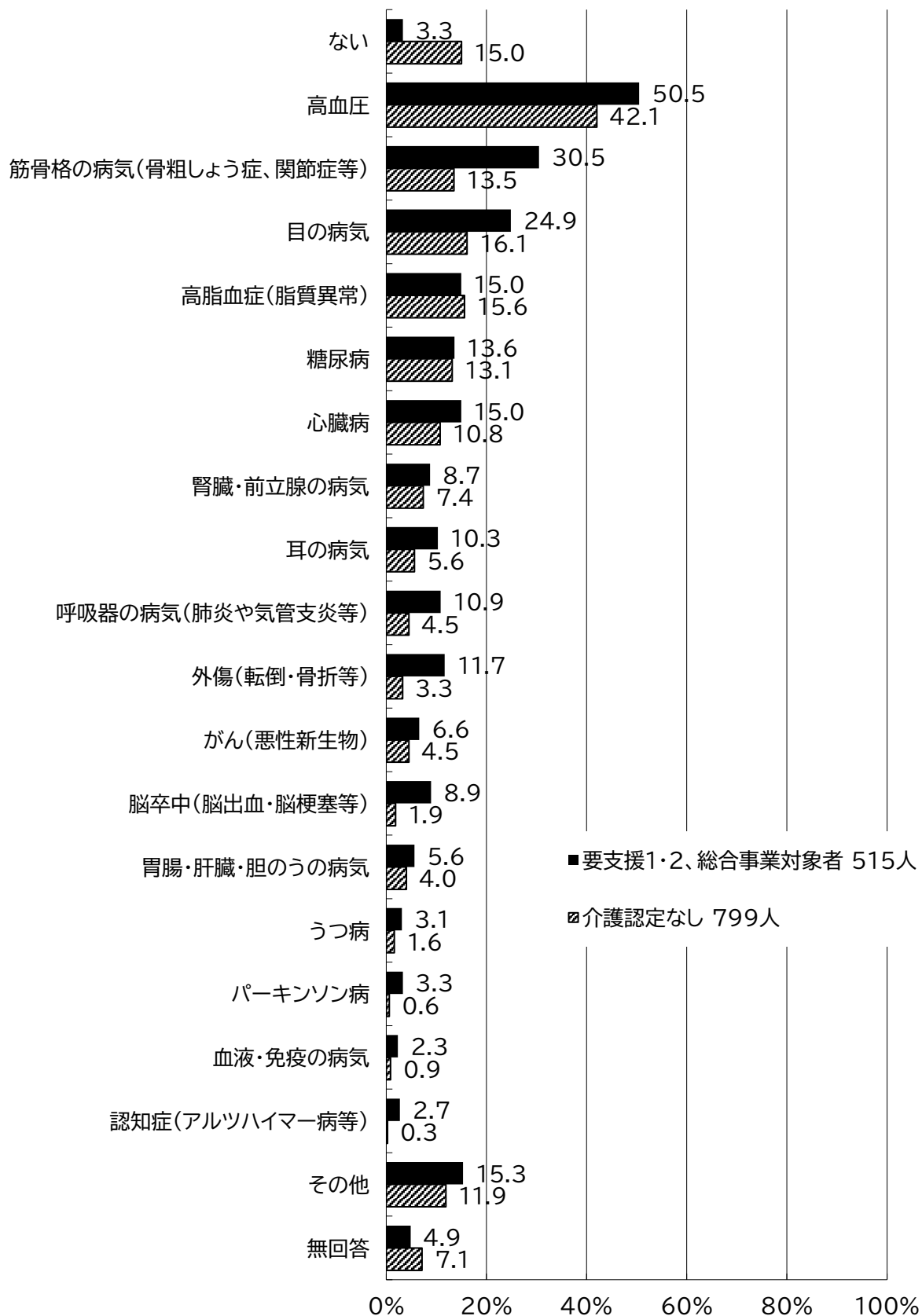
問7 現在治療中、又は後遺症のある病気はありますか。(いくつでも)

- 「高血圧」が 45.5%と最も高く、次いで「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」が 19.8%、「目の病気」が 19.5%と続いています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

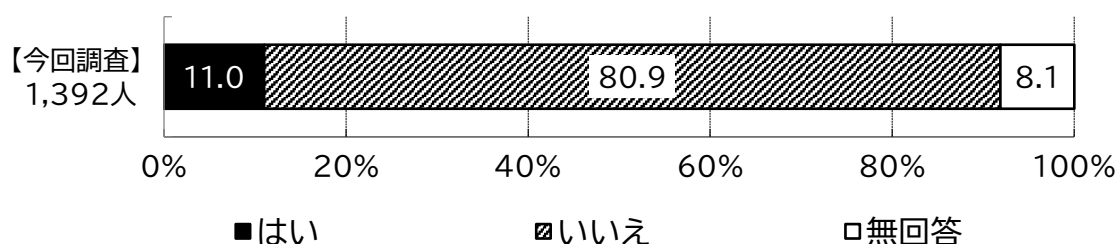
- 要支援1・2、総合事業対象者では、「高血圧」が 50.5%と最も高く、次いで「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」が 30.5%、「目の病気」が 24.9%と続いています。
- 介護認定なしでは、「高血圧」が 42.1%と最も高く、次いで「目の病気」が 16.1%、「高脂血症(脂質異常)」が 15.6%と続いています。



9 認知症にかかる相談窓口の把握について

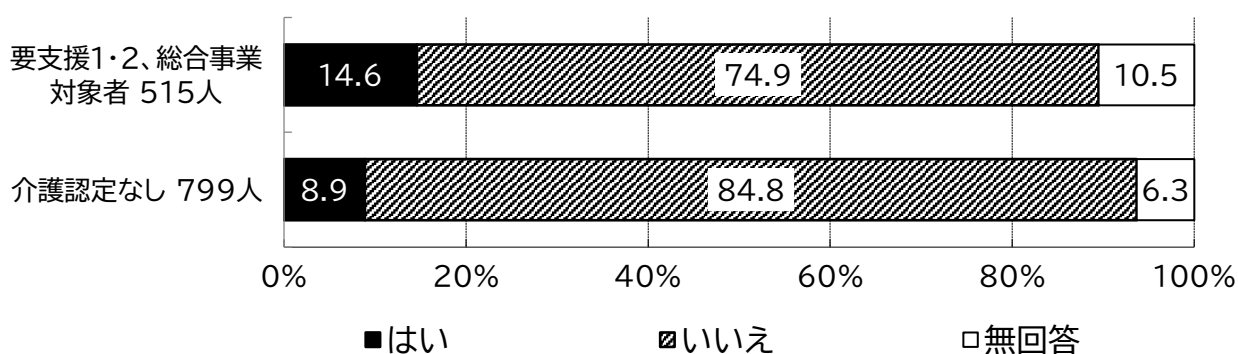
問1 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。

- 「いいえ」が80.9%、「はい」が11.0%となっています。



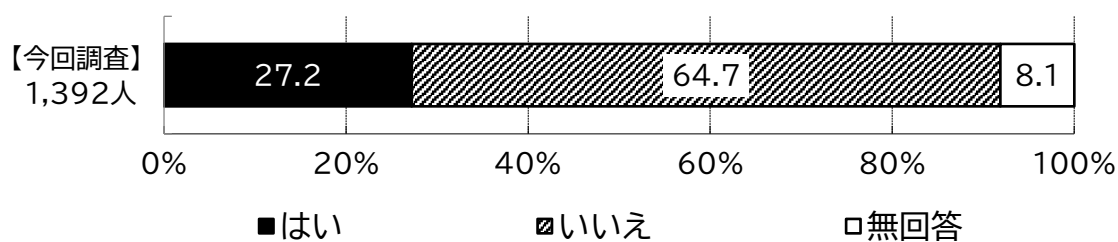
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「いいえ」が74.9%、「はい」が14.6%となっています。
- 介護認定なしでは、「いいえ」が84.8%、「はい」が8.9%となっています。



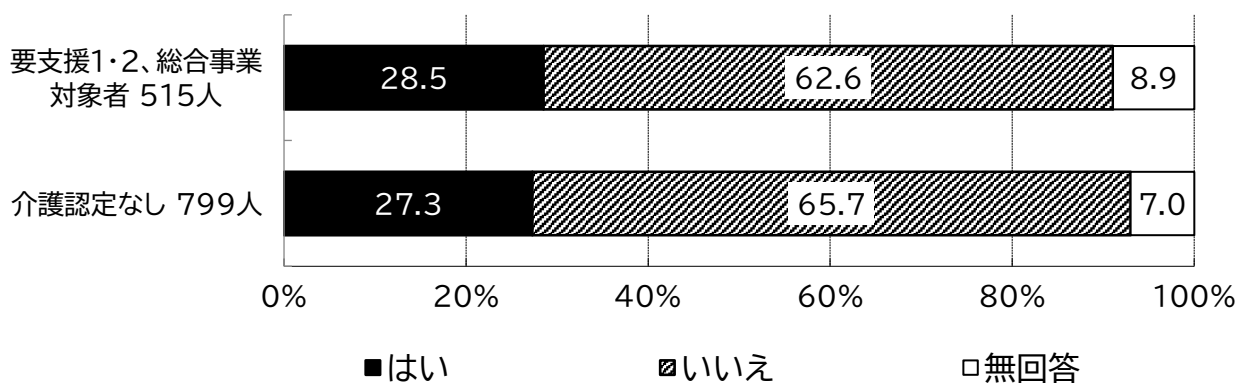
問2 認知症に関する相談窓口を知っていますか。

- 「いいえ」が64.7%、「はい」が27.2%となっています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「いいえ」が62.6%、「はい」が28.5%となっています。
- 介護認定なしでは、「いいえ」が65.7%、「はい」が27.3%となっています。



【家族(本人含む)に認知症の症状がある人の有無別】

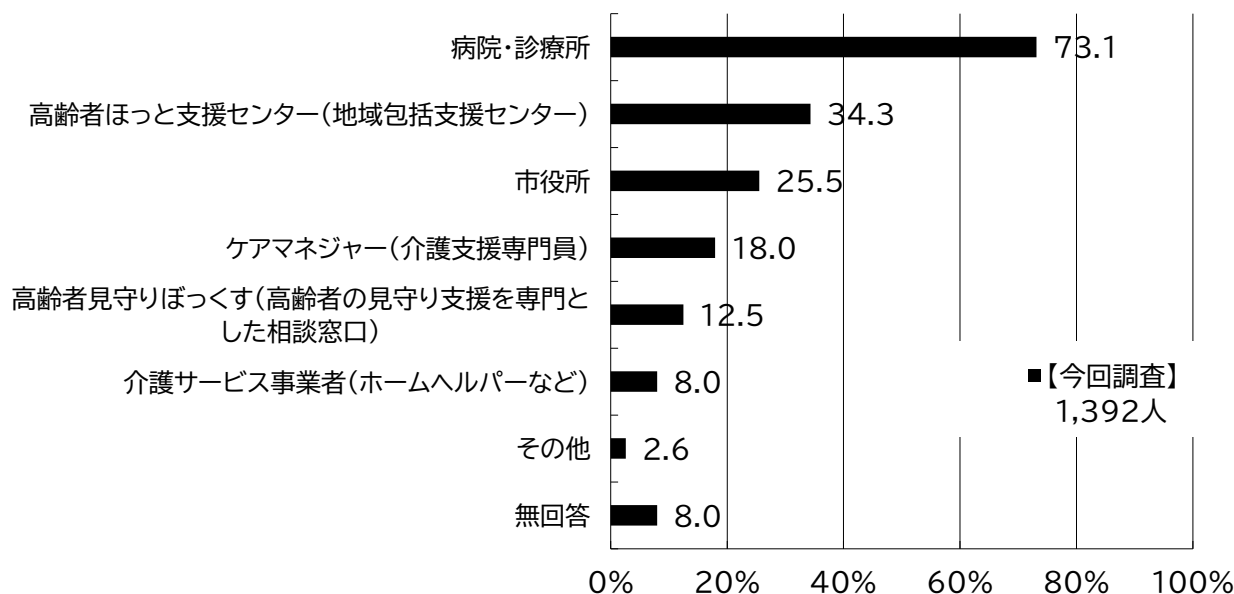
- 家族(本人含む)に認知症の症状がある人がいる場合は、「はい」が56.9%となっています。

(単位:%)

		はい	いいえ	無回答
	全体 1,392人	27.2	64.7	8.1
9-問1 家族に認知症の症状がある人の有無	はい 153人	56.9	41.8	1.3
	いいえ 1,126人	25.0	73.2	1.8

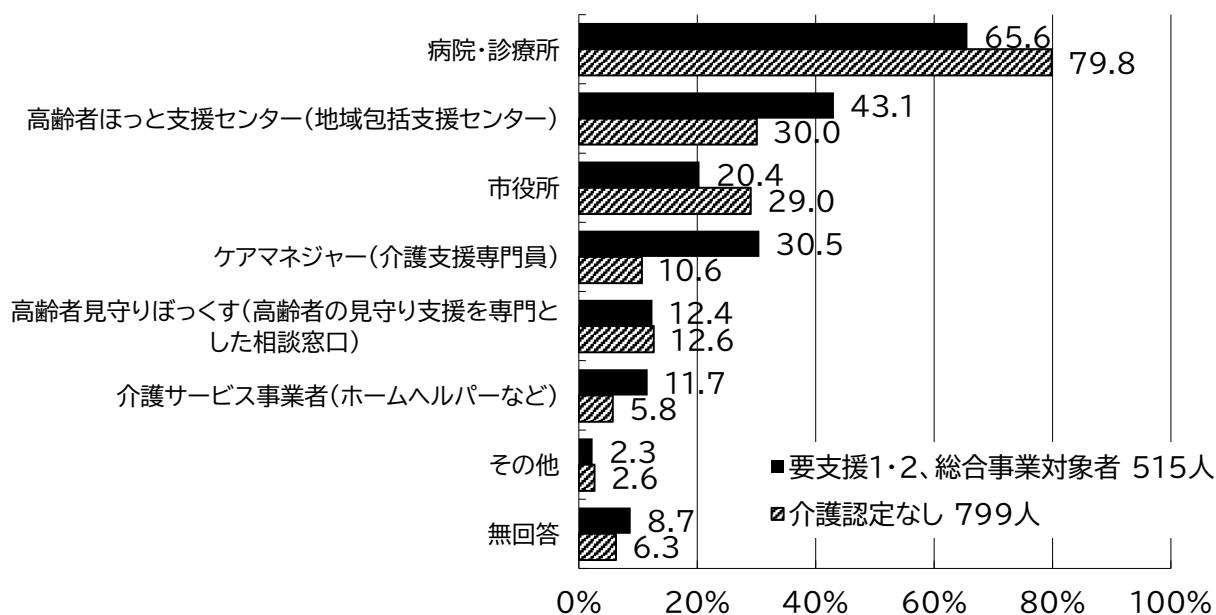
問3 あなたは、あなた自身あるいは身近な方に認知症の疑いがあるとき、どこに相談すると思いますか。

- 「病院・診療所」が73.1%と最も高く、次いで「高齢者ほっと支援センター(地域包括支援センター)」が34.3%、「市役所」が25.5%と続いています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「病院・診療所」が65.6%と最も高く、次いで「高齢者ほっと支援センター(地域包括支援センター)」が43.1%、「ケアマネジャー(介護支援専門員)」が30.5%と続いています。
- 介護認定なしでは、「病院・診療所」が79.8%と最も高く、次いで「高齢者ほっと支援センター(地域包括支援センター)」が30.0%、「市役所」が29.0%と続いています。



10 自由回答

意見要旨	件数
自身の心情や身の上、心がけていること、家族のことについて	58件
本アンケート調査への意見(結果の公表、有効活用、質問への不満、調査への感謝)	19件
生活全般への不安や生活支援の希望(ひとり暮らしや認知症になったときの不安、自宅の掃除、見守り等)	13件
市の福祉や介護サービス、支援(高齢者ほっと支援センター等)に対する感謝	11件
外出支援・移動支援の充実(免許返納後の支援の充実等)	10件
市役所窓口への不満(市役所及び法律相談で具体的なアドバイスがもらえなかった。電話で足りるようなことは市役所の窓口に出向かないでも済むようにしてほしい等)	6件
市の施策等の周知(介護や認知症等に関する相談窓口の周知等)	6件
健康づくりや介護予防への支援の充実(健康講座をもっと増やしてほしい。健康診断後の相談対応の充実。スポーツジムの割引。健康診断の実施項目を増やしてほしい等)	6件
親の介護の負担、老老介護による負担が大きい、支援が必要	5件
集まったり、おしゃべりしたりする場所づくり(近所にサロン等)	4件
介護保険制度全般、介護保険料、介護認定への不満	4件
市のボランティア活動や趣味等の活動に参加しやすくしてほしい(若い指導者の確保、民間施設の活用等)	2件
認知症の検査を希望	2件
経済的な支援	2件
歩道の整備	2件
医療全般、在宅医療の充実	2件
安価で利用できる入所施設を希望	1件
アンケート調査以外の方法での実態把握が必要	1件
新聞や本が静かに読めるホットした場所がほしい	1件
クラブ活動の場所の確保	1件
仕事の紹介	1件
自身が入院したときに、高齢の配偶者を一時的に預けられる場所を希望	1件
シニア割引を増やしてほしい	1件
周囲の環境、隣近所への不満	1件
他地域の高齢者ほっと支援センターを利用したい	1件
地域の状況(ひとり暮らし、認知症の方のいる世帯等)の把握	1件
聴力障害があることを他人に知ってもらう方法を教えてほしい	1件
ちょこバスの廃止	1件
文化的な施設の整備	1件
みんなの家に対する不満	1件
音楽に限らず、広い場所が必要な物作り等々、公共施設を利用したい	1件
近くの公園等でのラジオ体操等の情報や近隣のサークル活動等の情報を教えてほしい	1件
個別対応の施策を充実させてほしい	1件
後期高齢者医療2割負担反対	1件
高齢者が元気に暮らせるまちづくりを希望	1件
高齢者が自由に参加できるクラブのPR	1件
災害時の避難行動要支援者対策の充実	1件
市の貸農園を継続拡充	1件
市主催のカルチャーセンター(魅力のある)が増えてほしい	1件

11 生活機能評価等について

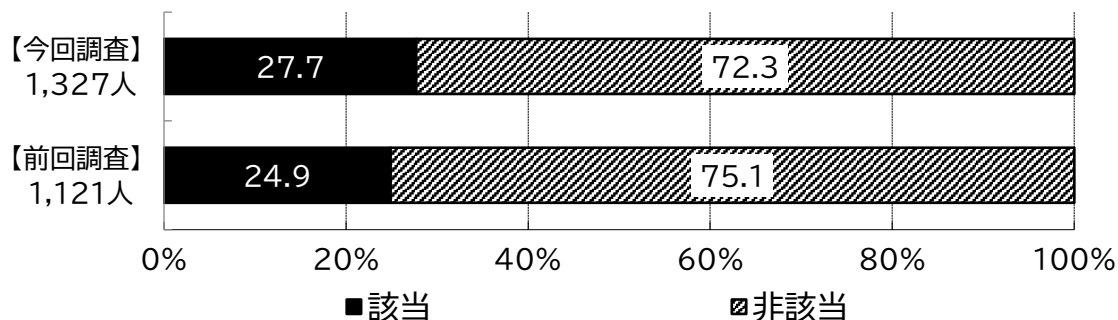
- 本調査の設問項目は、「老研式活動能力指標」など、高齢者の生活機能等の状況を判定する項目を盛り込んでいます。これらの指標をもとに、生活機能等の分析を行います。

(1)生活機能評価

評価項目		設問項目	回答				判定基準		
①運動器機能低下		3-問1 階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。	できるし、している	できるけれどしていない	できない	/	3項目以上が該当		
			非該当		該当				
		3-問2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	できるし、している	できるけれどしていない	できない				
			非該当		該当				
		3-問3 15分位続けて歩いていますか。	できるし、している	できるけれどしていない	できない				
非該当			該当						
3-問4 過去1年間に転んだ経験がありますか。	何度もある	1度ある	ない	/	3項目以上が該当				
	該当		非該当						
3-問5 転倒に対する不安は大きいですか。	とても不安である	やや不安である	あまり不安でない	不安でない	/	3項目以上が該当			
	該当		非該当						
②転倒リスク	3-問4(再掲)	過去1年間に転んだ経験がありますか。	何度もある	1度ある	ない	/	該当		
			該当		非該当				
③閉じこもり傾向	3-問6	週に1回以上は外出していますか。	ほとんど外出しない	週1回	週2~4回	週5回以上	/	該当	
			該当		非該当				
④低栄養状態	4-問1	BMI=体重(kg)÷(身長(m)×身長(m))	18.5未満	/			2項目ともに該当		
			該当						
4-問8	6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか。	はい	いいえ	/			2項目ともに該当		
		該当	非該当						
⑤咀嚼機能低下	⑧口腔機能低下	4-問2	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	はい	いいえ	/			2項目以上が該当
			該当	非該当					
⑥嚥下機能低下	4-問3	お茶や汁物等でむせることがありますか。	はい	いいえ	/			2項目以上が該当	
			該当	非該当					
⑦肺炎リスク	4-問4	口の渇きが気になりますか。	はい	いいえ	/			2項目以上が該当	
			該当	非該当					
⑨認知機能低下	5-問1	物忘れが多いと感じますか。	はい	いいえ	/			該当	
			該当	非該当					
⑩うつ傾向	8-問3	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	はい	いいえ	/			1項目以上が該当	
			該当	非該当					
	8-問4	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	はい	いいえ	/				
			該当	非該当					

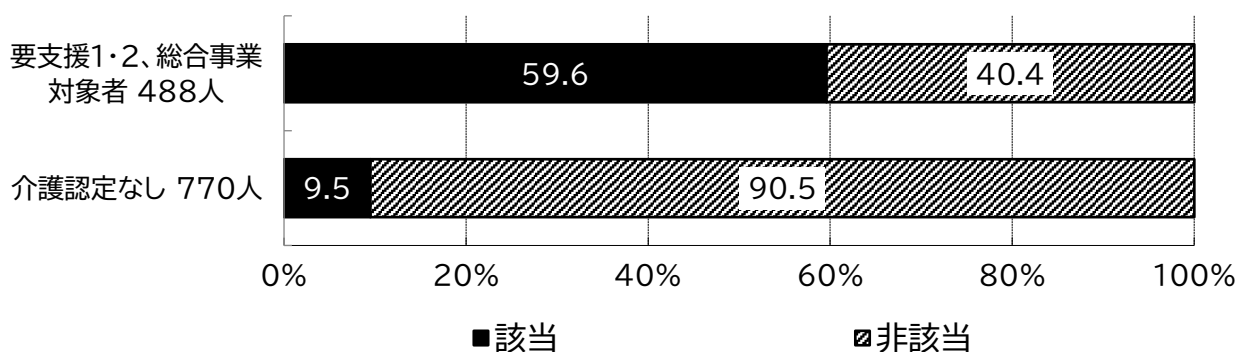
①運動器機能低下

- 「該当」が27.7%、「非該当」が72.3%となっています。



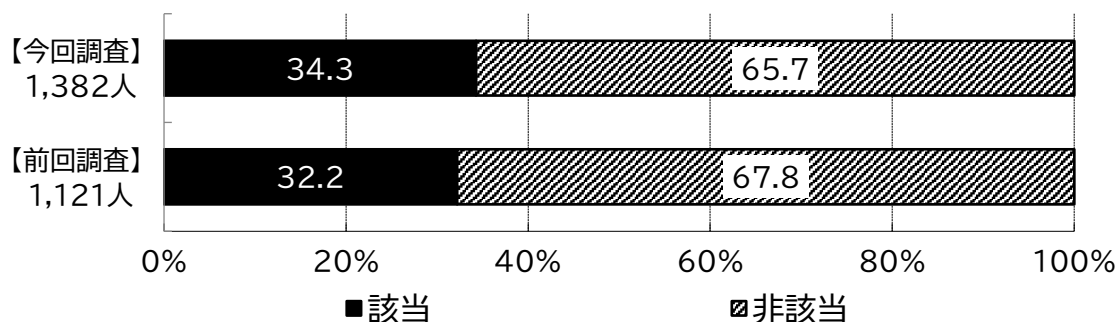
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「該当」が59.6%、「非該当」が40.4%となっています。
- 介護認定なしでは、「該当」が9.5%、「非該当」が90.5%となっています。



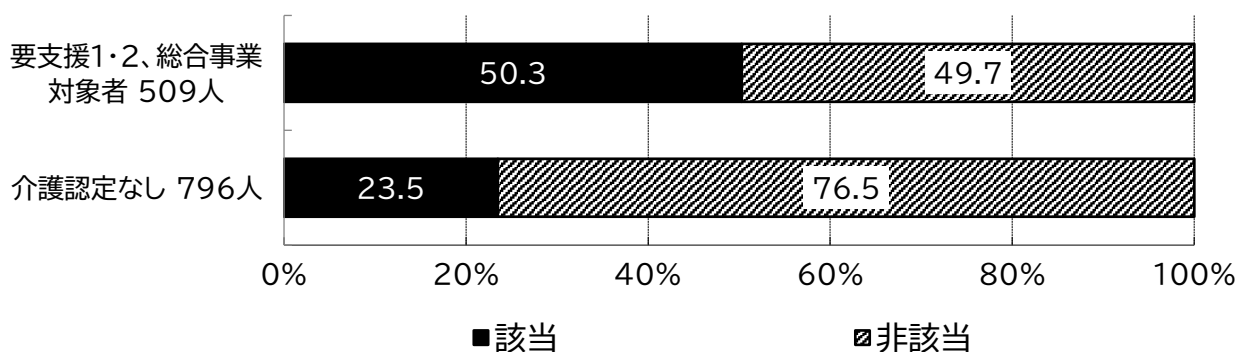
②転倒リスク

- 「該当」が34.3%、「非該当」が65.7%となっています。



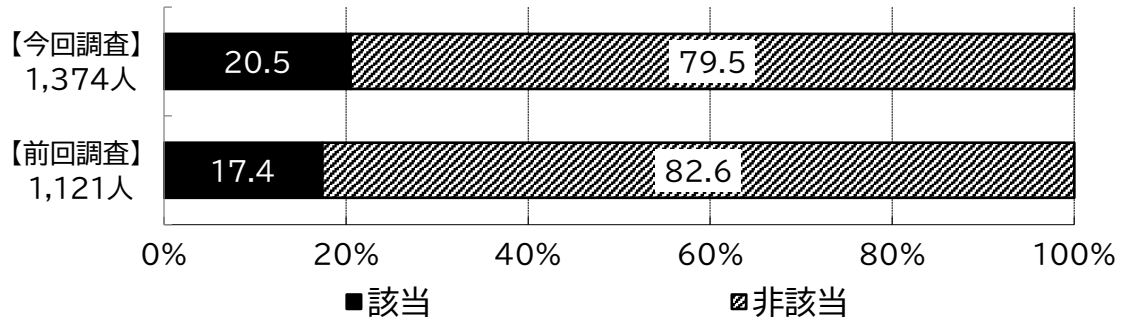
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「該当」が50.3%、「非該当」が49.7%となっています。
- 介護認定なしでは、「該当」が23.5%、「非該当」が76.5%となっています。



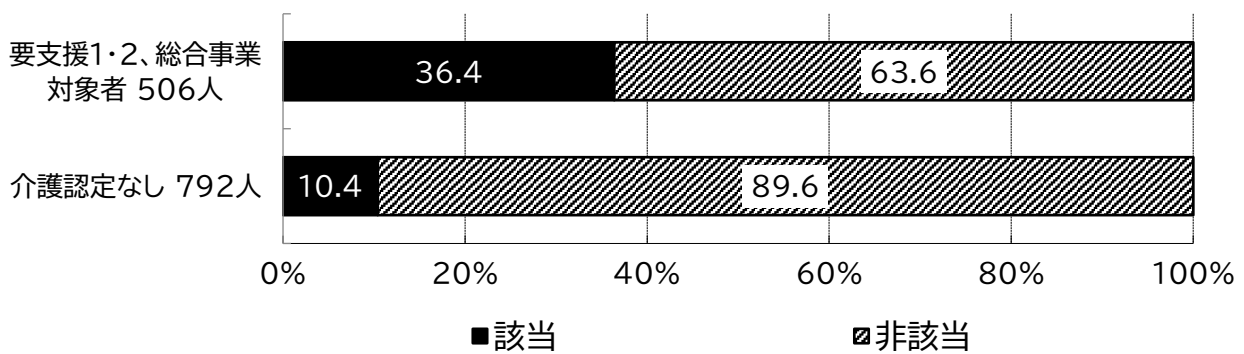
③閉じこもり傾向

- 「該当」が20.5%、「非該当」が79.5%となっています。



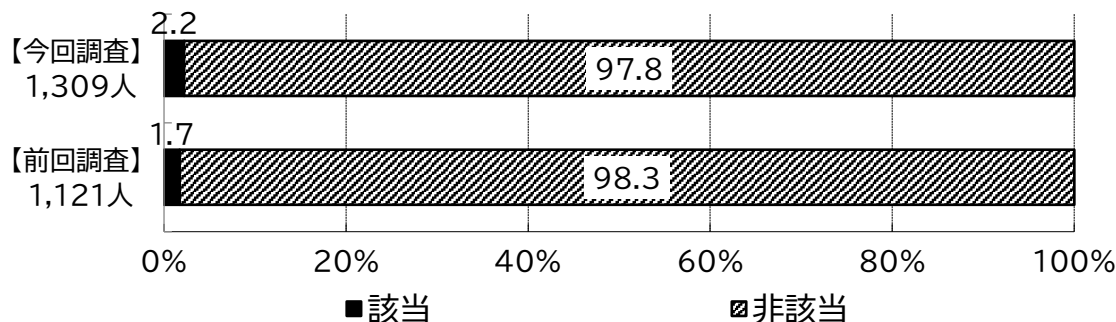
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「該当」が36.4%、「非該当」が63.6%となっています。
- 介護認定なしでは、「該当」が10.4%、「非該当」が89.6%となっています。



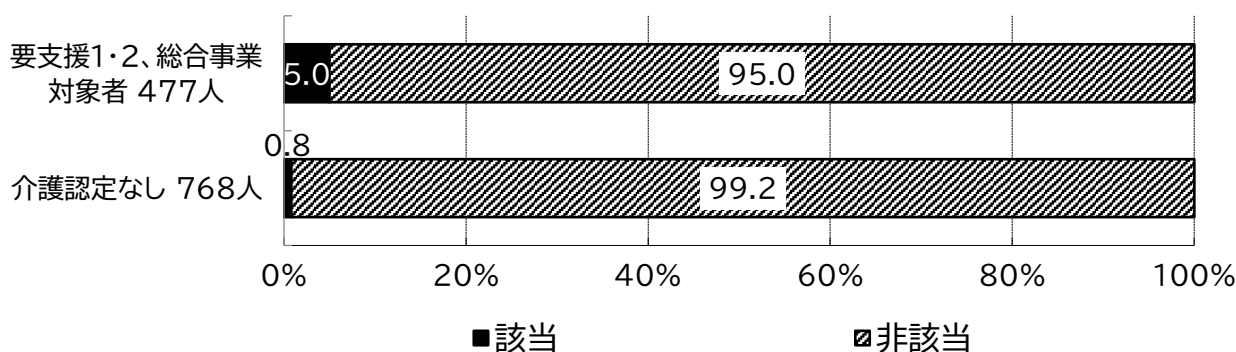
④低栄養状態

- 「該当」が2.2%、「非該当」が97.8%となっています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「該当」が5.0%、「非該当」が95.0%となっています。
- 介護認定なしでは、「該当」が0.8%、「非該当」が99.2%となっています。



【咀嚼の状況別】

- かめない食べ物が多いという場合は、「該当」が8.6%と比較的高くなっています。

(単位:%)

		該当	非該当
	全体 1,309人	2.4	97.6
4-問7 何でもよくかんで食べられますか。	何でもかんで食べることができる 853人	1.5	98.5
	一部かめない食べ物がある 385人	2.9	97.1
	かめない食べ物が多い 58人	8.6	91.4
	かんで食べることはできない 5人	20.0	80.0

【共食、孤食の状況別】

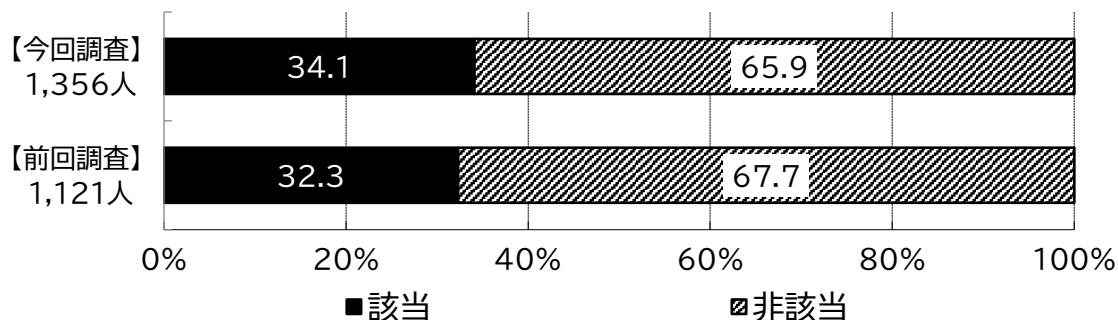
- どなたかと食事をともにする機会が“ほとんどない”という場合は、「該当」が6.1%と比較的高くなっています。

(単位:%)

		該当	非該当
	全体 1,309人	2.4	97.6
4-問9 どなたかと食事をともにする機会がありますか。	毎日ある 663人	1.5	98.5
	週に何度かある 115人	2.6	97.4
	月に何度かある 249人	1.6	98.4
	年に何度かある 135人	3.7	96.3
	ほとんどない 132人	6.1	93.9

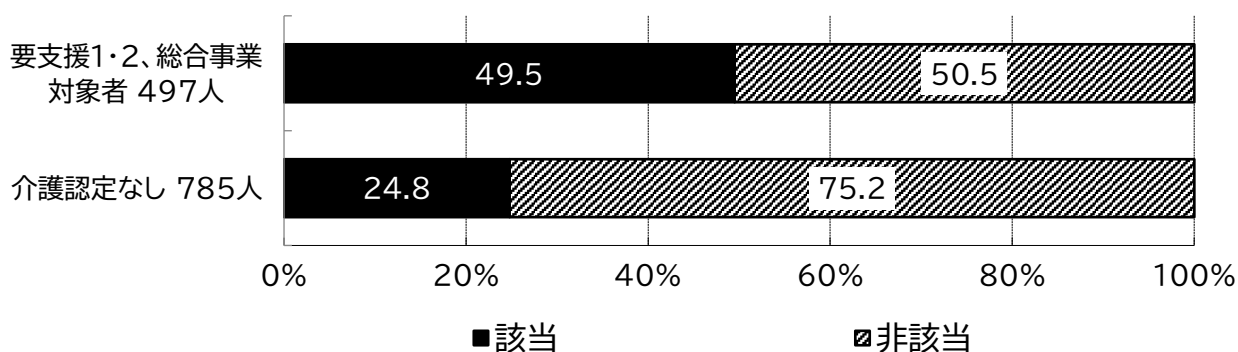
⑤咀嚼機能低下

- 「該当」が34.1%、「非該当」が65.9%となっています。



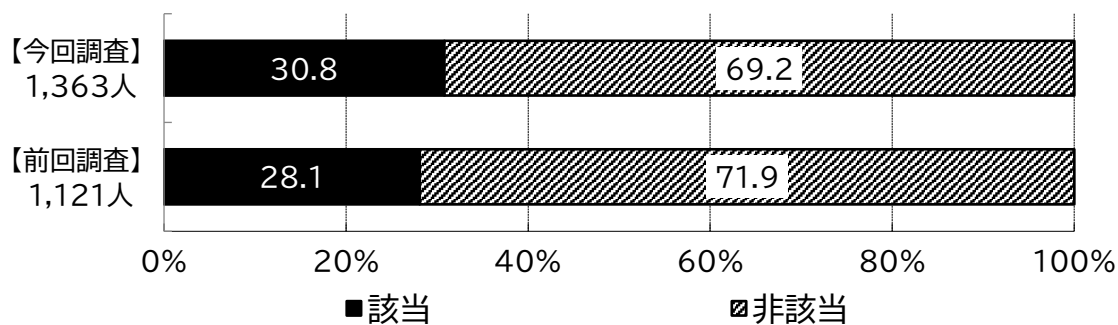
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「該当」が49.5%、「非該当」が50.5%となっています。
- 介護認定なしでは、「該当」が24.8%、「非該当」が75.2%となっています。



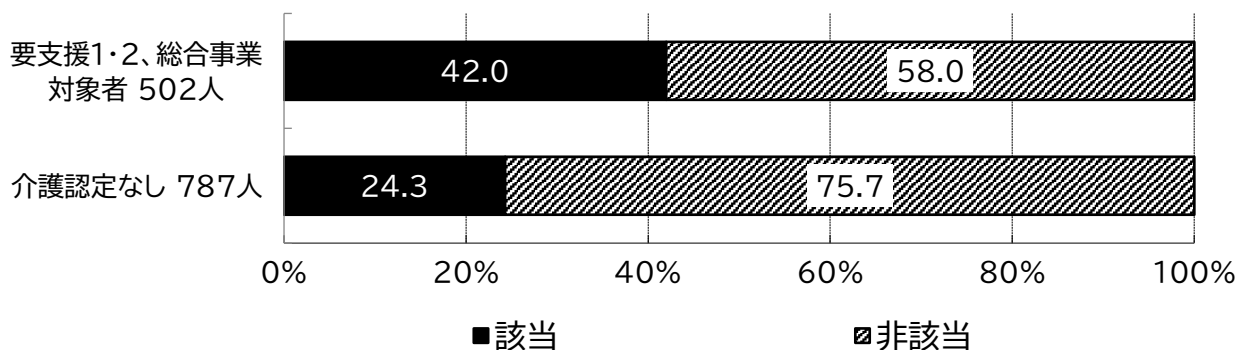
⑥嚥下機能低下

- 「該当」が30.8%、「非該当」が69.2%となっています。



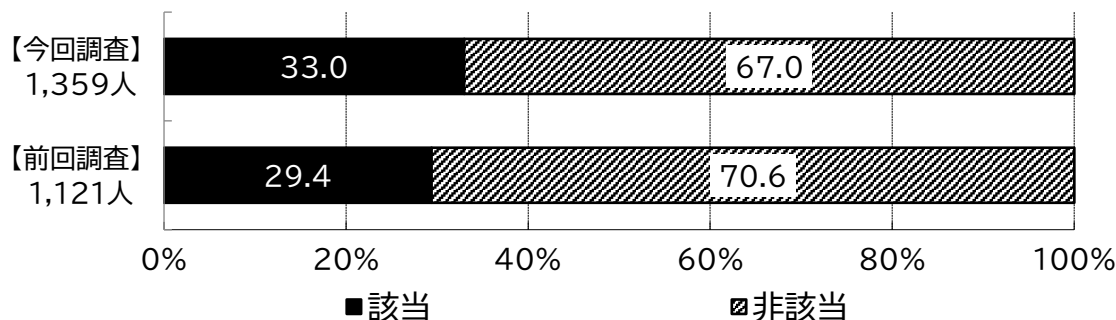
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「該当」が42.0%、「非該当」が58.0%となっています。
- 介護認定なしでは、「該当」が24.3%、「非該当」が75.7%となっています。



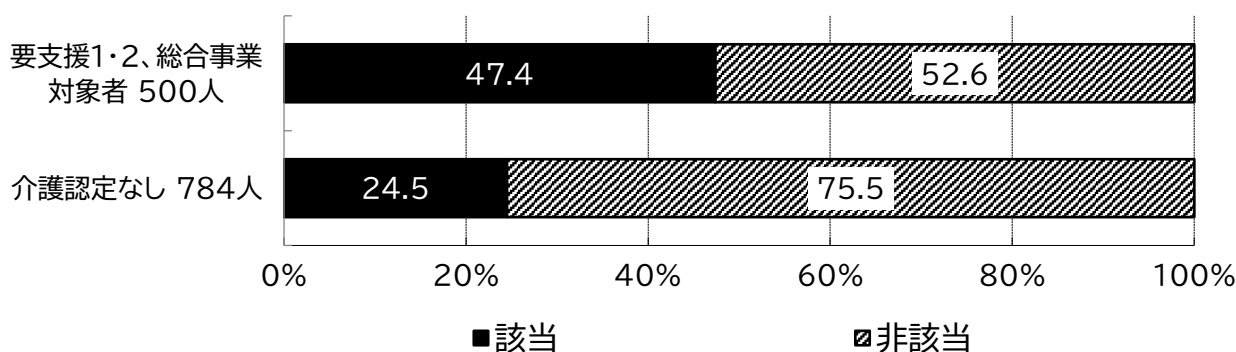
⑦肺炎リスク

- 「該当」が33.0%、「非該当」が67.0%となっています。



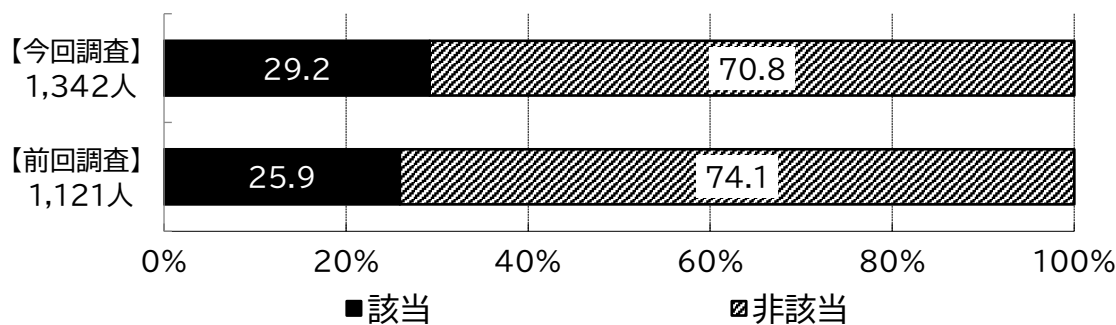
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「該当」が47.4%、「非該当」が52.6%となっています。
- 介護認定なしでは、「該当」が24.5%、「非該当」が75.5%となっています。



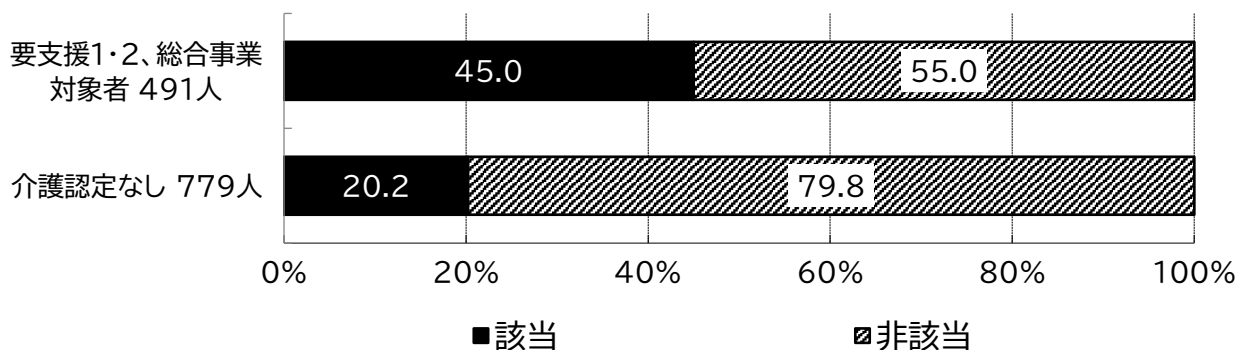
⑧口腔機能低下

- 「該当」が29.2%、「非該当」が70.8%となっています。



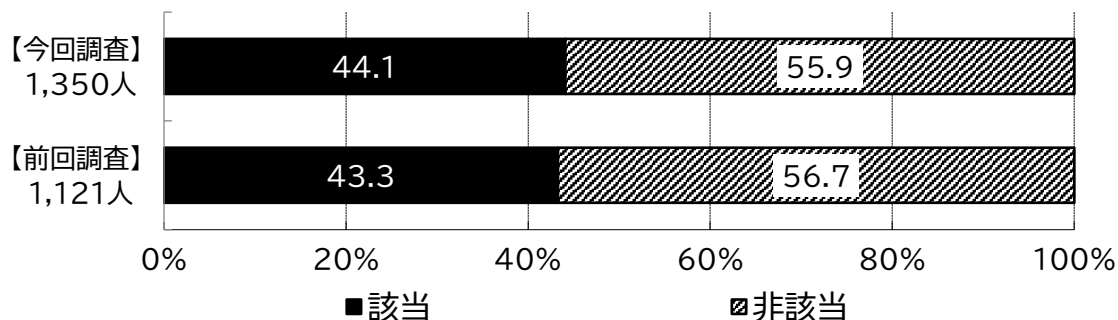
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「該当」が45.0%、「非該当」が55.0%となっています。
- 介護認定なしでは、「該当」が20.2%、「非該当」が79.8%となっています。



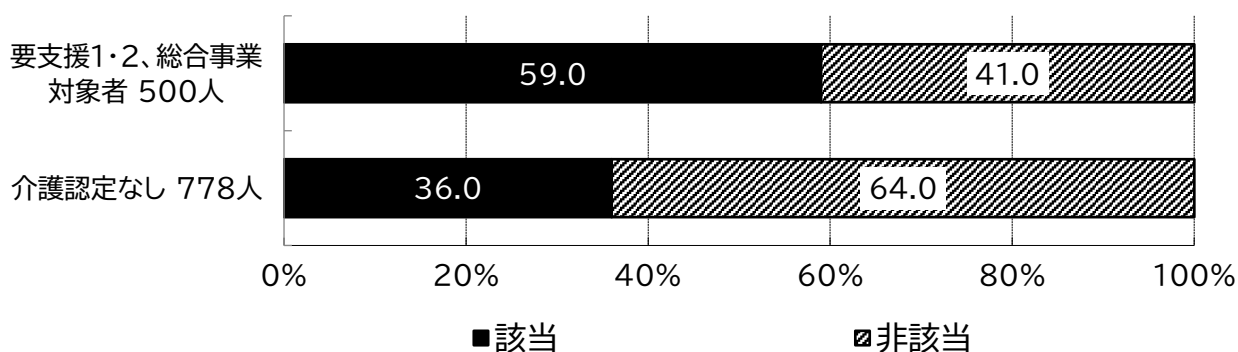
⑨認知機能低下

- 「該当」が44.1%、「非該当」が55.9%となっています。



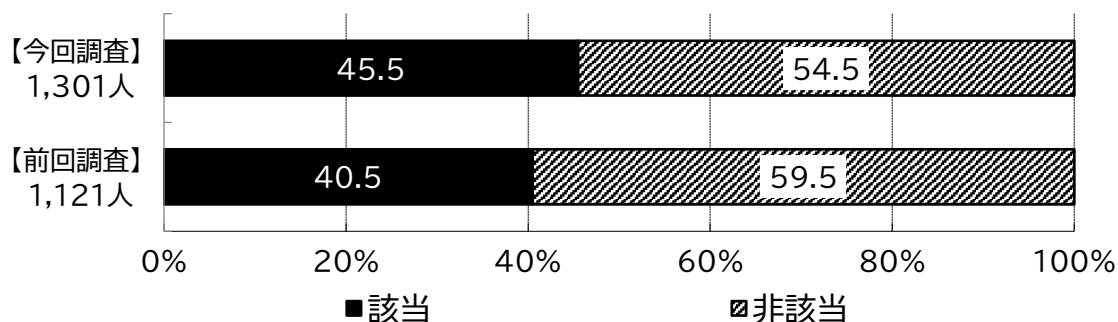
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「該当」が59.0%、「非該当」が41.0%となっています。
- 介護認定なしでは、「該当」が36.0%、「非該当」が64.0%となっています。



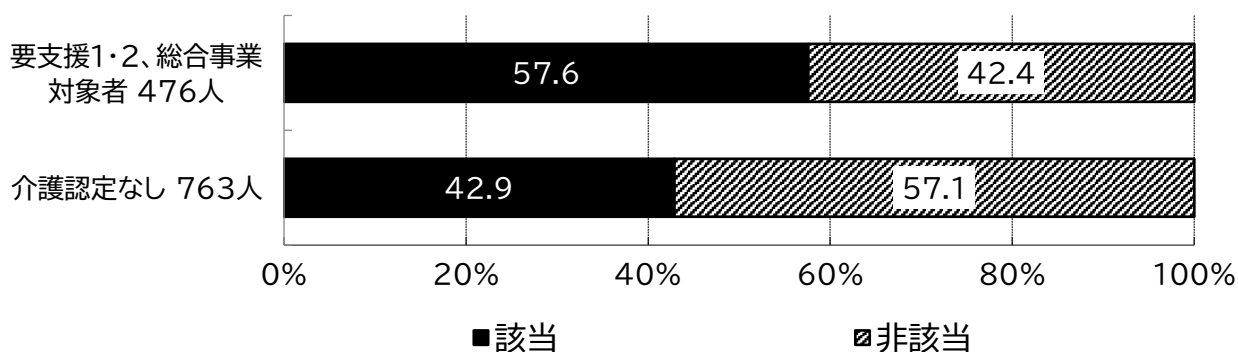
⑩うつ傾向

- 「該当」が45.5%、「非該当」が54.5%となっています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「該当」が57.6%、「非該当」が42.4%となっています。
- 介護認定なしでは、「該当」が42.9%、「非該当」が57.1%となっています。



(2)老研式活動能力指標による評価

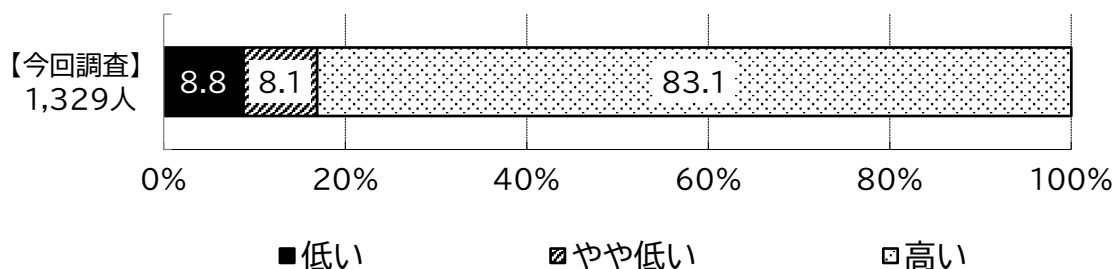
評価項目		設問項目		回答と点数						
①手段的自立評価	④活動能力指数評価	5-問4	バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)	できるし、している	1点	できるけどしていない	1点	できない	0点	
		5-問5	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	できるし、している	1点	できるけどしていない	1点	できない	0点	
		5-問6	自分で食事の用意をしていますか。	できるし、している	1点	できるけどしていない	1点	できない	0点	
		5-問7	自分で請求書の支払いをしていますか。	できるし、している	1点	できるけどしていない	1点	できない	0点	
		5-問8	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	できるし、している	1点	できるけどしていない	1点	できない	0点	
②知的能動性評価		5-問9	年金などの書類(市役所や病院などに出す書類)が書けますか。	はい	1点	いいえ	0点			
		5-問10	新聞を読んでいますか。	はい	1点	いいえ	0点			
		5-問11	本や雑誌を読んでいますか。	はい	1点	いいえ	0点			
		5-問12	健康についての記事や番組に関心がありますか。	はい	1点	いいえ	0点			
③社会的役割評価		5-問13	友人の家を訪ねていますか。	はい	1点	いいえ	0点			
		5-問14	家族や友人の相談にのっていますか。	はい	1点	いいえ	0点			
		5-問15	病人を見舞うことができますか。	はい	1点	いいえ	0点			
		5-問16	若い人に自分から話しかけることがありますか。	はい	1点	いいえ	0点			

判定基準

評価項目	低い	やや低い	高い
①手段的自立評価	3点以下	4点	5点
②知的能動性評価	2点以下	3点	4点
③社会的役割評価	2点以下	3点	4点
④活動能力指数評価	8点以下	9~10点	11~13点

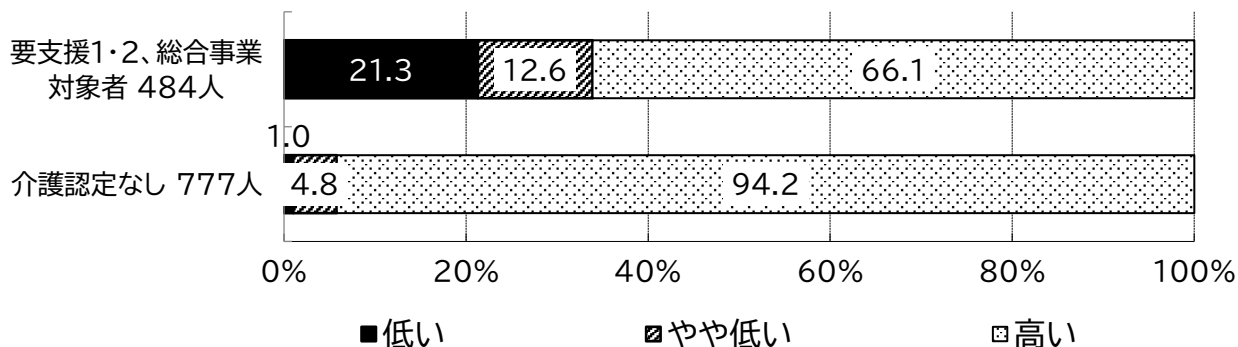
①手段的自立評価

- 「低い」が8.8%、「やや低い」が8.1%、「高い」が83.1%となっています。



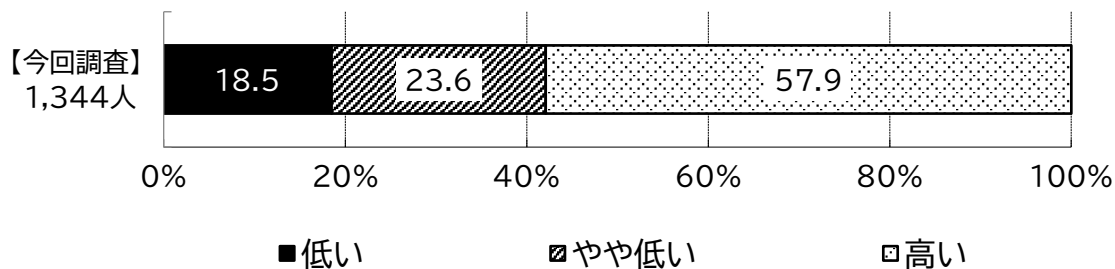
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「低い」が21.3%、「やや低い」が12.6%、「高い」が66.1%となっています。
- 介護認定なしでは、「低い」が1.0%、「やや低い」が4.8%、「高い」が94.2%となっています。



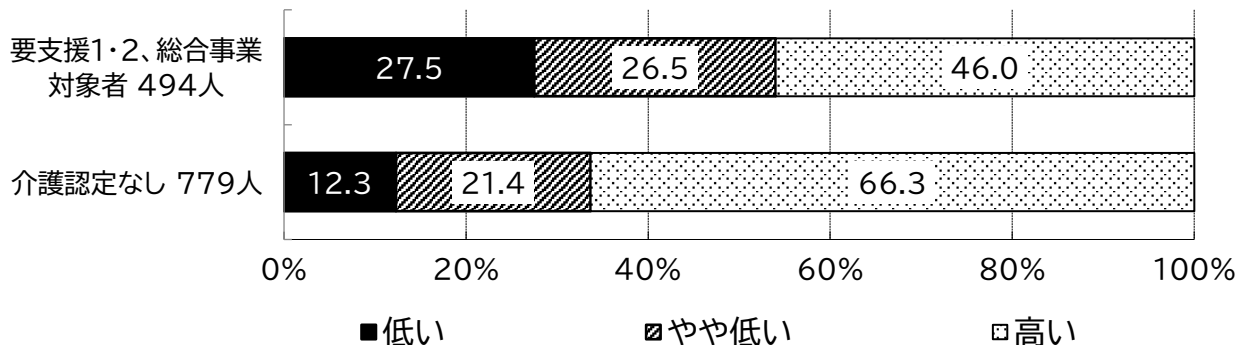
②知的能動性評価

- 「低い」が18.5%、「やや低い」が23.6%、「高い」が57.9%となっています。



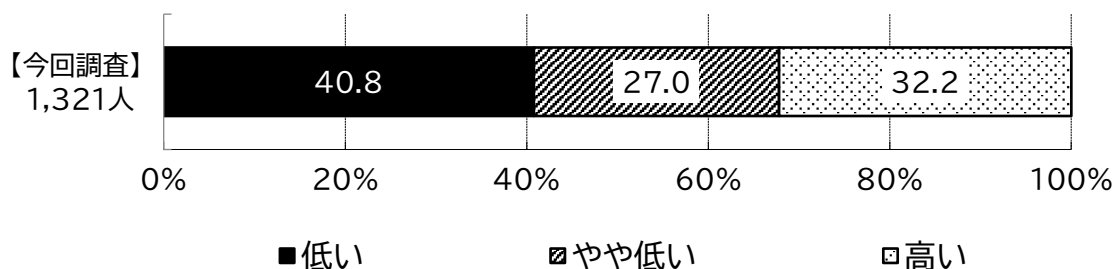
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「低い」が27.5%、「やや低い」が26.5%、「高い」が46.0%となっています。
- 介護認定なしでは、「低い」が12.3%、「やや低い」が21.4%、「高い」が66.3%となっています。



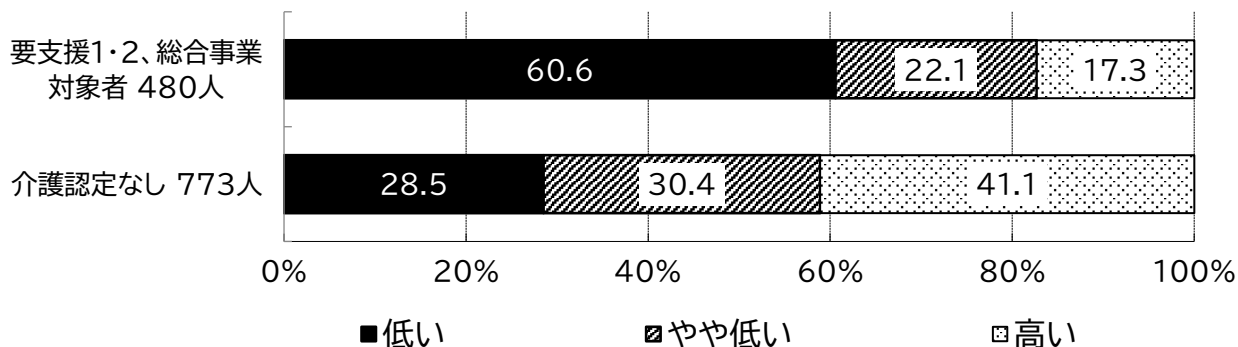
③社会的役割評価

- 「低い」が40.8%、「やや低い」が27.0%、「高い」が32.2%となっています。



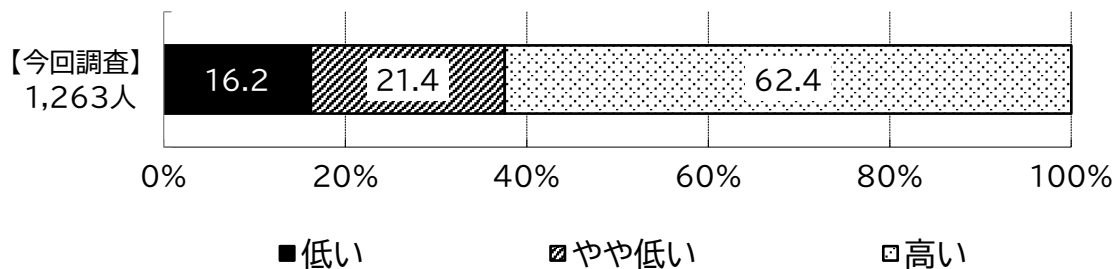
【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「低い」が60.6%、「やや低い」が22.1%、「高い」が17.3%となっています。
- 介護認定なしでは、「低い」が28.5%、「やや低い」が30.4%、「高い」が41.1%となっています。



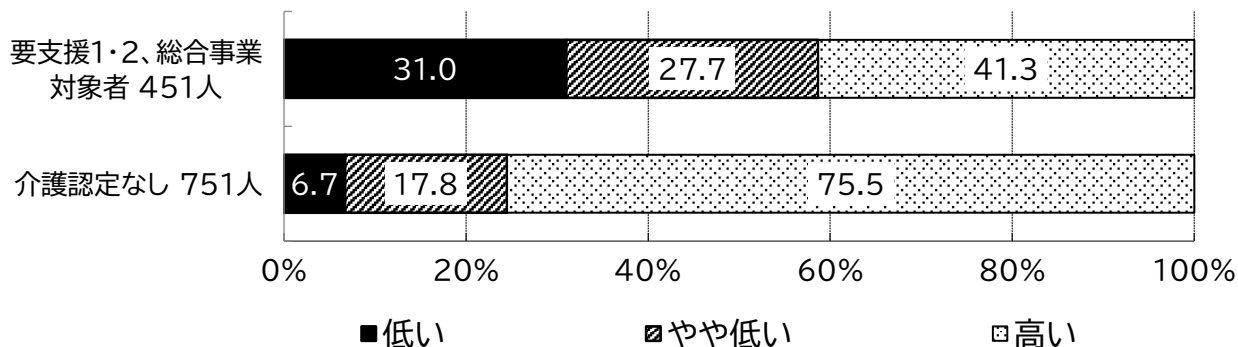
④活動能力指数評価

- 「低い」が16.2%、「やや低い」が21.4%、「高い」が62.4%となっています。



【1-⑤ 現在の要介護度別】

- 要支援1・2、総合事業対象者では、「低い」が31.0%、「やや低い」が27.7%、「高い」が41.3%となっています。
- 介護認定なしでは、「低い」が6.7%、「やや低い」が17.8%、「高い」が75.5%となっています。



第3章

介護保険事業計画準備調査

集計結果

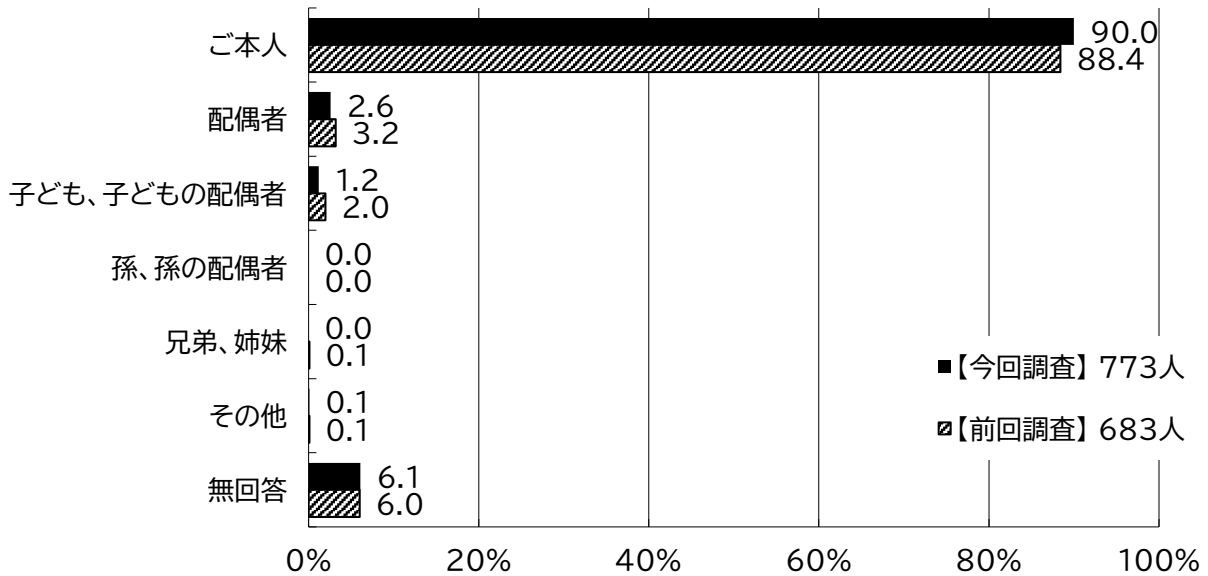
【調査の対象者】

介護保険被保険者(65歳以上の方)のうち、要介護・要支援認定を受けていない方

記入者について

問1 この調査票をご記入されるのは、どなたですか。(○は1つ)

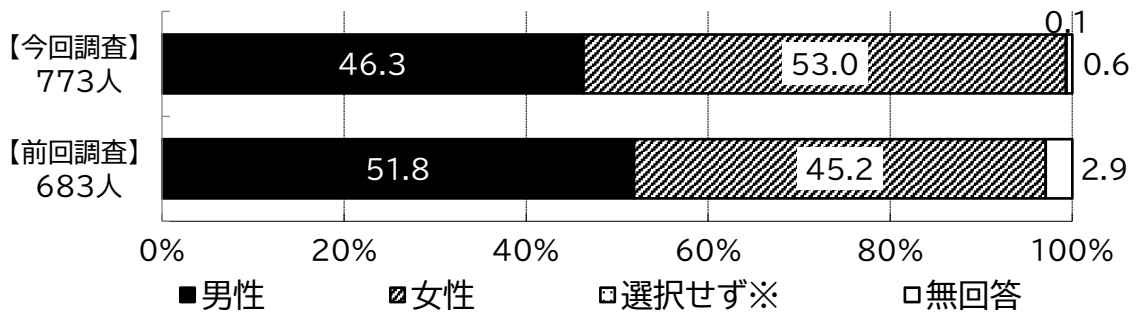
- 「ご本人」が90.0%と最も高く、次いで「配偶者」が2.6%、「子ども、子どもの配偶者」が1.2%と続いています。



1 ご本人について

問2 令和元年12月1日現在のあなたの性別と満年齢をお教えてください。

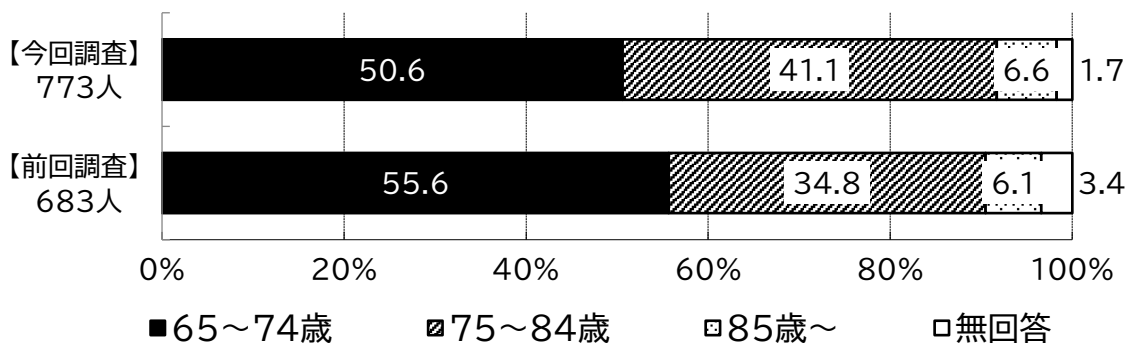
- 「女性」が53.0%、「男性」が46.3%となっています。



※は【前回】には選択肢なし

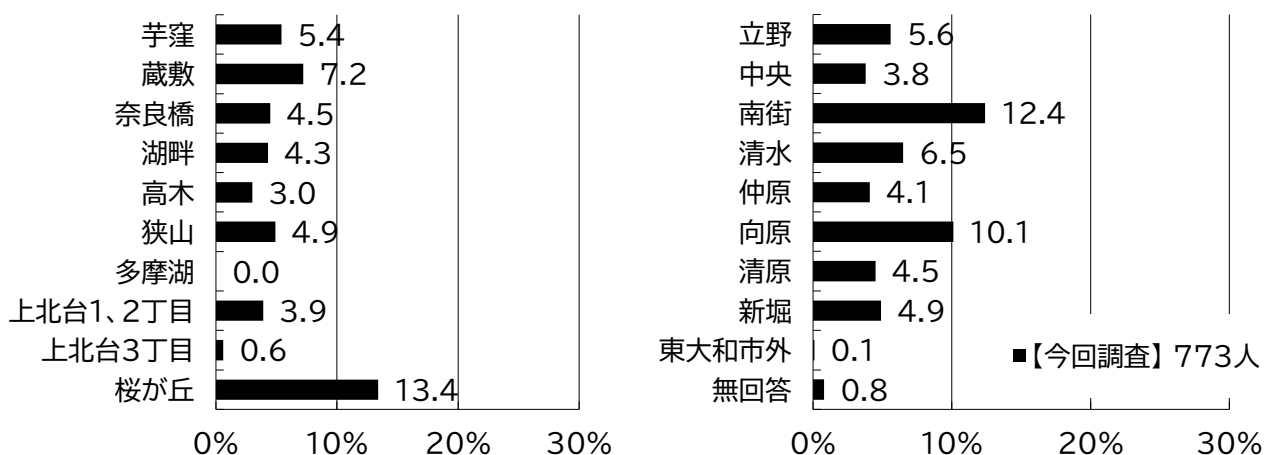
問2 令和元年12月1日現在のあなたの満年齢をお教えてください。

- 「65～74歳」が50.6%と最も高く、次いで「75～84歳」が41.1%、「85歳～」が6.6%と続いています。



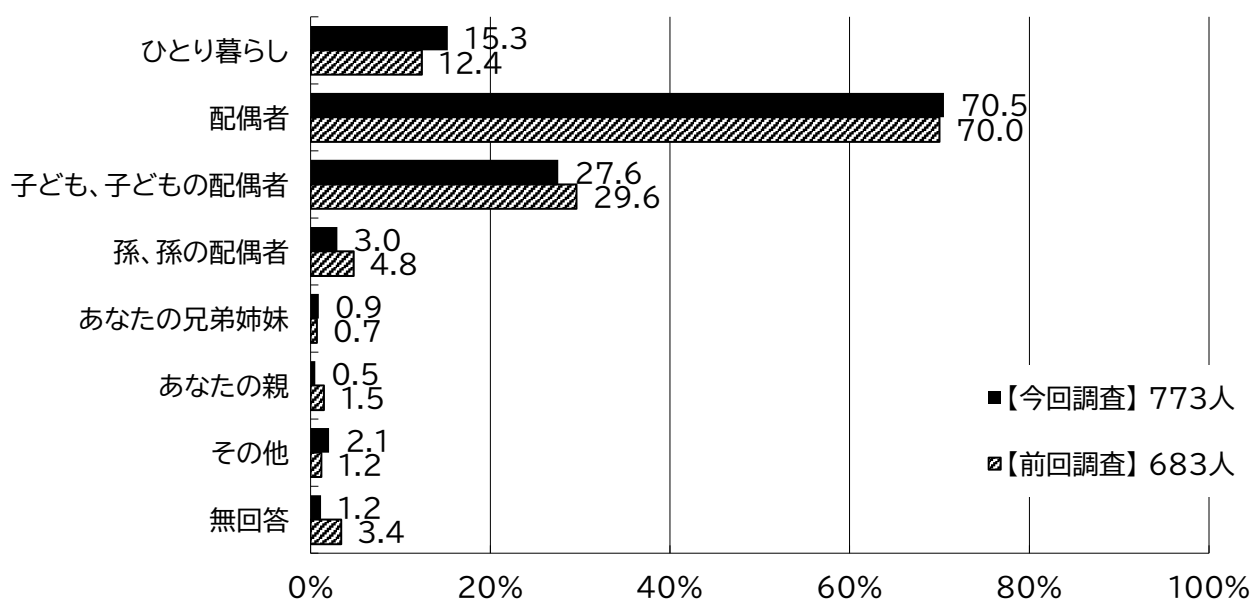
問3 あなたの居住区をお教えてください。(○は1つ)

- 「桜が丘」が13.4%と最も高く、次いで「南街」が12.4%、「向原」が10.1%と続いています。



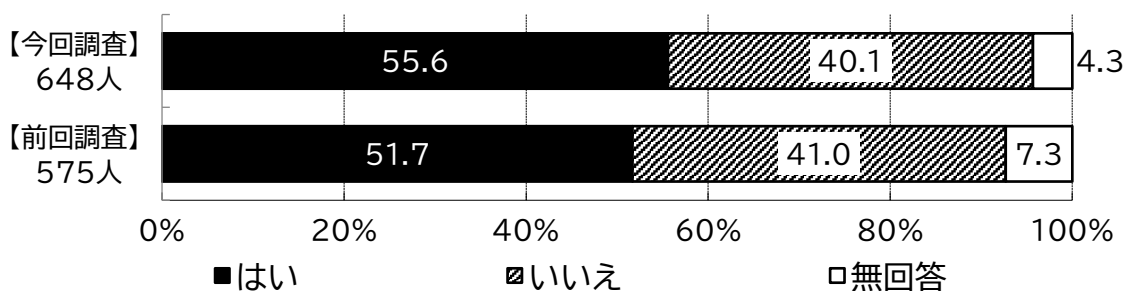
問4 あなたは、どなたと一緒に暮らしていますか。封筒の宛名の方からみた続柄に○をしてください。(あてはまるものすべてに○)

- 「配偶者」が70.5%と最も高く、次いで「子ども、子どもの配偶者」が27.6%、「ひとり暮らし」が15.3%と続いています。



問4-1 <ひとり暮らしではない方> 同居されている方は、全員が65歳以上ですか。(○は1つ)

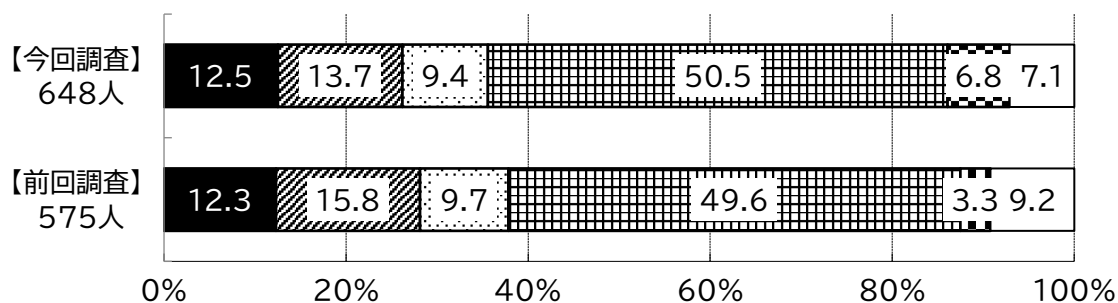
- 「はい」が55.6%、「いいえ」が40.1%となっています。



問4-2 <ひとり暮らしではない方>

同居されている方が仕事などで、半日以上にわたり外出し、あなたが自宅で一人になることがどのくらいありますか。(〇は1つ)

- 「半日以上、一人になることはほとんどない」が 50.5%と最も高く、次いで「週2～3日」が 13.7%、「週4日以上」が 12.5%と続いています。



- 週4日以上
- ▣ 週1日程度
- ▣ その他
- ▣ 週2～3日
- ▣ 半日以上、一人になることはほとんどない
- 無回答

【家族構成別】

- 家族構成別で見ると、夫婦ふたり暮らしの場合は「週4日以上」が 10.7%、その他の場合は同回答が 15.8%となっています。

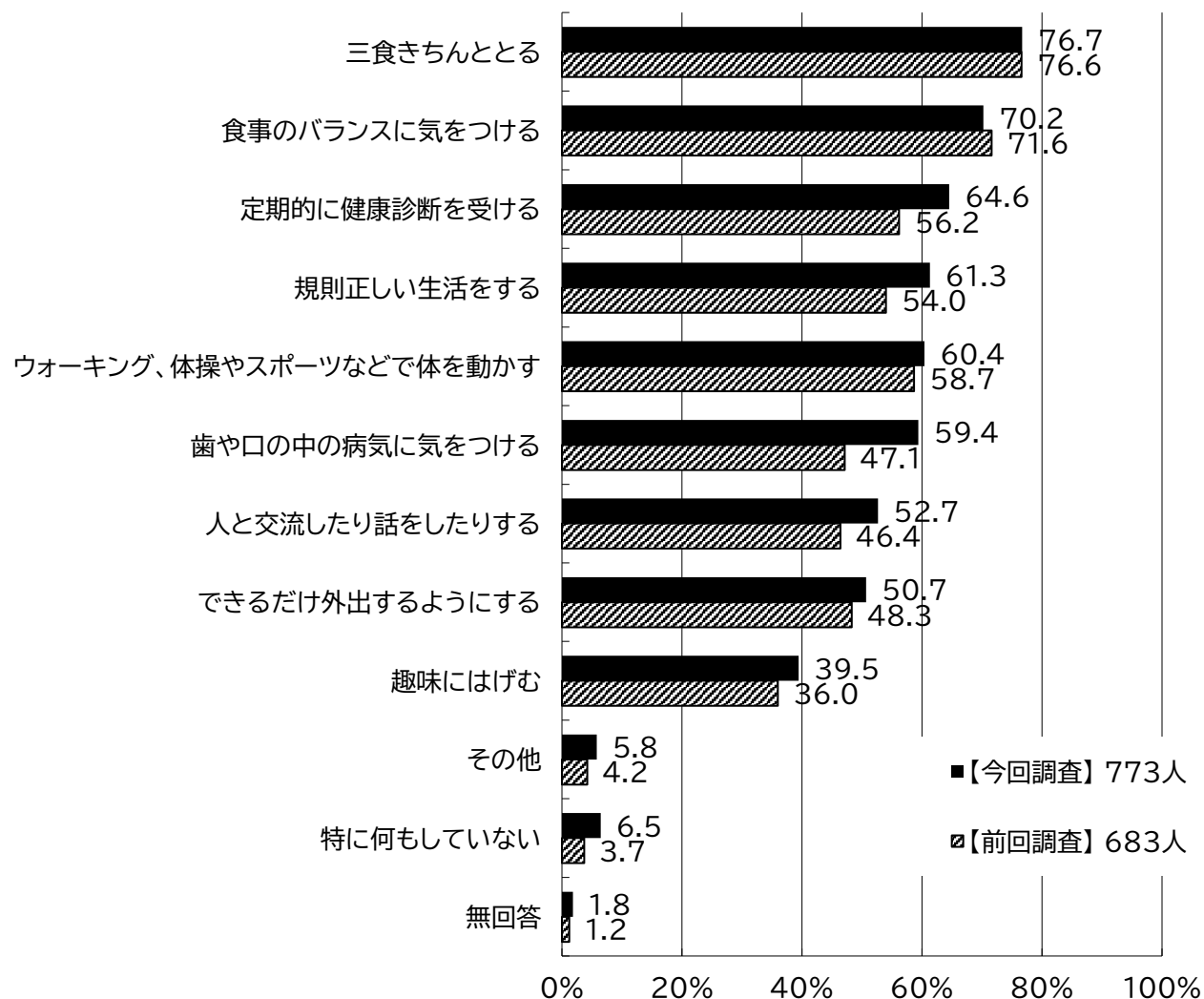
(単位:%)

		週4日以上	週2～3日	週1日程度	半日以上、一人になることはほとんどない	その他	無回答
	全体 648人	12.5	13.7	9.4	50.5	6.8	7.1
問4 家族構成	夫婦ふたり暮らし 412人	10.7	15.3	10.0	49.9	6.1	8.0
	その他 234人	15.8	10.7	8.5	51.8	8.1	5.1

2 生活の状況・今後の生活等について

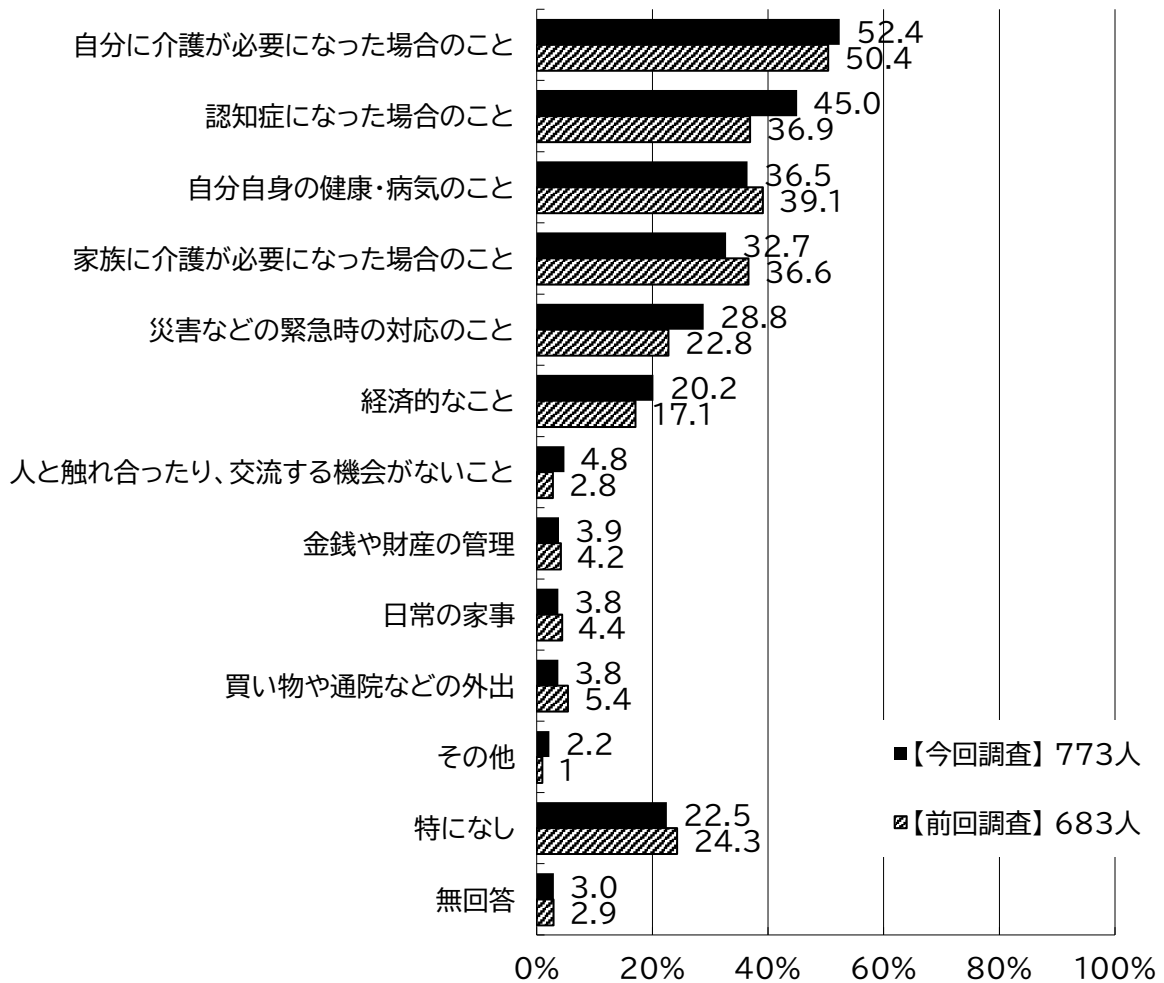
問5 以下の中に、あなた自身が、身体の状態が悪くならないように取り組んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 「三食きちんととる」が 76.7%と最も高く、次いで「食事のバランスに気をつける」が 70.2%、「定期的に健康診断を受ける」が 64.6%と続いています。



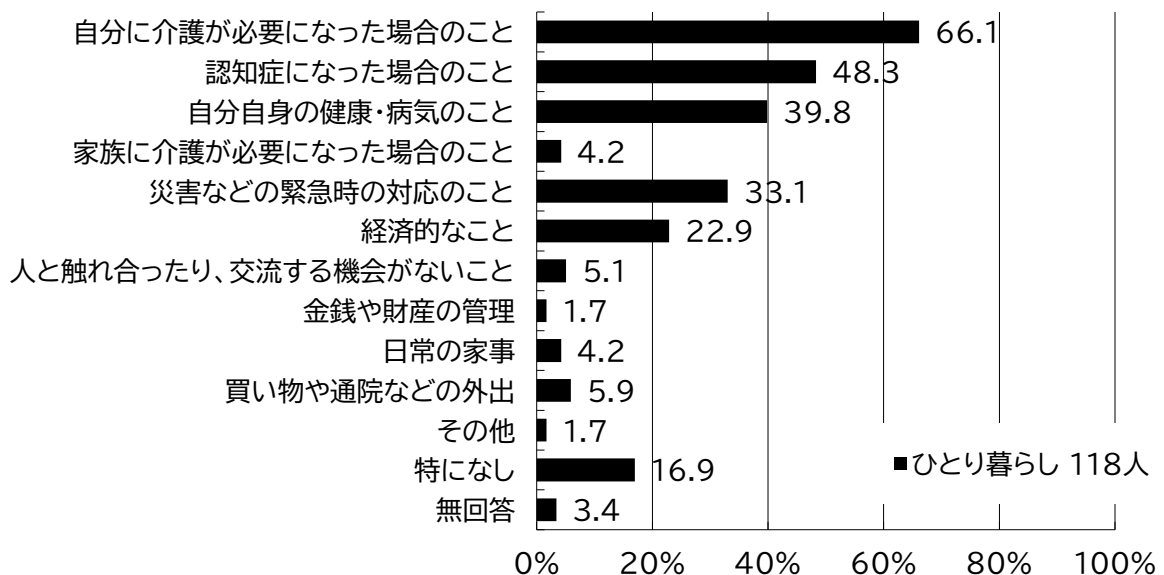
問6 以下の中に、今、生活をしていて不安に感じていること・困っていることはありますか。(あてはまるすべてのものに○)

- 「自分に介護が必要になった場合のこと」が 52.4%と最も高く、次いで「認知症になった場合のこと」が 45.0%、「自分自身の健康・病気のこと」が 36.5%と続いています。



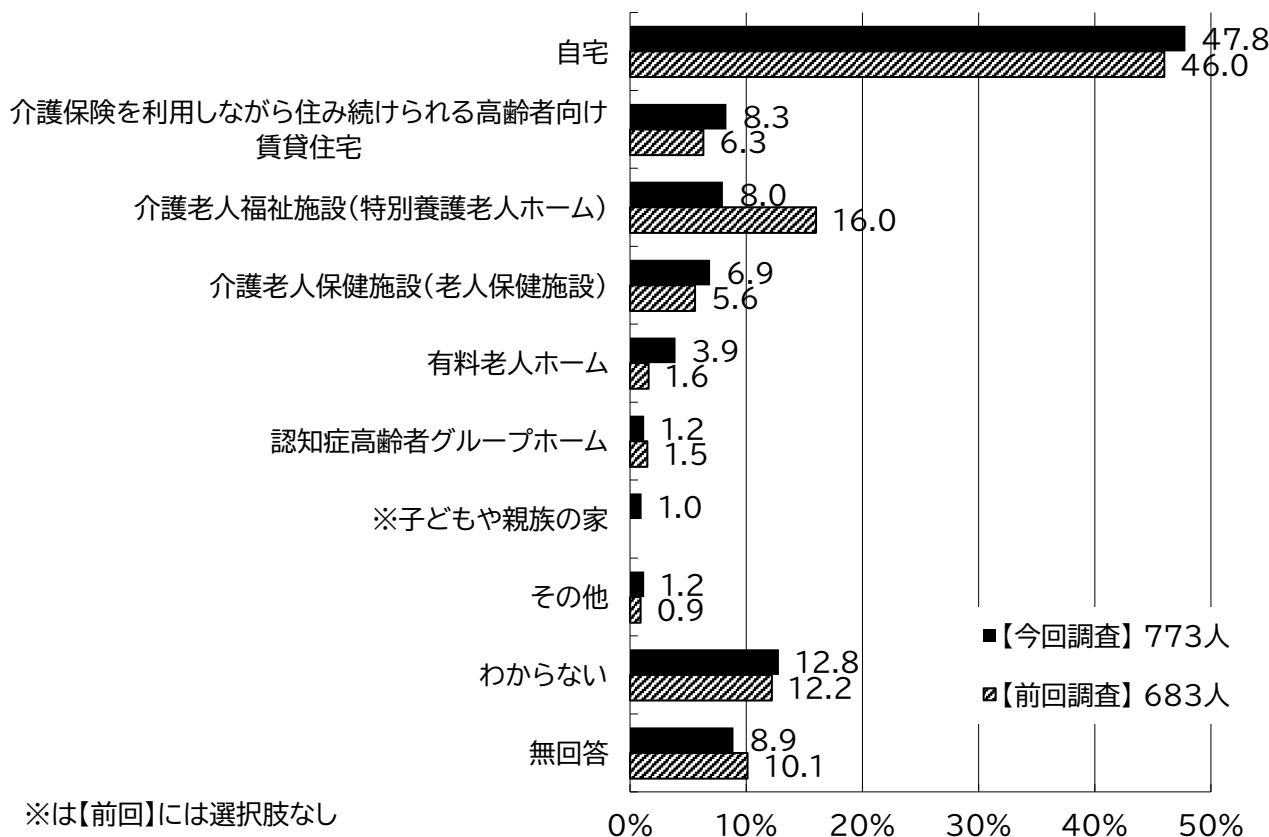
【問4 家族構成別・ひとり暮らしと回答した方】

- ひとり暮らしの場合は、「自分に介護が必要になった場合のこと」が 66.1%と最も高く、次いで「認知症になった場合のこと」が 48.3%、「自分自身の健康・病気のこと」が 39.8%と続いています。



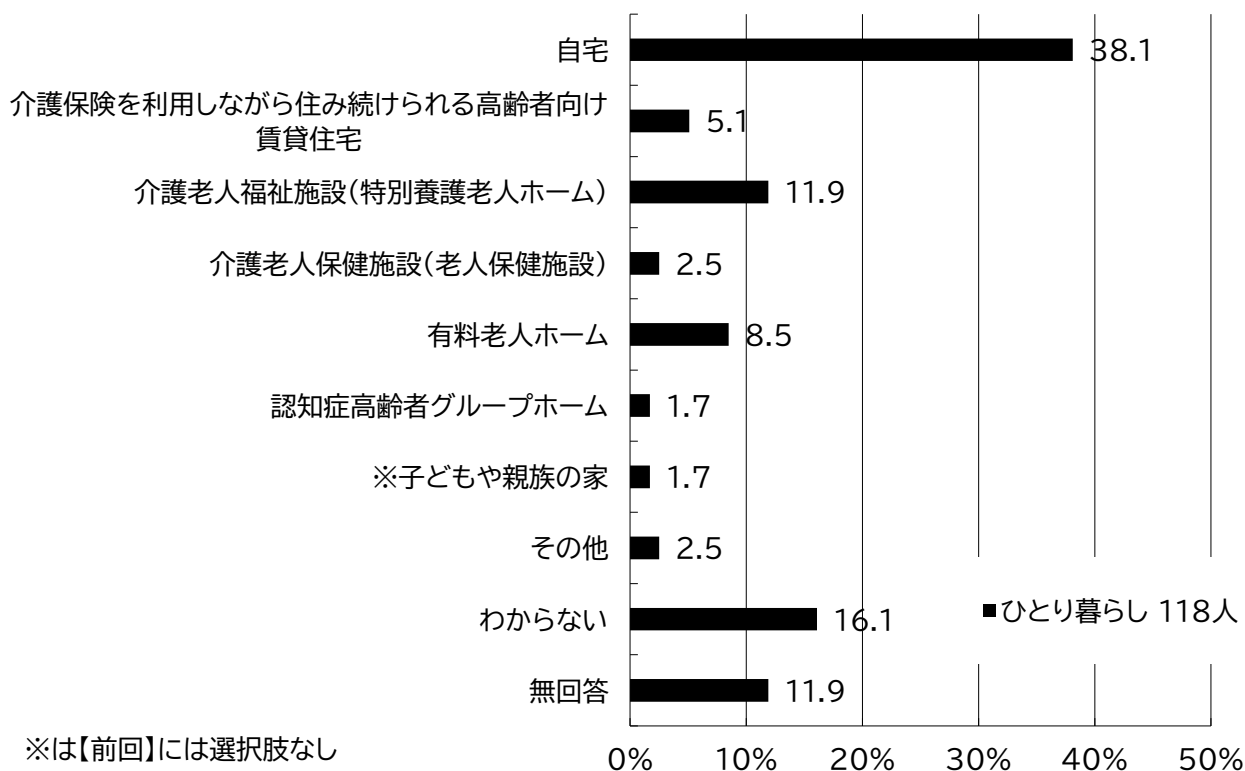
問7 あなたは、今後、介護が必要になった場合、どこで生活したいと考えていますか。(〇は1つ)

- 「自宅」が 47.8%と最も高く、次いで「わからない」が 12.8%、「介護保険を利用しながら住み続けられる高齢者向け賃貸住宅」が 8.3%と続いています。



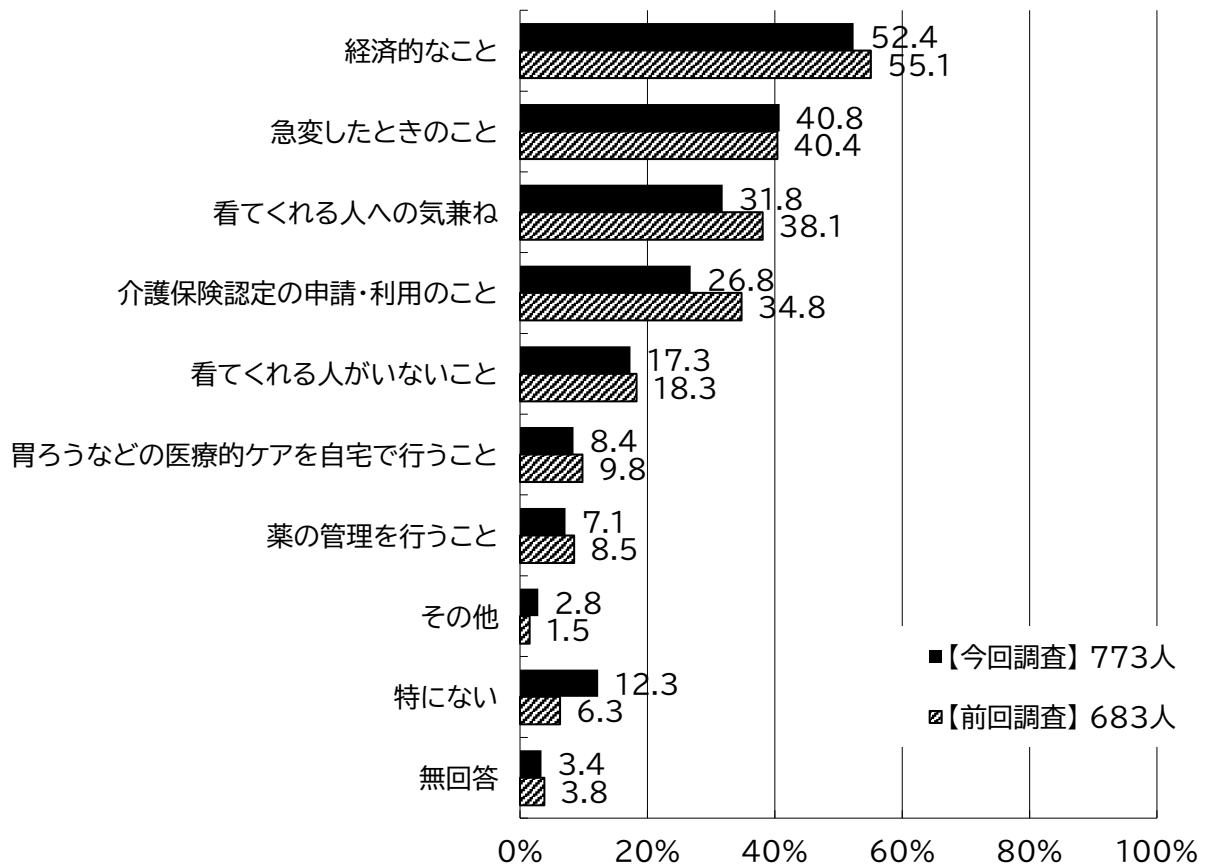
【問4 家族構成別・ひとり暮らしと回答した方】

- ひとり暮らしの場合は「自宅」が 38.1%と最も高く、次いで「わからない」が 16.1%、「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」が 11.9%と続いています。



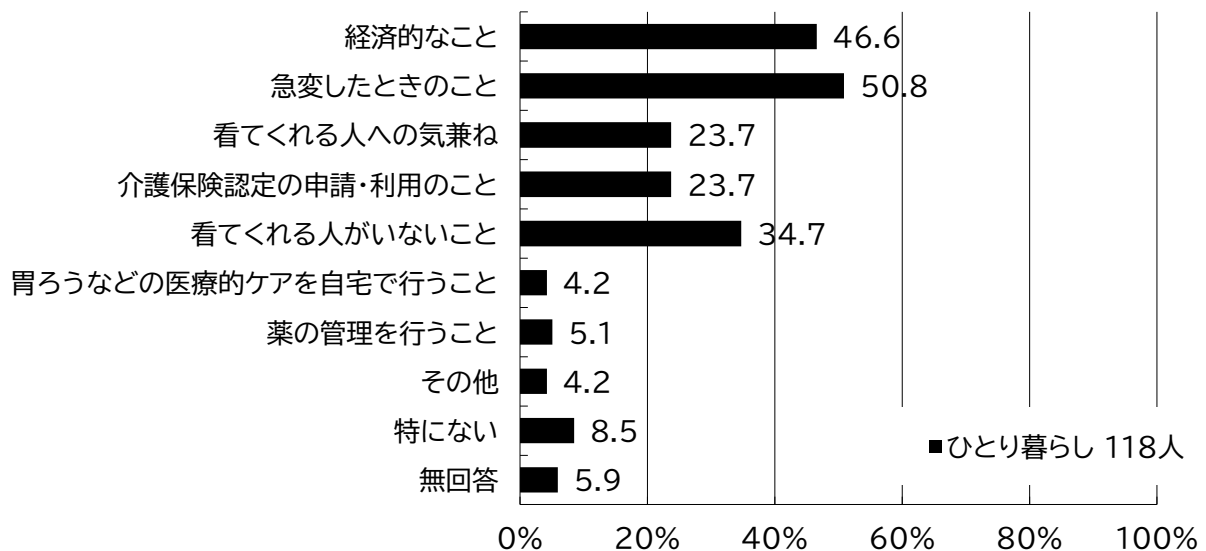
問8 在宅で療養が必要となった時に不安となる要因はどのようなものと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 「経済的なこと」が 52.4%と最も高く、次いで「急変したときのこと」が 40.8%、「見てくれる人への気兼ね」が 31.8%と続いています。



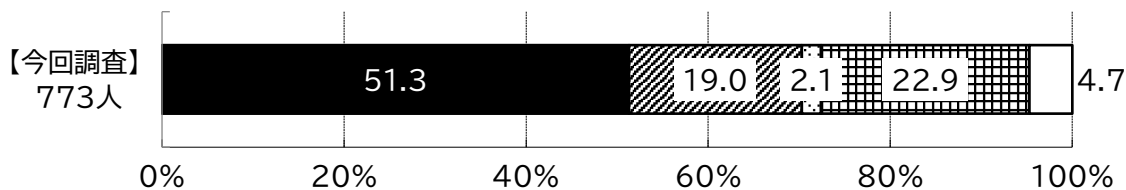
【問4 家族構成別・ひとり暮らしと回答した方】

- ひとり暮らしの場合は、「急変したときのこと」が 50.8%と最も高く、次いで「経済的なこと」が 46.6%、「見てくれる人がいないこと」が 34.7%と続いています。



問9 あなたは、自分が将来も大切にしたいこと等を、家族等の親しい人と共有していますか。(1つを選択)

- 「共有している」が 51.3%と最も高く、次いで「共有していない(今後についてはわからない)」が 22.9%、「共有していない(今後共有したい)」が 19.0%と続いています。



- 共有している
- ▨ 共有していない(今後共有したい)
- ▩ 共有していない(今後も共有したいとは思っていない)
- ▧ 共有していない(今後についてはわからない)
- 無回答

【年齢別等】

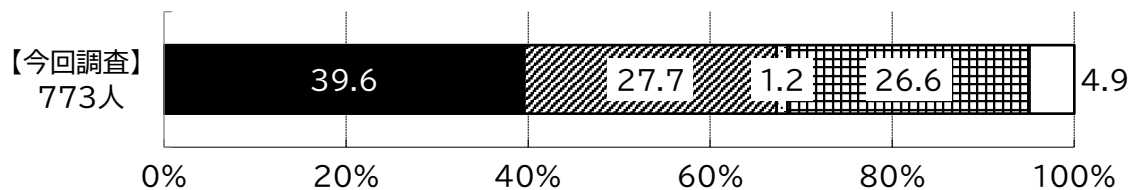
- 年齢別で見ると、85歳~の場合は「共有している」が 56.9%となっています。
- 家族構成別で見ると、ひとり暮らしの場合は「共有している」が 39.8%、夫婦ふたり暮らしやその他の場合は同回答がいずれも約 50%となっています。

(単位:%)

		共有している	共有していない(今後共有したい)	共有していない(今後も共有したいとは思っていない)	共有していない(今後についてはわからない)	無回答
	全体 773人	51.3	19.0	2.1	22.9	4.7
問2 年齢	65~74歳 391人	50.7	18.9	2.8	23.8	3.8
	75~84歳 318人	50.9	19.8	1.3	23.6	4.4
	85歳~ 51人	56.9	13.7	2.0	17.6	9.8
問4 家族構成	ひとり暮らし 118人	39.8	14.4	5.1	33.1	7.6
	夫婦ふたり暮らし 412人	52.9	22.6	2.2	18.7	3.6
	その他 234人	55.2	14.5	0.4	25.6	4.3

問10 あなたが回復の見込みのない状態になった時に、どのような医療・ケアを受けたいかを、家族等の親しい人と共有していますか。(1つを選択)

- 「共有している」が 39.6%と最も高く、次いで「共有していない(今後共有したい)」が 27.7%、「共有していない(今後についてはわからない)」が 26.6%と続いています。



- 共有している
- ▨ 共有していない(今後共有したい)
- ▩ 共有していない(今後も共有したいとは思っていない)
- ▧ 共有していない(今後についてはわからない)
- 無回答

【年齢別等】

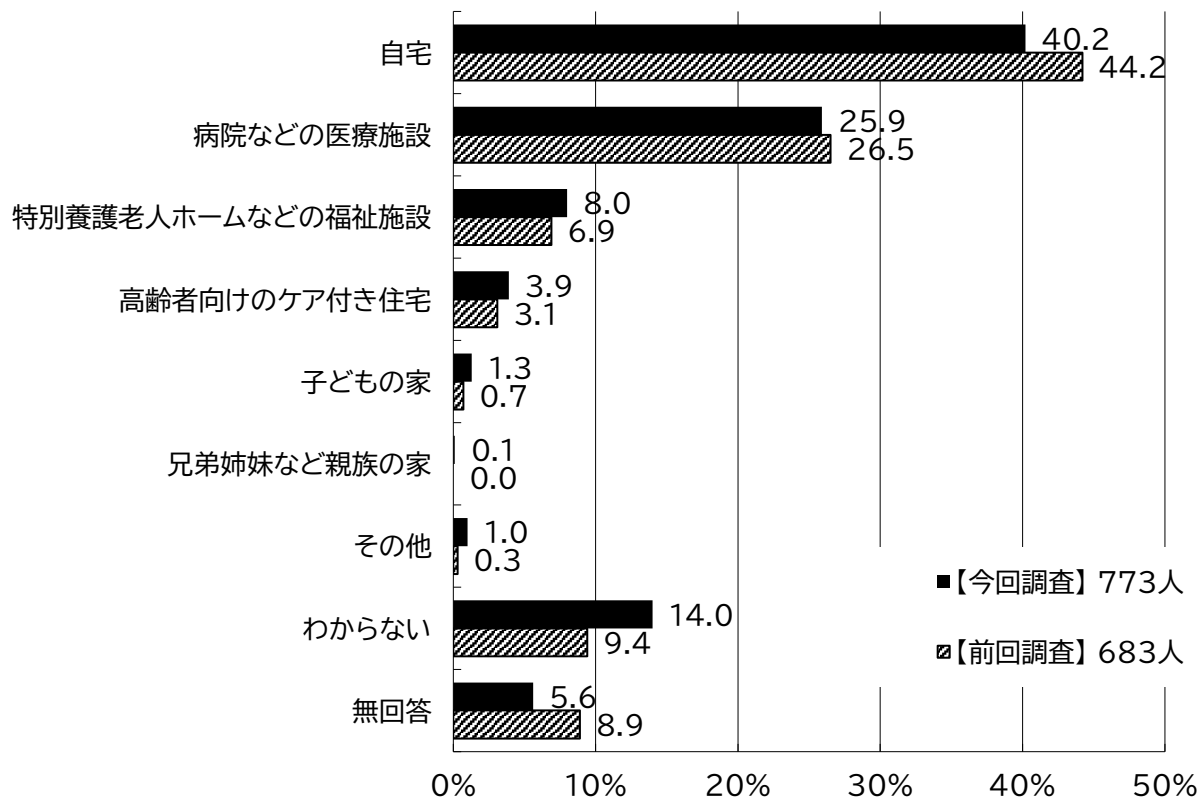
- 年齢別で見ると、年齢に関わらず「共有している」が約40%と最も高くなっています。
- 家族構成別で見ると、ひとり暮らしの場合は「共有していない(今後についてはわからない)」が 37.3%と最も高くなっています。

(単位:%)

		共有している	共有していない(今後共有したい)	共有していない(今後も共有したいとは思っていない)	共有していない(今後についてはわからない)	無回答
	全体 773人	39.6	27.7	1.2	26.6	4.9
問2 年齢	65～74歳 391人	39.3	28.4	1.3	26.9	4.1
	75～84歳 318人	39.9	27.7	1.3	26.1	5.0
	85歳～ 51人	39.2	21.6	0.0	33.3	5.9
問4 家族構成	ひとり暮らし 118人	29.7	22.0	3.4	37.3	7.6
	夫婦ふたり暮らし 412人	42.5	31.1	0.7	21.6	4.1
	その他 234人	40.1	23.9	0.9	30.8	4.3

問11 万一、あなたが回復の見込みのない病気になった場合、最期はどこで過ごしたいと思いますか。(○は1つ)

- 「自宅」が40.2%と最も高く、次いで「病院などの医療施設」が25.9%、「わからない」が14.0%と続いています。



【年齢別等】

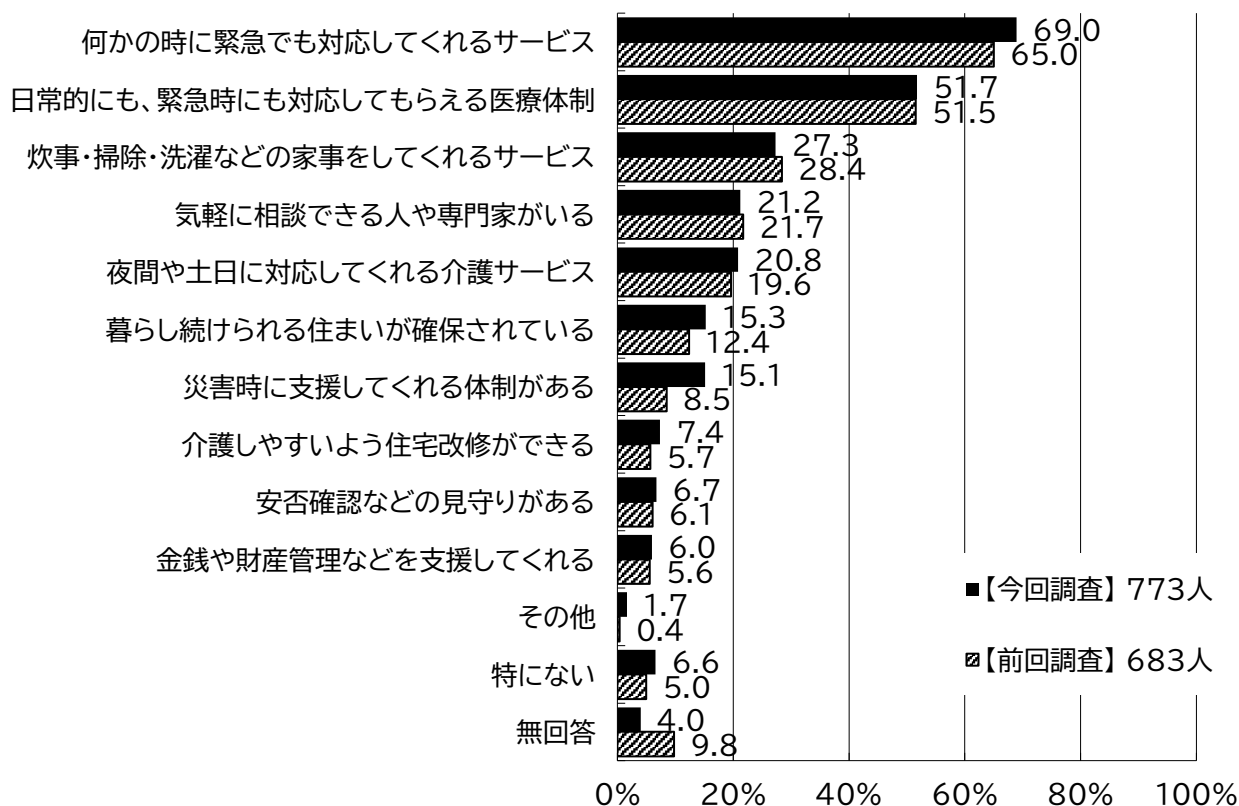
- 年齢別で見ると、年齢に関わらず「自宅」が最も高く、年齢が上がるほど同回答率が高くなっています。
- 家族構成別で見ると、ひとり暮らしの場合は「病院などの医療施設」が30.6%と最も高く、次いで「自宅」が22.9%と続いています。

(単位:%)

		自宅	病院などの医療施設	特別養護老人ホームなどの福祉施設	高齢者向けのケア付き住宅	子どもの家	兄弟姉妹など親族の家	その他	わからない	無回答
	全体 773人	40.2	25.9	8.0	3.9	1.3	0.1	1.0	14.0	5.6
問2 年齢	65～74歳 391人	39.2	23.0	7.4	3.8	1.3	0.3	1.0	18.4	5.6
	75～84歳 318人	40.0	29.6	9.7	3.5	0.9	0.0	0.9	10.1	5.3
	85歳～ 51人	45.1	27.5	3.9	3.9	3.9	0.0	2.0	7.8	5.9
問4 家族構成	ひとり暮らし 118人	22.9	30.6	11.0	5.1	0.0	0.8	2.5	18.6	8.5
	夫婦ふたり暮らし 412人	46.1	24.0	7.5	2.9	1.5	0.0	1.0	11.7	5.3
	その他 234人	38.6	26.5	7.7	5.1	1.7	0.0	0.4	16.2	3.8

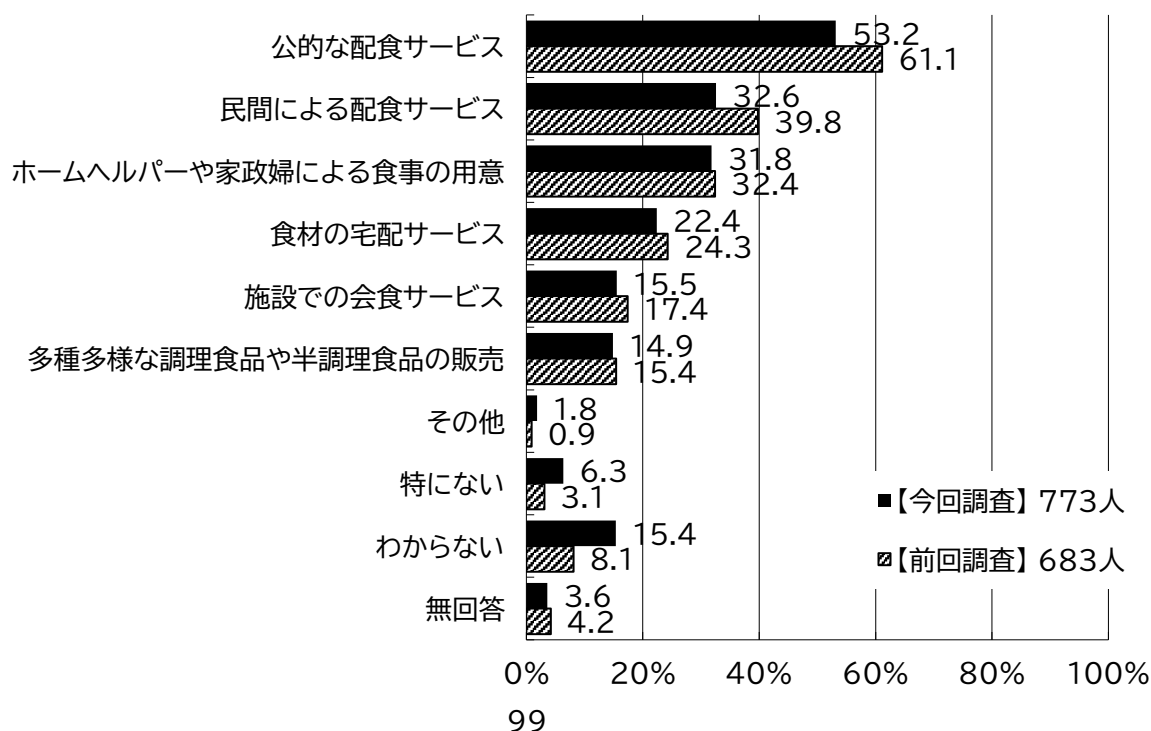
問12 どのようなサービスが利用できたり、どのような条件が整えば、自宅で暮らし続けていくことができると思いますか。(特に望むこと3つまでに○)

- 「何かの時に緊急でも対応してくれるサービス」が 69.0%と最も高く、次いで「日常的にも、緊急時にも対応してもらえる医療体制」が 51.7%、「炊事・掃除・洗濯などの家事をしてくれるサービス」が 27.3%と続いています。



問13 最近、食事に関する様々なサービスが提供されていますが、あなたは今後、仮に自分で食事の用意ができなくなったり、用意してくれる人がいなくなった場合、どのようなサービスを利用したいと思いますか。(特に望むこと3つまでに○)

- 「公的な配食サービス」が 53.2%と最も高く、次いで「民間による配食サービス」が 32.6%、「ホームヘルパーや家政婦による食事の用意」が 31.8%と続いています。



問14 あなたの体調や病気などについて相談できる「かかりつけ医」はいますか。(1つを選択)

- 「市内にいる」が65.6%と最も高く、次いで「いない」が16.7%、「市外にいる」が14.7%と続いています。



【日常生活圏域別】

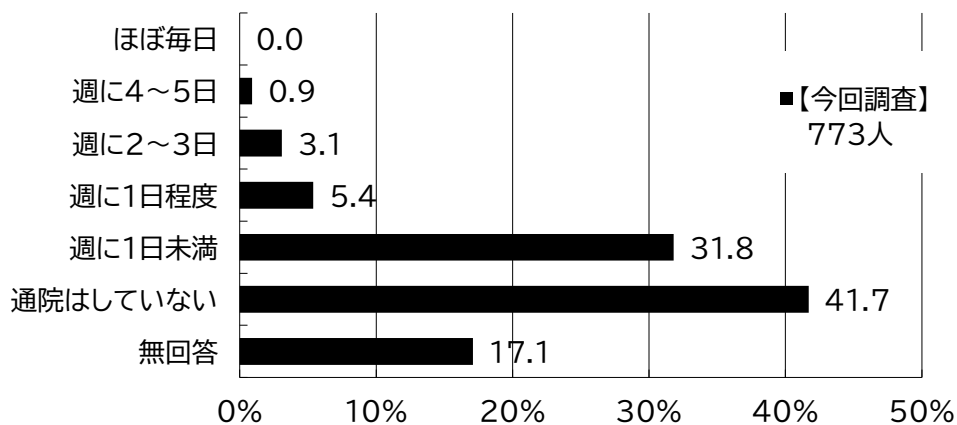
- 日常生活圏域別で見ると、いずれの圏域も「市内にいる」が最も高く、いもくぼ圏域は「市外にいる」が17.9%と、なんがい圏域と比べて市外の割合が高くなっています。

(単位:%)

		市内にいる	市外にいる	いない	無回答
	全体 773人	65.6	14.7	16.7	3.0
問3 日常生活圏域	いもくぼ圏域 257人	64.2	17.9	15.2	2.7
	きよはら圏域 233人	63.5	15.9	18.0	2.6
	なんがい圏域 276人	68.5	11.2	17.0	3.3

問15 あなたは、どのくらいの頻度で通院をしていますか。(1つを選択)

- 「通院はしていない」が41.7%と最も高く、次いで「週に1日未満」が31.8%、「週に1日程度」が5.4%と続いています。



【年齢別】

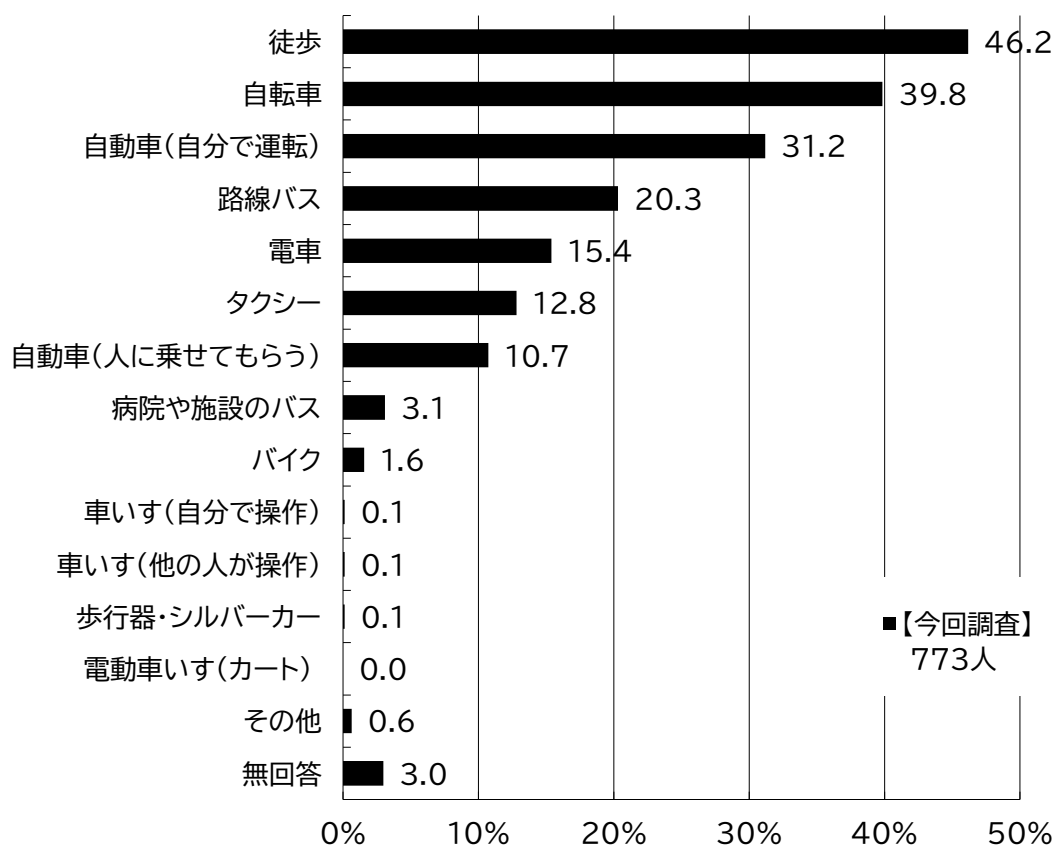
- 年齢別で見ると、年齢が上がるほど通院率(「通院はしていない」、「無回答」を除いた割合)は増加しており、85歳~の場合は通院率が47.0%となっています。

(単位:%)

		ほぼ毎日	週に4~5日	週に2~3日	週に1日程度	週に1日未満	通院はしていない	無回答
	全体 773人	0.0	0.9	3.1	5.4	31.8	41.7	17.1
問2 年齢	65~74歳 391人	0.0	0.5	2.8	3.3	32.2	46.9	14.3
	75~84歳 318人	0.0	1.3	3.5	6.6	32.1	37.6	18.9
	85歳~ 51人	0.0	2.0	3.9	13.7	27.4	27.5	25.5

問16 あなたが通院するときの移動手段は何ですか。(複数選択可)

- 「徒歩」が46.2%と最も高く、次いで「自転車」が39.8%、「自動車(自分で運転)」が31.2%と続いています。



【日常生活圏域別等】

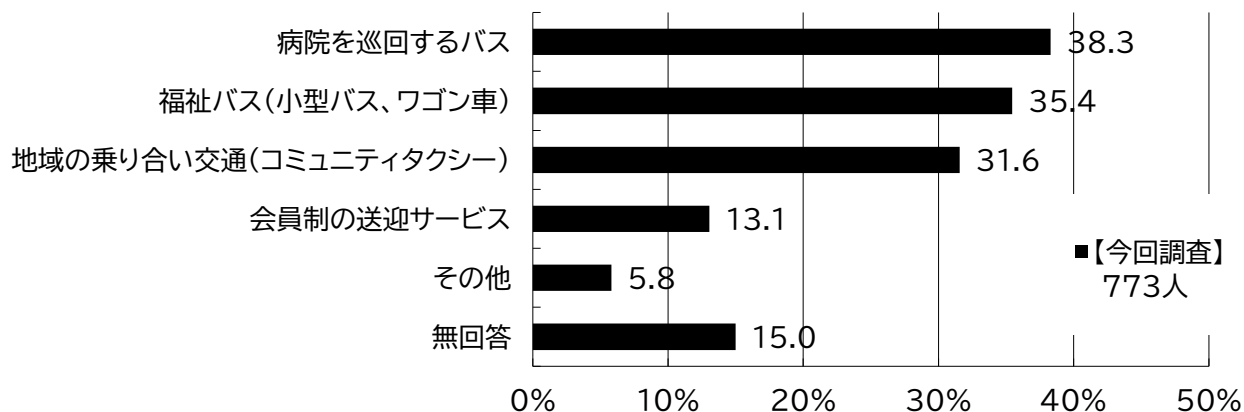
- 日常生活圏域別で見ると、いもくぼ圏域は「自動車(自分で運転)」が41.6%、きよはら圏域は「自転車」が44.6%、なんがい圏域は「徒歩」が57.6%と、それぞれ他の圏域と比べて割合が高くなっています。
- 家族構成別で見ると、いずれも「徒歩」が最も高く、ひとり暮らしの場合は「自動車(自分で運転)」が16.1%と比較的低く、「路線バス」が25.4%と比較的高くなっています。

(単位:%)

		徒歩	自転車	自動車 (自分で 運転)	路線バス	電車	タクシー
	全体 773人	46.2	39.8	31.2	20.3	15.4	12.8
問3 日常生活 圏域	いもくぼ圏域 257人	37.0	36.6	41.6	23.0	17.1	13.6
	きよはら圏域 233人	42.9	44.6	29.2	27.0	7.3	11.2
	なんがい圏域 276人	57.6	38.4	23.6	12.0	20.7	13.0
問4 家族構成	ひとり暮らし 118人	50.8	38.1	16.1	25.4	12.7	14.4
	夫婦ふたり暮らし 412人	45.1	43.0	36.4	19.2	15.8	13.6
	その他 234人	46.2	33.8	29.9	19.7	16.2	10.7

問17 今後、市内で導入されたいと思う移動手段はありますか。(複数選択可)

- 「病院を巡回するバス」が 38.3%と最も高く、次いで「福祉バス(小型バス、ワゴン車)」が 35.4%、「地域の乗り合い交通(コミュニティタクシー)」が 31.6%と続いています。



【日常生活圏域別】

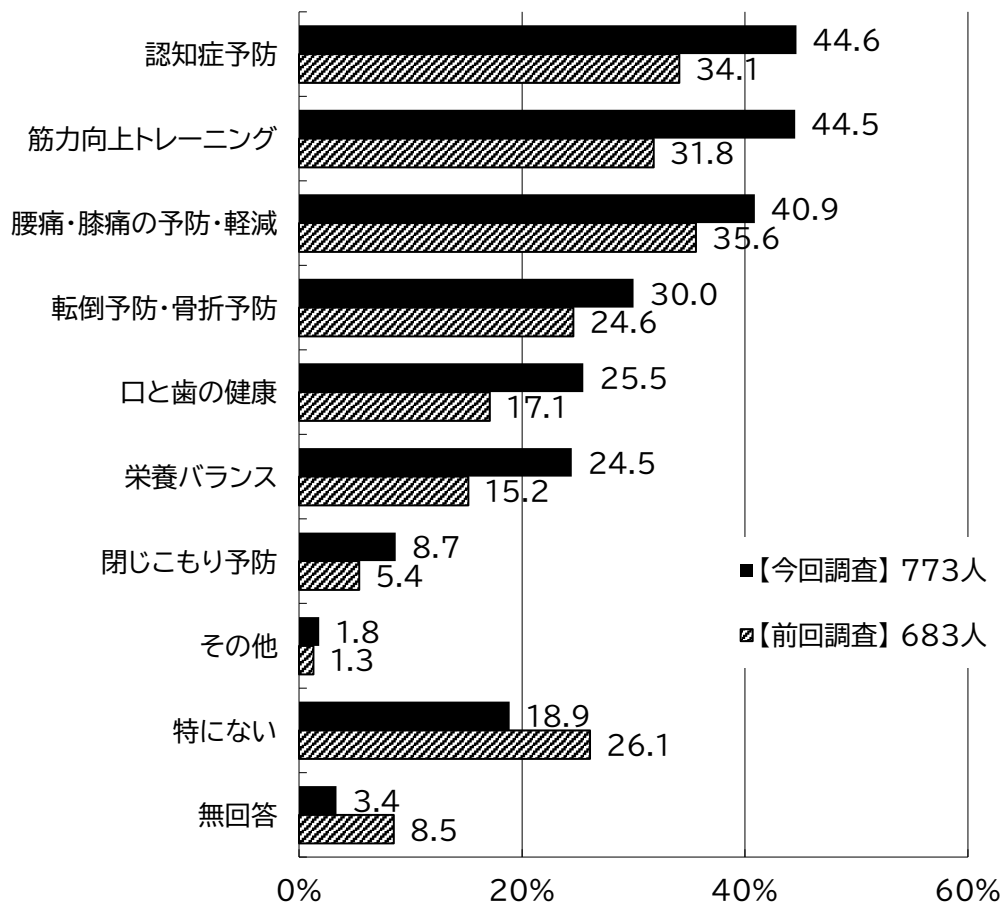
- 日常生活圏域別で見ると、いもくぼ圏域は「地域の乗り合い交通(コミュニティタクシー)」が 37.7%と比較的高くなっています。

(単位:%)

		病院を巡回するバス	会員制の送迎サービス	福祉バス(小型バス、ワゴン車)	地域の乗り合い交通(コミュニティタクシー)	その他	無回答
	全体 773 人	38.3	13.1	35.4	31.6	5.8	15.0
問3 日常生活圏域	いもくぼ圏域 257 人	36.6	12.8	36.2	37.7	7.8	13.2
	きよはら圏域 233 人	39.9	11.6	34.3	32.6	4.7	18.9
	なんがい圏域 276 人	38.0	14.9	35.9	24.6	4.7	13.4

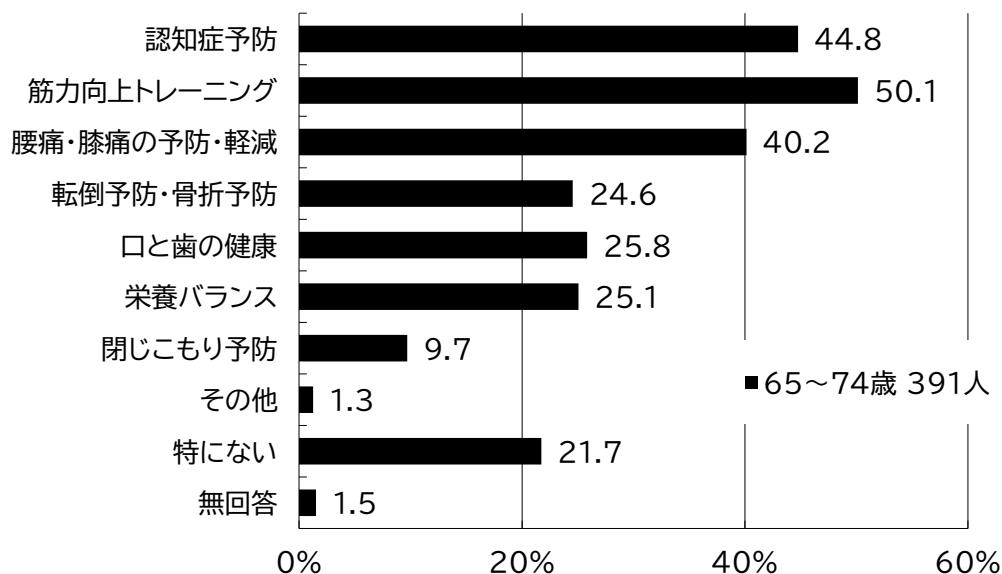
問18 あなたは、介護予防について、どのようなテーマに興味がある、または参加したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 「認知症予防」が 44.6%と最も高く、次いで「筋力向上トレーニング」が 44.5%、「腰痛・膝痛の予防・軽減」が 40.9%と続いています。



【65～74 歳】

- 65～74 歳の場合は、「筋力向上トレーニング」が 50.1%と最も高く、次いで「認知症予防」が 44.8%、「腰痛・膝痛の予防・軽減」が 40.2%と続いています。

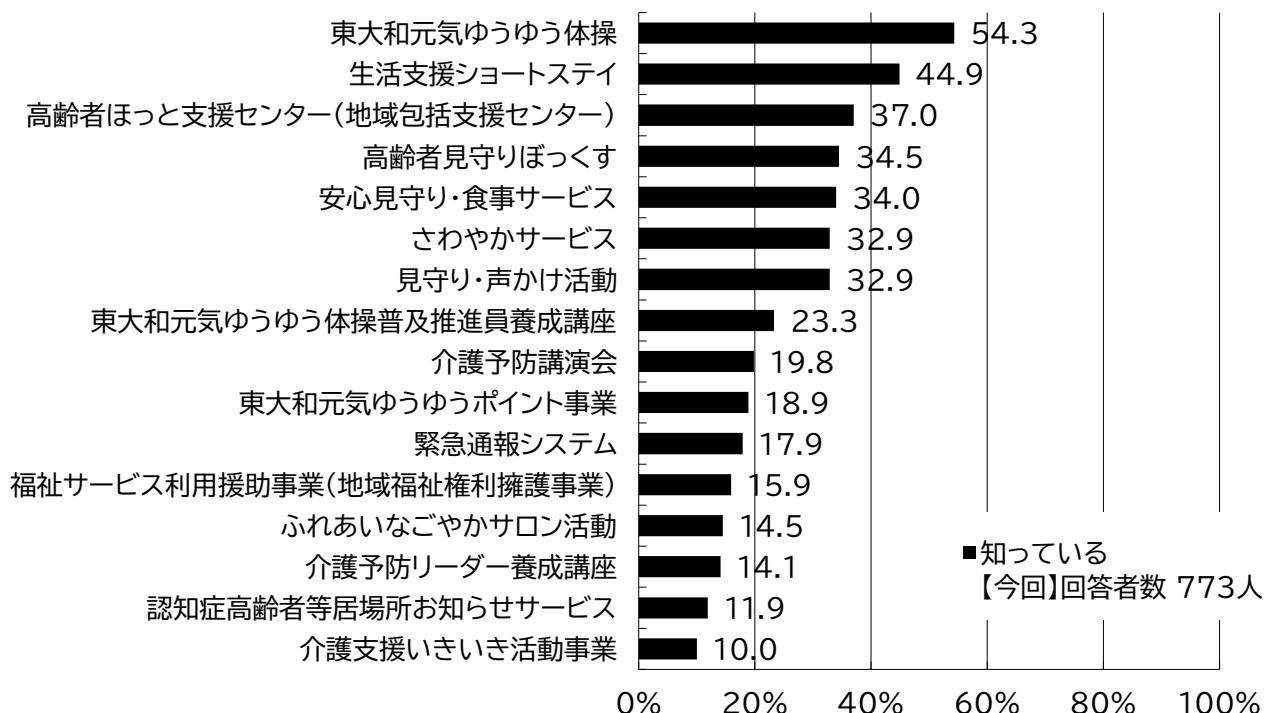


3 高齢者の福祉サービス等について

問19 市内の高齢者福祉サービス等の周知の状況、現在の利用・参加の状況、今後の利用・参加の意向について、それぞれ1つに○をしてください。

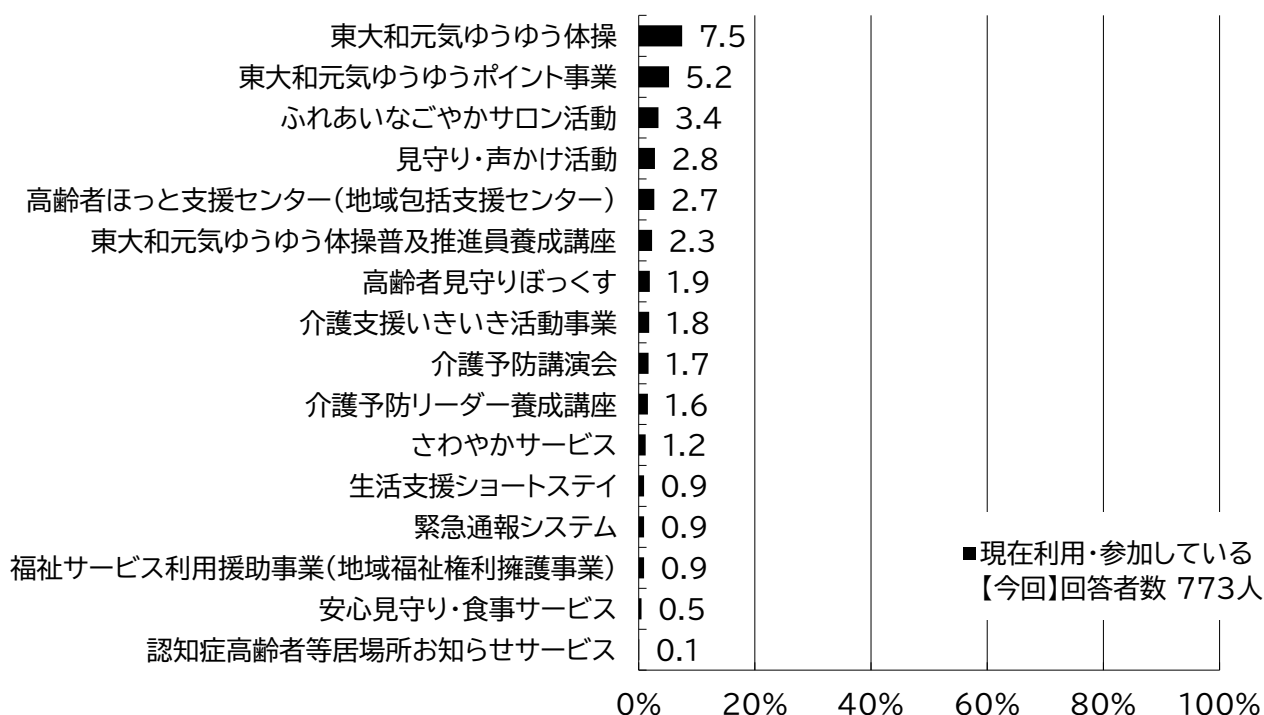
①周知の状況

- 「東大和元気ゆうゆう体操」が 54.3%と最も高く、次いで「生活支援ショートステイ」が 44.9%、「高齢者ほっと支援センター(地域包括支援センター)」が 37.0%と続いています。



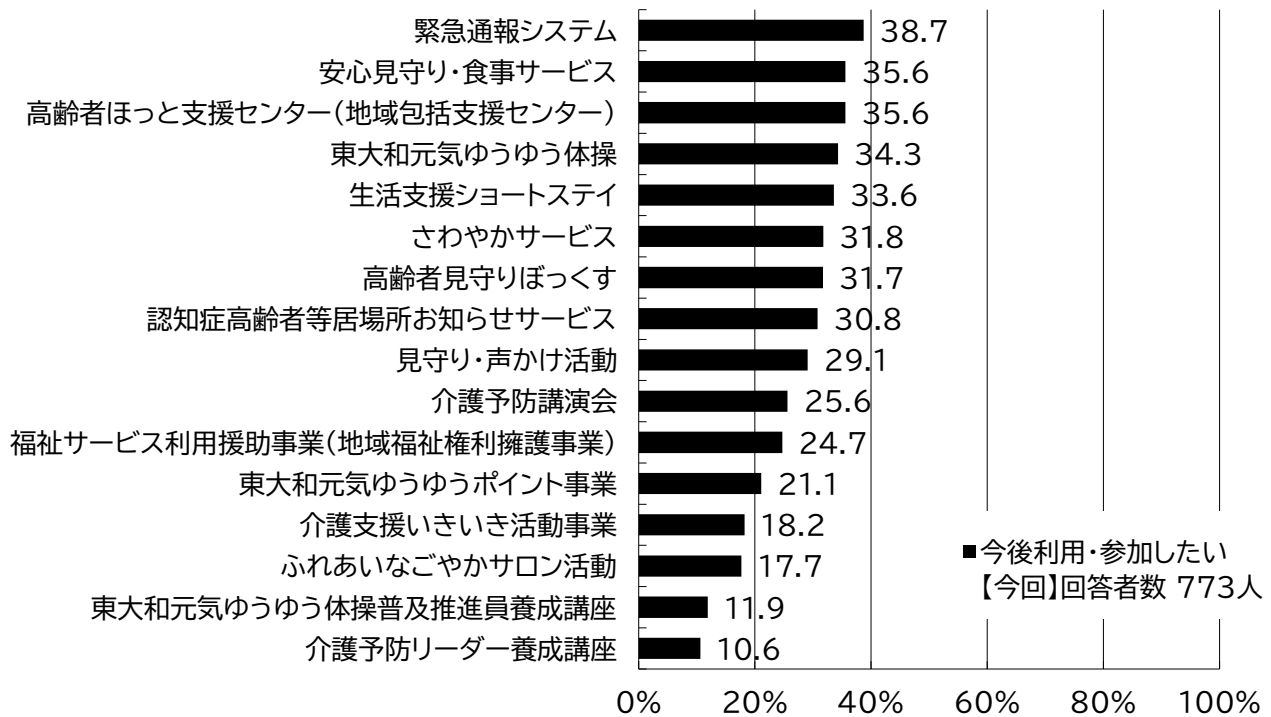
②現在の利用・参加の状況

- 「東大和元気ゆうゆう体操」が 7.5%と最も高く、次いで「東大和元気ゆうゆうポイント事業」が 5.2%、「ふれあいなごやかサロン活動」が 3.4%と続いています。



③今後の利用・参加の意向

- 「緊急通報システム」が38.7%と最も高く、次いで「安心見守り・食事サービス」、「高齢者ほっと支援センター(地域包括支援センター)」がいずれも35.6%、「東大和元気ゆうゆう体操」が34.3%と続いています。



4 自由回答

意見要旨	件数
現在は元気なので福祉は分からないことが多い、福祉サービスがこんなにあるのを知らなかった、そろそろ考えていきたい、もっと広報してほしい	40件
自身の心情や身の上、心がけていることについて	21件
公共交通手段の充実(ちょこバスの充実 等)	8件
介護保険料への不満、介護保険制度の効率的な運営を希望	6件
ひとり暮らしや認知症になったときの不安	5件
本アンケート調査について(無意味、感謝、回答しづらい質問がある)	5件
集まったり、おしゃべりしたりする場所づくり	3件
高齢者福祉施策への感謝	3件
安心して気軽に利用できる福祉サービスを希望	3件
家賃の援助をしてほしい	2件
健康な高齢者に働ける場所(多種多様な)を提供	2件
介護保険事業の充実	1件
公助の予算の拡充	1件
公民館のデイサービスにひきこもりの高齢者がもっと参加してほしい	1件
高齢者の福祉サービスの情報が全く入ってこない、知らないことが多い	1件
心のケアを行う人材が必要	1件
在宅医療は充実しているのか知りたい	1件
市役所の対応への不満	1件
シルバー人材センターへの不満	1件
生活保護やひとり親家庭への支援の見直し	1件
民生委員の活動への不満	1件
もっと多くの事を連絡し直接意見を聞いてもらいたい	1件
介護支援いきいき活動事業は良い	1件
気軽に参加できる体操などについて詳しく知りたい	1件
個人の状態に寄り添えるような支援(心に寄り添う支援)をしてもらえるとありがたい	1件
高齢者や一人暮らしが安心して住める地域になってほしい	1件
高齢者体操、講演会、サロン活動も、曜日とか時間を、季節、月により変更して下さると参加できる	1件
市の主催の研修会場は30人位だったらコの字型にしては如何でしょうか	1件
住宅のリフォーム住宅の建て替え、狭小道路(2m以内)の場合でもOKを出してほしい	1件
親の介護の負担が大きい、支援が必要	1件
図書館の中が暗くて本の字が見えにくいので、見やすく明るくして下さい	1件
東大和市の住民になってからまだ日が浅いので、知らないことが多い	1件
東大和市駅前に空き店舗が多くて不便	1件
特に記憶力が低下していることを実感しており、まずは相談できる所、人が必要	1件
年金のみになったら安い住宅に住み替える必要あり、住居のことが心配	1件

第4章

在宅介護実態調査

集計結果

【調査の対象者】

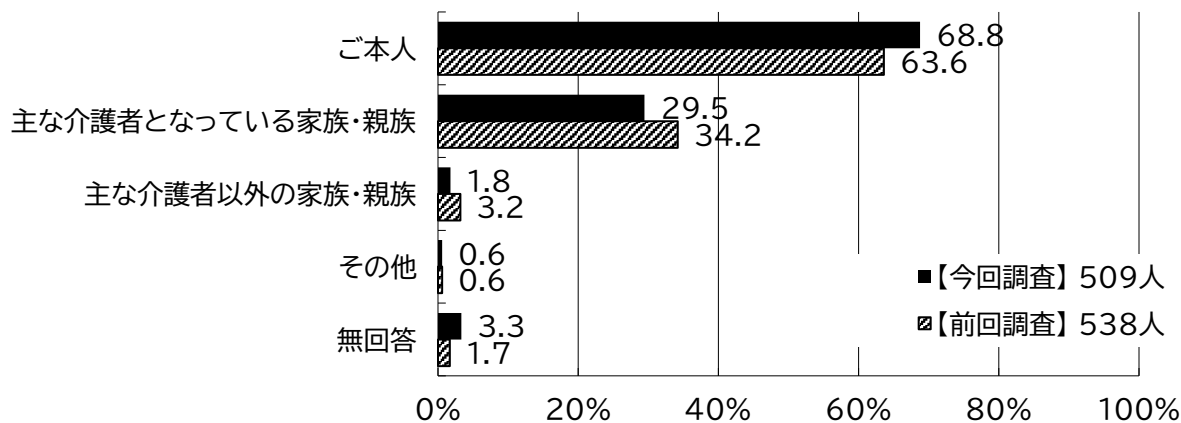
介護保険被保険者(65歳以上の方)のうち、介護保険の要介護・要支援認定を受けている方(施設入所者を除く)

A票 調査対象者本人について

記入者について

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。(複数回答可)

- 「ご本人」が 68.8%と最も高く、次いで「主な介護者となっている家族・親族」が 29.5%、「主な介護者以外の家族・親族」が 1.8%と続いています。



【要介護度別】

- 要介護度別で見ると、要介護3～5の場合は「主な介護者となっている家族・親族」が 79.5%と最も高くなっています。

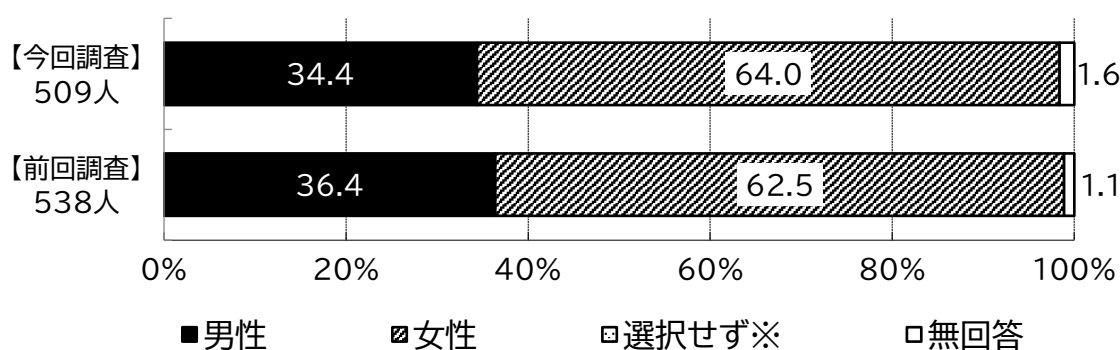
(単位:%)

		調査対象者(あて名)のご本人	主な介護者となっている家族・親族	主な介護者以外の家族・親族	その他	無回答
A票-問4 要介護度	全体 509人	68.8	29.5	1.8	0.6	3.3
	要支援1・2 282人	87.6	13.1	0.4	0.4	2.5
	要介護1・2 130人	58.5	38.5	4.6	0.0	1.5
	要介護3～5 78人	21.8	79.5	2.6	1.3	1.3

1 ご本人について

問2 ご本人の性別について、ご回答ください。(1つを選択)

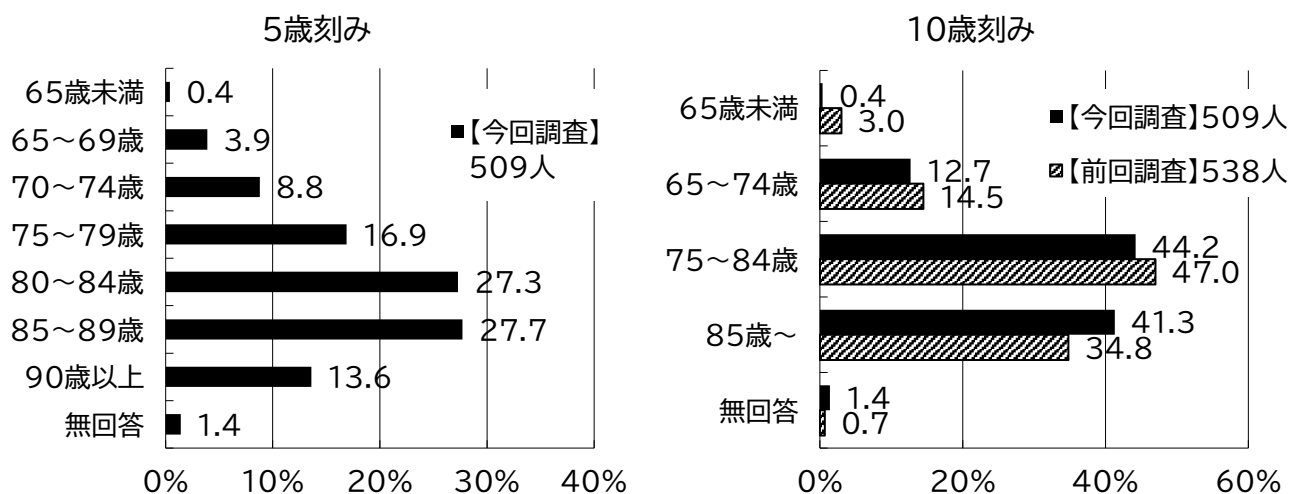
- 「女性」が 64.0%、「男性」が 34.4%となっています。なお、「選択せず」との回答はありません。



※は【前回】には選択肢なし

問3 ご本人の年齢について、ご回答ください(1つを選択)

- 5歳刻みでは、「85～89歳」が27.7%と最も高く、次いで「80～84歳」が27.3%、「75～79歳」が16.9%と続いています。
- 10歳刻みでは、「75～84歳」が44.2%と最も高く、次いで「85歳～」が41.3%、「～74歳」が13.1%と続いています。



【主な介護者の年齢別】

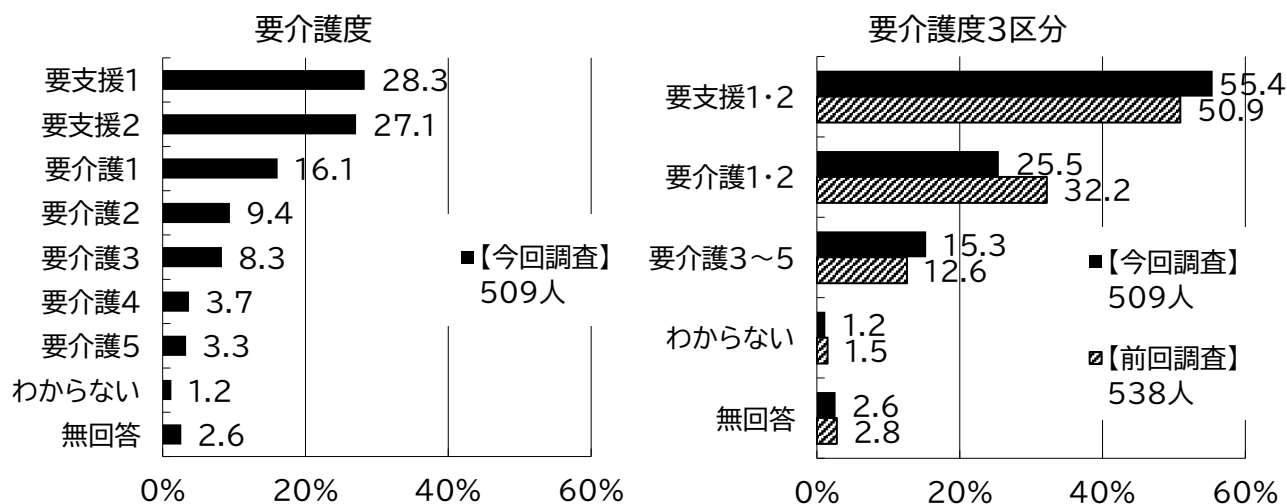
- 主な介護者の年齢別で見ると、主な介護者が40・50代の場合は「85歳～」が49.4%、60・70代の場合は同回答が46.6%となっており、主な介護者が80歳以上の場合は「75～84歳」が56.0%となっています。

(単位:%)

		～74歳	75～84歳	85歳～	無回答
全体 509人		13.1	44.2	41.3	1.4
B票-問5 主な介護者の年齢	～30代 6人	66.7	33.3	0.0	0.0
	40・50代 91人	5.5	44.0	49.4	1.1
	60・70代 103人	21.4	32.0	46.6	0.0
	80歳以上 50人	0.0	56.0	44.0	0.0

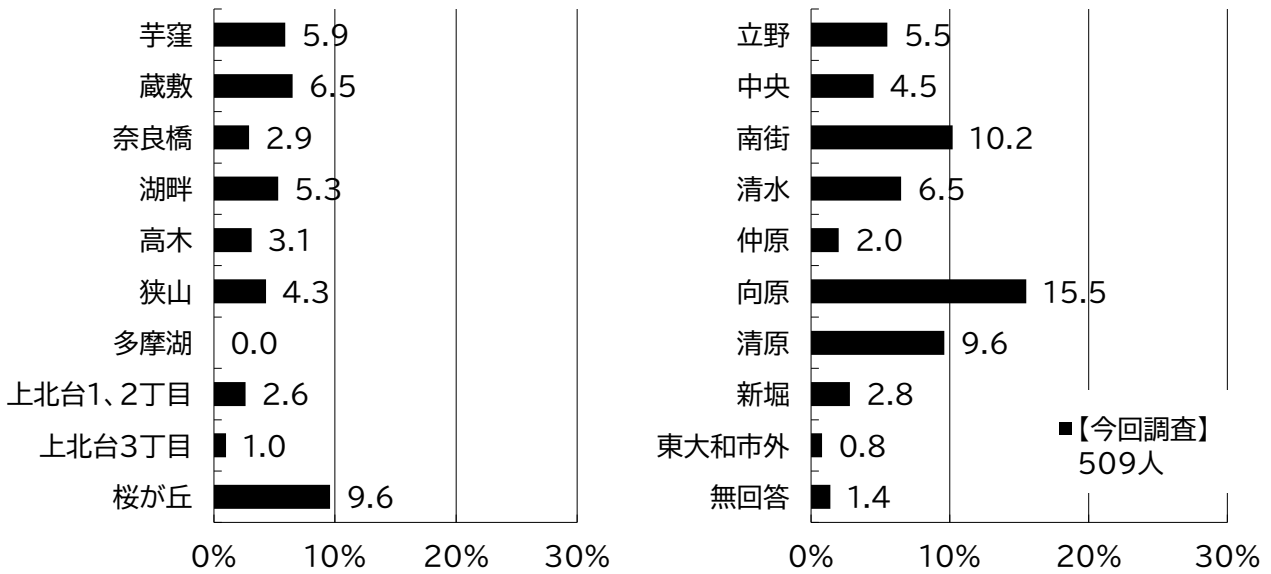
問4 ご本人の要介護度について、ご回答ください。(1つを選択)

- 「要支援1」が28.3%と最も高く、次いで「要支援2」が27.1%、「要介護1」が16.1%と続いています。
- 3区分で見ると、「要支援1・2」が55.4%と最も高く、次いで「要介護1・2」が25.5%、「要介護3～5」が15.3%と続いています。

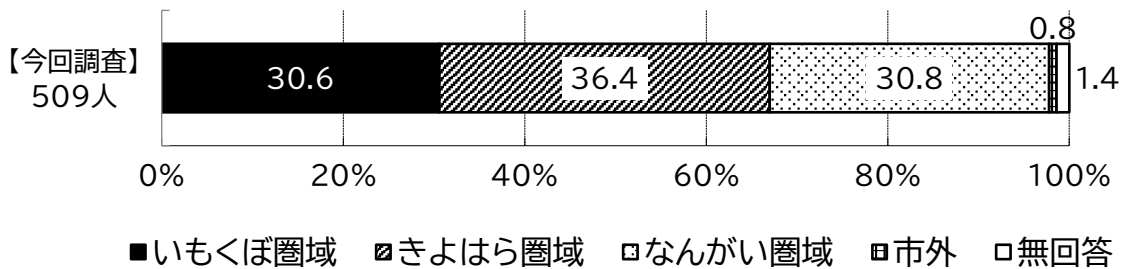


問5 ご本人の居住区について、ご回答ください。(1つを選択)

- 「向原」が15.5%と最も高く、次いで「南街」が10.2%、「桜が丘」、「清原」がいずれも9.6%と続いています。

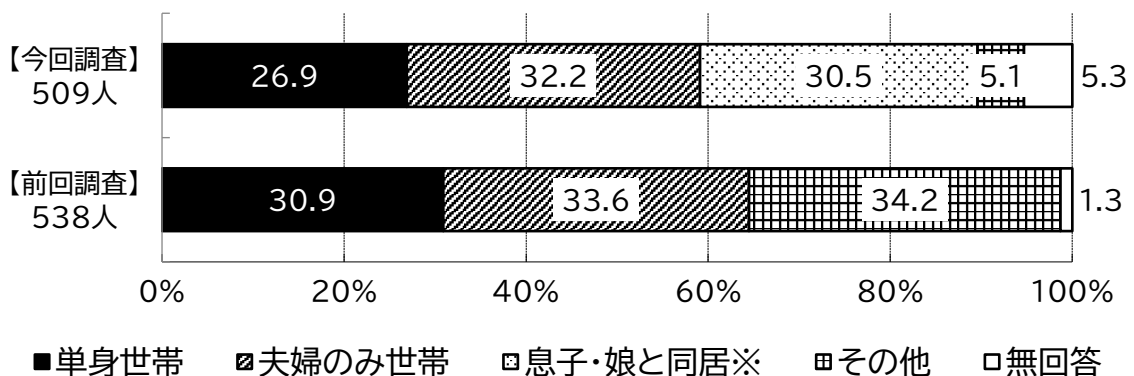


- 日常生活圏域は、「きよはら圏域」が36.4%と最も高く、次いで「なんがい圏域」が30.8%、「いもくぼ圏域」が30.6%と続いています。



問6 世帯類型について、ご回答ください。(1つを選択)

- 「夫婦のみ世帯」が32.2%と最も高く、次いで「息子・娘と同居」が30.5%、「単身世帯」が26.9%と続いています。

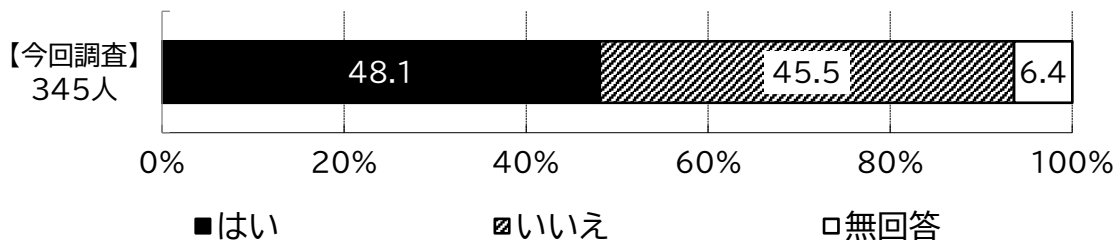


※は【前回】には選択肢なし

問6-1 【問6で「2. 夫婦のみ世帯」「3. 息子・娘と同居」「4. その他」のいずれかと回答した方にお伺いします。】

同居されている方は、全員が65歳以上ですか。(1つを選択)

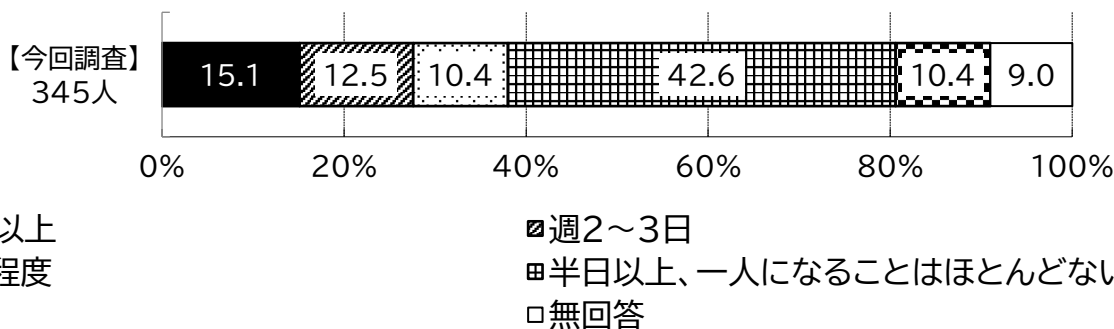
- 「はい」が48.1%、「いいえ」が45.5%となっています。



問6-2 【問6で「2. 夫婦のみ世帯」「3. 息子・娘と同居」「4. その他」のいずれかと回答した方にお伺いします。】

同居されている方が仕事などで、半日以上にわたり外出し、ご本人が自宅で一人になることがどのくらいありますか。(1つを選択)

- 「半日以上、一人になることはほとんどない」が42.6%と最も高く、次いで「週4日以上」が15.1%、「週2～3日」が12.5%と続いています。



【要介護度別等】

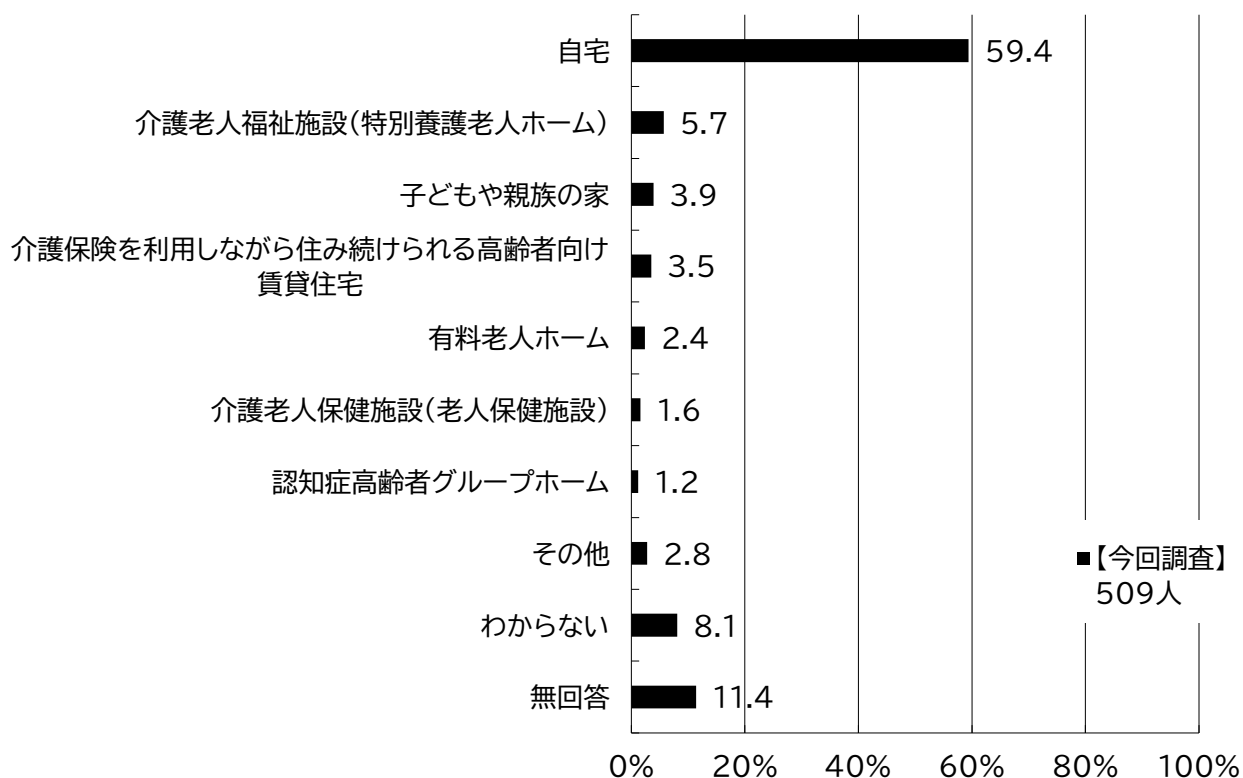
- 要介護度別で見ると、要支援1・2や要介護1・2の場合は「週4日以上」が18%前後、要介護3～5の場合は3.0%となっています。
- 世帯類型別で見ると、息子・娘と同居の場合は「週4日以上」が23.2%となっています。
- 介護保険サービスの利用状況別で見ると、介護保険サービスを利用していない場合は、「週4日以上」が18.6%となっています。
- 主な介護者の勤務形態別で見ると、フルタイムの場合は「週4日以上」が41.8%となっています。

(単位:%)

		週4日以上	週2～3日	週1日程度	半日以上、一人になることはほとんどない	その他	無回答
	全体 345人	15.1	12.5	10.4	42.6	10.4	9.0
A票-問4 要介護度	要支援1・2 171人	18.7	11.7	12.9	36.9	9.9	9.9
	要介護1・2 97人	17.5	15.5	8.2	36.2	11.3	11.3
	要介護3～5 67人	3.0	10.4	7.5	62.7	11.9	4.5
A票-問6 世帯類型	夫婦のみ世帯 164人	7.3	11.0	11.0	47.5	13.4	9.8
	息子・娘と同居 155人	23.2	15.5	9.7	39.3	5.8	6.5
A票-問10 介護保険サービスの利用状況	利用した 239人	13.8	14.2	11.3	42.3	10.0	8.4
	利用していない 102人	18.6	7.8	8.8	45.2	11.8	7.8
B票-問9 主な介護者の勤務形態	フルタイム 31人	41.8	19.4	9.7	12.9	9.7	6.5
	パートタイム 34人	11.8	32.4	5.9	44.1	2.9	2.9
	働いていない 112人	3.6	9.8	8.0	62.5	13.4	2.7

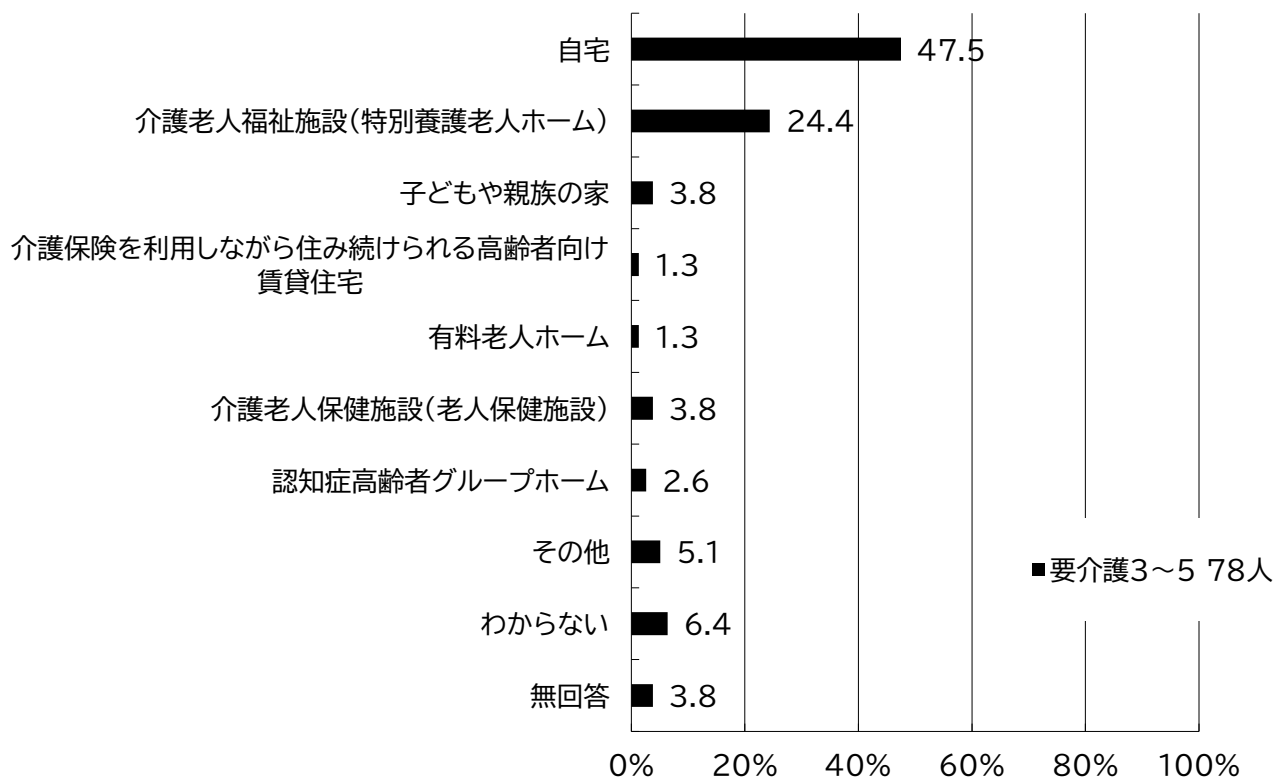
問7 ご本人の今後の生活についてどのようにお考えですか。(1つを選択)

- 「自宅」が 59.4%と最も高く、次いで「わからない」が 8.1%、「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」が 5.7%と続いています。



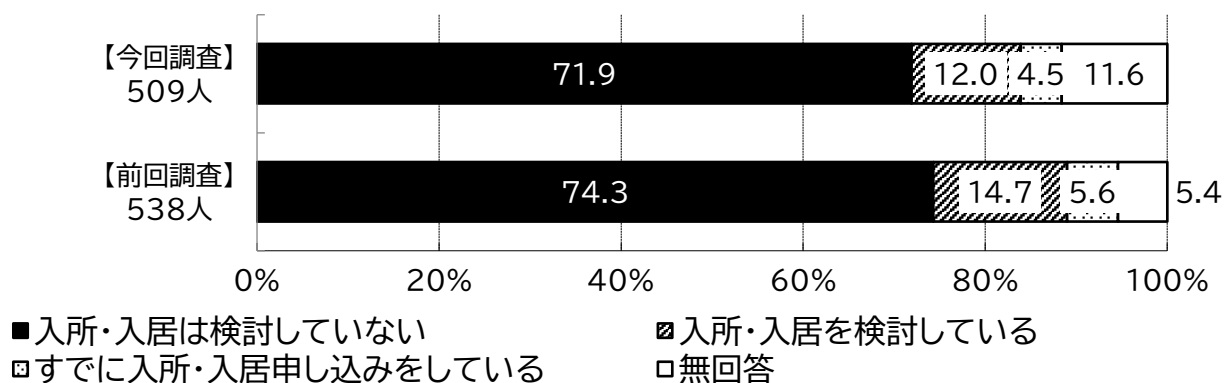
【A票-問4 要介護3~5】

- 要介護3~5の場合は、「自宅」が 47.5%と最も高く、次いで「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」が 24.4%と続いています。



問8 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(1つを選択)

- 「入所・入居は検討していない」が 71.9%と最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が 12.0%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が 4.5%と続いています。



【要介護度別等】

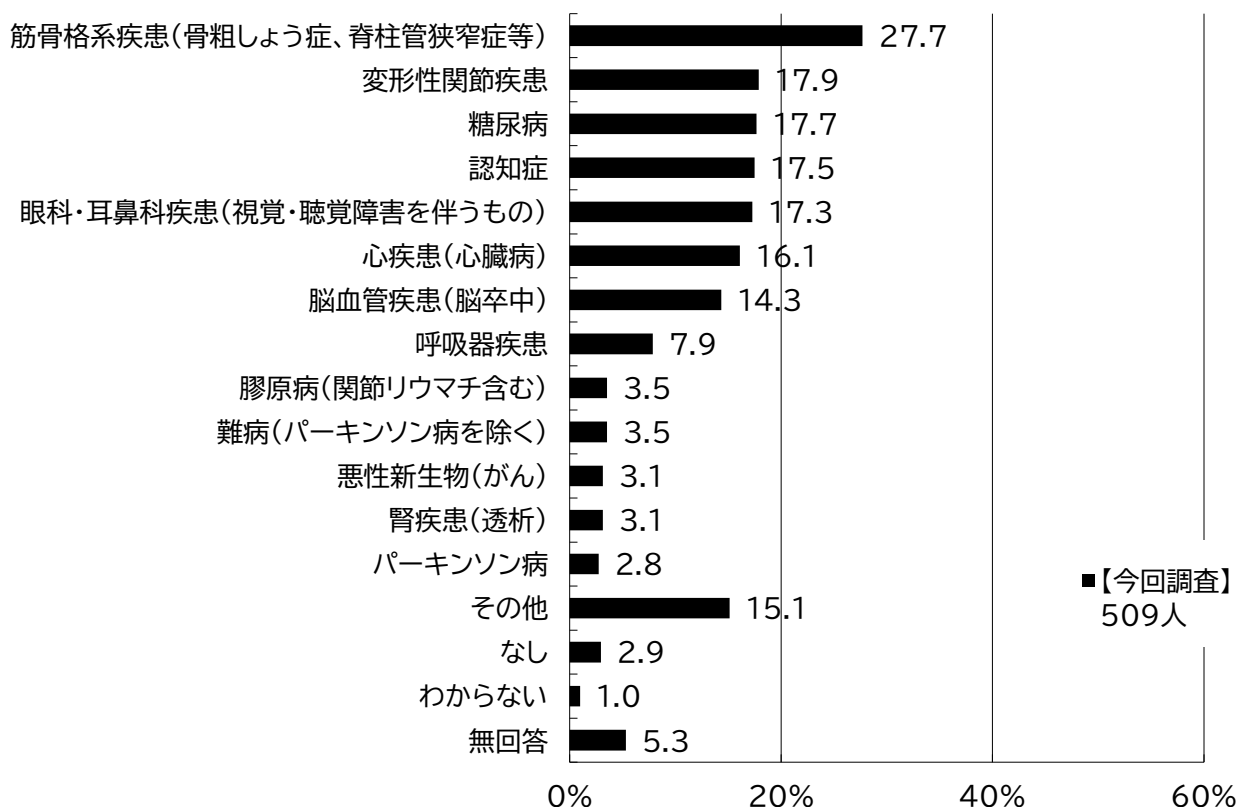
- 要介護度別で見ると、要介護3～5の場合は「すでに入所・入居申し込みをしている」が 20.5%、「入所・入居を検討している」が 15.4%、これら回答を合わせた入所・入居の希望率が 35.9%となっています。
- 世帯類型別で見ると、入所・入居の希望率は単身世帯で 18.3%、夫婦のみ世帯で 21.9%、息子・娘と同居で 10.9%となっています。

(単位:%)

		入所・入居は検討していない	入所・入居を検討している	すでに入所・入居申し込みをしている	無回答
	全体 509人	71.9	12.0	4.5	11.6
A票-問4 要介護度	要支援1・2 282人	73.8	10.6	0.4	15.2
	要介護1・2 130人	76.2	11.5	3.8	8.5
	要介護3～5 78人	62.8	15.4	20.5	1.3
A票-問6 世帯類型	単身世帯 137人	63.5	16.1	2.2	18.2
	夫婦のみ世帯 164人	70.2	14.0	7.9	7.9
	息子・娘と同居 155人	83.9	7.7	3.2	5.2

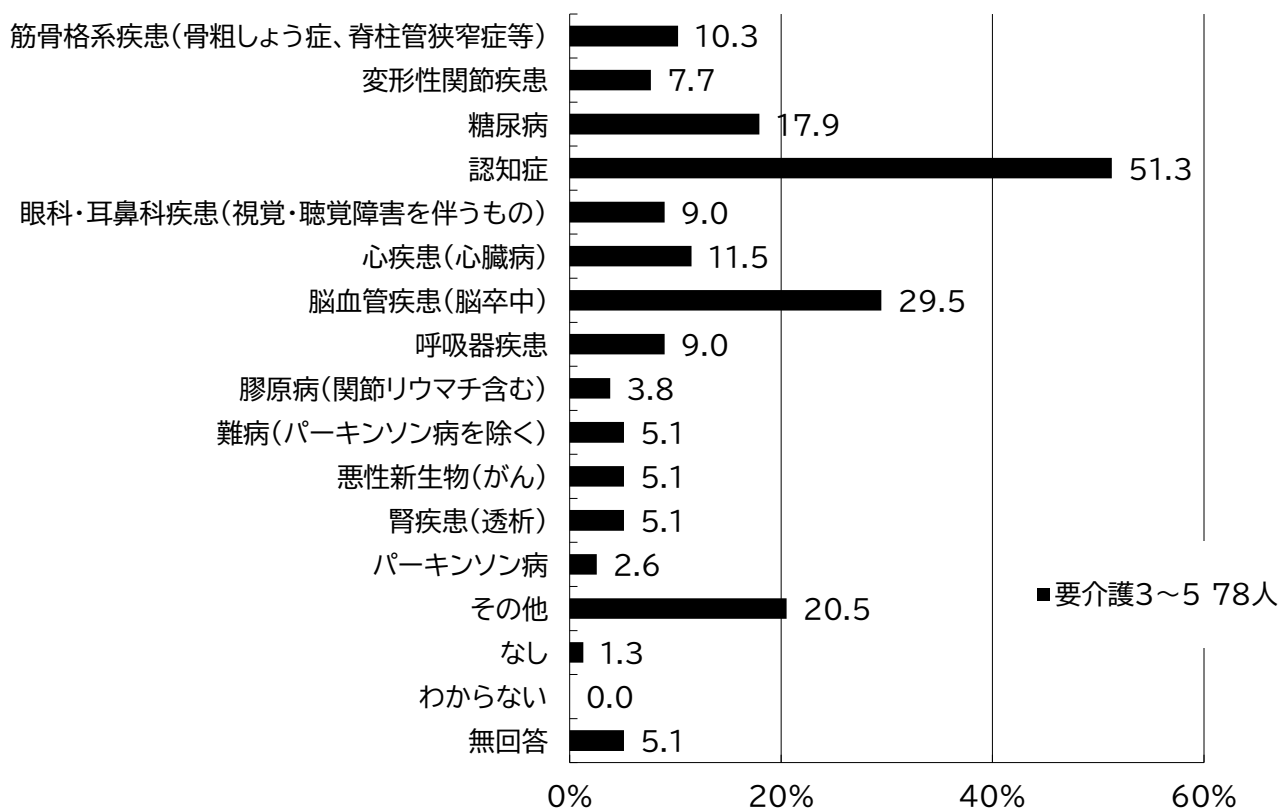
問9 ご本人が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。(複数選択可)

- 「筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」が 27.7%と最も高く、次いで「変形性関節疾患」が 17.9%、「糖尿病」が 17.7%と続いています。



【A票-問4 要介護3~5】

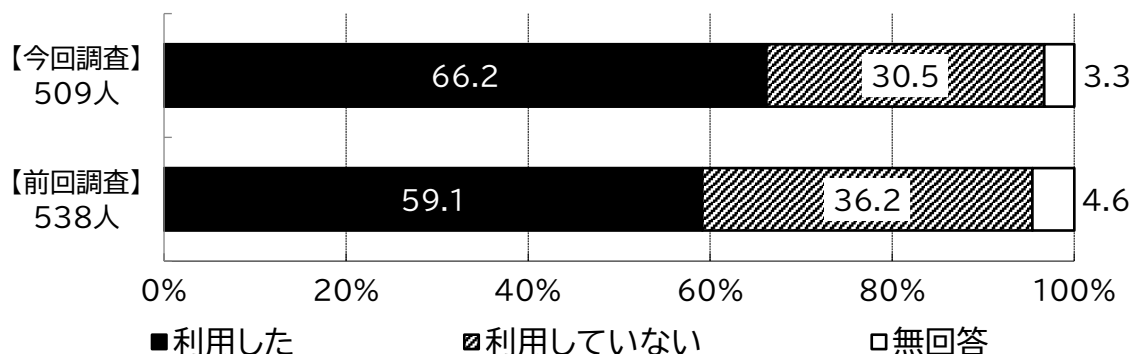
- 要介護3~5の場合は、「認知症」が 51.3%と最も高く、次いで「脳血管疾患(脳卒中)」が 29.5%、「その他」が 20.5%と続いています。



2 介護保険サービス等の利用について

問10 令和元年 11 月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか。(1つを選択)

- 「利用した」が 66.2%、「利用していない」が 30.5%となっています。



【要介護度別等】

- 要介護度別で見ると、要介護3～5の場合は「利用した」が 85.9%と、同回答率は介護度が上がるほど高くなっており、要支援1・2の場合は「利用していない」が 42.2%となっています。
- 日常生活圏域別で見ると、いもくぼ圏域は「利用した」が 72.5%と比較的高くなっています。
- 主な介護者の勤務形態別で見ると、フルタイムの場合は「利用した」が 76.4%と比較的低くなっています。

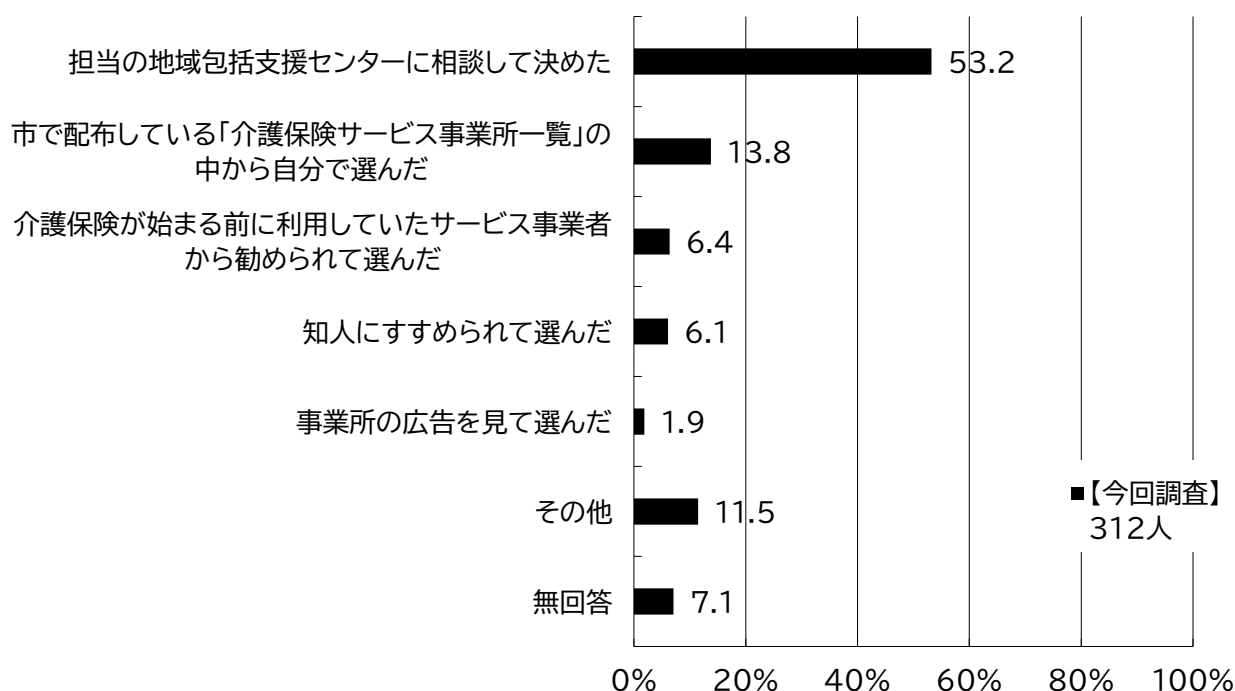
(単位:%)

		利用した	利用して いない	無回答
全体 509 人		66.2	30.5	3.3
A票-問4 要介護度	要支援1・2 282 人	55.0	42.2	2.8
	要介護1・2 130 人	80.7	18.5	0.8
	要介護3～5 78 人	85.9	7.7	6.4
A票-問5 日常生活圏域	いもくぼ圏域 156 人	72.5	25.6	1.9
	きよはら圏域 185 人	63.2	33.0	3.8
	なんがい圏域 157 人	63.7	33.8	2.5
B票-問9 主な介護者の 勤務形態	フルタイム 55 人	76.4	20.0	3.6
	パートタイム 43 人	83.7	16.3	0.0
	働いていない 125 人	80.0	19.2	0.8

問11【問10で「1. 利用した」と回答した方にお伺いします。】

ケアプランを作成している居宅介護支援事業者(ケアマネジャーが在籍)はどのようにして選びましたか。(1つを選択)

- 「担当の地域包括支援センターに相談して決めた」が 53.2%と最も高く、次いで「市で配布している「介護保険サービス事業所一覧」の中から自分で選んだ」が 13.8%、「その他」が 11.5%と続いています。



【要介護度別等】

- 要介護度別で見ると、要支援1・2の場合は「担当の地域包括支援センターに相談して決めた」が 60.9%と比較的高くなっています。
- 日常生活圏域別で見ると、いずれの圏域も「担当の地域包括支援センターに相談して決めた」が最も高い一方、いもくほ圏域は同回答が 47.7%と比較的低くなっています。

(単位:%)

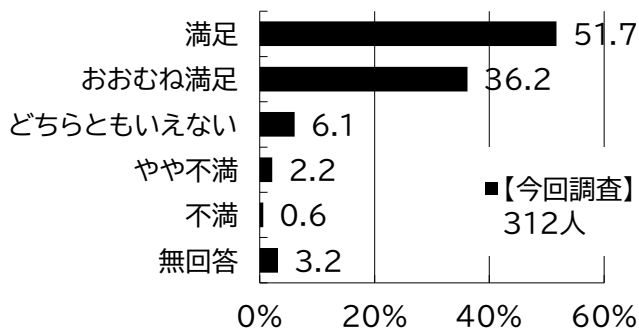
		市で配布している「介護保険サービス事業所一覧」の中から自分で選んだ	事業所の広告を見て選んだ	知人にすすめられて選んだ	担当の地域包括支援センターに相談して決めた	介護保険が始まる前に利用していたサービス事業者から勧められて選んだ	その他	無回答
	全体 312人	13.8	1.9	6.1	53.2	6.4	11.5	7.1
A票-問4 要介護度	要支援1・2 141人	13.5	2.1	4.3	60.9	4.3	7.1	7.8
	要介護1・2 95人	11.6	1.1	8.4	48.3	3.2	20.0	7.4
	要介護3~5 67人	19.4	3.0	6.0	44.8	11.9	10.4	4.5
A票-問5 日常生活圏域	いもくほ圏域 105人	17.1	1.9	7.6	47.7	5.7	10.5	9.5
	きよはら圏域 108人	13.0	1.9	3.7	55.4	7.4	13.0	5.6
	なんがい圏域 92人	10.9	2.2	7.6	56.5	5.4	12.0	5.4

問12 【問10で「1. 利用した」と回答した方にお伺いします。】

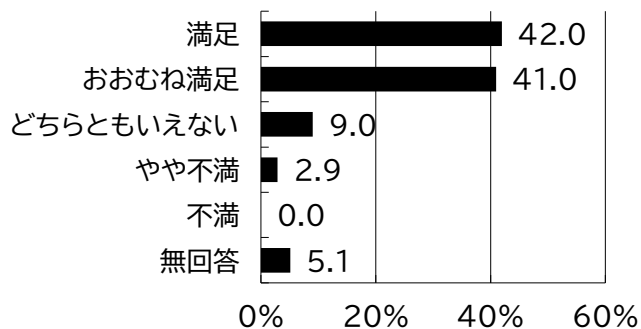
介護保険サービスを利用してどのように感じますか。①～⑧の項目について、それぞれもっとも近い意見1つに○をしてください。

- 総合的な満足度は、「おおむね満足」が 51.9%と最も高く、次いで「満足」が 28.2%、「どちらともいえない」が 10.6%、「やや不満」が 2.9%と続いています。

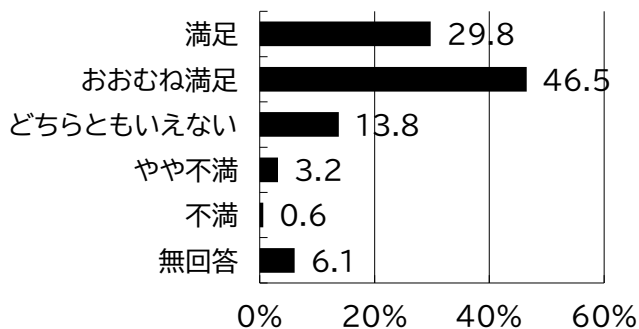
①ケアマネジャーの対応や相談



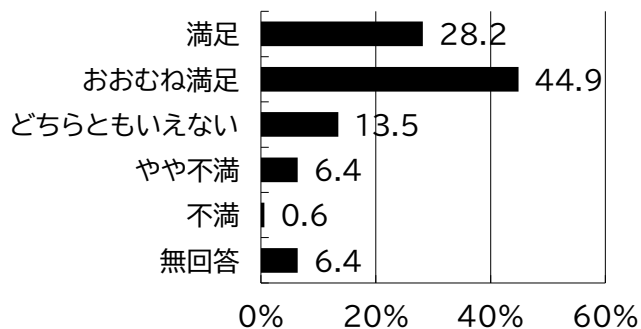
②サービスの説明



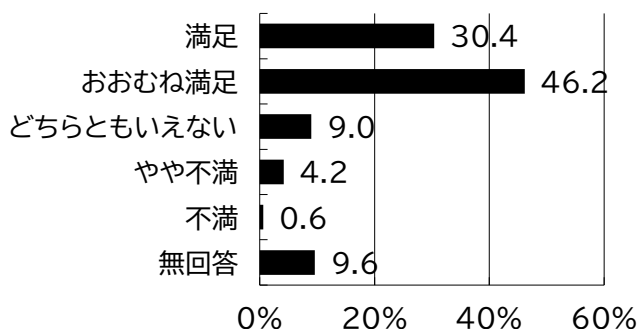
③利用できるサービスの種類



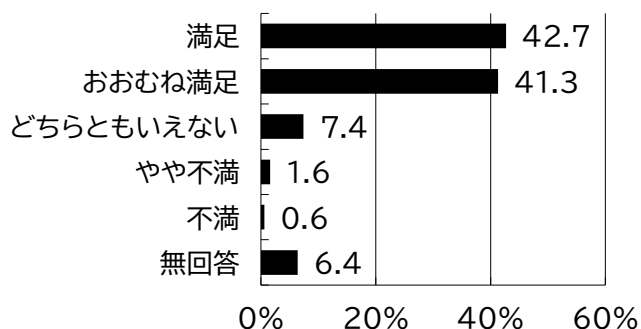
④利用できるサービスの量



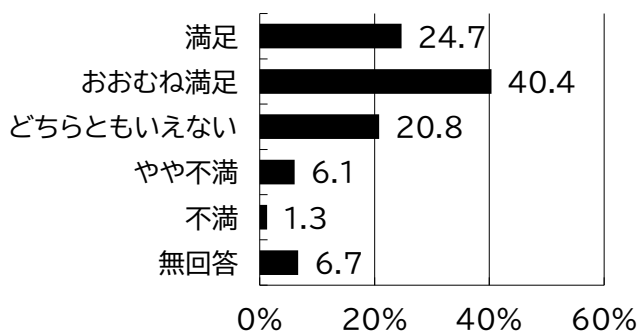
⑤介護の仕方



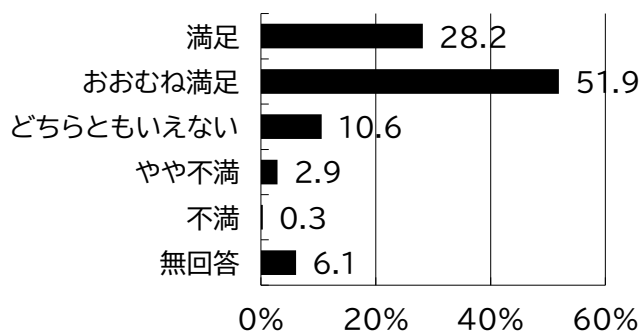
⑥介護サービス職員の対応、態度



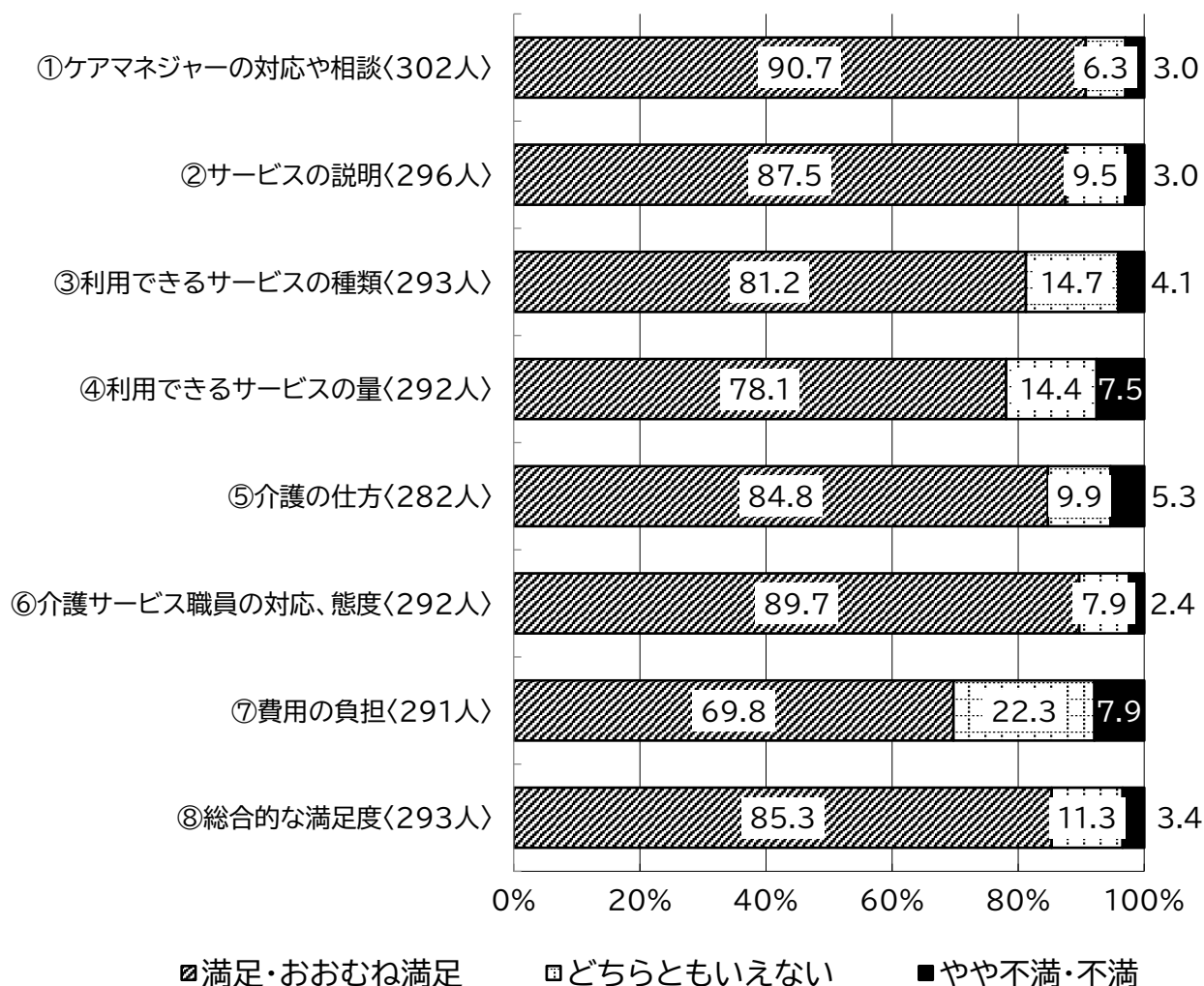
⑦費用の負担



⑧総合的な満足度



- 「満足」「おおむね満足」と回答した満足率は、①ケアマネジャーの対応や相談が 90.7%と最も高く、次いで⑥介護サービス職員の対応、態度が 89.7%、②サービスの説明が 87.5%と続いており、⑧総合的な満足度は 85.3%となっています。

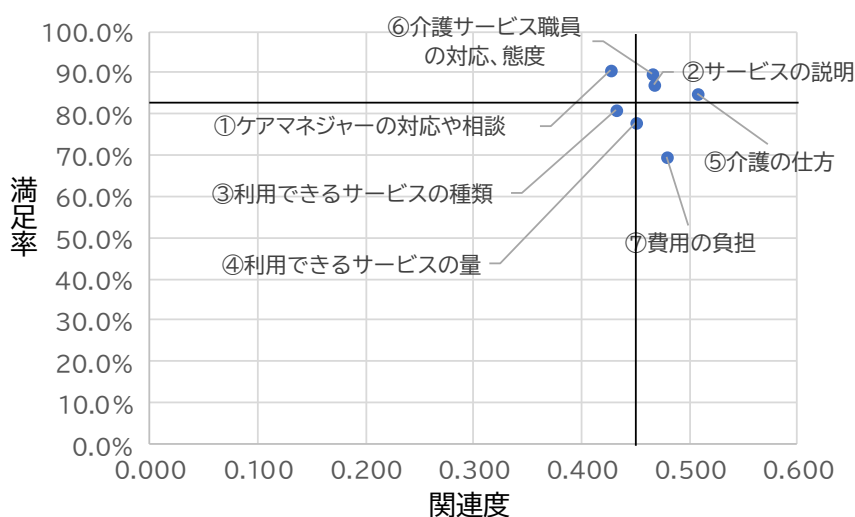


※回答者から無回答の方を除いて集計

- ①～⑦の項目について、⑧総合的な満足度との関連度は、高い順から⑤介護の仕方、⑦費用の負担、②サービスの説明、⑥介護サービス職員の対応、態度の順となっています。

CS分析結果

項目	満足率	関連度
①ケアマネジャーの対応や相談	90.7%	0.428
②サービスの説明	87.2%	0.468
③利用できるサービスの種類	81.2%	0.433
④利用できるサービスの量	78.1%	0.451
⑤介護の仕方	84.8%	0.507
⑥介護サービス職員の対応、態度	89.7%	0.466
⑦費用の負担	69.8%	0.479
平均	83.1%	0.461



【⑧総合的な満足度 要介護度別等】

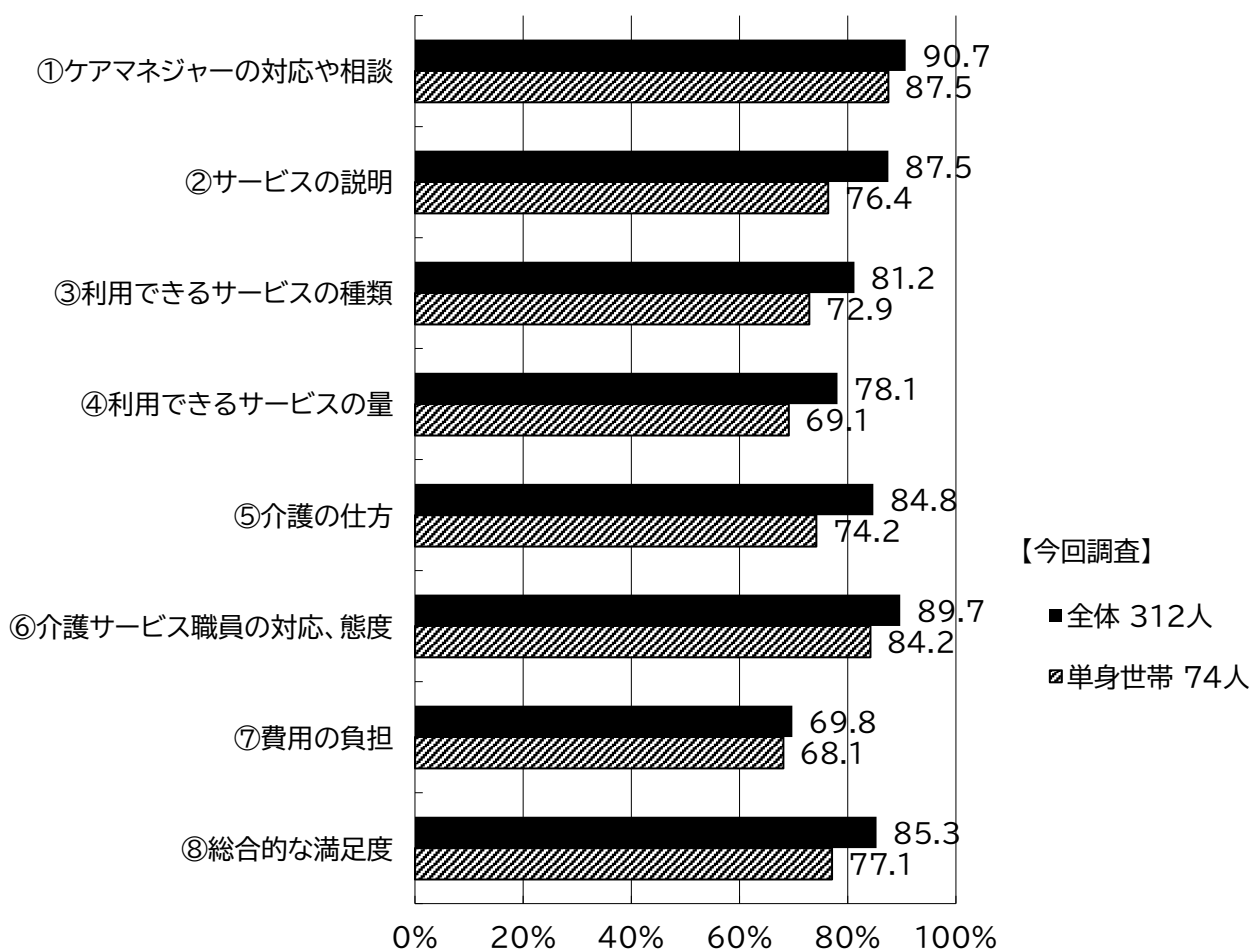
- ⑧総合的な満足度を要介護度別で見ると、「満足」・「おおむね満足」と回答した満足率に大きな差は見られません。
- 日常生活圏域別で見ると、満足率に大きな差は見られません。
- 世帯類型別で見ると、単身世帯の場合は満足率が73.0%と比較的低くなっています。

(単位:%)

		満足	おおむね満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	無回答
	全体 312人	28.2	51.9	10.6	2.9	0.3	6.1
A票-問4 要介護度	要支援1・2 141人	32.6	46.9	10.6	1.4	0.0	8.5
	要介護1・2 95人	25.3	56.7	7.4	4.2	1.1	5.3
	要介護3~5 67人	23.9	56.7	14.9	3.0	0.0	1.5
A票-問5 日常生活圏域	いもくぼ圏域 105人	24.8	55.1	12.4	1.0	1.0	5.7
	きよはら圏域 108人	25.9	52.8	10.2	2.8	0.0	8.3
	なんがいの圏域 92人	33.7	47.8	9.8	5.4	0.0	3.3
A票-問6 世帯類型	単身世帯 74人	35.1	37.9	18.9	2.7	0.0	5.4
	夫婦のみ世帯 96人	34.4	46.8	11.5	2.1	0.0	5.2
	息子・娘と同居 110人	18.2	64.5	7.3	3.6	0.9	5.5
	その他 19人	31.6	63.1	0.0	0.0	0.0	5.3

【①~⑧の各項目の「満足」・「おおむね満足」と回答した満足率 回答者全体と単身世帯の比較】

- 単身世帯の場合は、多くの項目で満足率が全体と比べて低くなっており、特に②サービスの説明や⑤介護の仕方
方で満足率に差が見られます。

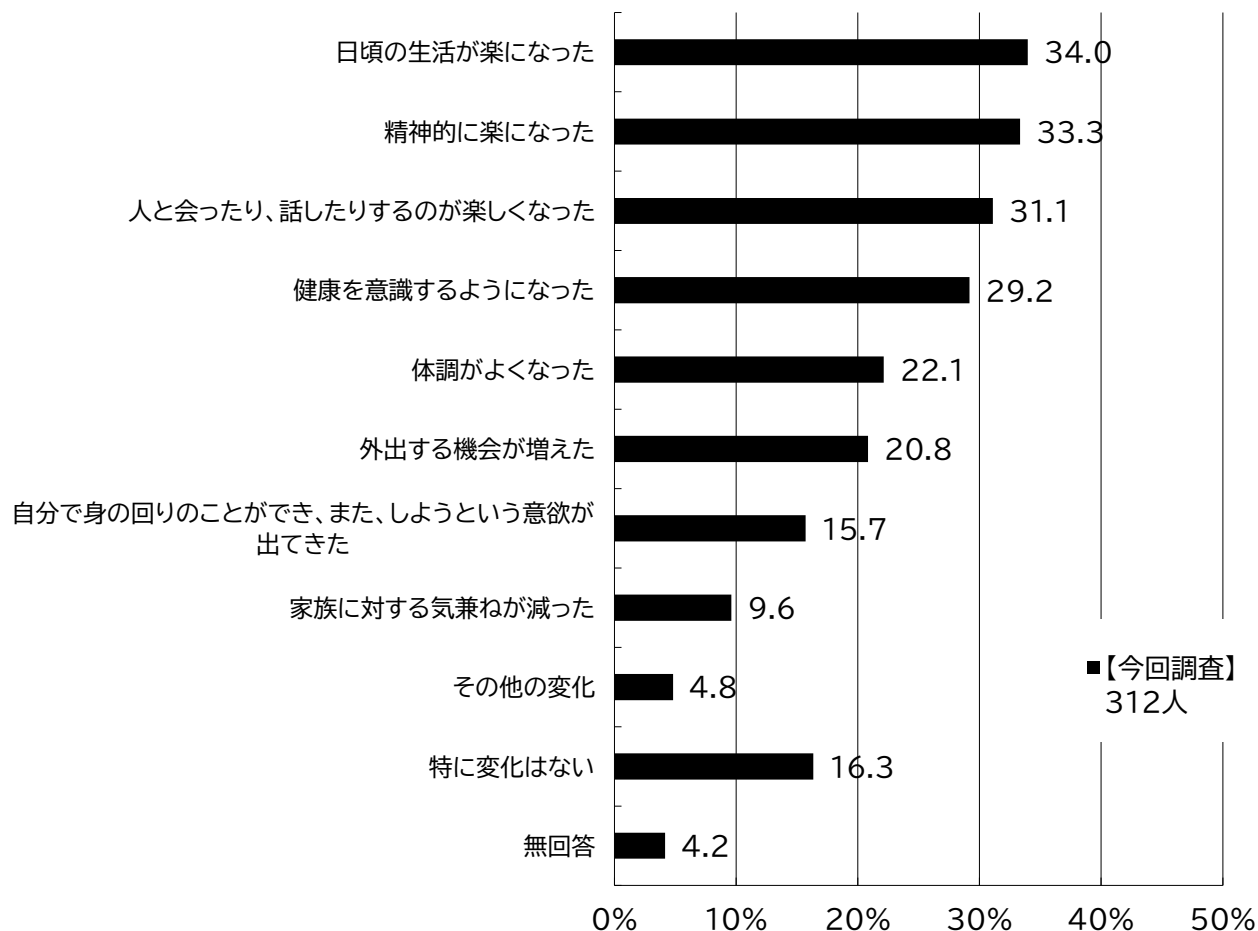


※回答者から無回答の方を除いて集計

問13 【問10で「1. 利用した」と回答した方にお伺いします。】

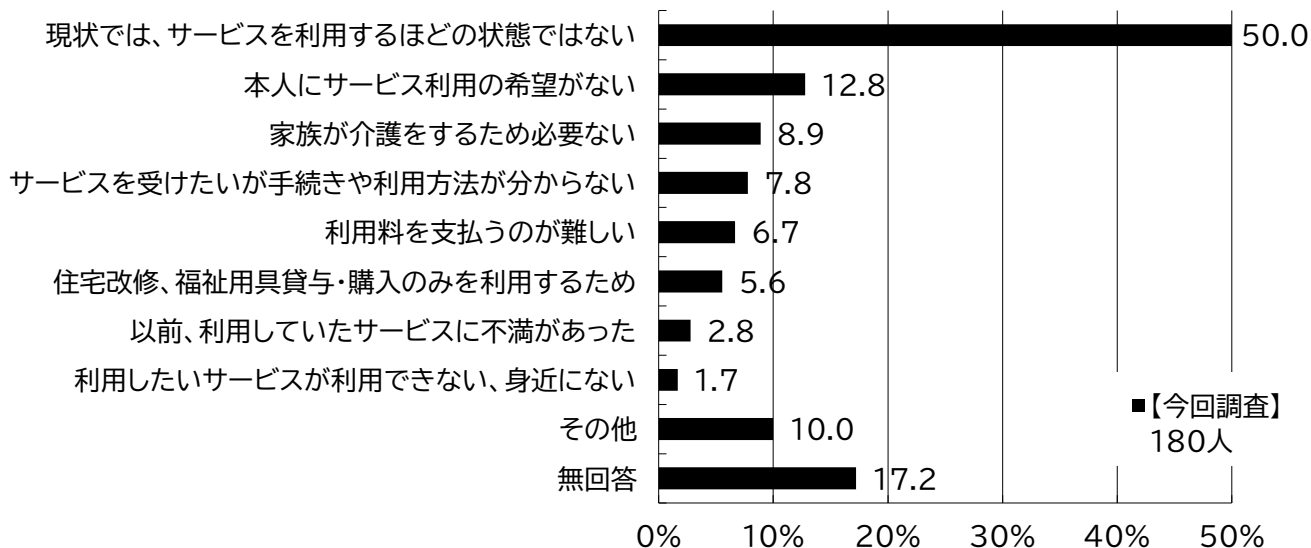
介護保険サービスを利用することで、生活に次のような変化がありましたか。(複数選択可)

- 「日頃の生活が楽になった」が 34.0%と最も高く、次いで「精神的に楽になった」が 33.3%、「人と会ったり、話したりするのが楽しくなった」が 31.1%と続いています。



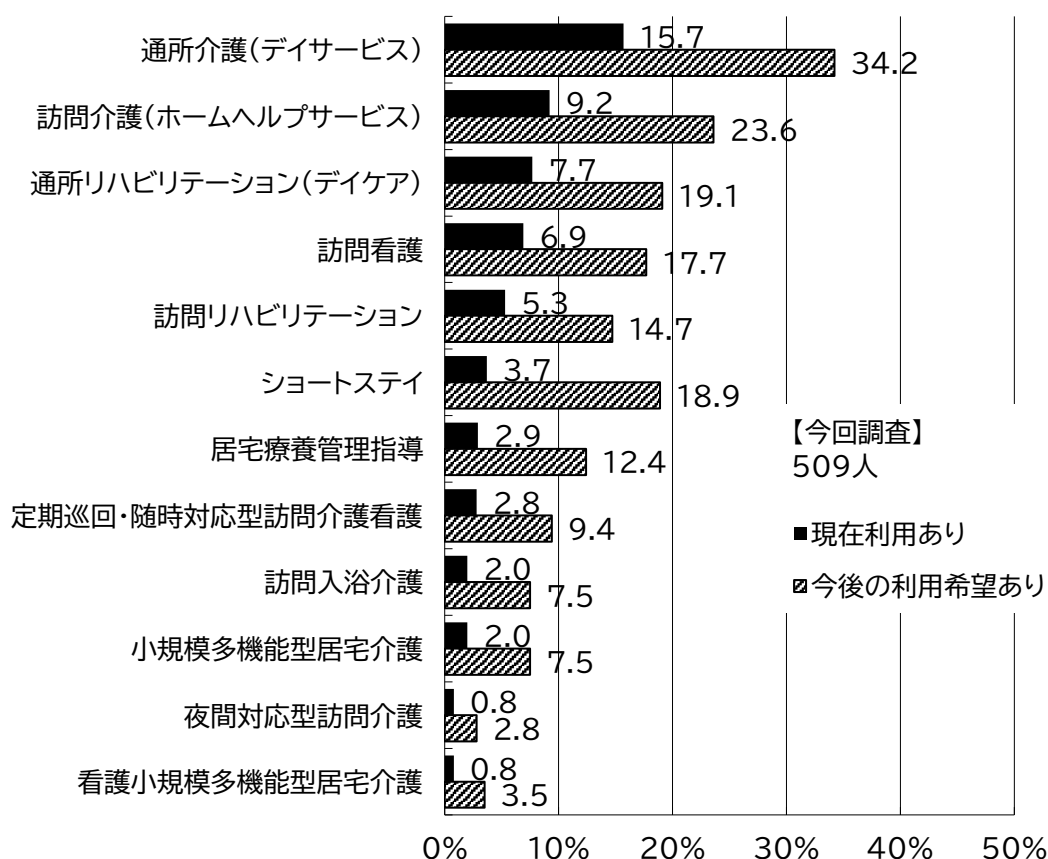
**問14 【問10で「2. 利用していない」と回答した方にお伺いします。】
介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(複数選択可)**

- 「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 50.0%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が 12.8%、「その他」が 10.0%と続いています。



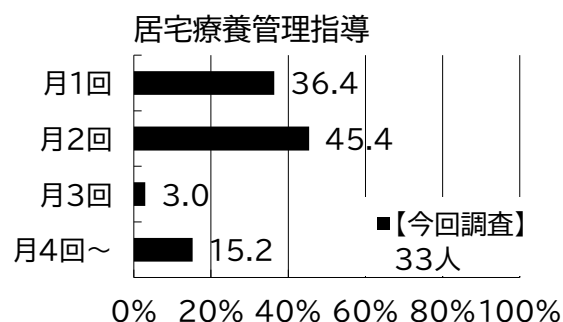
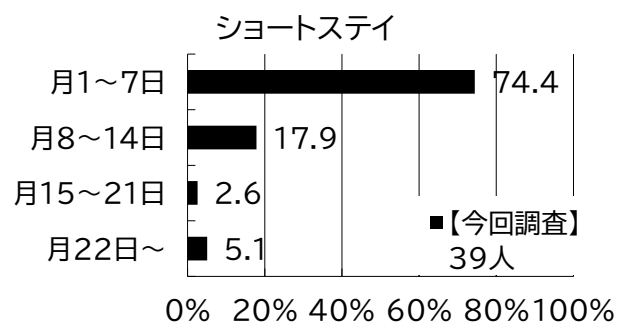
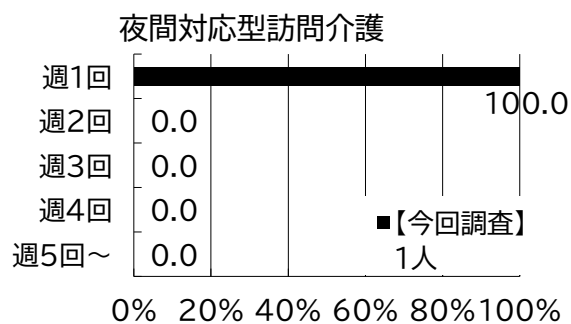
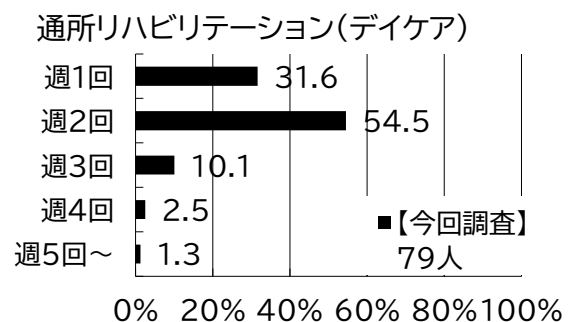
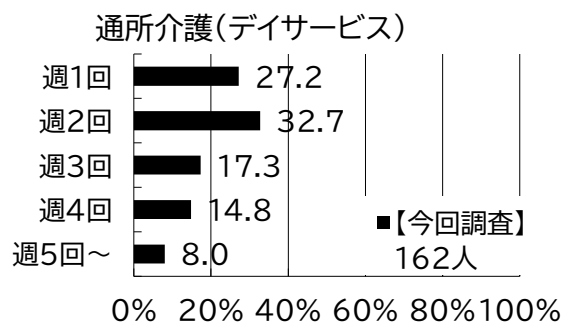
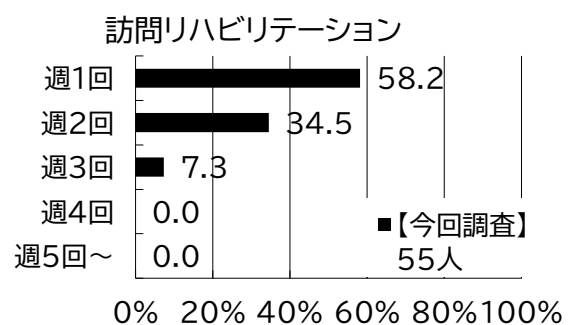
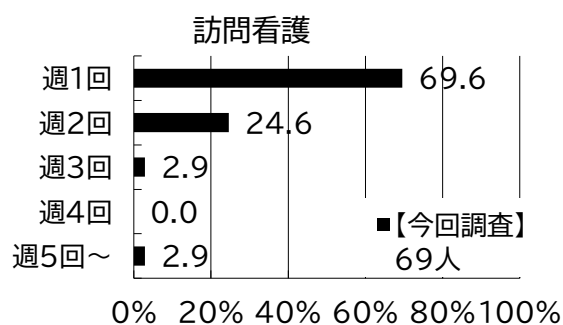
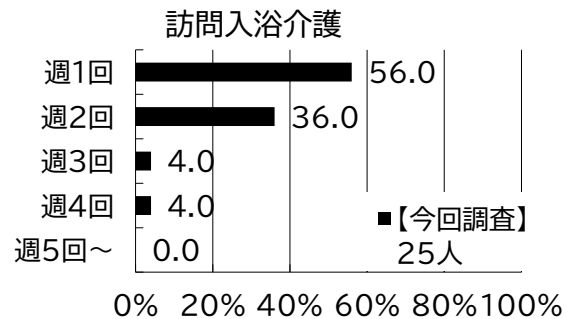
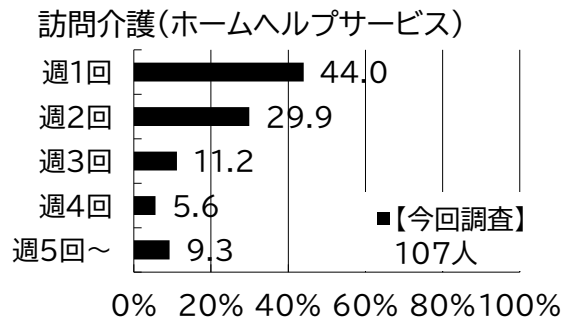
問15 介護保険サービスについて、それぞれ、令和元年11月の1か月間の利用の有無及び利用状況と、今後の利用の意向をご回答ください。(現在の利用の有無は問いません)

- 現在の利用率は、通所介護(デイサービス)が 15.7%と最も高く、次いで「訪問介護(ホームヘルプサービス)」が 9.2%、「通所リハビリテーション(デイケア)」が 7.7%と続いています。
- 今後の利用希望率は、通所介護(デイサービス)が 34.2%と最も高く、次いで「訪問介護(ホームヘルプサービス)」が 23.6%、「通所リハビリテーション(デイケア)」が 19.1%と続いており、いずれの割合も現在の利用率を大きく上回っています。



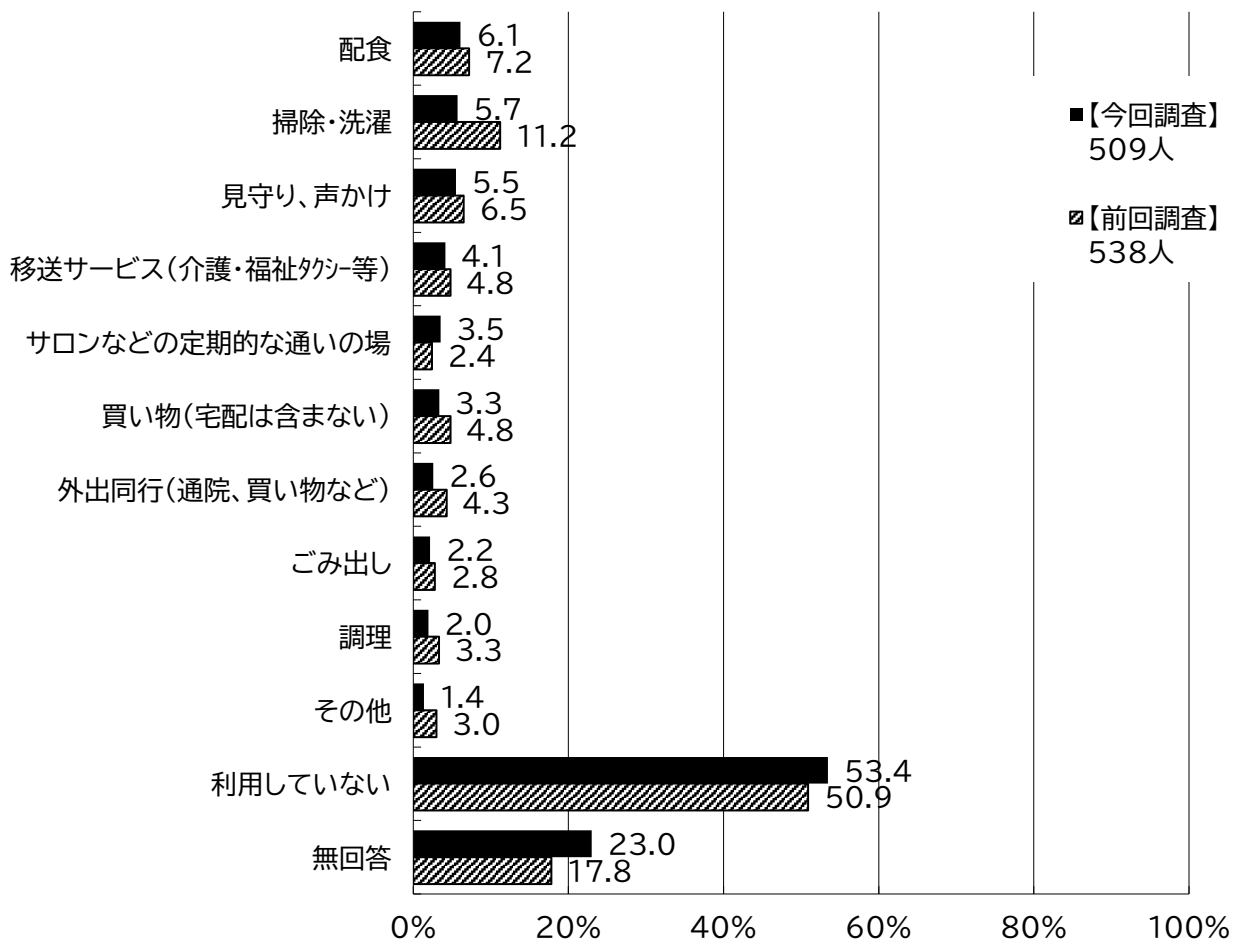
【利用回数・日数】

- 訪問介護(ホームヘルプサービス)や訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーションは、いずれも「週1回」が最も高くなっています。
- 通所介護(デイサービス)と通所リハビリテーション(デイケア)は、いずれも「週2回」が最も高くなっています。
- ショートステイは、「月1~7日」が74.4%となっています。
- 居宅療養管理指導は、「月2回」が最も高くなっています。



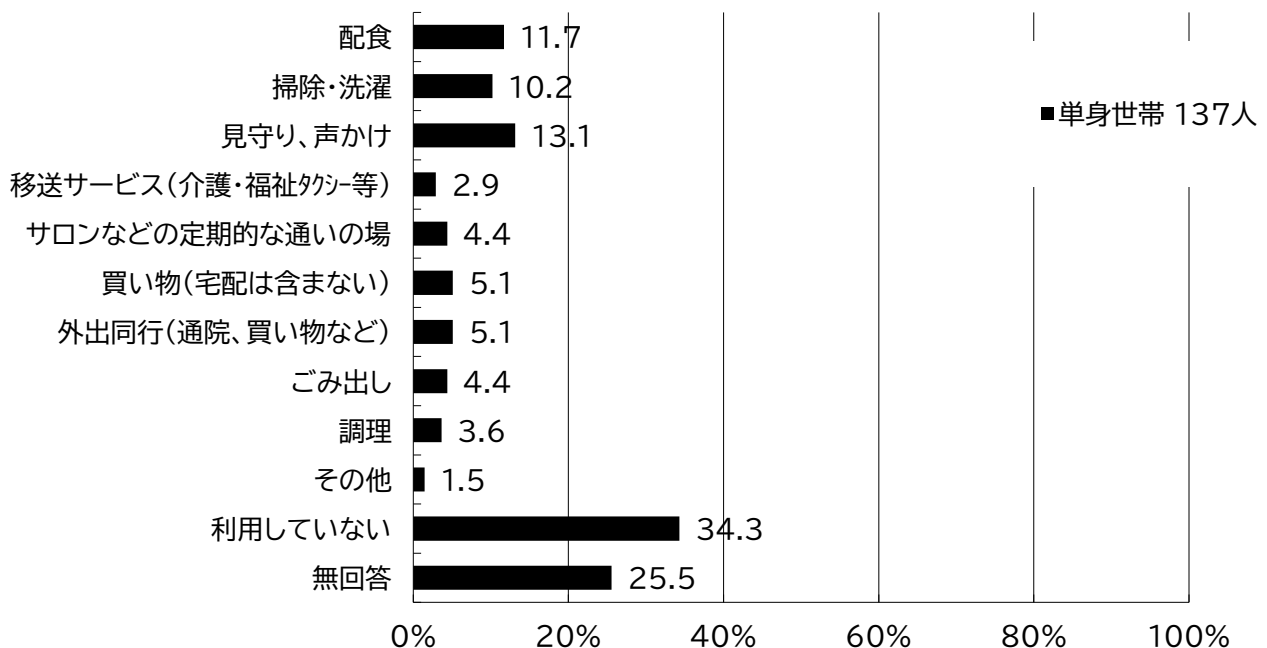
問16 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。
(複数選択可)

- 「利用していない」が53.4%と最も高く、次いで「配食」が6.1%、「掃除・洗濯」が5.7%と続いています。



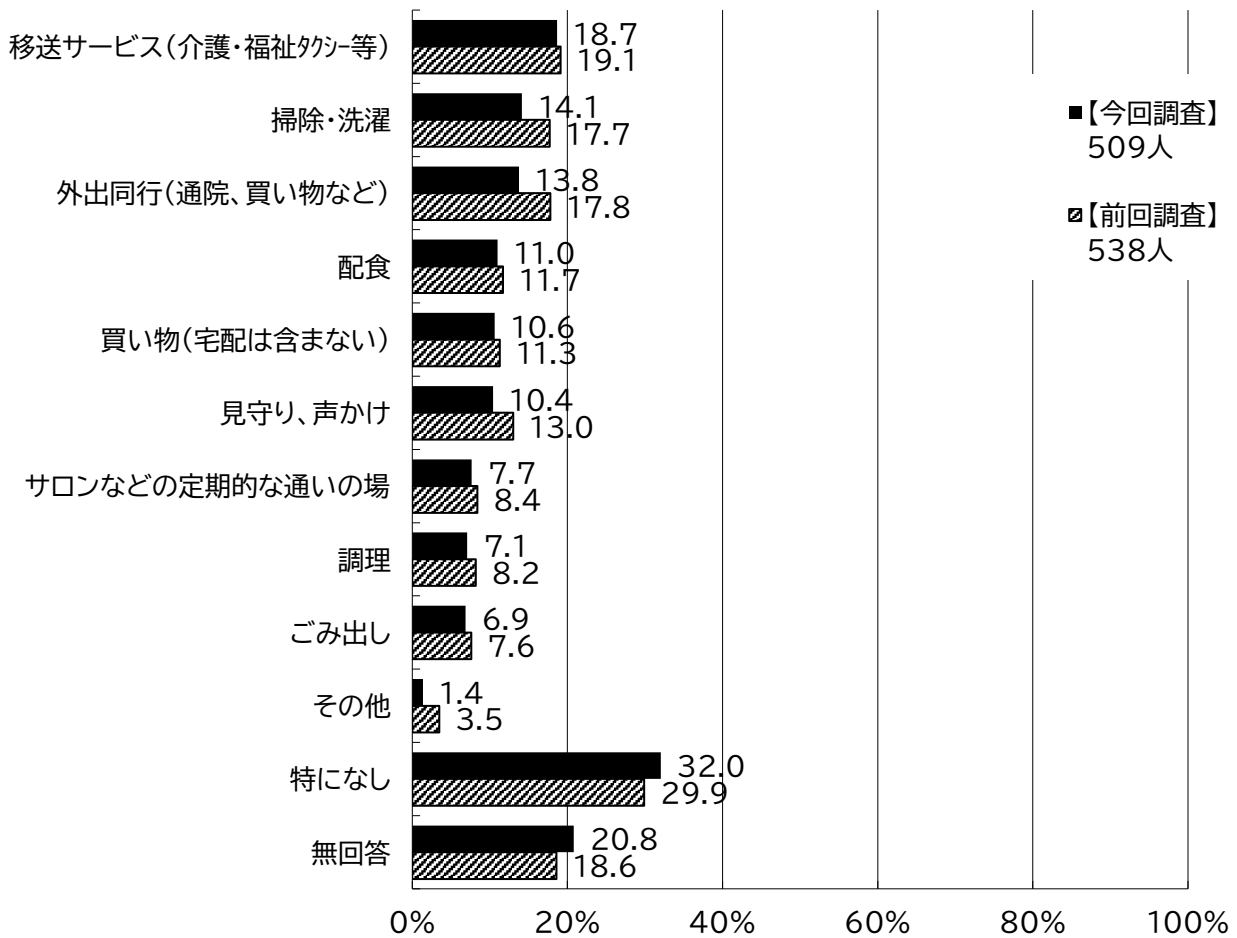
【問6 世帯類型・単身世帯】

- 単身世帯の場合は、「利用していない」が34.3%と最も高く、次いで「見守り、声かけ」が13.1%、「配食」が11.7%と続いています。



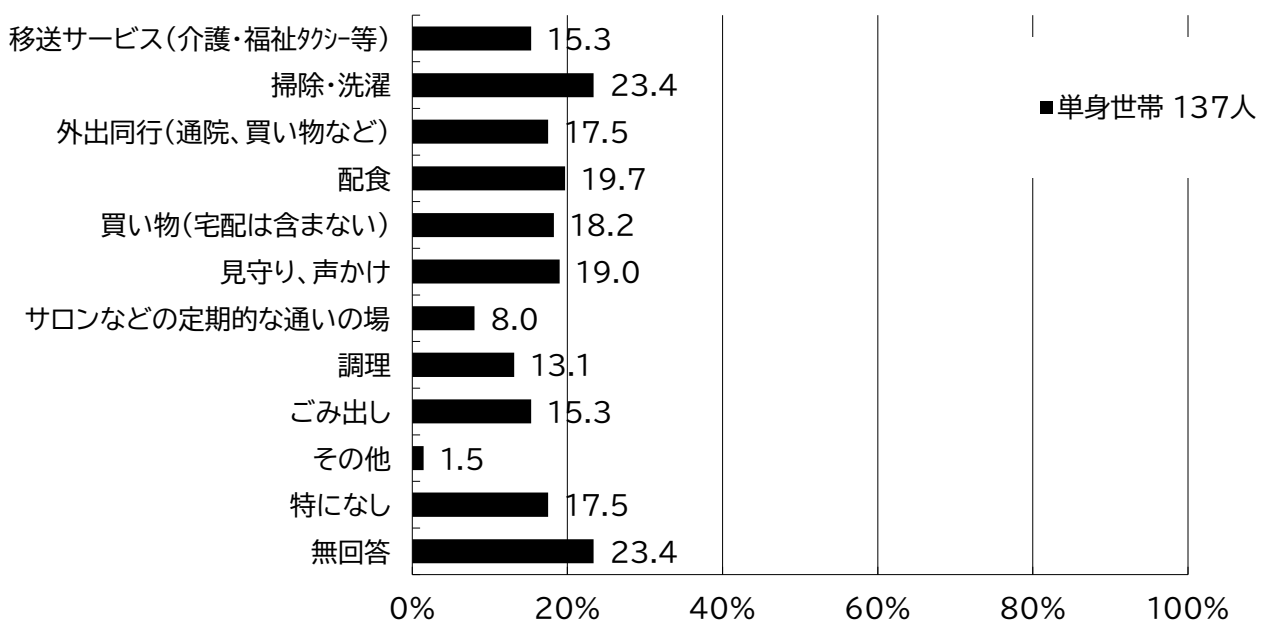
問17 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください。(複数選択可)

- 「特になし」が32.0%と最も高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が18.7%、「掃除・洗濯」が14.1%と続いています。



【問6 世帯類型・単身世帯】

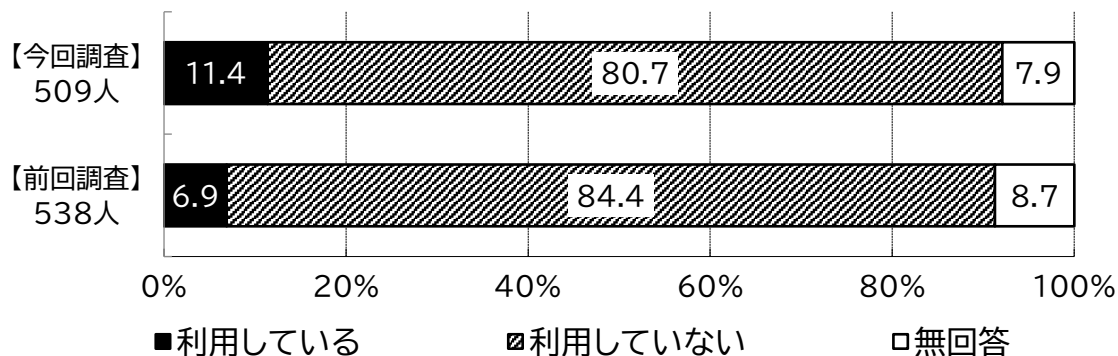
- 単身世帯の場合は、「掃除・洗濯」が23.4%と最も高く、次いで「配食」が19.7%、「見守り、声かけ」が19.0%と続いています。



3 医療の状況・今後の生活等について

問18 ご本人は、現在、訪問診療を利用していますか。(1つを選択)

- 「利用していない」が80.7%、「利用している」が11.4%となっています。



【要介護度別等】

- 要介護度別で見ると、要介護3～5の場合は「利用している」が26.9%となっています。
- 日常生活圏域別で見ると、きよはら圏域は「利用している」が8.1%と比較的低くなっています。
- 介護保険サービスの利用状況別で見ると、介護保険サービスを利用した場合は、訪問診療を「利用している」が15.4%となっています。

(単位:%)

		利用して いる	利用して いない	無回答
	全体 509人	11.4	80.7	7.9
A票-問4 要介護度	要支援1・2 282人	6.7	84.1	9.2
	要介護1・2 130人	12.3	83.1	4.6
	要介護3～5 78人	26.9	70.5	2.6
A票-問5 日常生活 圏域	いもくぼ圏域 156人	12.8	78.9	8.3
	きよはら圏域 185人	8.1	84.3	7.6
	なんがい圏域 157人	14.0	80.3	5.7
A票-問10 介護保険 サービスの利用状況	利用した 337人	15.4	78.1	6.5
	利用していない 155人	2.6	89.7	7.7

問19 ご本人の体調や病気などについて相談できる「かかりつけ医」はいますか。(1つを選択)

- 「市内にいる」が68.5%と最も高く、次いで「市外にいる」が16.1%、「いない」が8.3%と続いています。



【日常生活圏域別等】

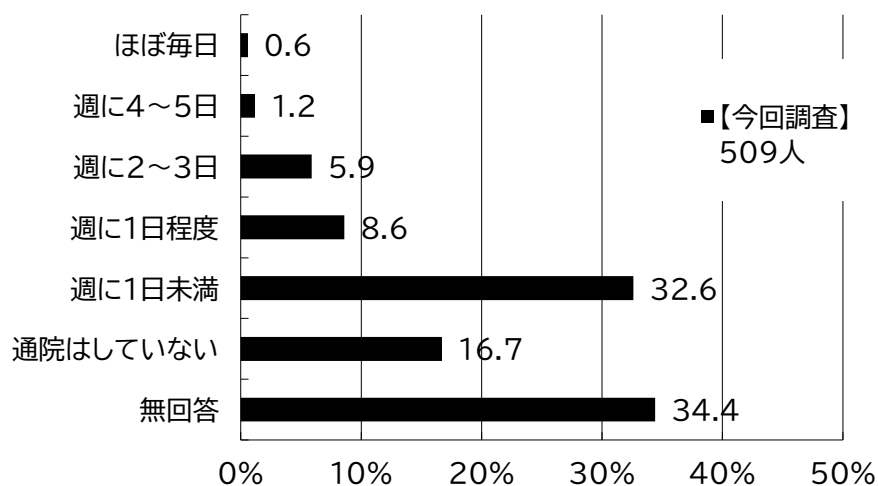
- 日常生活圏域別で見ると、きよはら圏域は「市内にいる」が63.8%と比較的低くなっています。
- 世帯類型別で見ると、単身世帯の場合は「いない」が11.7%となっています。

(単位:%)

		市内にいる	市外にいる	いない	無回答
	全体 509人	68.5	16.1	8.3	7.1
A票-問5 日常生活圏域	いもくぼ圏域 156人	72.4	11.5	5.8	10.3
	きよはら圏域 185人	63.8	20.5	10.3	5.4
	なんがい圏域 157人	72.0	15.3	8.9	3.8
A票-問6 世帯類型	単身世帯 137人	65.7	14.6	11.7	8.0
	夫婦のみ世帯 164人	67.1	18.9	7.9	6.1
	息子・娘と同居 155人	77.4	11.6	5.8	5.2

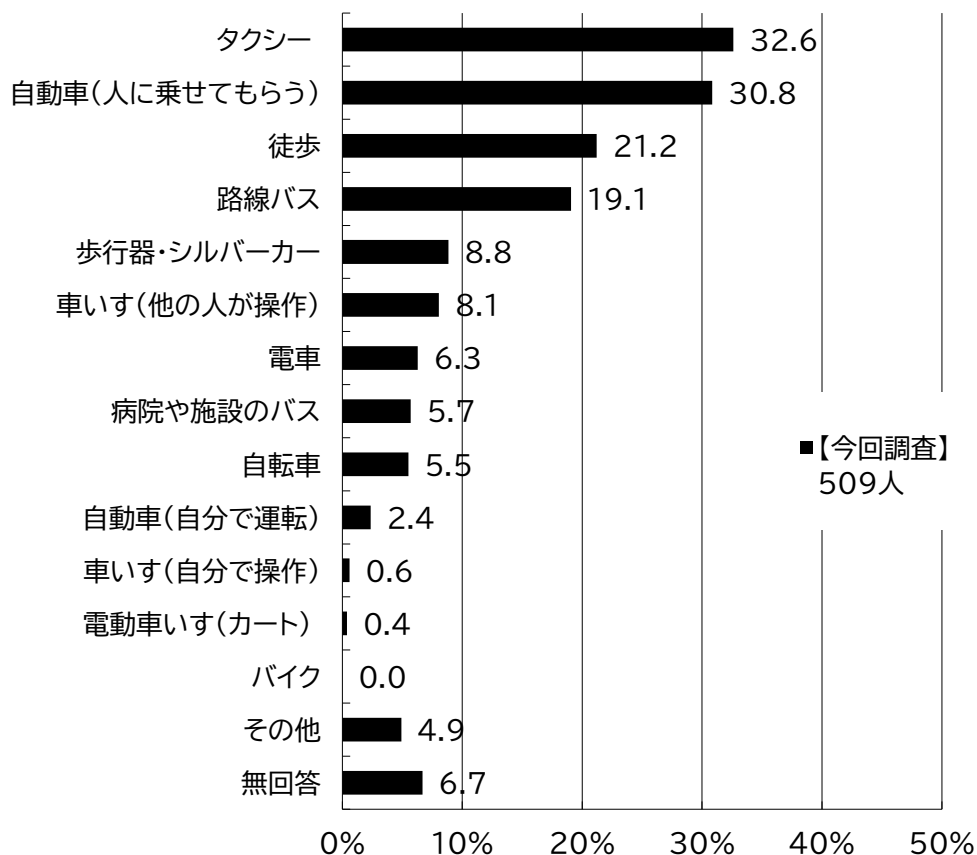
問20 ご本人は、どのくらいの頻度で通院をしていますか。(1つを選択)

- 「週に1日未満」が32.6%と最も高く、次いで「通院はしていない」が16.7%、「週に1日程度」が8.6%と続いています。



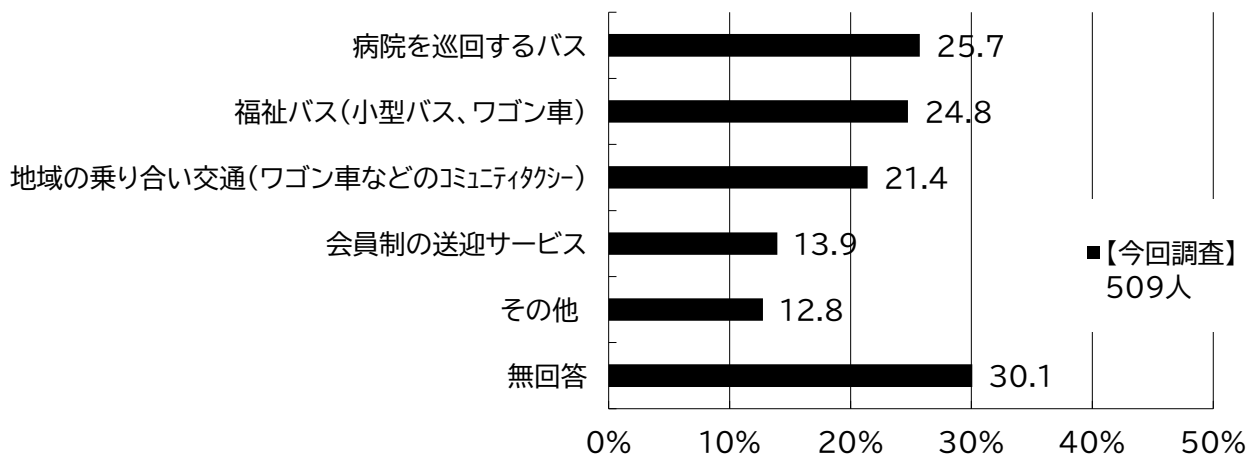
問21 ご本人が通院するときの移動手段は何ですか。(複数選択可)

- 「タクシー」が 32.6%と最も高く、次いで「自動車(人に乗せてもらう)」が 30.8%、「徒歩」が 21.2%と続いています。



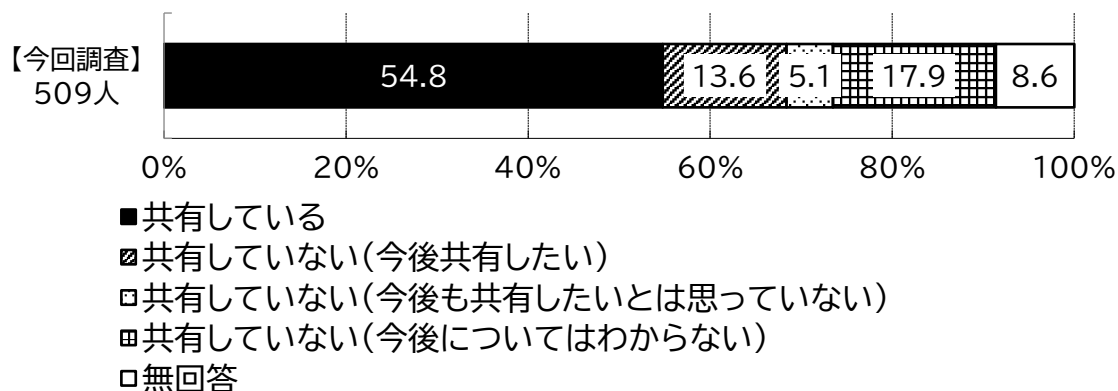
問22 今後、市内で導入されたら利用したいと思う移動手段はありますか。(複数選択可)

- 「病院を巡回するバス」が 25.7%と最も高く、次いで「福祉バス(小型バス、ワゴン車)」が 24.8%、「地域の乗り合い交通(ワゴン車などのコミュニティタクシー)」が 21.4%と続いています。



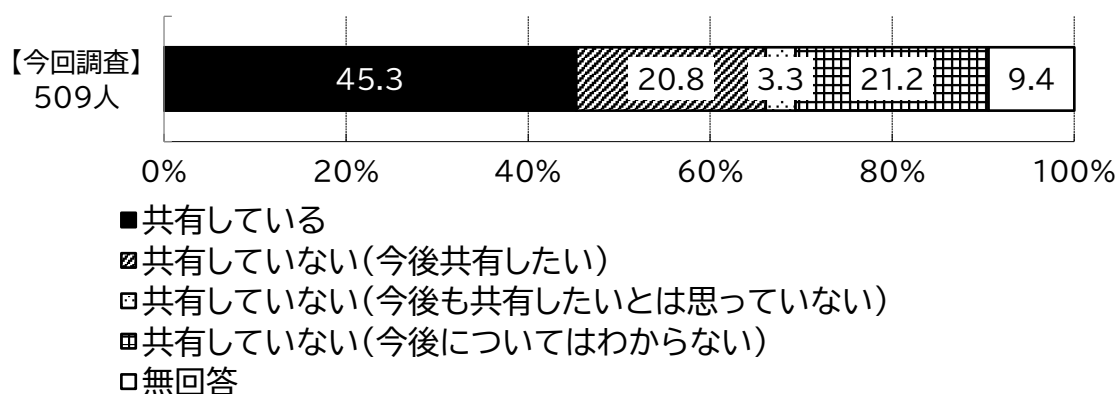
問23 ご本人は、自分が将来も大切にしたいこと等を、家族等の親しい人と共有していますか。(1つを選択)

- 「共有している」が 54.8%と最も高く、次いで「共有していない(今後についてはわからない)」が 17.9%、「共有していない(今後共有したい)」が 13.6%と続いています。



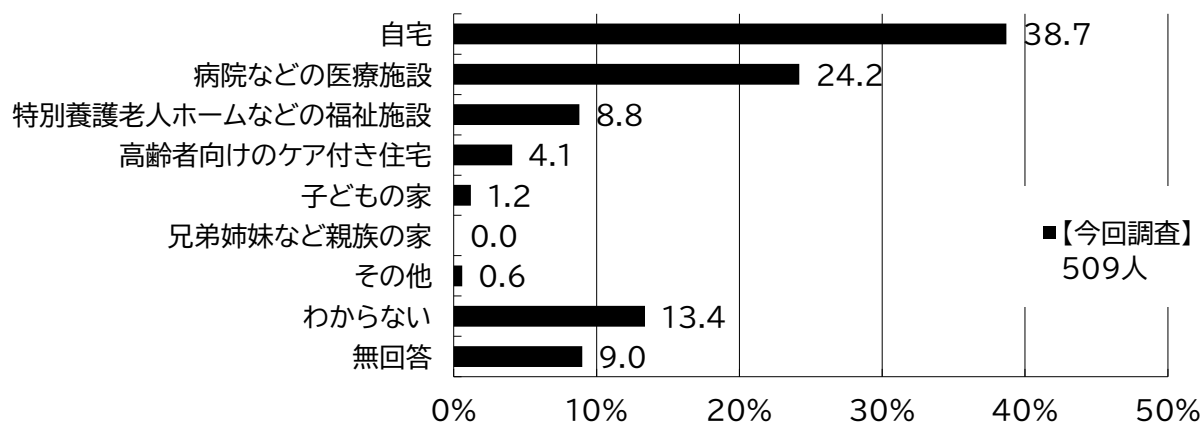
問24 ご本人は、ご自身が回復の見込みのない状態になった時に、どのような医療・ケアを受けたいかを、家族等の親しい人と共有していますか。(1つを選択)

- 「共有している」が 45.3%と最も高く、次いで「共有していない(今後についてはわからない)」が 21.2%、「共有していない(今後共有したい)」が 20.8%と続いています。



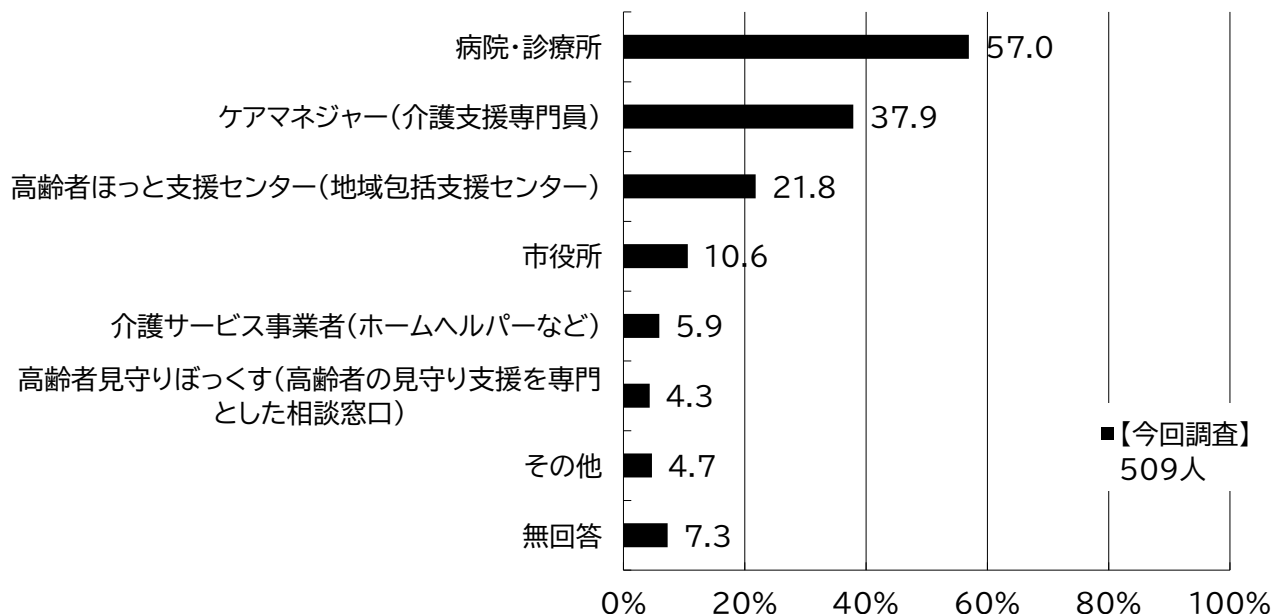
問25 万一、ご本人が回復の見込みのない病気になった場合、最期はどこで過ごしたいと思いますか。(1つを選択)

- 「自宅」が 38.7%と最も高く、次いで「病院などの医療施設」が 24.2%、「わからない」が 13.4%と続いています。



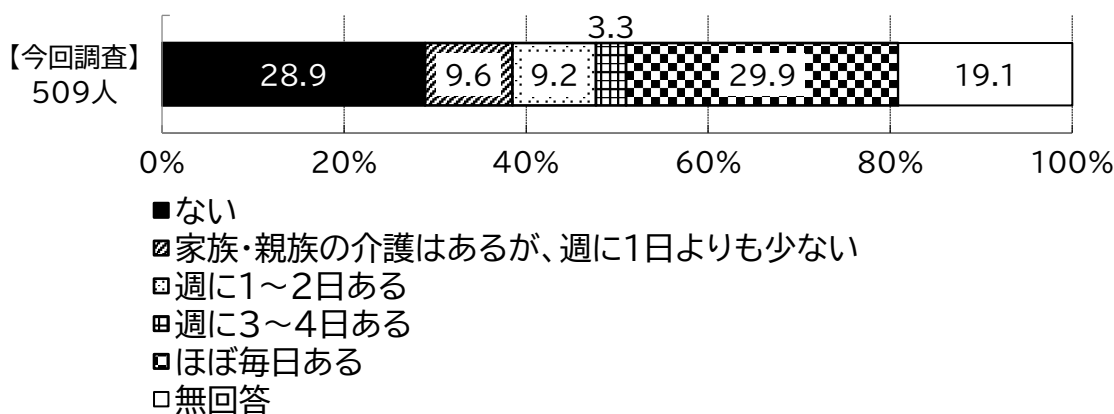
問26 ご本人は、自身あるいは身近な方に認知症の疑いがあるとき、どこに相談すると思いますか。
(複数選択可)

- 「病院・診療所」が 57.0%と最も高く、次いで「ケアマネジャー(介護支援専門員)」が 37.9%、「高齢者ほっと支援センター(地域包括支援センター)」が 21.8%と続いています。



問27 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護)

- 「ほぼ毎日ある」が 29.9%と最も高く、次いで「ない」が 28.9%、「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」が 9.6%と続いています。



【要介護度別等】

- 要介護度別で見ると、要介護3~5の場合は「ほぼ毎日ある」が 65.4%、要介護1・2の場合は同回答が 39.2%となっています。

(単位:%)

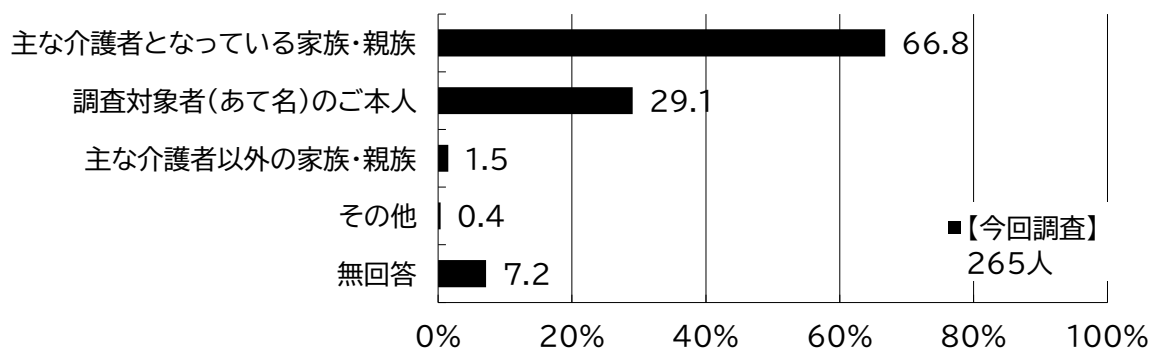
		ない	家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない	週に1~2日ある	週に3~4日ある	ほぼ毎日ある	無回答
全体 509人		28.9	9.6	9.2	3.3	29.9	19.1
A票-問4 要介護度	要支援1・2 282人	37.2	11.0	9.6	3.2	15.6	23.4
	要介護1・2 130人	23.1	8.5	11.5	3.1	39.2	14.6
	要介護3~5 78人	9.0	9.0	6.4	5.1	65.4	5.1

B 票 主な介護者について

記入者について

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。(複数回答可)

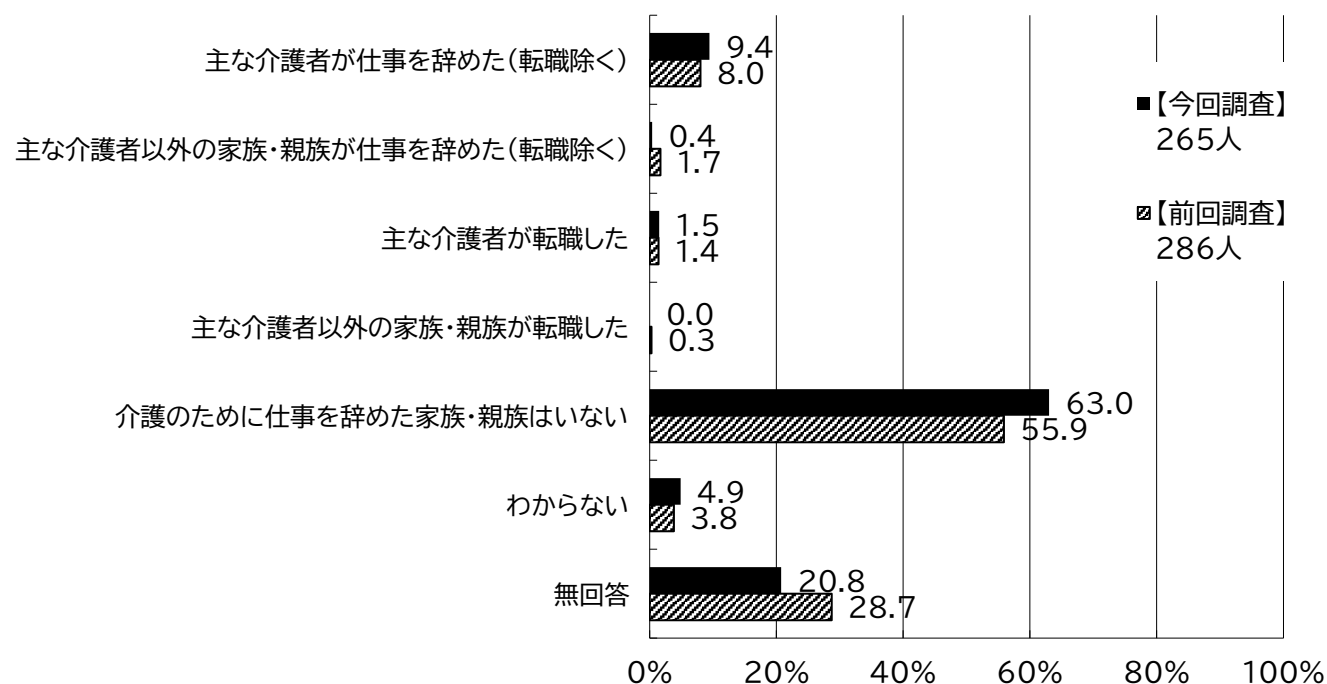
- 「主な介護者となっている家族・親族」が 66.8%と最も高く、次いで「調査対象者(あて名)のご本人」が 29.1%、「主な介護者以外の家族・親族」が 1.5%と続いています。



1 主な介護者について

問2 ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(複数選択可)

- 「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が 63.0%と最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」が 9.4%、「わからない」が 4.9%と続いています。



【主な介護者の方の年齢別】

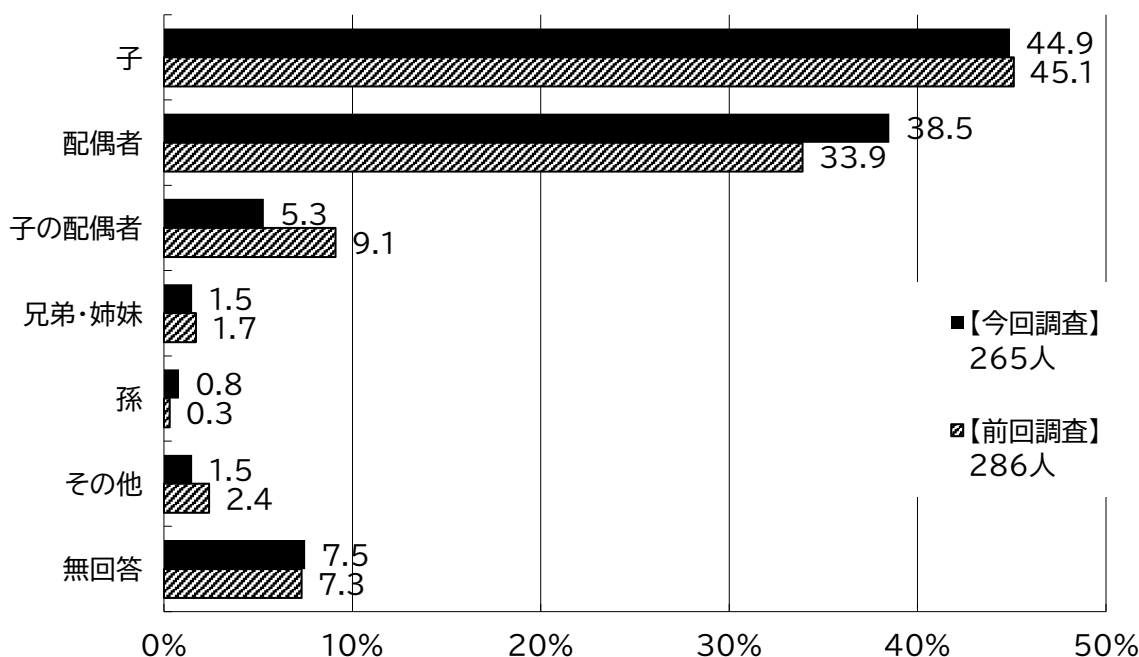
- 主な介護者の方の年齢別で見ると、40・50代の場合は「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」が11.0%、60・70代の場合は同回答が14.6%となっています。

(単位:%)

		主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族が転職した	介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	わからない	無回答
全体 265人		9.4	0.4	1.5	0.0	63.0	4.9	20.8
B票-問5 主な介護者 の方の年齢	~30代 6人	0.0	0.0	0.0	0.0	83.3	16.7	0.0
	40・50代 91人	11.0	1.1	2.2	0.0	68.1	6.6	11.0
	60・70代 103人	14.6	0.0	1.9	0.0	64.1	2.9	16.5
	80歳以上 50人	0.0	0.0	0.0	0.0	64.0	6.0	30.0

問3 主な介護者の方は、どなたですか(1つを選択)

- 「子」が44.9%と最も高く、次いで「配偶者」が38.5%、「子の配偶者」が5.3%と続いています。



【世帯類型別】

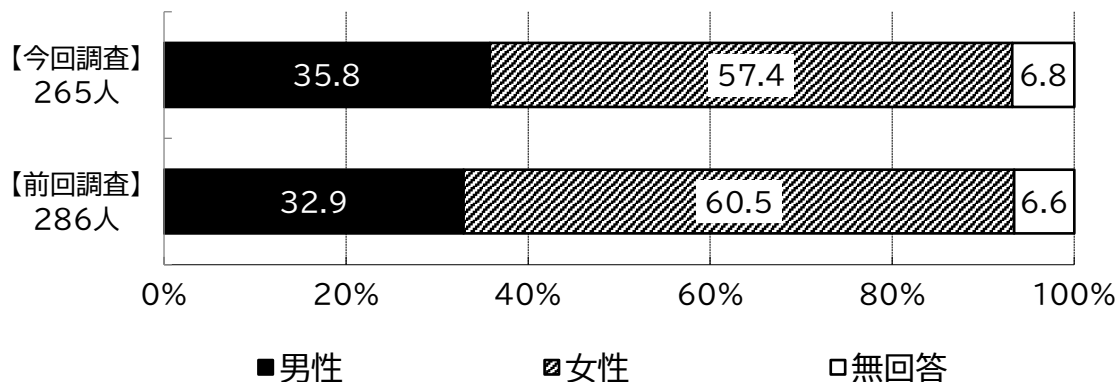
- 世帯類型別で見ると、単身世帯の場合は「子」が58.2%と最も高く、夫婦のみ世帯の場合は「配偶者」が85.7%と最も高くなっています。

(単位:%)

		配偶者	子	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他	無回答
全体 265人		38.5	44.9	5.3	0.8	1.5	1.5	7.5
B票-問6 世帯類型	単身世帯 55人	1.8	58.2	7.3	1.8	3.6	5.5	21.8
	夫婦のみ世帯 84人	85.7	8.3	0.0	0.0	1.2	0.0	4.8
	息子・娘と同居 98人	20.4	69.4	7.1	0.0	0.0	0.0	3.1

問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください(1つを選択)

- 「女性」が 57.4%、「男性」が 35.8%となっています。



【主な介護者の方の年齢別】

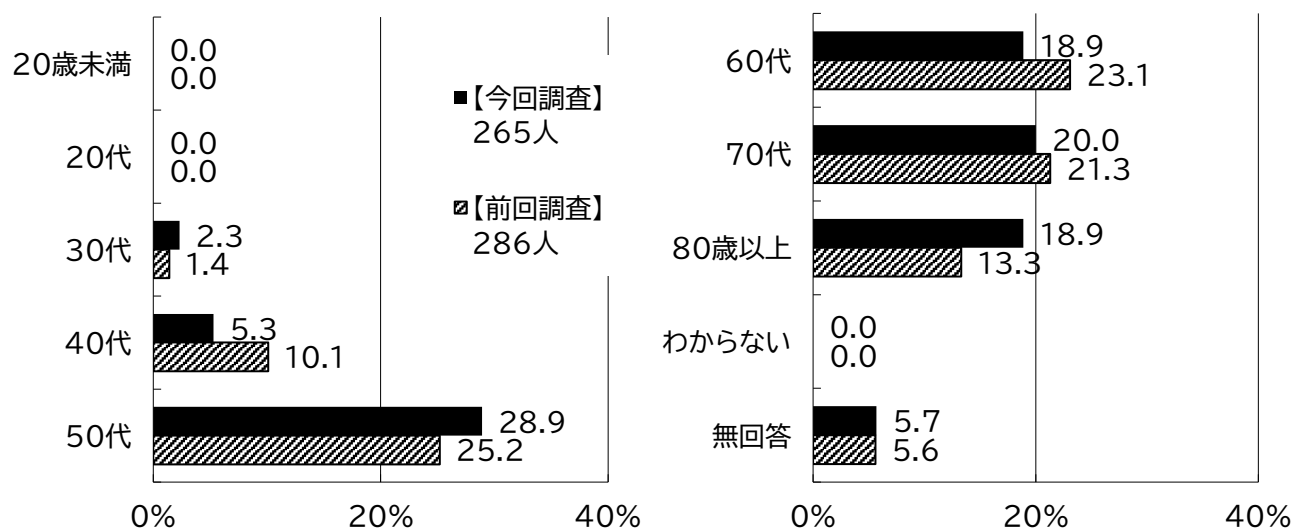
- 主な介護者の方の年齢別で見ると、40・50 代の場合は「女性」が 62.6%、60・70 代の場合は同回答が 69.9%となっており、80 歳以上の場合は「男性」が 60.0%となっています。

(単位:%)

		男性	女性	無回答
	全体 265人	35.8	57.4	6.8
B票-問5 主な介護者 の方の年齢	~30代 6人	33.3	66.7	0.0
	40・50代 91人	37.4	62.6	0.0
	60・70代 103人	27.2	69.9	2.9
	80歳以上 50人	60.0	38.0	2.0

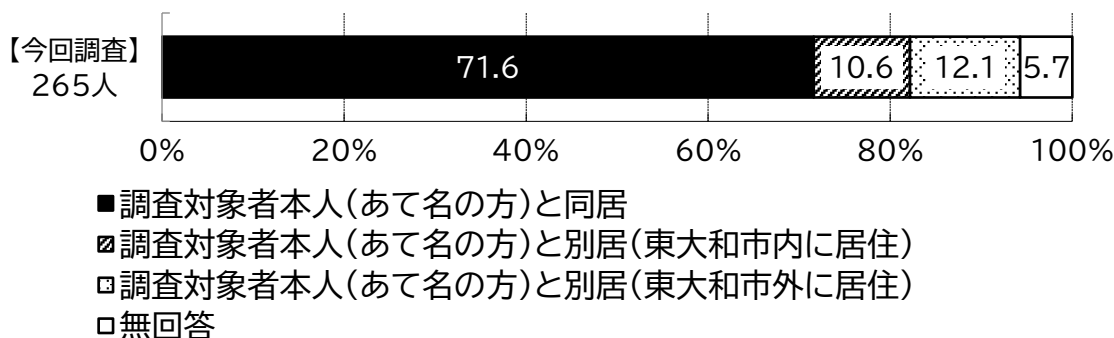
問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください(1つを選択)

- 「50代」が 28.9%と最も高く、次いで「70代」が 20.0%、「60代」、「80歳以上」がいずれも 18.9%と続いています。



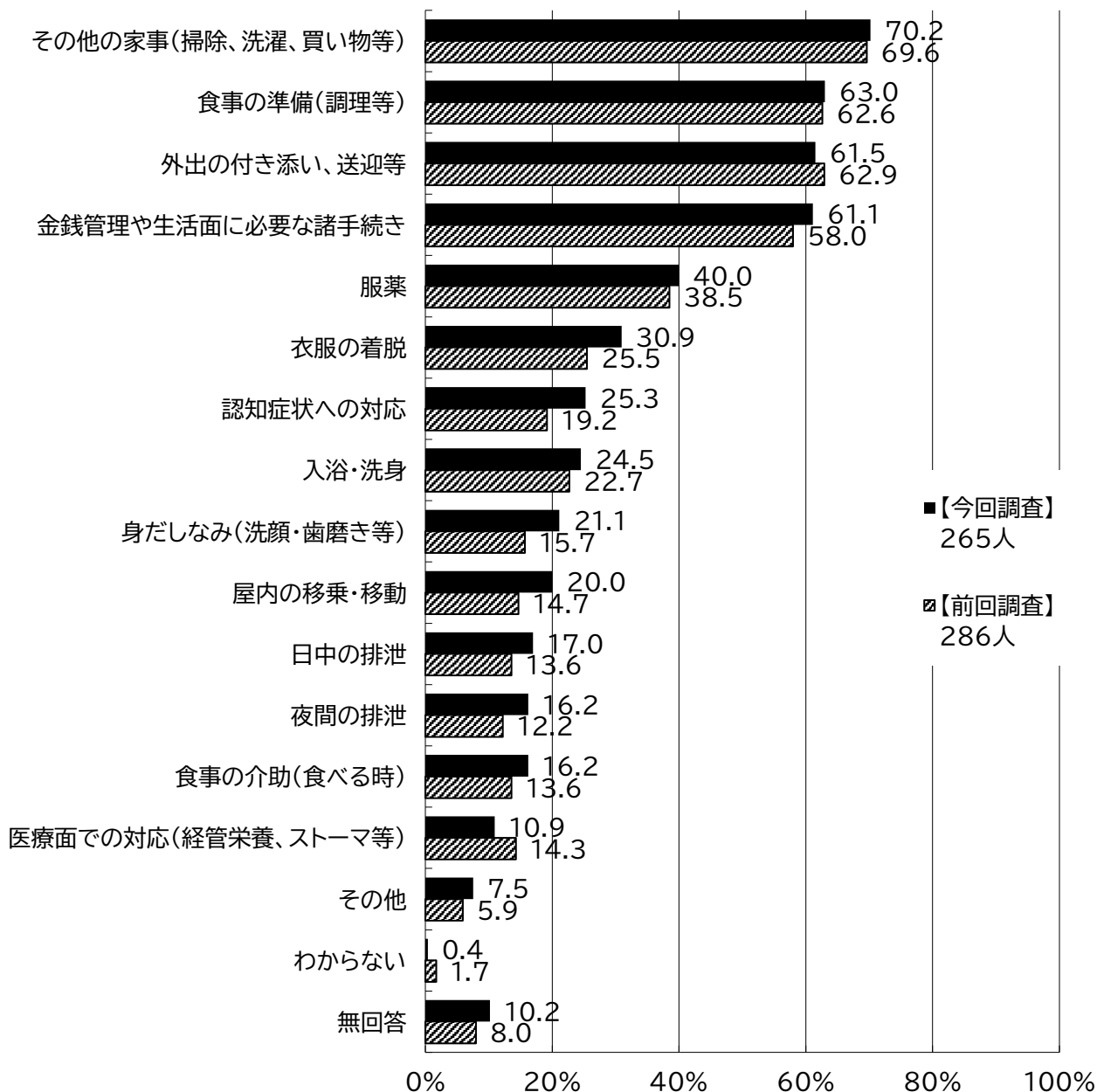
問6 主な介護者の方はどちらにお住まいですか(1つを選択)

- 「調査対象者本人(あて名の方)と同居」が 71.6%と最も高く、次いで「調査対象者本人(あて名の方)と別居(東大和市外に居住)」が 12.1%、「調査対象者本人(あて名の方)と別居(東大和市内に居住)」が 10.6%と続いています。



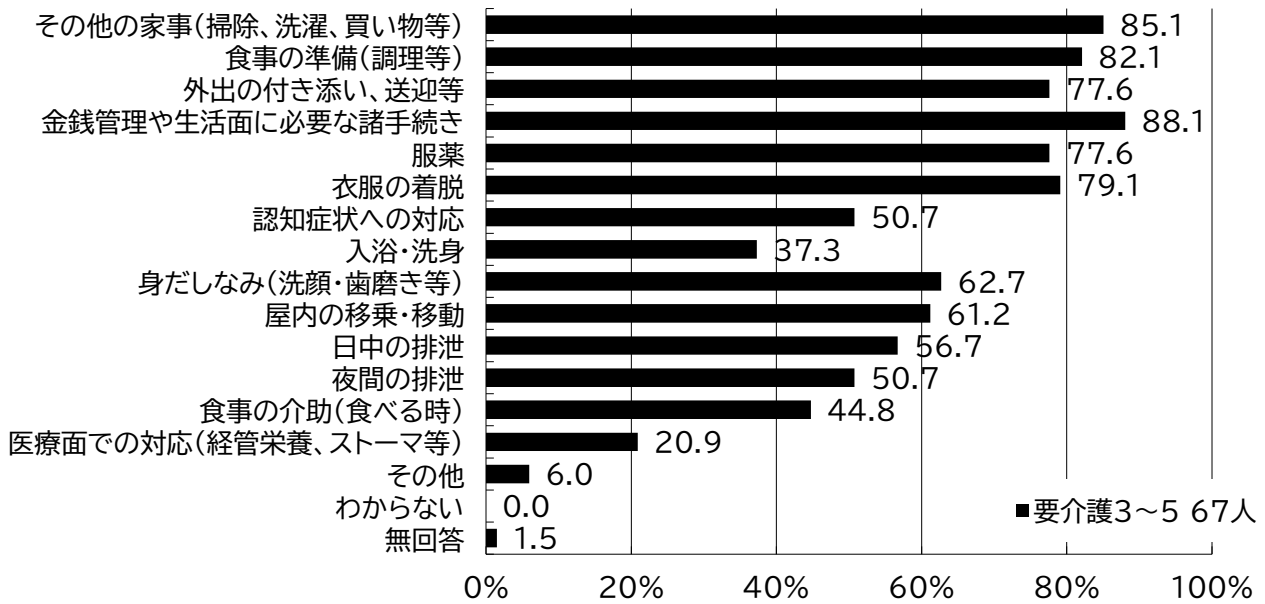
問7 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(複数選択可)

- 「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が 70.2%と最も高く、次いで「食事の準備(調理等)」が 63.0%、「外出の付き添い、送迎等」が 61.5%と続いています。



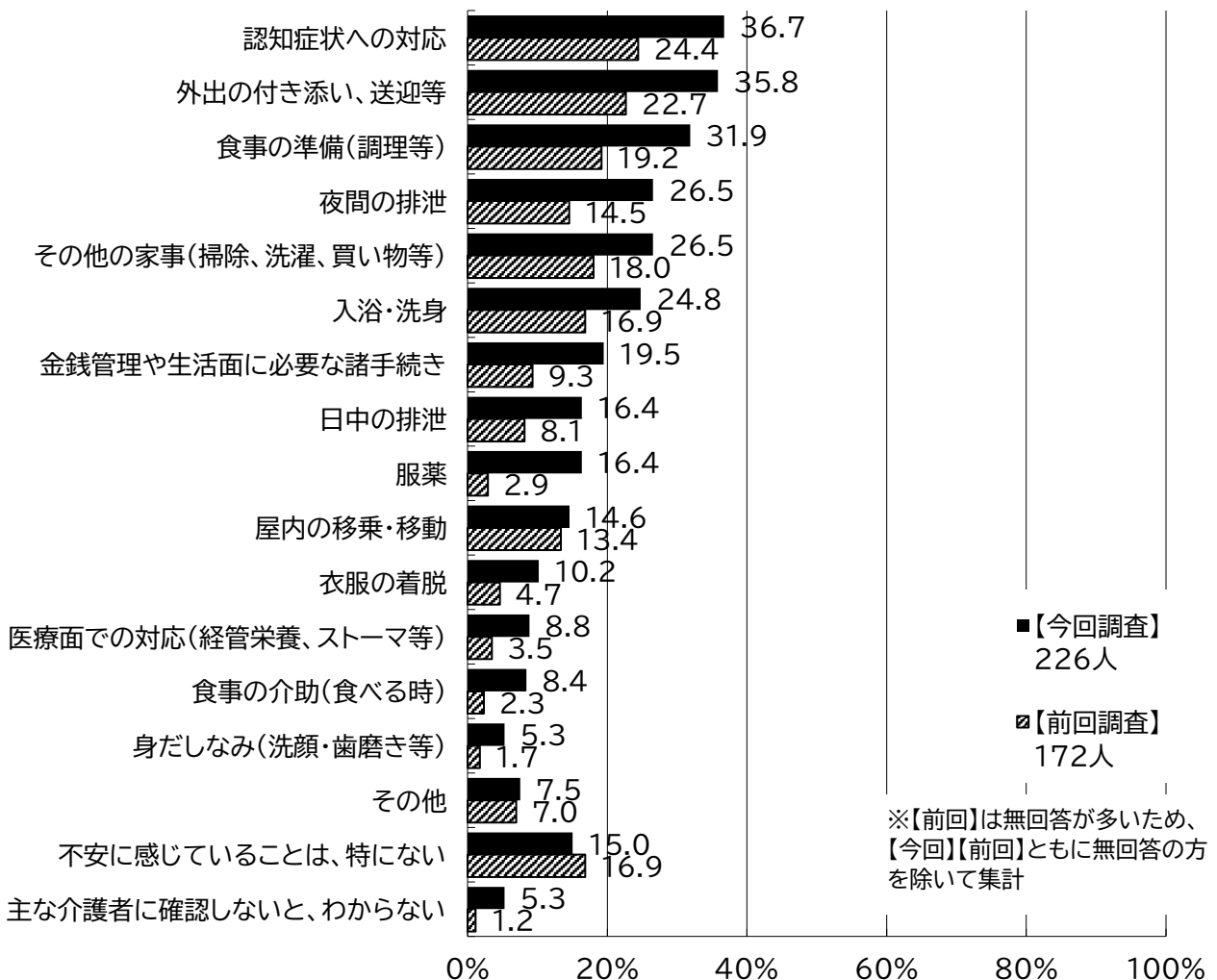
【A票-問4 要介護3～5】

- 要介護3～5の場合は、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が88.1%と最も高く、次いで「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が85.1%、「食事の準備(調理等)」が82.1%と続いています。



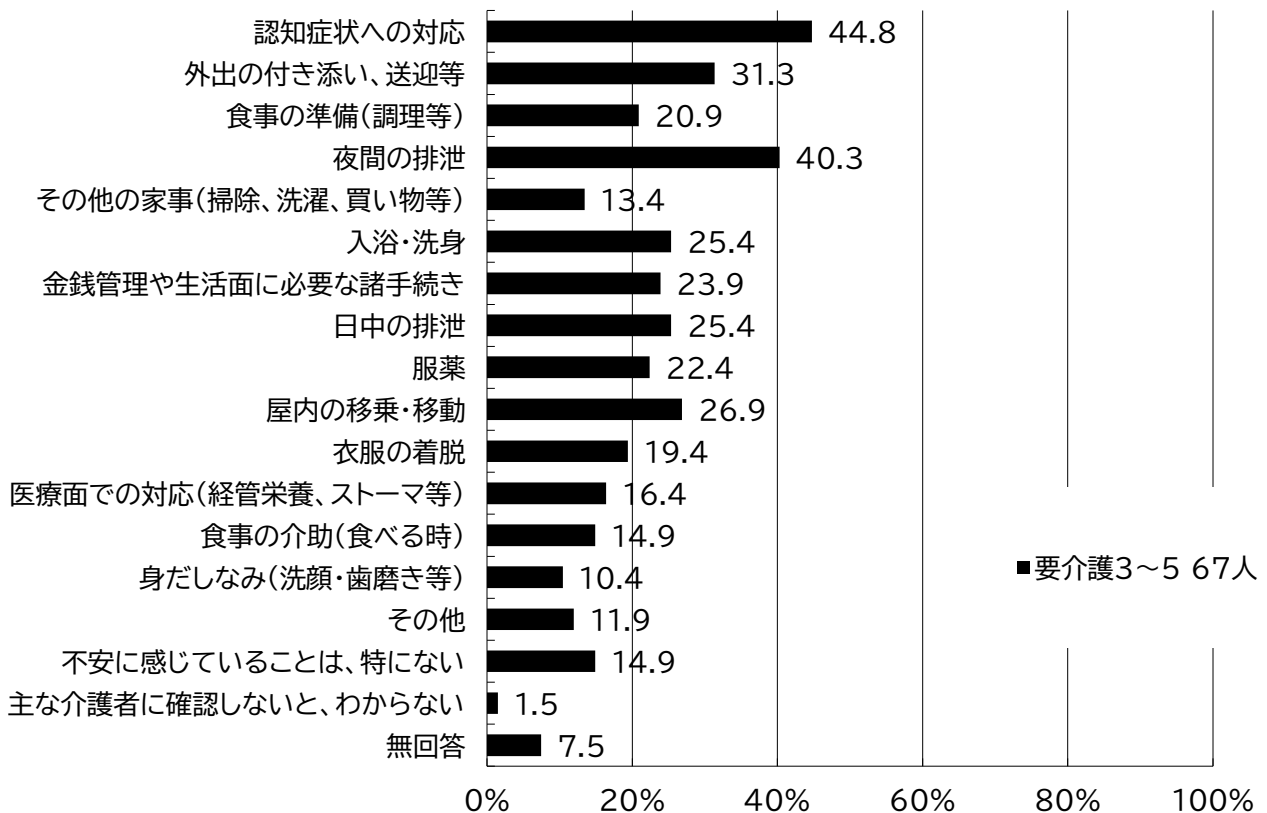
問8 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください。(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

- 「認知症状への対応」が36.7%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が35.8%、「食事の準備(調理等)」が31.9%と続いています。



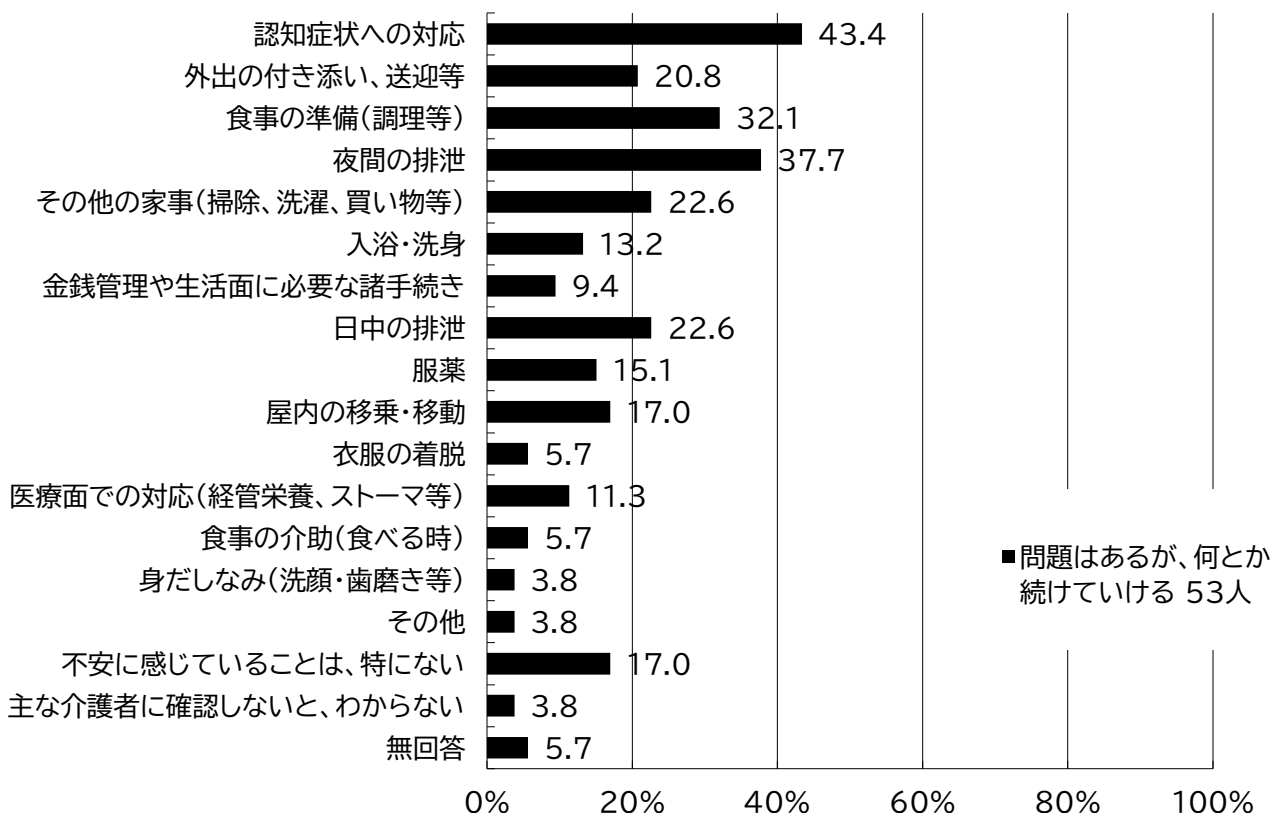
【A票-問4 要介護3～5】

- 要介護3～5の場合は、「認知症状への対応」が44.8%と最も高く、次いで「夜間の排泄」が40.3%、「外出の付き添い、送迎等」が31.3%と続いています。



【B票-問12 今後の介護の意向・「問題はあるが、何とか続けていける」】

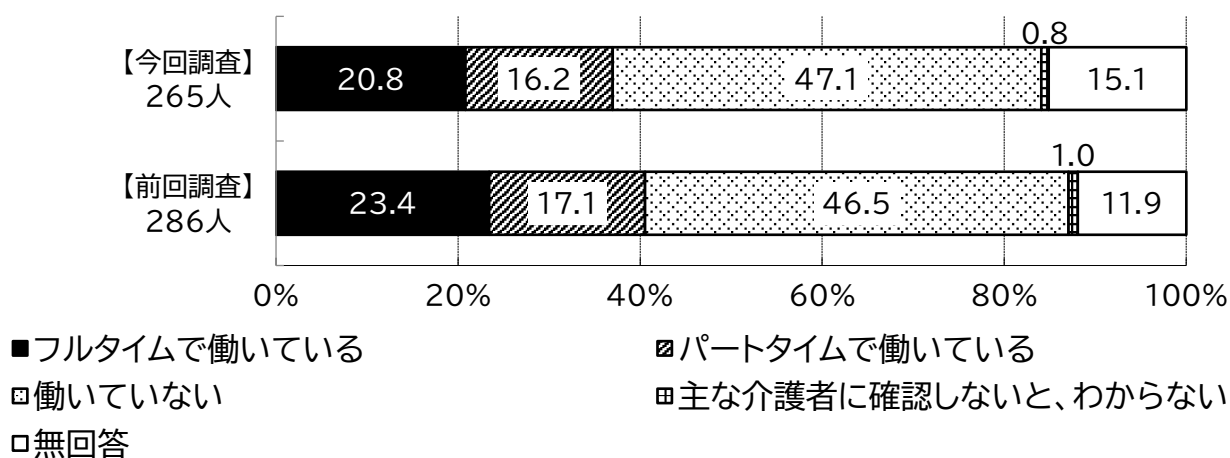
- 主な介護者が今後の介護について「問題はあるが、何とか続けていける」と回答した場合は、「認知症状への対応」が43.4%と最も高く、次いで「夜間の排泄」が37.7%、「食事の準備(調理等)」が32.1%と続いています。



2 主な介護者の就労の状況と今後の意向について

問9 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つを選択)

- 「働いていない」が 47.1%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が 20.8%、「パートタイムで働いている」が 16.2%と続いています。



【主な介護者の方の年齢別】

- 主な介護者の方の年齢別で見ると、40・50代の場合は「フルタイムで働いている」が 40.6%と最も高くなっています。

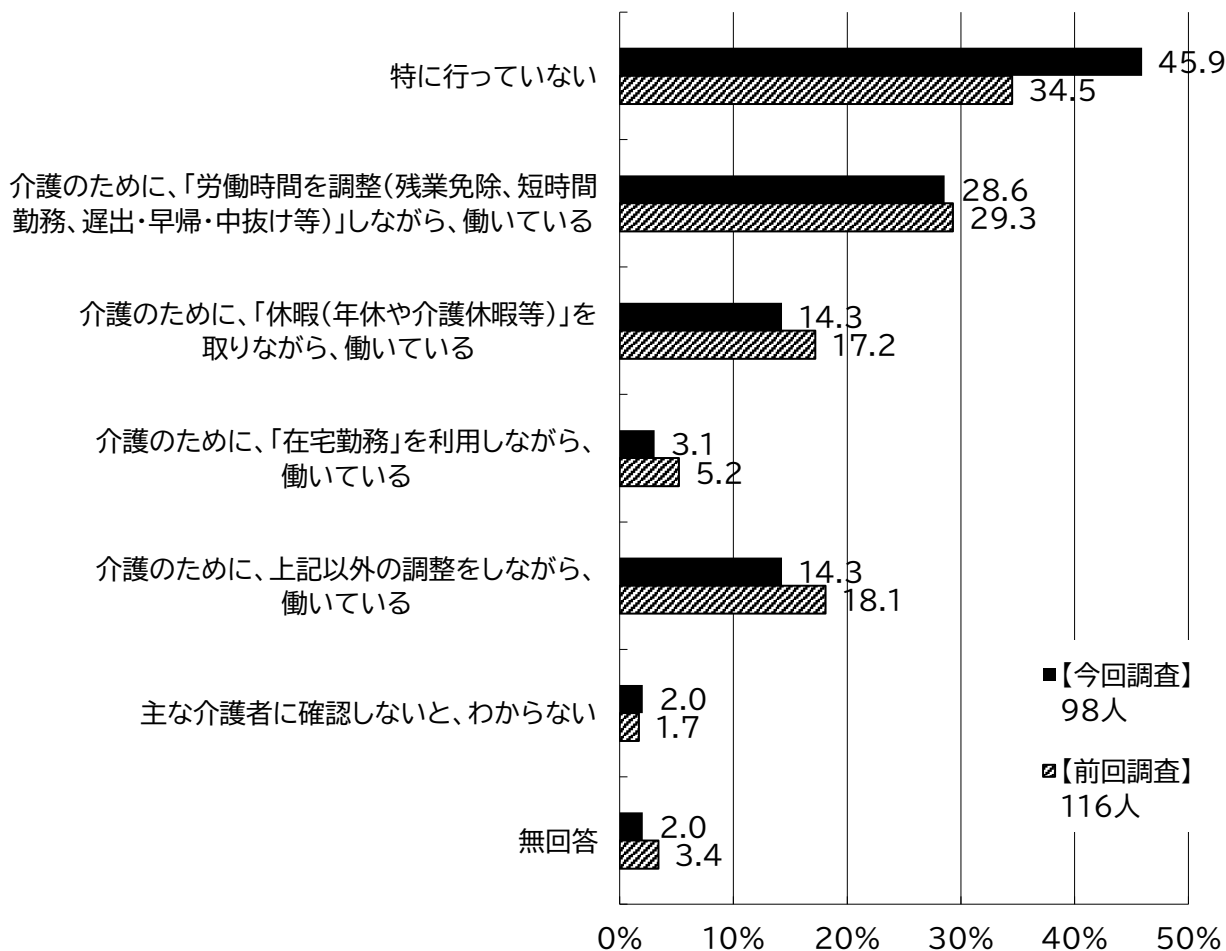
(単位:%)

		フルタイムで働いている	パートタイムで働いている	働いていない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
	全体 265人	20.8	16.2	47.1	0.8	15.1
B票-問5 主な介護者 の方の年齢	~30代 6人	83.3	0.0	0.0	16.7	0.0
	40・50代 91人	40.6	20.9	25.3	0.0	13.2
	60・70代 103人	9.7	21.4	61.1	1.0	6.8
	80歳以上 50人	4.0	4.0	76.0	0.0	16.0

問10 【問9で「1.フルタイムで働いている」「2.パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。】

主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(複数選択可)

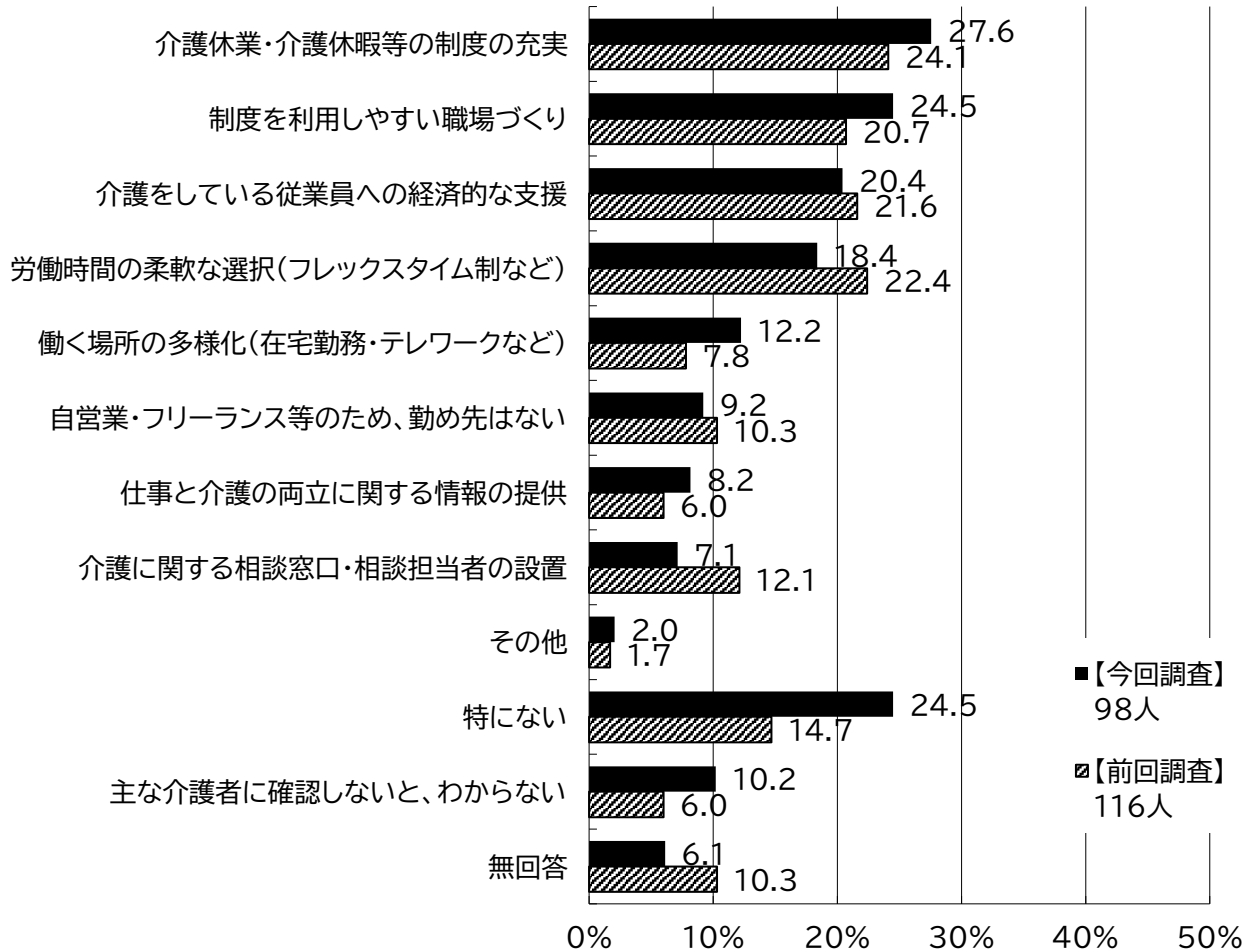
- 「特に行っていない」が 45.9%と最も高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている」が 28.6%、「介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている」、「介護のために、上記以外の調整をしながら、働いている」がいずれも 14.3%と続いています。



問11 【問9で「1.フルタイムで働いている」「2.パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。】

主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(3つまで選択可)

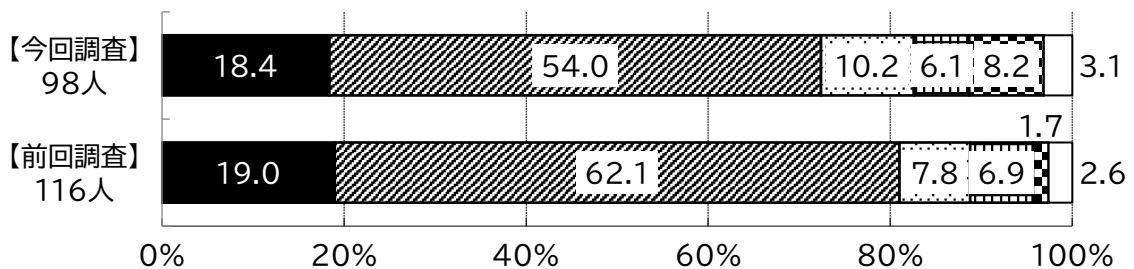
- 「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 27.6%と最も高く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」、「特にない」がいずれも 24.5%と続いています。



問12 【問9で「1.フルタイムで働いている」「2.パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。】

主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つを選択)

- 「問題はあるが、何とか続けていける」が 54.0%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が 18.4%、「続けていくのは、やや難しい」が 10.2%と続いています。



- 問題なく、続けていける
- ▨ 問題はあるが、何とか続けていける
- ▤ 続けていくのは、やや難しい
- ▦ 続けていくのは、かなり難しい
- 主な介護者に確認しないと、わからない
- 無回答

自由回答

意見要旨	件数
自身や家族の心情、身の上、身体の状態などについて	26件
介護の負担が大きい、先々の介護への不安(老老介護、認知症の介護、家族に障がい者がいる、8050)	22件
介護サービスへの不満(仕事内容があまりに細分化されている。細かく指示を出さないとやってくれない。ショートステイの空きがなく困っている。介護保険の対応範囲と本人の希望が必ずしも一致しない。夜間ヘルパーの介護サービスが出来る事を願っている 等)	15件
公共交通機関の充実(安価で利用可能なボランティアタクシー、ちよこバスの充実)、外出支援(タクシー券の支給 等)	13件
福祉や介護サービス、支援への感謝	7件
本アンケート調査への意見(回答しづらい。有効活用してほしい 等)	5件
介護サービスの利用料の負担が大きい	4件
介護についてのアドバイスがほしい、介護が必要となった場合にどこに相談すれば良いのか、入れる施設があるのか教えてほしい	4件
介護認定への不満	2件
ケアマネジャーの対応への不満	2件
定期的な訪問見回りを希望	2件
国民年金の収入で入れる特別養護老人ホームが少ない	2件
65歳になっても障害福祉サービスの利用はできるのか	1件
家で看護を受けたい	1件
介護保険料が高い	1件
薬の量が増えており心配	1件
さまざま好きな事が出来るセンターを作ってほしい	1件
デイサービス施設の風呂の衛生状態について抜き打ち検査をしてほしい	1件
ひとり暮らしなので話し相手がほしい	1件
ひとり暮らしの高齢者は通院と買い物に苦労している	1件
歩道の整備	1件
リハビリの充実した整形外科医院が近くにほしい	1件
介護で使用した物の処分の仕方方法、良く解らない	1件
介護者が職場で理解してもらい仕事と介護が両立できる社会になってほしい	1件
介護予防のための情報や、施設で日中たくさんの人達と交流できる場があると良い	1件
大きな公園などに車イスなどあればよい	1件
認知症の人へのゴミ出しの支援や施策をお願いしたい	1件
年金が少ないためデイサービス、掃除を頼みたいが出来ない	1件
夜間の緊急、疾病時の連絡等をどこにすればよいかわからない	1件

第5章

事業者に対する調査

集計結果

【調査の対象者】

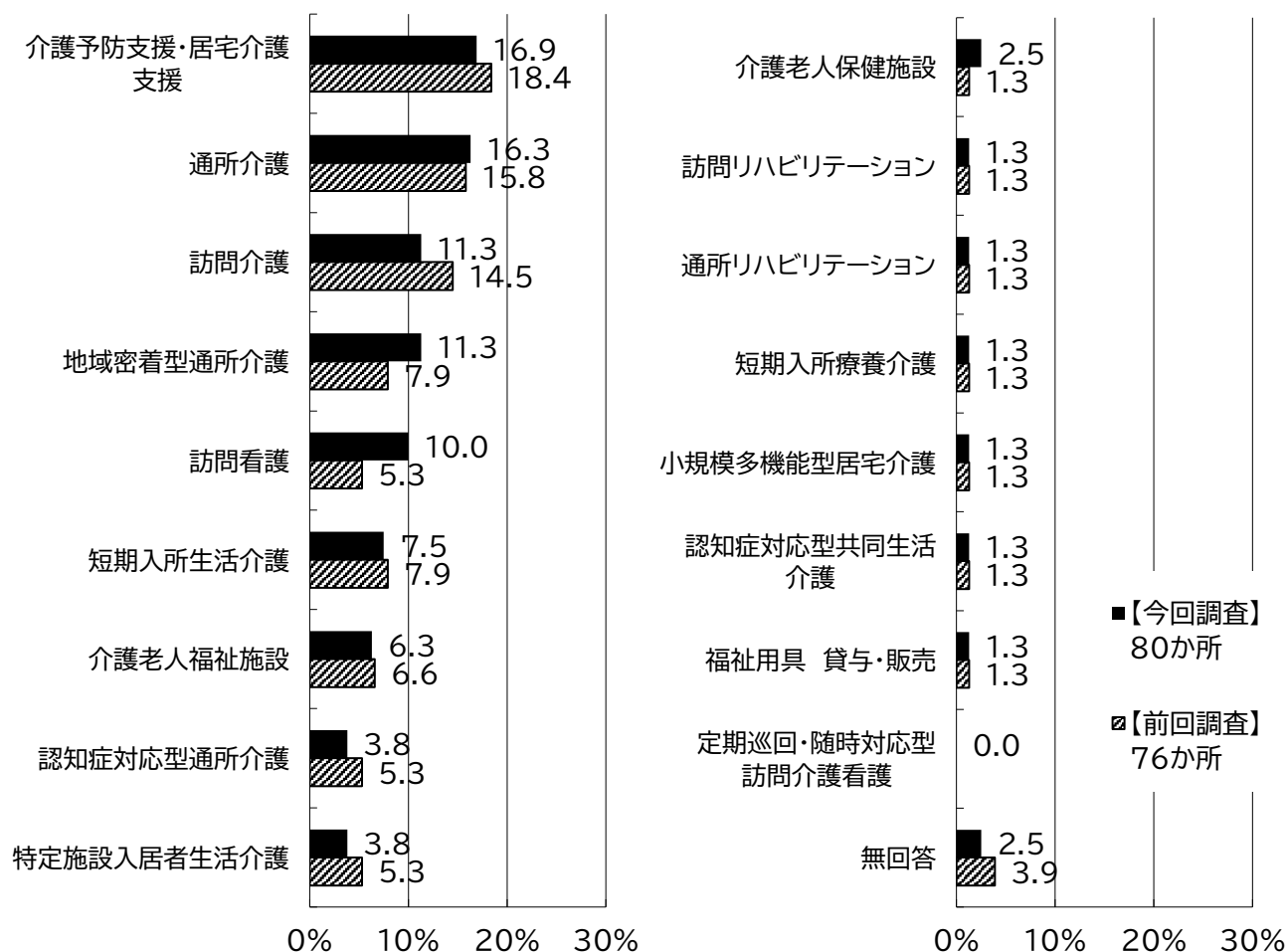
東大和市内で介護保険事業を実施している事業所

1 事業所について

問1 貴事業所名をご記入ください。

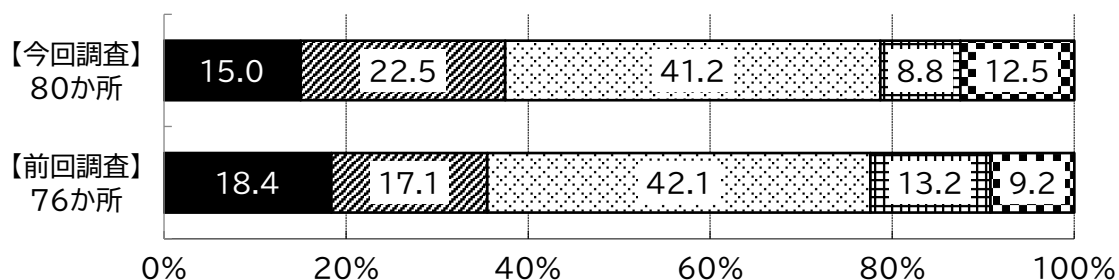
問2 貴事業所のサービス種別は、どちらですか。(〇は1つ)

- 「介護予防支援・居宅介護支援」が16.9%と最も高く、次いで「通所介護」が16.3%、「訪問介護」、「地域密着型通所介護」がいずれも11.3%と続いています。



問3 貴事業所の従事者数(パートタイマー等を含む)は、どちらですか。(〇は1つ)

- 「10～30人未満」が41.2%と最も高く、次いで「5～10人未満」が22.5%、「5人未満」が15.0%と続いています。



■5人未満 ■5～10人未満 □10～30人未満 ■30～50人未満 ■50人以上 □無回答

【サービス種別】

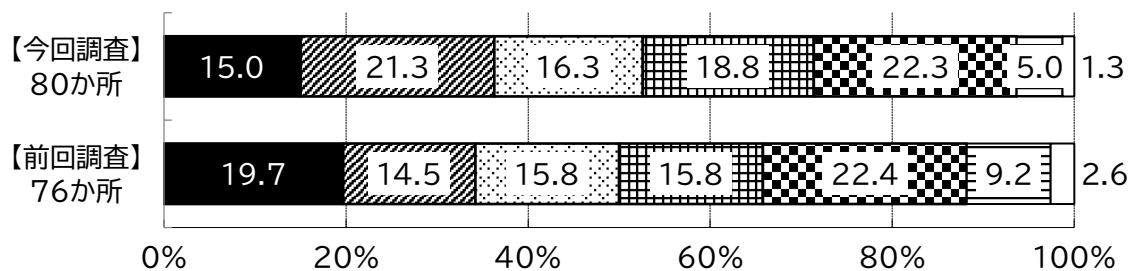
- サービス種別で見ると、介護予防支援・居宅介護支援の場合は「5人未満」が 64.3%、居宅サービスの場合は「10～30人未満」が 55.7%、居住系・施設サービスの場合は「50人以上」が 54.5%と、それぞれ最も高くなっています。

(単位:%)

		5人未満	5～10人未満	10～30人未満	30～50人未満	50人以上	無回答
	全体 80 か所	15.0	22.5	41.2	8.8	12.5	0.0
問 2 サービス 種別	介護予防支援・居宅 介護支援 14 か所	64.3	28.6	7.1	0.0	0.0	0.0
	居宅サービス 52 か所	5.8	23.1	55.7	7.7	7.7	0.0
	居住系・施設サービス 11 か所	0.0	0.0	18.2	27.3	54.5	0.0

問4 貴事業所の総従事者数のうち非正規の従事者の割合は、どちらですか。(○は1つ)

- 「7～9割未満」が 22.3%と最も高く、次いで「1～3割未満」が 21.3%、「5～7割未満」が 18.8%と続いています。



■1割未満 ■1～3割未満 ■3～5割未満 ■5～7割未満 ■7～9割未満 ■9割以上 □無回答

【サービス種別】

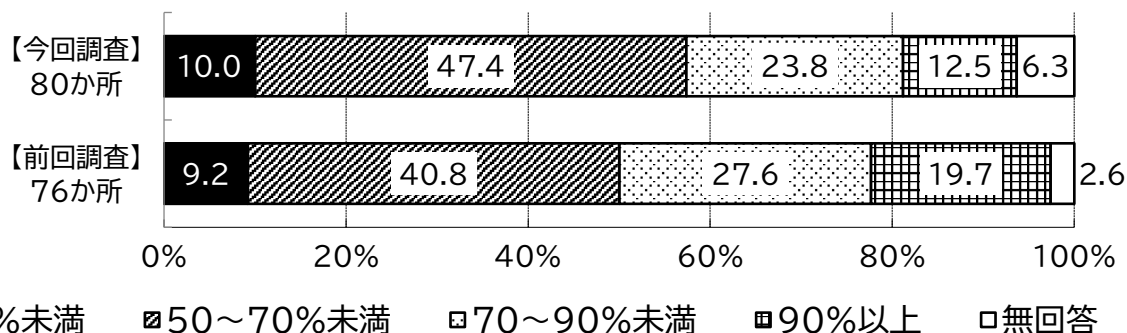
- サービス種別で見ると、介護予防支援・居宅介護支援の場合は「1割未満」が 57.2%、居宅サービスの場合は「7～9割未満」が 28.8%、居住系・施設サービスの場合は「5～7割未満」が 45.4%と、それぞれ最も高くなっています。

(単位:%)

		1割未満	1～3割未満	3～5割未満	5～7割未満	7～9割未満	9割以上	無回答
	全体 80 か所	15.0	21.3	16.3	18.8	22.3	5.0	1.3
問 2 サービス 種別	介護予防支援・居宅 介護支援 14 か所	57.2	14.3	0.0	0.0	14.3	7.1	7.1
	居宅サービス 52 か所	5.8	23.1	19.2	17.3	28.8	5.8	0.0
	居住系・施設サービス 11 か所	9.1	18.2	18.2	45.4	9.1	0.0	0.0

問5 貴事業所の介護報酬(介護保険適用外での収入は除きます。)に対する人件費の割合は、どちらですか。(〇は1つ)

- 「50～70%未満」が 47.4%と最も高く、次いで「70～90%未満」が 23.8%、「90%以上」が 12.5%と続いています。



【サービス種別】

- サービス種別で見ると、介護予防支援・居宅介護支援の場合は「90%以上」が 42.9%、居宅サービスの場合は「50～70%未満」が 53.8%、居住系・施設サービスの場合は「50～70%未満」が 63.6%と、それぞれ最も高くなっています。

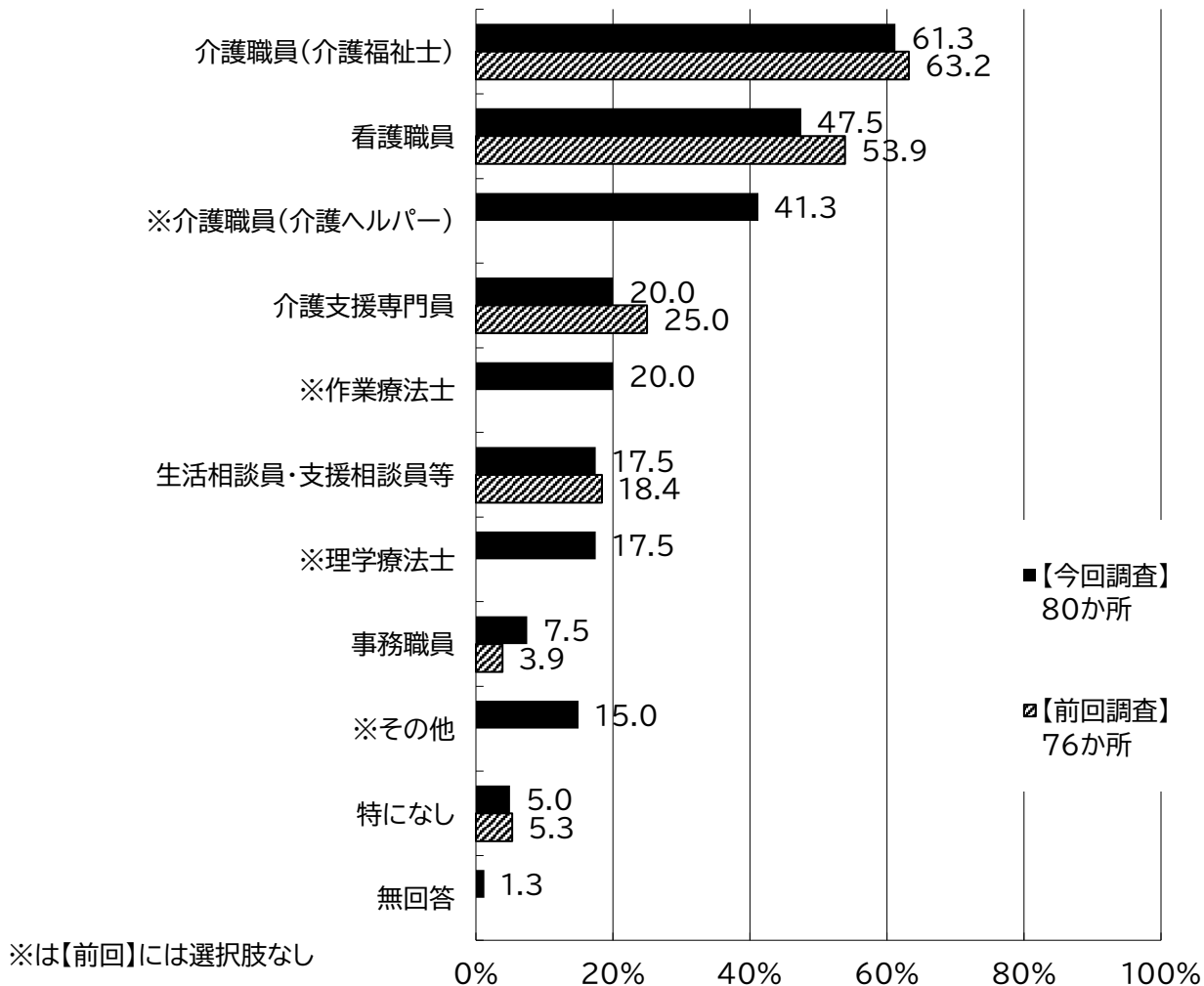
(単位:%)

		50%未満	50～70%未満	70～90%未満	90%以上	無回答
	全体 80 か所	10.0	47.4	23.8	12.5	6.3
問 2 サービス種別	介護予防支援・居宅介護支援 14 か所	14.3	21.4	7.1	42.9	14.3
	居宅サービス 52 か所	5.8	53.8	28.8	5.8	5.8
	居住系・施設サービス 11 か所	9.1	63.6	18.2	9.1	0.0

2 雇用の状況について

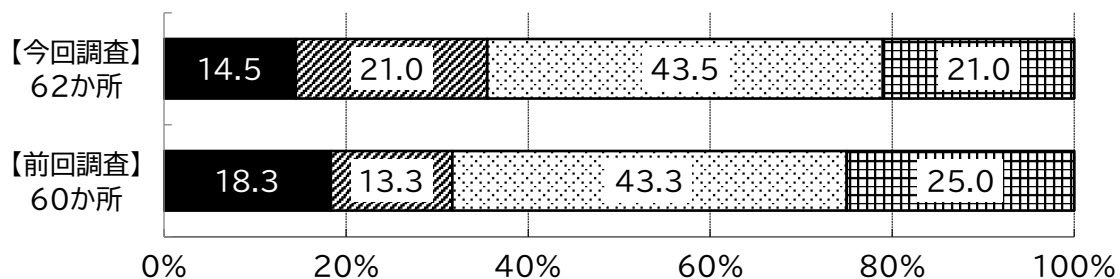
問6 雇用することが難しいと思う職種は、どちらですか。(該当するものすべてに○)

- 「介護職員(介護福祉士)」が 61.3%と最も高く、次いで「看護職員」が 47.5%、「介護職員(介護ヘルパー)」が 41.3%と続いています。



問7 貴事業所の「介護職員」の人材確保の状況は、いかがですか。(○は1つ)

- 「やや不足している」が 43.5%と最も高く、次いで「おおむね確保できている」、「不足している」がいずれも 21.0%と続いています。

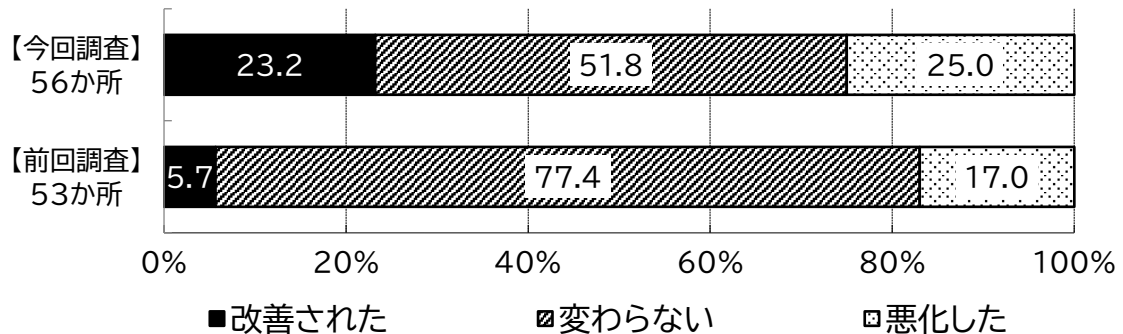


■確保できている ▨おおむね確保できている ▩やや不足している ▧不足している

※【前回】は無回答が多いため、【今回】【前回】ともに無回答の方を除いて集計

問7-1 平成30年度の「介護職員」の離職率は、前年度と比較していかがでしたか。(〇は1つ)

- 「変わらない」が51.8%と最も高く、次いで「悪化した」が25.0%、「改善された」が23.2%と続いています。

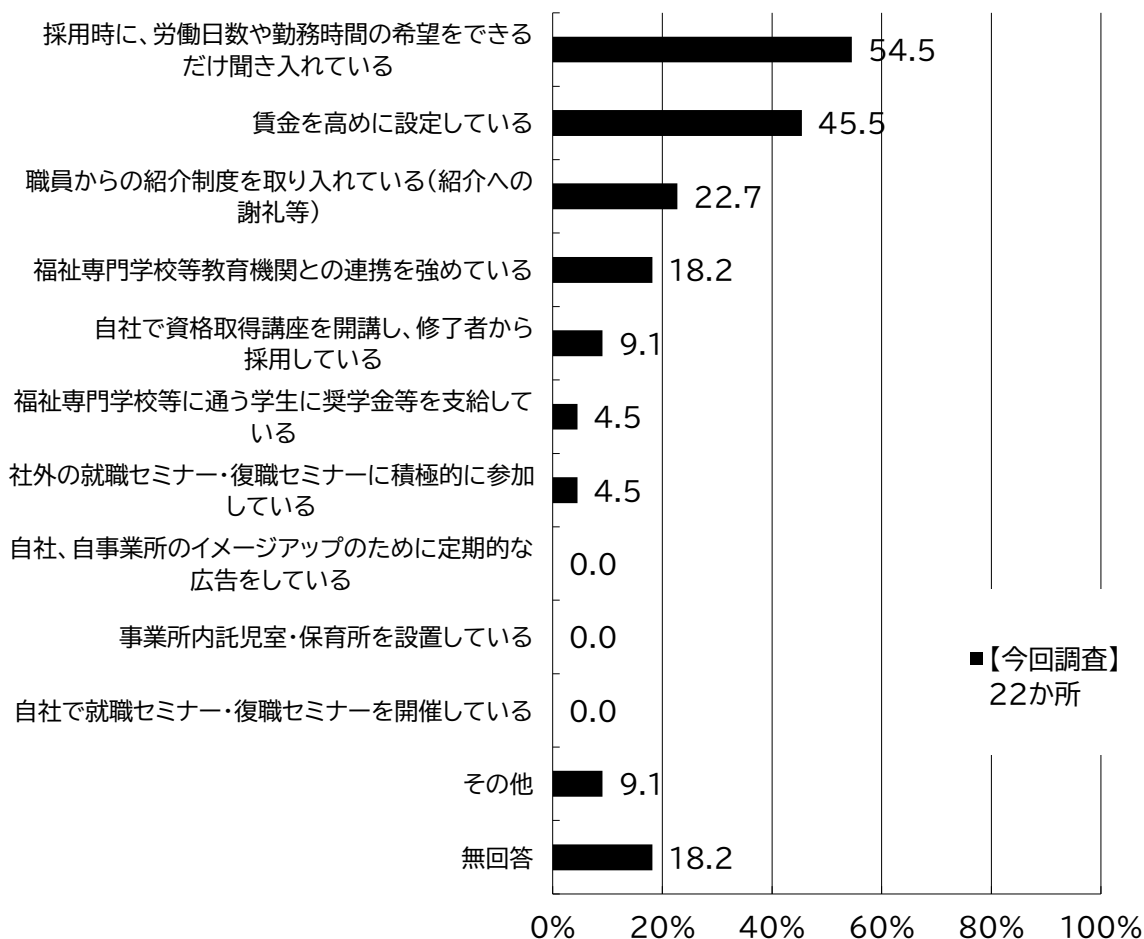


※【前回】は無回答が多いため、【今回】【前回】ともに無回答の方を除いて集計

問7-2【問7で「1. 確保できている」、「2. おおむね確保できている」と回答された事業所にお聞きします。】

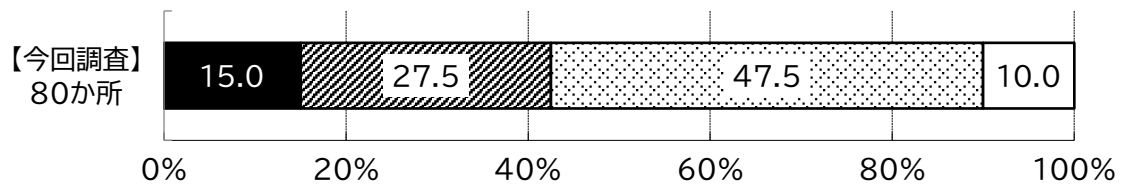
貴事業所のどのような方策が確保につながっているとお考えですか。(該当するものすべてに〇)

- 「採用時に、労働日数や勤務時間の希望をできるだけ聞き入れている」が54.5%と最も高く、次いで「賃金を高めに設定している」が45.5%、「職員からの紹介制度を取り入れている(紹介への謝礼等)」が22.7%と続いています。



問8 外国介護人材の受入れを検討されていますか。(○は1つ)

- 「外国介護人材の雇用は考えていない」が 47.5%と最も高く、次いで「外国介護人材の雇用を検討している」が 27.5%、「実際に雇用している」が 15.0%と続いています。



- 実際に雇用している
- ▨ 外国介護人材の雇用を検討している
- 外国介護人材の雇用は考えていない
- 無回答

【サービス種別】

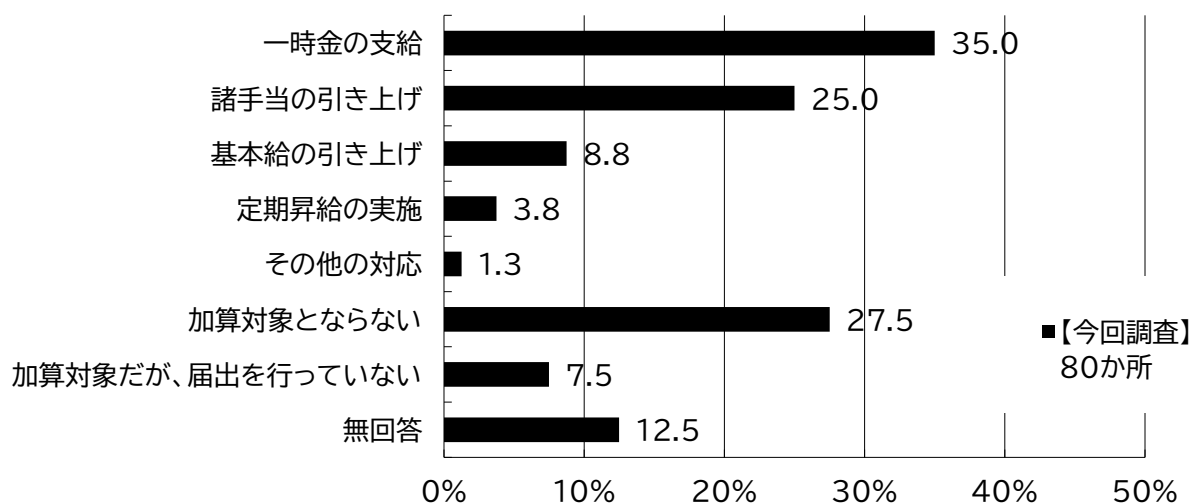
- サービス種別で見ると、介護予防支援・居宅介護支援の場合は「外国介護人材の雇用を検討している」が 7.1%、居宅サービスの場合は「実際に雇用している」が 11.5%、「外国介護人材の雇用を検討している」が 28.8%、居住系・施設サービスの場合は「実際に雇用している」が 54.5%、「外国介護人材の雇用を検討している」が 45.5%となっています。

(単位: %)

		実際に雇用している	外国介護人材の雇用を検討している	外国介護人材の雇用は考えていない	無回答
	全体 80 か所	15.0	27.5	47.5	10.0
問 2 サービス種別	介護予防支援・居宅介護支援 14 か所	0.0	7.1	57.2	35.7
	居宅サービス 52 か所	11.5	28.8	53.9	5.8
	居住系・施設サービス 11 か所	54.5	45.5	0.0	0.0

問9 令和元年10月の介護報酬改定に伴い、「特定処遇改善加算」が導入されました。貴事業所では、どのような対応を行いましたか。(該当するものすべてに○)

- 「一時金の支給」が 35.0%と最も高く、次いで「加算対象とならない」が 27.5%、「諸手当の引き上げ」が 25.0%と続いています。



【サービス種別】

- サービス種別で見ると、介護予防支援・居宅介護支援の場合は「加算対象とならない」が64.3%、居宅サービスの場合は「一時金の支給」が40.4%、「諸手当の引き上げ」が26.9%、居住系・施設サービスの場合は「一時金の支給」が63.6%、「諸手当の引き上げ」が45.5%となっています。

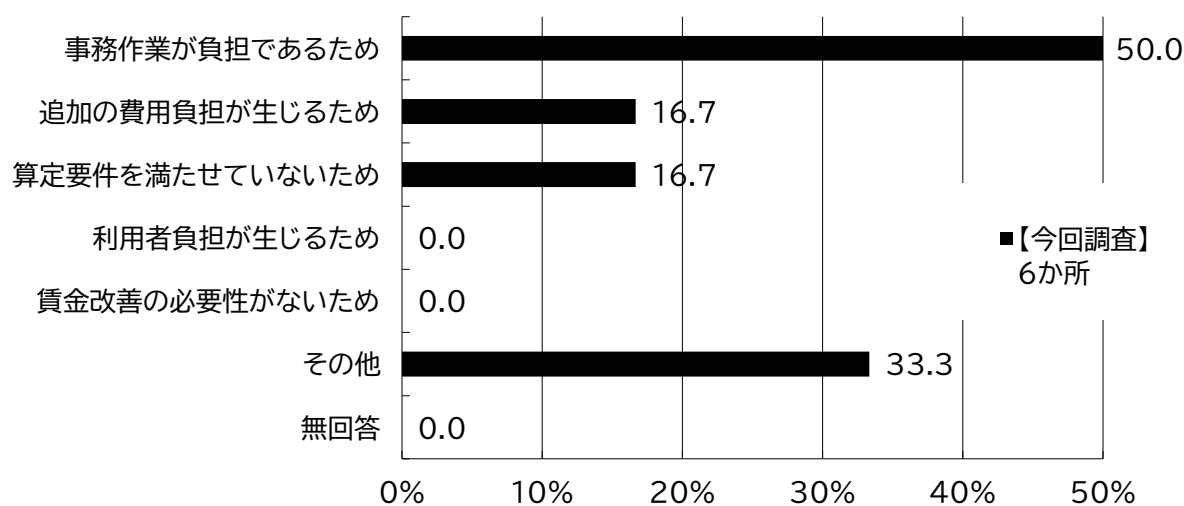
(単位：%)

		基本給の引き上げ	諸手当の引き上げ	一時金の支給	定期昇給の実施	その他の対応	加算対象とならない	加算対象だが、届出を行っていない	無回答
	全体 80 か所	8.8	25.0	35.0	3.8	1.3	27.5	7.5	12.5
問2 サービス種別	介護予防支援・居宅介護支援 14 か所	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	64.3	7.1	28.6
	居宅サービス 52 か所	11.5	26.9	40.4	5.8	1.9	21.2	9.6	9.6
	居住系・施設サービス 11 か所	0.0	45.5	63.6	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0

問9-1【問9で「7. 加算対象だが、届出を行っていない」と選択された事業所にお伺いします。】

届出を行わない理由は、どちらですか。(該当するものすべてに○)

- 「事務作業が負担であるため」が50.0%と最も高く、次いで「その他」が33.3%、「追加の費用負担が生じるため」、「算定要件を満たせていないため」がいずれも16.7%と続いています。



問10 貴事業所では、職員の早期離職防止や定着促進を図るためにどのような方策を取っていますか。(該当するものすべてに○)

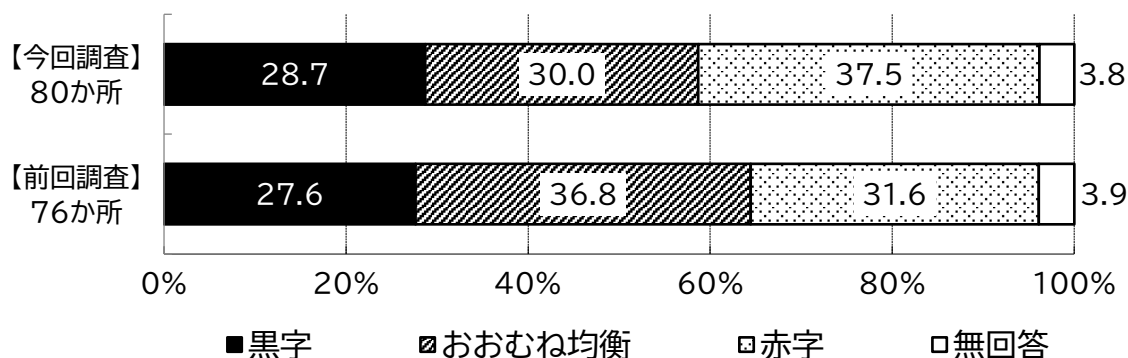
- 「職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている」が 65.0%と最も高く、次いで「本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる」が 63.8%、「残業の減少、有給休暇の取得促進等の労働条件の改善に取り組んでいる」が 61.3%と続いています。



3 経営状態について

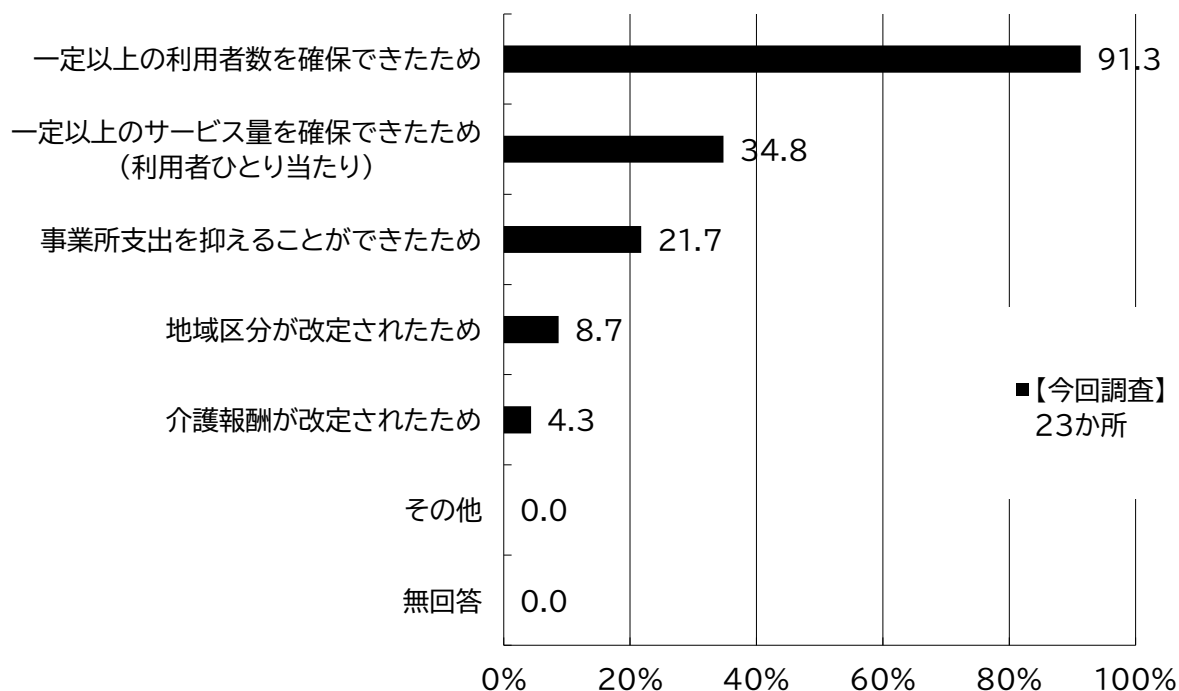
問11 平成30年度の貴事業所の経営状態はどちらですか。(○は1つ)

- 「赤字」が37.5%と最も高く、次いで「おおむね均衡」が30.0%、「黒字」が28.7%と続いています。



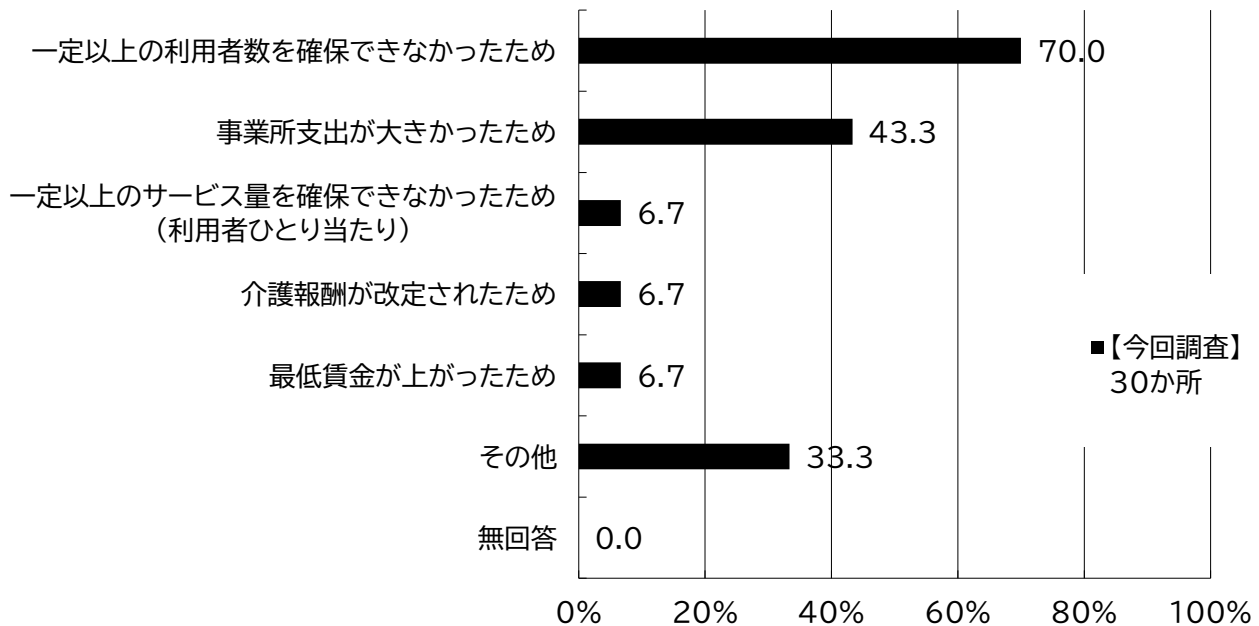
問11-1【問11で「1. 黒字」と回答された貴事業所にお聞きします。】 その理由として該当するものは、どちらですか。(2つまで○)

- 「一定以上の利用者数を確保できたため」が91.3%と最も高く、次いで「一定以上のサービス量を確保できたため(利用者ひとり当たり)」が34.8%、「事業所支出を抑えることができたため」が21.7%と続いています。



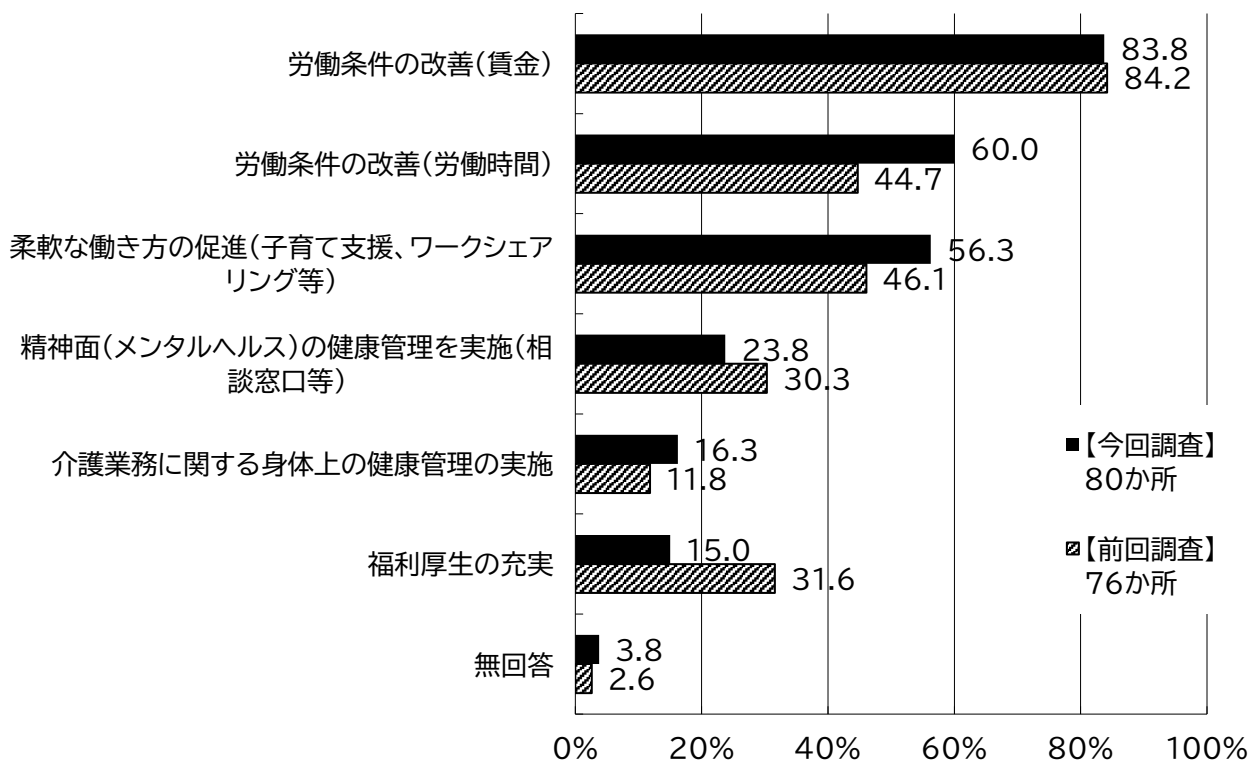
**問11-2【問11で「3.赤字」と回答された貴事業所にお聞きします。】
その理由として該当するものは、どちらですか。(2つまで○)**

- 「一定以上の利用者数を確保できなかったため」が 70.0%と最も高く、次いで「事業所支出が大きかったため」が 43.3%、「その他」が 33.3%と続いています。



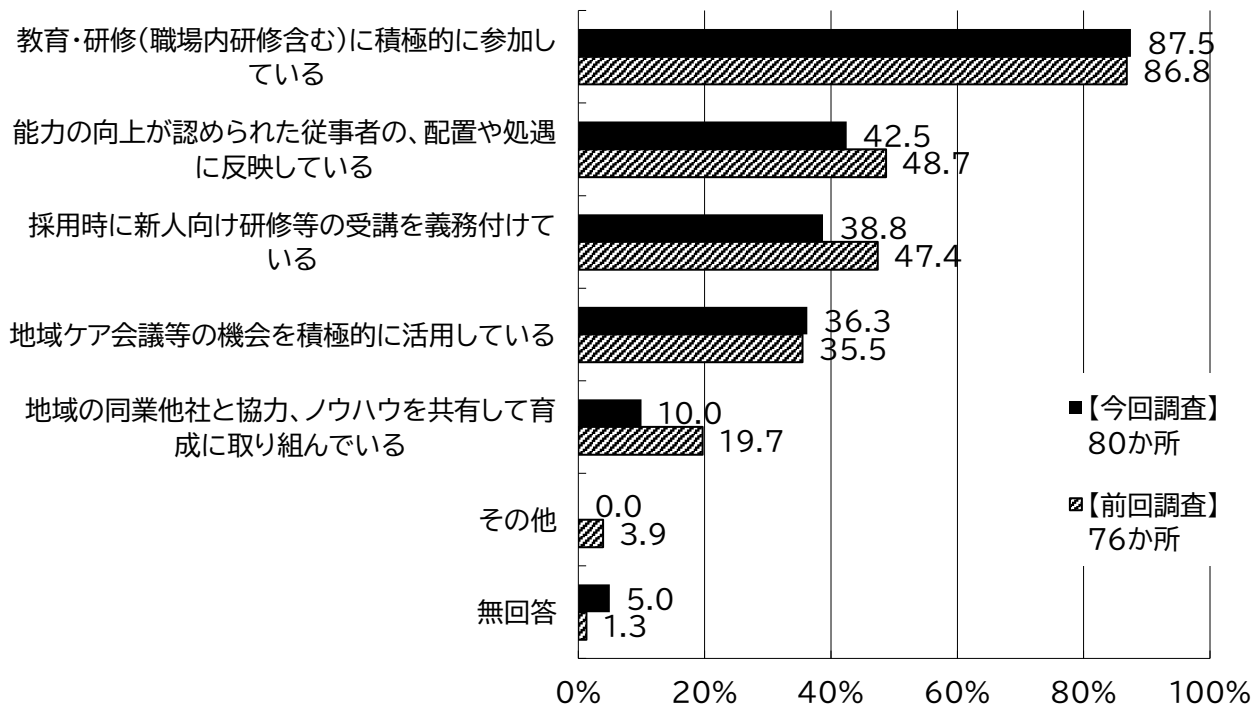
問12 労働環境整備・改善のために必要な取組みは、どちらだと思いますか。(3つまで○)

- 「労働条件の改善(賃金)」が 83.8%と最も高く、次いで「労働条件の改善(労働時間)」が 60.0%、「柔軟な働き方の促進(子育て支援、ワークシェアリング等)」が 56.3%と続いています。



問13 人材育成のためにどのようなことを行っていますか。(該当するものすべてに○)

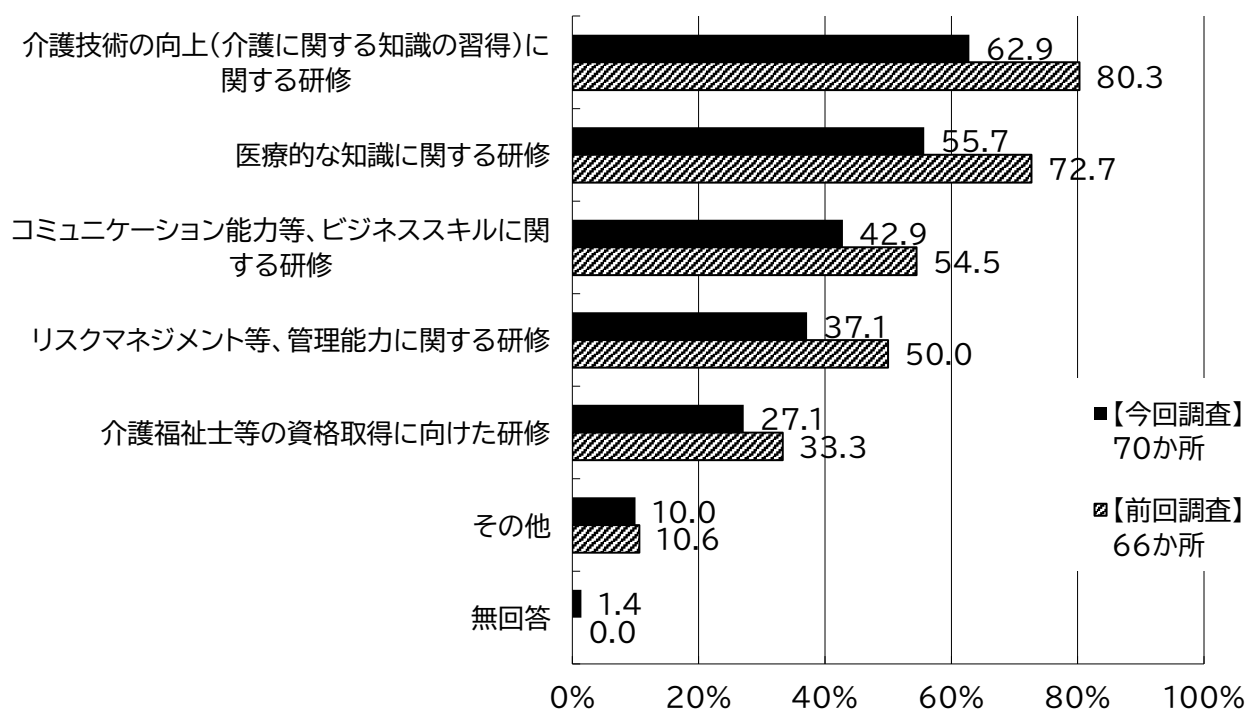
- 「教育・研修(職場内研修含む)に積極的に参加している」が87.5%と最も高く、次いで「能力の向上が認められた従事者の、配置や処遇に反映している」が42.5%、「採用時に新人向け研修等の受講を義務付けている」が38.8%と続いています。



問13-1【問13で「1. 教育・研修(職場内研修含む)に積極的に参加している」と回答した貴事業所にお聞きします。】

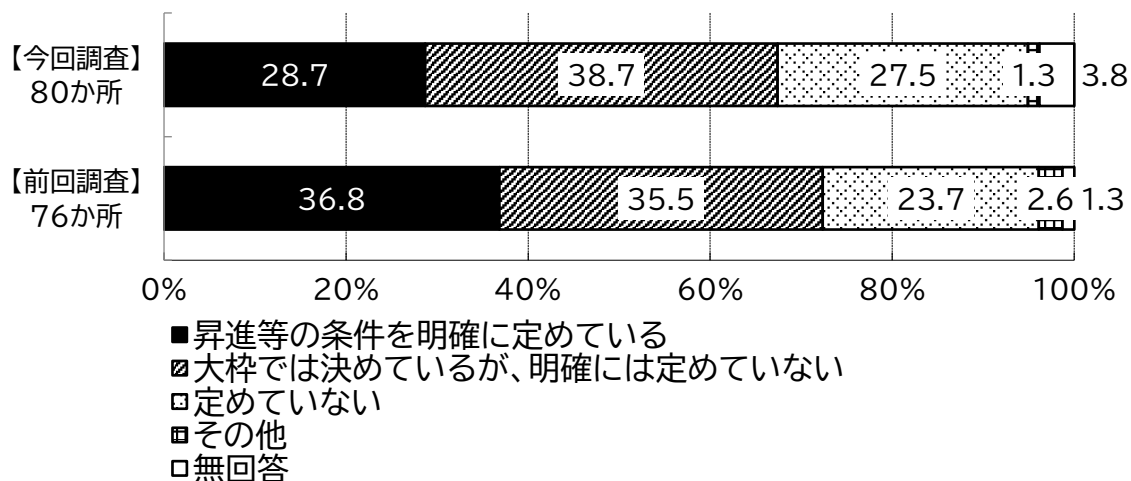
従事者にはどのような研修を実施していますか。(該当するものすべてに○)

- 「介護技術の向上(介護に関する知識の習得)に関する研修」が62.9%と最も高く、次いで「医療的な知識に関する研修」が55.7%、「コミュニケーション能力等、ビジネススキルに関する研修」が42.9%と続いています。



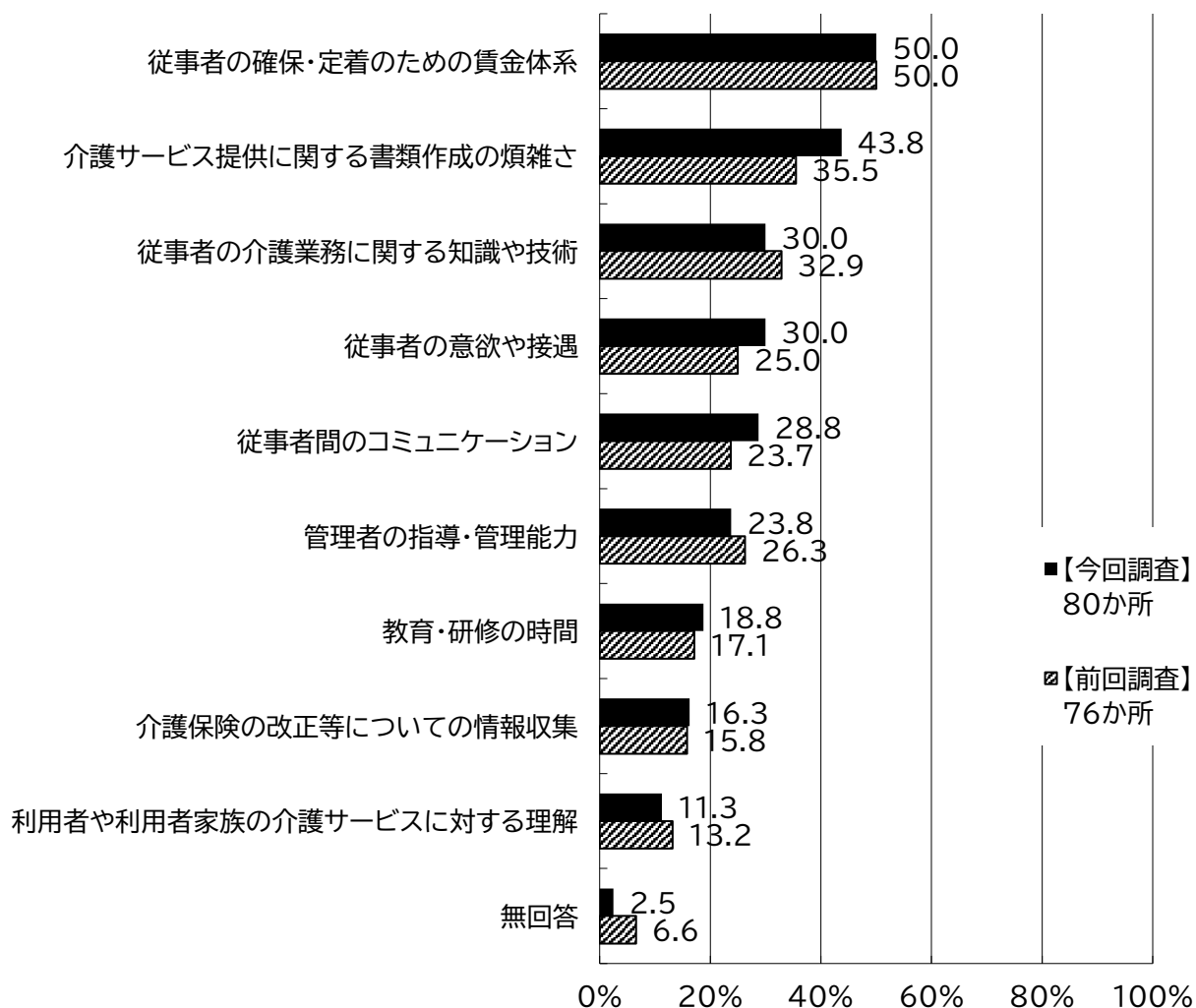
問14 職場でのキャリアアップに関する整備状況はいかがですか。(○は1つ)

- 「大枠では決めているが、明確には定めていない」が 38.7%と最も高く、次いで「昇進等の条件を明確に定めている」が 28.7%、「定めていない」が 27.5%と続いています。



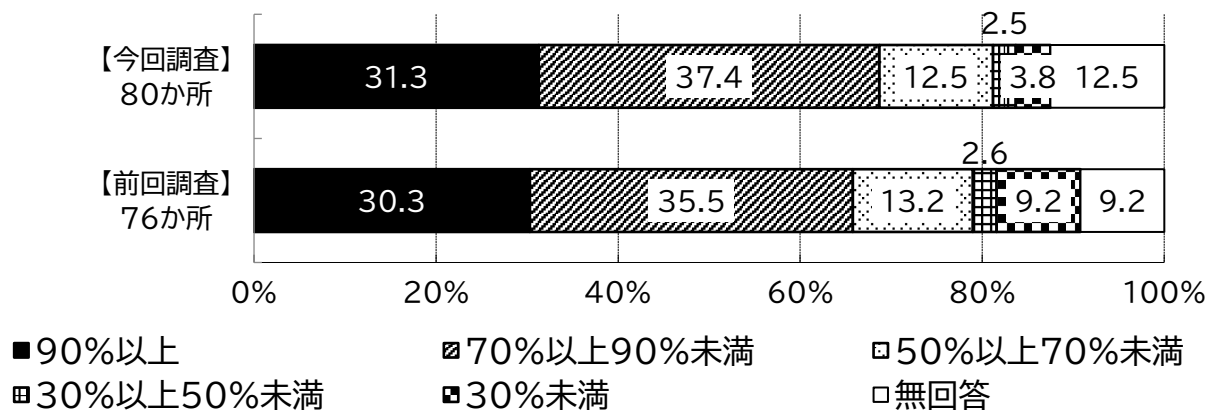
問15 貴事業所を運営する上での課題は、どちらですか。(3つまで○)

- 「従事者の確保・定着のための賃金体系」が 50.0%と最も高く、次いで「介護サービス提供に関する書類作成の煩雑さ」が 43.8%、「従事者の介護業務に関する知識や技術」、「従事者の意欲や接遇」がいずれも 30.0%と続いています。



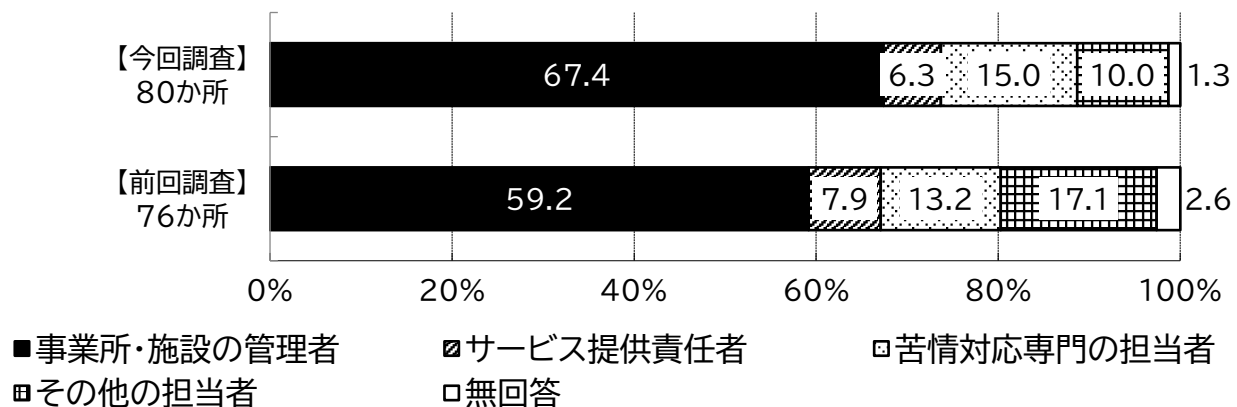
問16 貴事業所での定員に対する稼働状況(月の稼働率)は、どちらですか。(〇は1つ)

- 「70%以上90%未満」が 37.4%と最も高く、次いで「90%以上」が 31.3%、「50%以上70%未満」が 12.5%と続いています。



問17 利用者からの苦情や要望、意見等を受け付ける窓口となっている方は、どちらですか。(〇は1つ)

- 「事業所・施設の管理者」が 67.4%と最も高く、次いで「苦情対応専門の担当者」が 15.0%、「その他の担当者」が 10.0%と続いています。



【サービス種別】

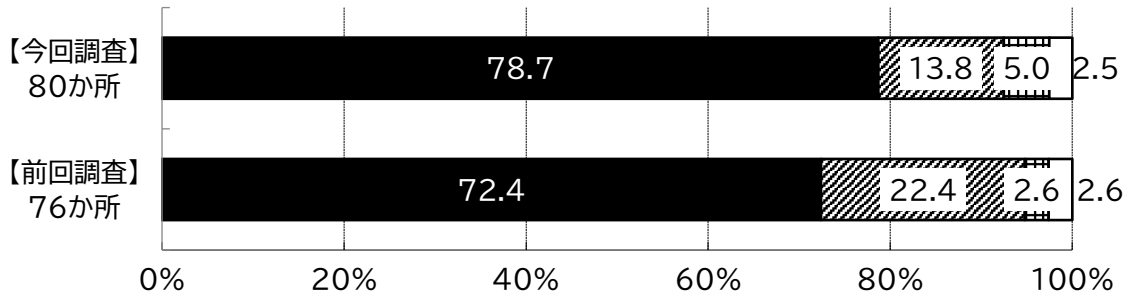
- サービス種別で見ると、介護予防支援・居宅介護支援の場合は「事業所・施設の管理者」が 78.6%、居宅サービスの場合は同回答が 69.3%とそれぞれ最も高く、居住系・施設サービスの場合は「苦情対応専門の担当者」が 36.4%、「事業所・施設の管理者」が 36.3%、「その他の担当者」が 27.3%と、回答が分散しています。

(単位:%)

		事業所・施設の管理者	サービス提供責任者	苦情対応専門の担当者	その他の担当者	無回答
	全体 80 か所	67.4	6.3	15.0	10.0	1.3
問 2 サービス種別	介護予防支援・居宅介護支援 14 か所	78.6	7.1	14.3	0.0	0.0
	居宅サービス 52 か所	69.3	7.7	11.5	9.6	1.9
	居住系・施設サービス 11 か所	36.3	0.0	36.4	27.3	0.0

問18 サービス提供中の事故、災害時の対応方法について、文書やマニュアルは整備されていますか。(〇は1つ)

- 「事故・災害の両方とも文書やマニュアルを整備している」が 78.7%と最も高く、次いで「事故の文書やマニュアルは整備できているが、災害時は整備できていない」が 13.8%、「どちらの整備もこれからである」が 5.0%と続いています。

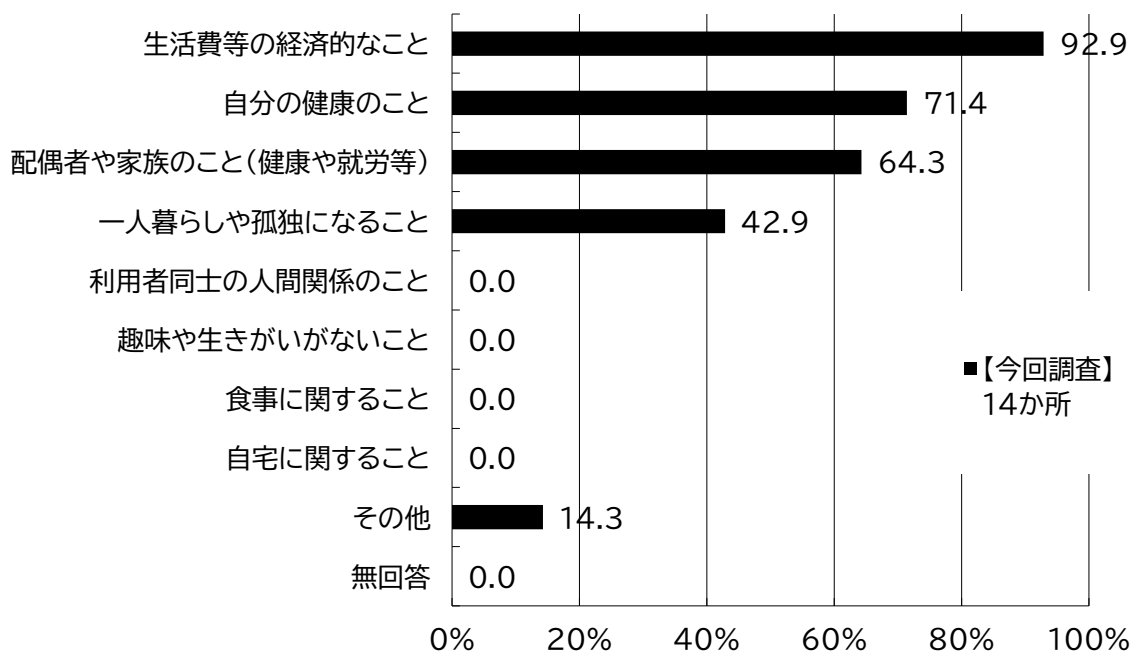


- 事故・災害の両方とも文書やマニュアルを整備している
- ▣ 事故の文書やマニュアルは整備できているが、災害時は整備できていない
- 事故の文書やマニュアルは整備できていないが、災害時は整備できている
- ▤ どちらの整備もこれからである
- 無回答

4 必要なサービス等について

**問19 【介護予防支援・居宅介護支援事業所にお聞きします。】
貴事業所からみた利用者の心配ごとや悩みごとは、どちらですか。(特に該当するもののうち3つに〇)**

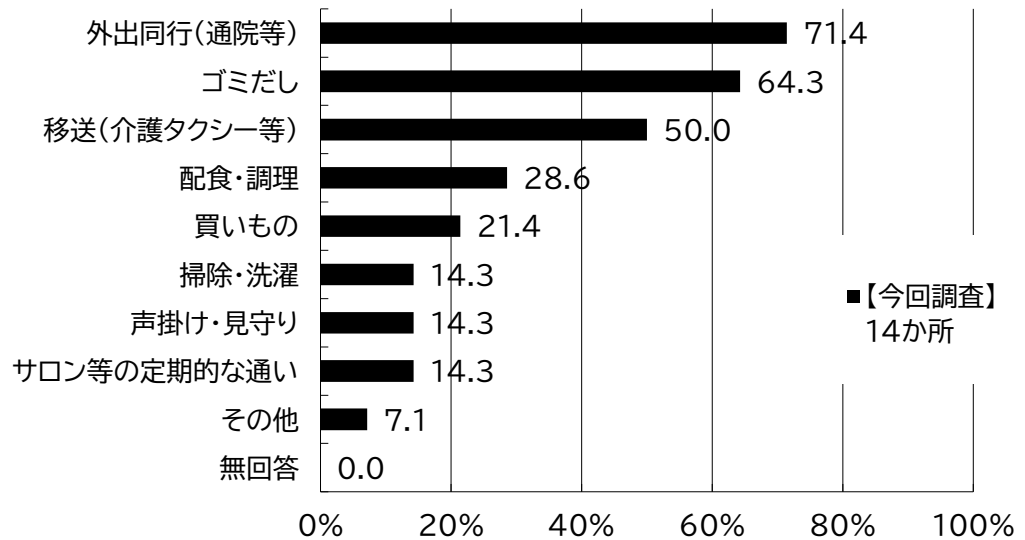
- 「生活費等の経済的なこと」が 92.9%と最も高く、次いで「自分の健康のこと」が 71.4%、「配偶者や家族のこと(健康や就労等)」が 64.3%と続いています。



問20 【介護予防支援・居宅介護支援事業所にお聞きします。】

介護保険適用以外のサービスでニーズの高いと思うものは、どちらですか。(特に該当するもののうち3つに○)

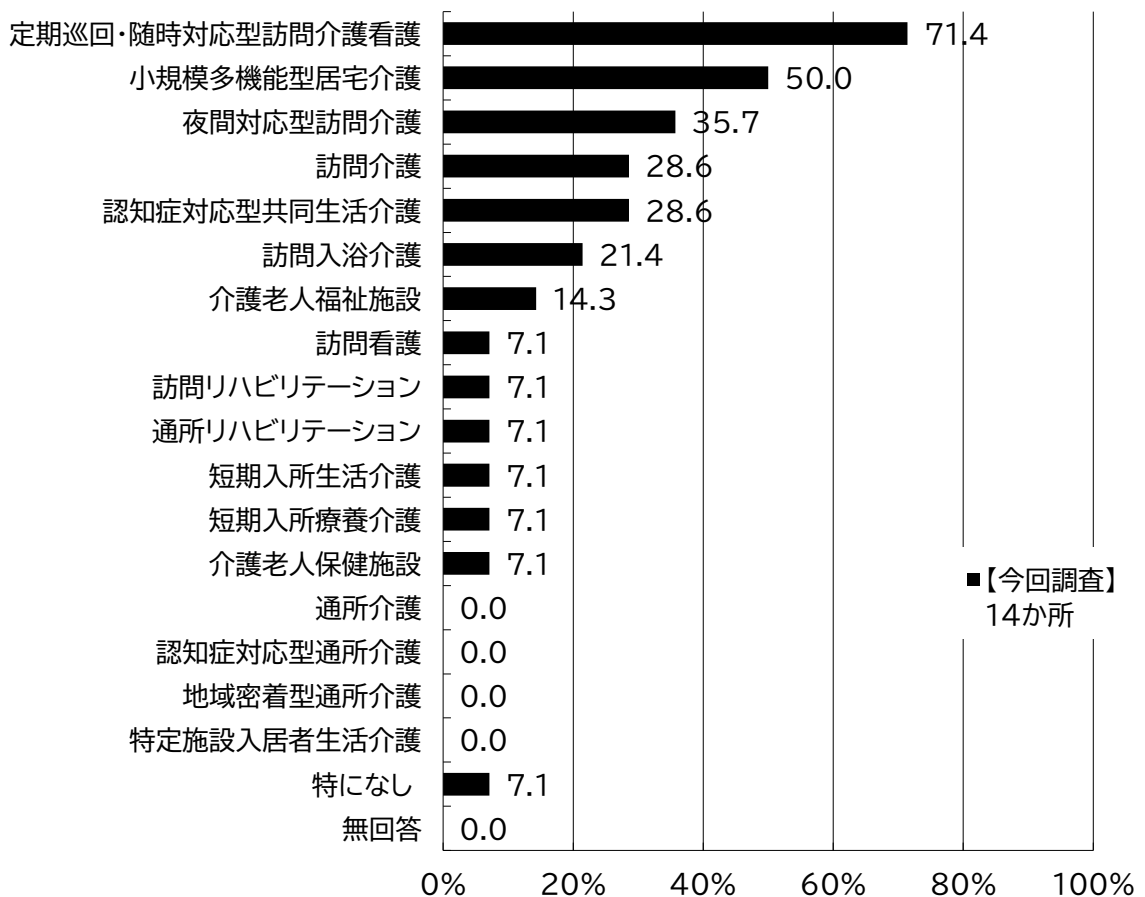
- 「外出同行(通院等)」が 71.4%と最も高く、次いで「ゴミだし」が 64.3%、「移送(介護タクシー等)」が 50.0%と続いています。



問21 【介護予防支援・居宅介護支援事業所にお聞きします。】

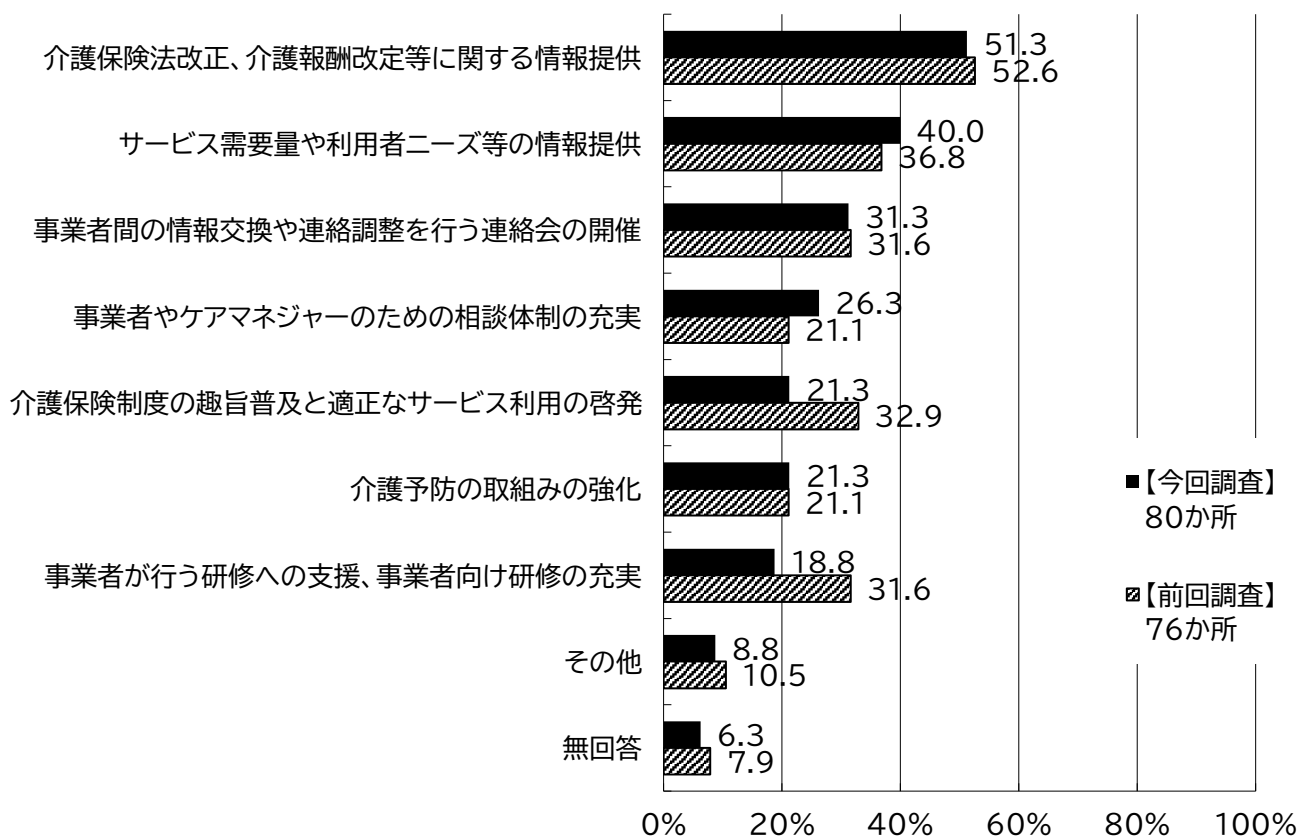
貴事業所からみて不足しているサービスは、どちらだと思えますか。(3つまで○)

- 「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が 71.4%と最も高く、次いで「小規模多機能型居宅介護」が 50.0%、「夜間対応型訪問介護」が 35.7%と続いています。



問22 今後、保険者としての市に対し、貴事業者として特に望むことは、どちらですか。(3つまで○)

- 「介護保険法改正、介護報酬改定等に関する情報提供」が 51.3%と最も高く、次いで「サービス需要量や利用者ニーズ等の情報提供」が 40.0%、「事業者間の情報交換や連絡調整を行う連絡会の開催」が 31.3%と続いています。



自由回答

- 生活保護担当のケースワーカーは介護保険制度への理解を深めてほしい
- 東京街道団地自治会が設置しているようなヘルパー用ゴミ集積所が市内の地区ごとにあると良い(認知症独居高齢者の方は今後も増え、ゴミ出しは課題)
- 介護分野の人材確保に向けての支援を自治体でも検討してほしい
- 事業所間での情報交換などを希望する
- 連絡会等は減らしてほしい
- 居宅介護支援に比べて、介護予防の委託料が安い(予防でも毎日訪問する人もいる)
- 2021年介護保険制度改正の情報をいち早く、適確に教えてほしい
- 東大和市のケアマネジャー不足は深刻。高齢者ほっと支援センターの予防プラン担当数は異常に多い
- 保険者のインセンティブなどの実績の情報はどこかで知る事はできるのでしょうか
- 地域ケア会議で抽出された地域課題を改革に反映させてほしい
- 地域包括ケアシステムの構築に向けた現在の取組みや成果、今後の展望などを専門職や市民に伝えていく必要を感じている
- 小規模デイサービスの施設外活動は今後も認めてほしい

第6章

調査結果のまとめ

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果のまとめ

- 現在の暮らしの経済的な状況について、1人暮らしの場合は「大変苦しい」、「やや苦しい」という方が33.0%と、回答者全体の同割合(27.3%)と比べて高くなっています。【19 ページ参照】
- “何でもよくかんで食べられますか”という問に対して、「かめない食べ物が多い」という方は回答者全体では4.6%、要支援1・2、総合事業対象者では7.8%となっています。なお、国の平成29年国民健康・栄養調査でも、今回の調査でも、「かめない食べ物が多い」という方は、低栄養状態(BMIが18.5未満で、かつ、6か月間で2~3kg以上の体重減少あり)に該当する割合が比較的高い傾向が見られます。【33・79 ページ参照】
- “どなたかと食事をとにもする機会はありますか”という問に対して、「ほとんどない」という方は回答者全体では10.1%、要支援1・2、総合事業対象者では15.3%となっています。なお、「ほとんどない」という方は、低栄養状態に該当する割合が比較的高い傾向が見られます。【35・79 ページ参照】
- “自分で食事の用意をしていますか”という問に対して、「できない」という方は回答者全体で8.0%となっており、現在治療中、又は後遺症のある病気について、脳卒中(脳出血・脳梗塞等)、腎臓・前立腺の病気、がん(悪性新生物)がある方などは、同回答が比較的高い回答率となっています。【38・39 ページ参照】
- 生きがいがあるという方は回答者全体で72.9%となっており、趣味を持っている人ほど生きがいありの割合が高い傾向が見られます。【46 ページ参照】
- 地域での活動の「週1回」以上の参加率を見ると、介護認定なしの方の場合は、ボランティアグループが5.3%、スポーツ関係のグループやクラブが21.9%、趣味関係のグループが14.3%、学習・教養サークルが3.5%、老人クラブが1.3%、自治会が1.2%、収入のある仕事が17.5%となっています。要支援1・2、総合事業対象者の場合は、介護予防のためのグループ・通いの場・サロン等の「週1回」以上の参加率が16.9%となっています。【49~52 ページ参照】
- 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を聞いたところ、「そのような人はいない」という割合が回答者全体では30.7%です。「高齢者ほっと支援センター(地域包括支援センター)・市役所」との回答は30.0%と、前回調査の同回答(22.9%)と比べて増加しています。1人暮らしの方に限定すると、「そのような人はいない」という回答は23.9%と比較的低くとなっており、1人暮らしの方は、介護保険の要支援認定者が約半数を占めていることから、「高齢者ほっと支援センター(地域包括支援センター)・市役所」との回答が41.1%と比較的高くなっています。【60・61 ページ参照】
- “一日中、誰とも顔を合わせない(会わない)、誰とも話をしないという日が、どのくらいありますか”という問に対して、「週に4~5日程度ある」、「ほとんど毎日、誰とも顔を合わせない」という方は、1人暮らしでは12.4%、夫婦2人暮らしでは9.2%、息子・娘との2世帯では4.0%となっています。【64・65 ページ参照】
- 幸福度(「とても不幸」が0点、「とても幸せ」が10点)は、回答者全体の平均点が6.9点となっており、生きがいの有無で「思いつかない」という場合(5.5点)、お住まいが「賃貸・貸家」の場合と趣味の有無で「思いつかない」という場合(6.2点)、家族構成で「1人暮らし」の場合(6.3点)で比較的低くなっています。【66・67 ページ参照】
- 認知症の相談窓口については、知っているという割合が、回答者全体では27.2%、家族(本人含む)に認知症の症状がある人がいる場合では56.9%となっており、認知症の方がいる家庭の約4割は相談窓口を知らないという結果となっています。【73・74 ページ参照】
- 生活機能評価による各リスクの該当者は、運動器機能低下が27.7%、転倒リスクが34.3%、閉じこもり傾向が20.5%、低栄養状態が2.2%、口腔機能低下が29.2%、認知機能低下が44.1%、うつ傾向が45.5%という状況です。【76~82 ページ参照】

2 介護保険事業計画準備調査結果のまとめ

- “同居されている方が仕事などで、半日以上にわたり外出し、あなたが自宅で一人になることがどのくらいありますか”という問に対して、「週4日以上」という回答が回答者全体では 12.5%、家族構成がその他(2世代世帯や3世代世帯等)の場合は同回答が 15.8%となっています。【91 ページ参照】
- 身体の状態が悪くならないように取り組んでいることは、前回調査と比べて「定期的に健康診断を受ける」、「規則正しい生活をする」、「歯や口の中の病気に気をつける」との回答率が増加しています。【92 ページ参照】
- 今、生活をしていて不安に感じていること・困っていることは、前回調査と比べて「認知症になった場合のこと」との回答率が増加しています。【93 ページ参照】
- 今後、介護が必要になった場合の生活場所の希望は、前回調査と比べて、自宅以外の施設等の希望が「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」だけでなく、「介護保険を利用しながら住み続けられる高齢者向け賃貸住宅」、「介護老人保健施設(老人保健施設)」、「有料老人ホーム」などに希望が分散、多様化している傾向が伺えます。【94 ページ参照】
- 「アドバンス・ケア・プランニング」(ACP)に関する問では、自分が将来も大切にしたいこと等を家族等と共有している割合は 51.3%、どのような医療・ケアを受けたいかを家族等と共有している割合は 39.6%という状況です。なお、国の調査結果※を見ると、「詳しく話し合っている」「一応話し合っている」を合わせた割合が 39.5%であり、今回の市の調査結果は国の結果と概ね同様です。【96・97 ページ参照】
※平成 29 年度 人生の最終段階における医療に関する意識調査(厚生労働省)
- 万一、回復の見込みのない病気になった場合、最期を過ごしたい場所は、「自宅」が 40.2%、「病院などの医療施設」が 25.9%などとなっています。【98 ページ参照】
- 自宅で暮らし続けていくことができる条件は、「何かの時に緊急でも対応してくれるサービス」や「日常的にも、緊急時にも対応してもらえる医療体制」といった、緊急時を含めた体制が上位にあがっています。【99 ページ参照】
- かかりつけ医の有無は、「市内にいる」という方が 65.6%、「市外にいる」という方が 14.7%、合わせて 80.3%となっています。【100 ページ参照】
- 今後、市内で導入されたいと思う移動手段は、「病院を巡回するバス」が 38.3%で最上位です。【102 ページ参照】
- 介護予防について、興味がある、または参加したいテーマは、「認知症予防」が最上位で、いずれのテーマも前回調査と比べて回答率が増加しており、介護予防への関心の高まりが伺えます。【103 ページ参照】
- 市内の高齢者福祉サービス等の周知の状況を見ると、「東大和元気ゆうゆう体操」の認知度が 54.3%と最も高い一方、平成 24 年4月から本格実施している「介護支援いきいき活動事業」の認知度は 10.0%と最も低い状況です。【104 ページ参照】

3 在宅介護実態調査結果のまとめ

- 主な介護者の年齢が40・50代の現役世代の場合は、要介護者本人は85歳以上が49.4%、75～84歳が44.0%となっています。【110ページ参照】
- 同居されている方が仕事などで、半日以上にわたり外出し、要介護者本人が自宅で一人になることについて、「週4日以上」という回答が全体では15.1%、息子・娘と同居の世帯の場合は23.2%となっています。【112ページ参照】
- 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況を聞いたところ、要介護3～5の場合は入所・入居の希望率(検討中又は申込済みの割合)が35.9%となっています。【114ページ参照】
- 居宅介護支援事業者を選んだ方法は、「担当の地域包括支援センターに相談して決めた」という方が約半数(53.2%)です。【117ページ参照】
- 介護保険サービスを利用した総合的な満足度は85.3%の方が「満足」、「おおむね満足」と回答しています。なお、総合的な満足度と個別の項目との関連度を分析(CS分析)したところ、介護保険サービスの「総合的な満足度」との関連度は、高い順から「介護の仕方」、「費用の負担」、「サービスの説明」、「介護サービス職員の対応、態度」の順となっています。【118・119ページ参照】
- 単身世帯の場合は、総合的な満足率が77.1%と比較的低くなっています。回答者全体と単身世帯で満足度の最も差が大きい個別の項目は「サービスの説明」や「介護の仕方」です。【120ページ参照】
- 今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービスは、単身世帯の場合は「掃除・洗濯」を希望する割合が23.4%と最も高く、そのほか「配食」や「見守り、声かけ」、「買い物(宅配は含まない)」、「外出同行(通院、買い物など)」は、いずれも2割程度の方が必要な支援・サービスと回答しています。【125ページ参照】
- 訪問診療の利用率は、回答者全体で11.4%、要介護3～5の場合は26.9%となっています。介護サービス(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外)と訪問診療を併用している割合は回答者全体で15.4%です。【126ページ参照】
- 今後、市内で導入されたいと思う移動手段は、「病院を巡回するバス」が25.7%で最上位です。【128ページ参照】
- 「アドバンス・ケア・プランニング」(ACP)に関する問では、自分が将来も大切にしたいこと等を家族等と共有している割合は54.8%(介護保険事業計画準備調査51.3%)、どのような医療・ケアを受けたいかを家族等と共有している割合は45.3%(介護保険事業計画準備調査39.6%)という状況です。【129ページ参照】
- 主な介護者の方が40・50代の現役世代の場合は、過去1年の間に「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」が11.0%となっています。【131・132ページ参照】
- 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等は、要介護3～5の場合は「認知症状への対応」、「夜間の排泄」、「外出の付き添い、送迎等」が上位3つです。【135・136ページ参照】
- 働いている主な介護者に、今後も働きながら介護を続けていけそうか聞いたところ、「問題はあるが、何とか続けていける」が約半数(54.0%)となっています。【139ページ参照】

4 事業者に対する調査結果のまとめ

- 雇用することが難しいと思う職種は、「介護職員(介護福祉士)」が 61.3%、「看護職員」が 47.5%と、これらが前回調査と同様に上位2つです。【146 ページ参照】
- 「介護職員」の人材確保の状況は、「やや不足している」、「不足している」という割合が合わせて6割以上(64.5%)となっています。【146 ページ参照】
- 前年度と比較した「介護職員」の離職率は、前回調査と比べて「改善された」との回答率が増加した一方、「悪化した」との回答率も増加しています。【147 ページ参照】
- どのような方策が「介護職員」の人材確保につながっているのか聞いたところ、「採用時に、労働日数や勤務時間の希望をできるだけ聞き入れている」、「賃金を高めに設定している」、「職員からの紹介制度を取り入れている(紹介への謝礼等)」が上位3つです。【147 ページ参照】
- 外国介護人材の受入れは、回答事業所全体では「外国介護人材の雇用を検討している」が 27.5%、「実際に雇用している」が 15.0%という状況です。居住系・施設サービスに限って見ると、「実際に雇用している」が 54.5%、「外国介護人材の雇用を検討している」が 45.5%と、回答した全事業所が受入れを行ったり、検討している状況です。【148 ページ参照】
- 令和元年10月の介護報酬改定に伴う「特定処遇改善加算」の対応について、「加算対象だが、届出を行っていない」との事業所は 7.5%で、届出を行わない理由は「事務作業が負担であるため」が主な理由となっています【148・149 ページ参照】
- 労働環境整備・改善のために必要な取組みは、前回調査と同様に「労働条件の改善(賃金)」が最上位で、「労働条件の改善(労働時間)」と「柔軟な働き方の促進(子育て支援、ワークシェアリング等)」は、前回調査と比べて回答率が増加しています。【152 ページ参照】
- 事業所を運営する上での課題は、前回調査と同様に「従事者の確保・定着のための賃金体系」が最上位で、「介護サービス提供に関する書類作成の煩雑さ」との回答率が前回調査と比べて増加しています。【154 ページ参照】
- 介護予防支援・居宅介護支援事業所からみた利用者の心配ごとや悩みごととして、「生活費等の経済的なこと」を約9割(92.9%)の事業所があげています。【156 ページ参照】
- 介護予防支援・居宅介護支援事業所からみて、介護保険適用以外のサービスでニーズの高いと思うものは、「外出同行(通院等)」、「ゴミだし」、「移送(介護タクシー等)」が上位3つです。【157 ページ参照】
- 介護予防支援・居宅介護支援事業所からみた、不足しているサービスとして、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」を約7割(71.4%)の事業所があげています。【157 ページ参照】
- 保険者としての市に対し、事業者として特に望むことは、前回調査と同様に「介護保険法改正、介護報酬改定等に関する情報提供」や「サービス需要量や利用者ニーズ等の情報提供」といった情報提供が上位にあがっている一方、「介護保険制度の趣旨普及と適正なサービス利用の啓発」や「事業者が行う研修への支援、事業者向け研修の充実」との回答率は前回調査と比べて減少しています。【158 ページ参照】

資料

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 調査票

東大和市高齢者福祉計画・第8期東大和市介護保険事業計画 策定のためのアンケート調査 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

ご協力をお願い

日頃より、市政にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、東大和市では、『支え合う地域の中で 高齢者の意思が尊重され 健康で生きがいを持って暮らせるまち 東大和』を実現するため、「東大和市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画」に基づき、事業を推進しています。

現計画が令和2年度に終了することから、現計画策定後の状況の変化等を踏まえ、現在、第8期（令和3～5年度）計画の策定に向けた作業を進めています。

その一環として、計画の対象となる方の日頃の生活の様子や健康状態、地域での活動等をうかがうため、調査を実施させていただくこととなりました。

この調査票は、東大和市の介護保険被保険者（65歳以上の方）のうち、介護保険の要支援認定を受けている方及び要介護・要支援認定を受けていない方から、無作為に約2,000人を抽出させていただき、お送りしています。

なお、調査の質問項目につきましては、国から示された調査項目を基本としています。立ち入った質問等もあるかと存じますが、市では、地域の高齢者の皆様がどのような生活をして、どのようなサービスを必要としているか等、地域のニーズや課題等を的確に把握させていただき、高齢者福祉施策や介護保険事業に反映していくことで、よりきめ細かな対応をしていきたいと考えております。何卒、ご理解くださいますようお願いいたします。

ご回答いただいた調査内容は、東大和市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画策定のために利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が漏れたり、他の目的に利用することはございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年12月

東大和市長 尾崎 保夫

●問合せ先

東大和市 福祉部 高齢介護課 高齢者施策推進担当

電話：042-563-2111（内線）1185

FAX：042-563-5930

E-mail：koureikaigo@city.higashiyamato.lg.jp

ご記入に際してのお願い

この調査票・同封の返信用封筒には、氏名・住所を記入しないでください。

1. この調査の対象者は、令和元年12月1日現在、65歳以上の方です。
2. ご回答にあたっては、宛名のご本人にお答えいただきますが、ご家族の方などがご本人の代わりにご回答されたり、一緒にご回答されてもかまいません。
3. ご回答は、質問の該当する答えの番号を○で囲み、数字記入欄には数字をご記入ください。「その他」に○をつけた場合は、()内に具体的な内容をご記入ください。
4. この調査で使う用語の意味は、以下のとおりです。
介護…介護保険のサービスを受けている場合のほか、介護認定を受けていない場合でも、常時ご家族などの援助を受けている状態。
介助…ご自分の意思により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態。
5. この調査票にご記入後は、3つ折りにして同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、

令和元年12月25日（水）までに投函してください。

1 封筒の宛名のあなたについて

この調査票をご記入されるのはどなたですか。番号に○をつけてください。

1. 宛名のご本人
2. ご家族
(ご本人からみた続柄 _____)
3. その他 (_____)

記入日	令和	年	月	日
-----	----	---	---	---

あなた（封筒の宛名の方）の居住区をお教えてください。

- | | | |
|--------|-------------|-----------|
| 1. 芋窪 | 8. 上北台1、2丁目 | 14. 清水 |
| 2. 蔵敷 | 9. 上北台3丁目 | 15. 仲原 |
| 3. 奈良橋 | 10. 桜が丘 | 16. 向原 |
| 4. 湖畔 | 11. 立野 | 17. 清原 |
| 5. 高木 | 12. 中央 | 18. 新堀 |
| 6. 狭山 | 13. 南街 | 19. 東大和市外 |
| 7. 多摩湖 | | |

令和元年12月1日現在のあなた（封筒の宛名の方）の性別と満年齢をお教えてください。

性別	1. 男性	2. 女性	3. 選択せず
-----------	-------	-------	---------

年齢	満 (_____) 歳 ※年齢をご記入ください。
-----------	----------------------------

あなた（封筒の宛名の方）の現在の要介護度をお教えてください。

1. 要支援1
2. 要支援2
3. 介護認定はないが、総合事業の対象者
4. 介護認定なし

2 あなたのご家族や生活状況について

問1 家族構成をお教えてください。

- | | |
|----------------------|--------------|
| 1. 1人暮らし | 4. 息子・娘との2世帯 |
| 2. 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上） | 5. その他 |
| 3. 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下） | |

問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

- | |
|---|
| 1. 介護・介助は必要ない |
| 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない |
| 3. 現在、何らかの介護・介助を受けている
(介護認定を受けずに家族などの介護・介助を受けている場合も含む) |

問2-1 【問2において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

介護・介助が必要になった主な原因は何ですか（いくつでも）

- | | |
|--|---|
| 1. 脳卒中（ <small>のうそっちゅう</small> 脳出血・ <small>のうしゅっけつ</small> 脳梗塞等） | 9. 腎疾患（ <small>じんしつかん</small> 透析） |
| 2. 心臓病 | 10. 視覚・聴覚障害（ <small>しかく</small> 聴覚・ <small>ちょうかくしょうがい</small> 視覚障害） |
| 3. がん（悪性新生物） | 11. 骨折・転倒（ <small>こっせつ</small> 骨折・ <small>てんとう</small> 転倒） |
| 4. 呼吸器の病気（ <small>はいきしゅ</small> 肺気腫・肺炎等） | 12. 脊椎損傷（ <small>せきついそんしょう</small> 脊椎損傷） |
| 5. 関節の病気（リウマチ等） | 13. 高齢による衰弱（ <small>すいじやく</small> 高齢による衰弱） |
| 6. 認知症（ <small>にんちしょう</small> アルツハイマー病等） | 14. その他
() |
| 7. パーキンソン病 | 15. 不明 |
| 8. 糖尿病（ <small>とうにょうびょう</small> 糖尿病） | |

問2-2 【問2において「3. 現在、何らかの介護・介助を受けている」の方のみ】

主にどなたの介護、介助を受けていますか（いくつでも）

- | | | |
|-------------|----------|----------------|
| 1. 配偶者（夫・妻） | 4. 子の配偶者 | 7. 介護サービスのヘルパー |
| 2. 息子 | 5. 孫 | 8. その他（ ） |
| 3. 娘 | 6. 兄弟・姉妹 | |

問3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

- | | | |
|----------|-------------|-------------|
| 1. 大変苦しい | 3. ふつう | 5. 大変ゆとりがある |
| 2. やや苦しい | 4. ややゆとりがある | |

問8 外出を控えていますか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問8-1 【問8で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】

外出を控えている理由は、次のどれですか (いくつでも)

1. 病気 <small>しょうがい のうそっちゅう こういしょう</small>
2. 障害 (脳卒中の後遺症など)
3. 足腰などの痛み
4. トイレの心配 (失禁など)
5. 耳の障害 (聞こえの問題など)
6. 目の障害
7. 外での楽しみがない
8. 経済的に出られない
9. 交通手段がない
10. その他 ()

問9 外出する際の移動手段は何ですか。 (いくつでも)

1. 徒歩
2. 自転車
3. バイク
4. 自動車 (自分で運転)
5. 自動車 (人に乗せてもらう)
6. 電車
7. 路線バス
8. 病院や施設のバス
9. 車いす
10. 電動車いす (カート)
11. 歩行器・シルバーカー
12. タクシー
13. その他 ()

4 食べることについて

問1 身長・体重を教えてください。

身長	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	cm	体重	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	kg
----	----------------------	----------------------	----------------------	----	----	----------------------	----------------------	----------------------	----

問2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問3 お茶や汁物等でむせることがありますか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問4 口の渇きが気になりますか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問5 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問6 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

問6-1 噛み合わせは良いですか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問6-2 【問6で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】 毎日入れ歯の手入れをしていますか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問7 何でもよくかんで食べられますか。

1. 何でもかんで食べることができる	3. かめない食べ物が多い
2. 一部かめない食べ物がある	4. かんで食べることはできない

問8 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問9 どなたかと食事をとる機会がありますか。

1. 毎日ある	3. 月に何度かある	5. ほとんどない
2. 週に何度かある	4. 年に何度かある	

5 毎日の生活について

問1 物忘れが多いと感じますか。

1. はい 2. いいえ

問2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。

1. はい 2. いいえ

問3 今日が何月何日かわからない時がありますか。

1. はい 2. いいえ

問4 バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)

1. できるし、している 2. できるけれどしていない 3. できない

問5 自分で食品・日用品の買物をしていますか。

1. できるし、している 2. できるけれどしていない 3. できない

問6 自分で食事の用意をしていますか。

1. できるし、している 2. できるけれどしていない 3. できない

問7 自分で請求書の支払いをしていますか。

1. できるし、している 2. できるけれどしていない 3. できない

問8 自分で預貯金の出し入れをしていますか。

1. できるし、している 2. できるけれどしていない 3. できない

問9 年金などの書類(市役所や病院などに出す書類)が書けますか。

1. はい 2. いいえ

問10 新聞を読んでいますか。

1. はい 2. いいえ

問11 本や雑誌を読んでいますか。

1. はい 2. いいえ

問12 健康についての記事や番組に関心がありますか。

1. はい 2. いいえ

問13 友人の家を訪ねていますか。

1. はい 2. いいえ

問14 家族や友人の相談にのっていますか。

1. はい 2. いいえ

問15 病人を見舞うことができますか。

1. はい 2. いいえ

問16 若い人に自分から話しかけることがありますか。

1. はい 2. いいえ

問17 趣味はありますか。

1. 趣味あり → ()
2. 思いつかない

問18 生きがいがありますか。

1. 生きがいあり
2. 思いつかない

問18-1 【問18で「1. 生きがいあり」の方のみ】

生きがい（喜びや楽しみ）を感じるのどのような時ですか。（いくつでも）

1. 仕事に打ち込んでいるとき
2. 勉強や教養などに身を入れているとき
3. 趣味やスポーツに熱中しているとき
4. 夫婦団らんのとき
5. 孫など家族との団らんのとき
6. 友人や知人と食事、雑談しているとき
7. テレビを見たり、ラジオを聞いているとき
8. 社会奉仕や地域活動をしているとき
9. 旅行に行っているとき
10. 他人から感謝されたとき
11. 収入があったとき
12. おいしい物を食べているとき
13. 若い世代と交流しているとき
14. その他（具体的に：)
15. わからない

6 地域での活動について

問1 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

※①～⑦それぞれに回答してください。

	週4回 以上	週2～3 回	週1回	月1～3 回	年に数回	参加して いない
①ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
②スポーツ関係のグループや クラブ	1	2	3	4	5	6
③趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤介護予防のためのグループ・ 通いの場・サロン等	1	2	3	4	5	6
⑥老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦自治会	1	2	3	4	5	6
⑧収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

問2 あなたが、趣味などの活動や自由時間における活動を活発に行うためには、どのようなことが必要だと思いますか。(いくつでも)

- | | |
|----------------|-------------------------|
| 1. 経済的なゆとり | 6. 自由時間の過ごし方、趣味などに関する情報 |
| 2. 施設や場所 | 7. 時間的なゆとり |
| 3. よい指導者や組織・団体 | 8. その他(具体的に:) |
| 4. 一緒に活動する仲間 | 9. わからない |
| 5. 得意とする技術・技能 | |

問3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

- | | | | |
|------------|------------|------------|-------------|
| 1. 是非参加したい | 2. 参加してもよい | 3. 参加したくない | 4. 既に参加している |
|------------|------------|------------|-------------|

問4 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。

- | | | | |
|------------|------------|------------|-------------|
| 1. 是非参加したい | 2. 参加してもよい | 3. 参加したくない | 4. 既に参加している |
|------------|------------|------------|-------------|

問5 あなたは、どのようなきっかけがあれば、個人又は友人と、あるいはグループや団体で自主的に行われている活動に参加すると思いますか。(いくつでも)

- | | |
|------------------------|-----------------------------|
| 1. 友人、仲間のすすめ | 6. 個人的意思(問題意識や解決したい課題をもつこと) |
| 2. 家族のすすめ | 7. その他 |
| 3. 市の広報誌やホームページなどからの情報 | (具体的に:) |
| 4. 活動団体からの呼びかけ | 8. 特にない |
| 5. 自治会の誘い | |

7

たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

問1 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

- | | | |
|-----------|----------------|---------------|
| 1. 配偶者 | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 7. その他（ ） |
| 2. 同居の子ども | 5. 近隣 | 8. そのような人はいない |
| 3. 別居の子ども | 6. 友人 | |

問2 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

- | | | |
|-----------|----------------|---------------|
| 1. 配偶者 | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 7. その他（ ） |
| 2. 同居の子ども | 5. 近隣 | 8. そのような人はいない |
| 3. 別居の子ども | 6. 友人 | |

問3 あなたのちょっとした手伝いや用事をお願いできる人（いくつでも）

- | | | |
|-----------|----------------|---------------|
| 1. 配偶者 | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 7. その他（ ） |
| 2. 同居の子ども | 5. 近隣 | 8. そのような人はいない |
| 3. 別居の子ども | 6. 友人 | |

問4 あなたの家事や買い物などをしてくれる（お願いできる）人（いくつでも）

- | | | |
|-----------|----------------|---------------|
| 1. 配偶者 | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 7. その他（ ） |
| 2. 同居の子ども | 5. 近隣 | 8. そのような人はいない |
| 3. 別居の子ども | 6. 友人 | |

問5 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

- | | | |
|-----------|----------------|---------------|
| 1. 配偶者 | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 7. その他（ ） |
| 2. 同居の子ども | 5. 近隣 | 8. そのような人はいない |
| 3. 別居の子ども | 6. 友人 | |

問6 反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも）

- | | | |
|-----------|----------------|---------------|
| 1. 配偶者 | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 7. その他（ ） |
| 2. 同居の子ども | 5. 近隣 | 8. そのような人はいない |
| 3. 別居の子ども | 6. 友人 | |

問7 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。（いくつでも）

- | | |
|-----------------|-------------------------------------|
| 1. 自治会・老人クラブ | 5. 高齢者ほっと支援センター（地域包括支援センター）
・市役所 |
| 2. 社会福祉協議会・民生委員 | |
| 3. ケアマネジャー | 6. その他（ ） |
| 4. 医師・歯科医師・看護師 | 7. そのような人はいない |

問8 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。

- | | | |
|------------|------------|-----------|
| 1. 毎日ある | 3. 月に何度かある | 5. ほとんどない |
| 2. 週に何度かある | 4. 年に何度かある | |

問9 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。

- | | | |
|-------------|---------|----------|
| 1. 0人 (いない) | 3. 3~5人 | 5. 10人以上 |
| 2. 1~2人 | 4. 6~9人 | |

問10 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)

- | | | |
|--------------|-------------------|--------|
| 1. 近所・同じ地域の人 | 4. 仕事での同僚・元同僚 | 7. その他 |
| 2. 幼なじみ | 5. 趣味や関心が同じ友人 | () |
| 3. 学生時代の友人 | 6. ボランティア等の活動での友人 | 8. いない |

問11 一日中、誰とも顔を合わせない(会わない)、誰とも話をしないという日が、どのくらいありますか。電話やメールのやり取りは話をしたことに含みます。

- | |
|-------------------------------|
| 1. ほとんどない(毎日、誰かと会ったり、会話をしている) |
| 2. 週に1日程度ある |
| 3. 週に2~3日程度ある |
| 4. 週に4~5日程度ある |
| 5. ほとんど毎日、誰とも顔を合わせない |

8 健康について

問1 現在のあなたの健康状態はいかがですか。

- | | |
|----------|------------|
| 1. とてもよい | 3. あまりよくない |
| 2. まあよい | 4. よくない |

問2 あなたは、現在どの程度幸せですか。

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

とても不幸	とても幸せ
0点	10点
1点	
2点	
3点	
4点	
5点	
6点	
7点	
8点	
9点	

問3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問5 お酒は飲みますか。

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. ほぼ毎日飲む | 3. ほとんど飲まない |
| 2. 時々飲む | 4. もともと飲まない |

問6 タバコは吸っていますか。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. ほぼ毎日吸っている | 3. 吸っていたがやめた |
| 2. 時々吸っている | 4. もともと吸っていない |

問7 現在治療中、又は後遺症のある病気はありますか。(いくつでも)

- | | |
|--|--|
| 1. ない | 11. 外傷 <small>(がいしやう てんとう こっせつなど)</small> (転倒・骨折等) |
| 2. 高血圧 | 12. がん (悪性新生物) |
| 3. 脳卒中 <small>(のうそちゆう のうしゅつけつ・のうこうそく)</small> (脳出血・脳梗塞等) | 13. 血液・免疫 <small>(けつえき めんえき びようき)</small> の病気 |
| 4. 心臓病 | 14. うつ病 |
| 5. 糖尿病 <small>(とうにょうびよう)</small> | 15. 認知症 <small>(にんちしやう)</small> (アルツハイマー病等) |
| 6. 高脂血症 <small>(こうしけっしやう ししつじやう)</small> (脂質異常) | 16. パーキンソン病 |
| 7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等) | 17. 目の病気 |
| 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 | 18. 耳の病気 |
| 9. 腎臓・前立腺 <small>(じんぞう ぜんりつせん びようき)</small> の病気 | 19. その他 () |
| 10. 筋骨格 <small>(きんこつかく びようき こつそ しやう)</small> の病気 (骨粗しょう症、関節症等) | |

2 介護保険事業計画準備調査 調査票

東大和市高齢者福祉計画・第8期東大和市介護保険事業計画 策定のためのアンケート調査

(介護保険事業計画準備調査)

ご協力をお願い

日頃より、市政にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、東大和市では、『支え合う地域の中で 高齢者の意思が尊重され 健康で生きがいを持って暮らせるまち 東大和』を実現するため、「東大和市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画」に基づき、事業を推進しています。

現計画が令和2年度に終了することから、現計画策定後の状況の変化等を踏まえ、現在、第8期（令和3～5年度）計画の策定に向けた作業を進めています。

その一環として、計画の対象となる方の生活の状況や今後の生活、福祉サービス等の利用・参加の意向等をうかがうため、調査を実施させていただくこととなりました。

この調査票は、東大和市の介護保険被保険者（65歳以上の方）のうち、要介護・要支援認定を受けていない方から無作為に約1,200人を抽出させていただき、お送りしています。

なお、調査の質問項目につきましては、立ち入った質問等もあるかと存じますが、市では、地域の高齢者の皆様がどのような生活をして、どのようなサービスを必要としているか等、地域のニーズや課題等を的確に把握させていただき、高齢者福祉施策や介護保険事業に反映していくことで、よりきめ細かな対応をしていきたいと考えております。何卒、ご理解くださいますようお願いいたします。

ご回答いただいた調査内容は、東大和市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画策定のために利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が漏れたり、他の目的に利用することはございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年12月

東大和市長 尾崎 保夫

●問合せ先

東大和市 福祉部 高齢介護課 高齢者施策推進担当

電話：042-563-2111（内線）1185

FAX：042-563-5930

E-mail：koureikaigo@city.higashiyamato.lg.jp

ご記入に際してのお願い

この調査票・同封の返信用封筒には、氏名・住所を記入しないでください。

1. この調査の対象者は、令和元年12月1日現在、65歳以上の方です。
2. ご回答にあたっては、宛名のご本人にお答えいただきますが、ご家族の方などがご本人の代わりにご回答されたり、一緒にご回答されてもかまいません。
3. ご回答は、質問の該当する答えの番号を○で囲み、数字記入欄には数字をご記入ください。「その他」に○をつけた場合は、()内に具体的な内容をご記入ください。
4. この調査で使う用語の意味は、以下のとおりです。
介護・・・介護保険のサービスを受けている場合のほか、介護認定を受けていない場合でも、常時ご家族などの援助を受けている状態。
介助・・・ご自分の意思により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態。
5. この調査票にご記入後は、3つ折りにして同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、

令和元年12月25日（水）までに投函してください。

問1 この調査票をご記入されるのは、どなたですか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1. あなた（封筒の宛名の方） | 4. 孫、孫の配偶者 |
| 2. 配偶者 | 5. 兄弟、姉妹 |
| 3. 子ども、子どもの配偶者 | 6. その他（具体的に： _____） |

これからの質問は、あなた（封筒の宛名の方）についてお聞きます。

1 封筒の宛名のご本人について

問2 令和元年12月1日現在のあなた（封筒の宛名の方）の性別と満年齢をお教えてください。

性別	1. 男性	2. 女性	3. 選択せず
年齢	満（ _____ ）歳 ※年齢をご記入ください。		

問3 あなた（封筒の宛名の方）の居住区をお教えてください。(○は1つ)

- | | | |
|--------|-------------|-----------|
| 1. 芋 窪 | 8. 上北台1、2丁目 | 14. 清 水 |
| 2. 蔵 敷 | 9. 上北台3丁目 | 15. 仲 原 |
| 3. 奈良橋 | 10. 桜が丘 | 16. 向 原 |
| 4. 湖 畔 | 11. 立 野 | 17. 清 原 |
| 5. 高 木 | 12. 中 央 | 18. 新 堀 |
| 6. 狭 山 | 13. 南 街 | 19. 東大和市外 |
| 7. 多摩湖 | | |

問4 あなた（封筒の宛名の方）は、どなたと一緒に暮らしていますか。封筒の宛名の方から見た続柄に○をしてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------|----------------------|
| 1. ひとり暮らし | 2. 配偶者 |
| | 3. 子ども、子どもの配偶者 |
| | 4. 孫、孫の配偶者 |
| 次ページ
問5へ | 5. あなた（封筒の宛名の方）の兄弟姉妹 |
| | 6. あなた（封筒の宛名の方）の親 |
| | 7. その他（具体的に： _____） |

問4-1 <ひとり暮らしではない方>

同居されている方は、全員が65歳以上ですか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問4-2 <ひとり暮らしではない方>

同居されている方が仕事などで、半日以上にわたり外出し、あなた(封筒の宛名の方)が自宅で一人になることがどのくらいありますか。(○は1つ)

- | | |
|----------|------------------------|
| 1. 週4日以上 | 4. 半日以上、一人になることはほとんどない |
| 2. 週2~3日 | 5. その他(具体的に:) |
| 3. 週1日程度 | |

2 生活の状況・今後の生活等について

問5 以下の中に、あなた(封筒の宛名の方)自身が、身体の状態が悪くならないように取り組んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------|---|
| 1. 食事のバランスに気をつける | |
| 2. 三食きちんととる | |
| 3. ウォーキング、体操やスポーツなどで体を動かす | |
| 4. 人と交流したり話をしたりする | |
| 5. 趣味にはげむ | |
| 6. できるだけ外出するようにする | |
| 7. 規則正しい生活をする | |
| 8. 定期的に健康診断を受ける | |
| 9. 歯や口の中の病気に気をつける | |
| 10. その他(具体的に:) |) |
| 11. 特に何もしていない | |

問6 以下の中に、今、生活をしていて不安に感じていること・困っていることはありますか。(あてはまるすべてのものに○)

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 日常の家事 | 7. 自分に介護が必要になった場合のこと |
| 2. 買い物や通院などの外出 | 8. 家族に介護が必要になった場合のこと |
| 3. 人と触れ合ったり、交流する機会がないこと | 9. 認知症になった場合のこと |
| 4. 経済的なこと | 10. 災害などの緊急時の対応のこと |
| 5. 金銭や財産の管理 | 11. その他(具体的に:) |
| 6. 自分自身の健康・病気のこと | 12. 特になし |

問7 あなた（封筒の宛名の方）は、今後、介護が必要になった場合、どこで生活したいと考えていますか。（○は1つ）

1. 自宅
2. 子どもや親族の家
3. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）
※要介護3～5の方で、常に介護が必要で自宅での生活が難しい方のための施設です。
4. 介護老人保健施設（老人保健施設）
※入所者に対してリハビリテーションなどの医療サービスを提供し、家庭への復帰を目指す施設です。
5. 認知症高齢者グループホーム
※認知症の高齢者が共同で生活する住居において、入浴、排泄、食事等の介護などの日常生活上の世話、機能訓練を行う施設です。
6. 有料老人ホーム
※入居している利用者に対して入浴・排泄・食事等の介護、その他必要な日常生活上の支援を行う施設です。
7. 介護保険を利用しながら住み続けられる高齢者向け賃貸住宅
※安否確認や生活相談など高齢者向けのサービスを提供するバリアフリー構造の住宅です。
8. その他（具体的に： _____ ）
9. わからない

問8 在宅で療養が必要となった時に不安となる要因はどのようなものと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 経済的なこと
2. 介護保険認定の申請・利用のこと
3. 見てくれる人がいないこと
4. 見てくれる人への気兼ね
5. 胃ろうなどの医療的ケアを自宅で行うこと
6. 薬の管理を行うこと
7. 急変したときのこと
8. その他（具体的に： _____ ）
9. 特にない

問9 あなた（封筒の宛名の方）は、自分が将来も大切にしたいこと等を、家族等の親しい人と共有していますか。（1つを選択）

1. 共有している
2. 共有していない（今後共有したい）
3. 共有していない（今後も共有したいとは思っていない）
4. 共有していない（今後についてはわからない）

問10 あなた（封筒の宛名の方）が回復の見込みのない状態になった時に、どのような医療・ケアを受けたいかを、家族等の親しい人と共有していますか。（1つを選択）

1. 共有している
2. 共有していない（今後共有したい）
3. 共有していない（今後も共有したいとは思っていない）
4. 共有していない（今後についてはわからない）

問11 万一、あなた（封筒の宛名の方）が回復の見込みのない病気になった場合、最期はどこで過ごしたいと思いますか。（○は1つ）

1. 自宅
2. 子どもの家
3. 兄弟姉妹など親族の家
4. 高齢者向けのケア付き住宅
5. 特別養護老人ホームなどの福祉施設
6. 病院などの医療施設
7. その他（具体的に： _____ ）
8. わからない

問 1 2 どのようなサービスが利用できたり、どのような条件が整えば、自宅で暮らし続けていくことができると思いますか。（特に望むこと3つまでに○）

- | |
|-------------------------------|
| 1. 何かの時に緊急でも対応してくれるサービス |
| 2. 夜間や土日に対応してくれる介護サービス |
| 3. 炊事・掃除・洗濯などの家事をしてくれるサービス |
| 4. 気軽に相談できる人や専門家がいる |
| 5. 安否確認などの見守りがある |
| 6. 日常的にも、緊急時にも対応してもらえる医療体制がある |
| 7. 介護しやすいよう住宅改修ができる |
| 8. 暮らし続けられる住まいが確保されている |
| 9. 金銭や財産管理などを支援してくれる |
| 10. 災害時に支援してくれる体制がある |
| 11. その他（具体的に： _____） |
| 12. 特にない |

問 1 3 最近、食事に関する様々なサービスが提供されていますが、あなた（封筒の宛名の方）は今後、仮に自分で食事の用意ができなくなったり、用意してくれる人がいなくなった場合、どのようなサービスを利用したいと思いますか。（特に望むこと3つまでに○）

- | | |
|------------------------|----------|
| 1. 民間による配食サービス | 8. 特にない |
| 2. 公的な配食サービス | 9. わからない |
| 3. 施設での会食サービス | |
| 4. 食材の宅配サービス | |
| 5. ホームヘルパーや家政婦による食事の用意 | |
| 6. 多種多様な調理食品や半調理食品の販売 | |
| 7. その他（具体的に： _____） | |

問 1 4 あなた（封筒の宛名の方）の体調や病気などについて相談できる「かかりつけ医」はいますか。（1つを選択）

- | | | |
|----------|----------|--------|
| 1. 市内にいる | 2. 市外にいる | 3. いない |
|----------|----------|--------|

問 1 5 あなた（封筒の宛名の方）は、どのくらいの頻度で通院をしていますか。（1つを選択）

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. ほぼ毎日 | 4. 週に1日程度 |
| 2. 週に4～5日 | 5. 週に1日未満 |
| 3. 週に2～3日 | 6. 通院はしていない |

3 高齢者の福祉サービス等について

問19 以下の市内の高齢者福祉サービス等の周知の状況、現在の利用・参加の状況、今後の利用・参加の意向について、それぞれ1つに○をしてください。

事業等名	内容	周知の状況	現在の利用・参加の状況	今後の利用・参加の意向
東大和元気 ゆうゆう体操	高齢者の介護予防・健康維持を目的に、筋力アップ、バランス能力の向上や口腔機能の向上を図る体操です。	1. 知っている 2. 知らない	1. している 2. していない	1. したい 2. したくない
東大和元気ゆうゆう 体操普及推進員 養成講座	市の東大和元気ゆうゆう体操普及推進員（東大和元気ゆうゆう体操の目的や動作を習得し、普及啓発を担う人材）を育成します。	1. 知っている 2. 知らない	1. している 2. していない	1. したい 2. したくない
介護予防リーダー 養成講座	市の介護予防リーダー（介護予防に必要な知識や技術を身に付け、身近な地域で主体的な活動を行う人材）を育成します。	1. 知っている 2. 知らない	1. している 2. していない	1. したい 2. したくない
介護予防講演会	介護予防に関する講演を行います。	1. 知っている 2. 知らない	1. している 2. していない	1. したい 2. したくない
生活支援 ショートステイ	介護保険の要介護認定を申請した結果、非該当となった方の、同居のご家族の疾病などにより日常生活上の援助ができない場合に、短期間有料で宿泊できるサービスです。	1. 知っている 2. 知らない	1. している 2. していない	1. したい 2. したくない
安心見守り・ 食事サービス	買い物や炊事が困難な方（家族と同居の方も含みます）に、有料で昼食を毎日お届けします。	1. 知っている 2. 知らない	1. している 2. していない	1. したい 2. したくない
さわやかサービス	掃除、買い物、調理、洗濯などにお困りの方に、市民同士の助け合いサービスとして、有料で日常生活上の家事援助を行います。	1. 知っている 2. 知らない	1. している 2. していない	1. したい 2. したくない

事業等名	内容	周知の状況	現在の利用・参加の状況	今後の利用・参加の意向
ふれあいなごやかサロン活動	介護予防リーダーなどが行う、地域でのサロン活動です。	1. 知っている 2. 知らない	1. している 2. していない	1. したい 2. したくない
高齢者ほっと支援センター (地域包括支援センター)	高齢者の保健医療の向上・福祉の増進のための、地域における総合的な相談窓口です。	1. 知っている 2. 知らない	1. している 2. していない	1. したい 2. したくない
高齢者見守りぼっくす	高齢者の見守り支援を専門とした相談窓口で、相談員が高齢者宅を戸別訪問し、民生委員、自治会などの関係機関と連携し、高齢者が地域で安心して生活できるよう支援します。	1. 知っている 2. 知らない	1. している 2. していない	1. したい 2. したくない
見守り・声かけ活動	市内を8地区に分けて各地区で協力員（近隣のボランティア）が高齢者のお宅を訪問して声かけをしたり、さりげなく見守ります。希望により「見守り」「声かけ」を選択できます。	1. 知っている 2. 知らない	1. している 2. していない	1. したい 2. したくない
認知症高齢者等居場所お知らせサービス	在宅の認知症高齢者などを介護している方に、居場所探索専用端末機器を有償貸与し、高齢者などの居場所を電話などでお知らせします。	1. 知っている 2. 知らない	1. している 2. していない	1. したい 2. したくない
緊急通報システム	ひとり暮らし、高齢者のみの世帯、日中独居の高齢者の方に対し、緊急連絡用のペンダント型の無線発報機と生活リズムセンサーを有償貸与します。通報があると、現場派遣員が現地に駆け付け、緊急の場合は救急車を要請します。	1. 知っている 2. 知らない	1. している 2. していない	1. したい 2. したくない
福祉サービス利用援助事業 (地域福祉権利擁護事業)	判断能力が不十分な認知症高齢者などを対象に、福祉サービス利用の手続きや、日常的な金銭管理などのサービスのお手伝いを行います。	1. 知っている 2. 知らない	1. している 2. していない	1. したい 2. したくない

事業等名	内容	周知の状況	現在の利用・参加の状況	今後の利用・参加の意向
東大和元気 ゆうゆうポイント 事業	高齢者の健康寿命の延伸及び介護予防活動の活性化を図るため、介護予防活動に参加した高齢者等にポイントを付与し、ポイント数によって景品交換を行う制度です。	1. 知っている 2. 知らない	1. している 2. していない	1. したい 2. したくない
介護支援 いきいき 活動事業	65歳以上の方々にボランティア活動を通して介護の実情を理解してもらおうと共に、ご自身の介護予防を目指すことを目的とし、介護施設などでボランティア活動を行います。指定された活動のたびにポイントを付与し、ポイント数によって換金などを行う制度です。	1. 知っている 2. 知らない	1. している 2. していない	1. したい 2. したくない

4 自由回答

ご意見等ございましたら、ご記入ください。

調査票は以上です。ご協力ありがとうございました。

記入もれがないか、改めてご確認をお願いいたします。

ご記入いただきました本調査票につきましては、切り離さずに3つ折りにして同封いたしました返信用封筒にて、ご返送くださいますようお願いいたします。
(切手は不要です。)

なお、**令和元年12月25日(水)までに**郵便ポストに投函ください。

3 在宅介護実態調査 調査票

東大和市高齢者福祉計画・第8期東大和市介護保険事業計画 策定のためのアンケート調査

(在宅介護実態調査)

ご協力のお願い

日頃より、市政にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、東大和市では、『支え合う地域の中で 高齢者の意思が尊重され 健康で生きがいを持って暮らせるまち 東大和』を実現するため、「東大和市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画」に基づき、事業を推進しています。

現計画が令和2年度に終了することから、現計画策定後の状況の変化等を踏まえ、現在、第8期（令和3～5年度）計画の策定に向けた作業を進めています。

その一環として、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討することを目的として、調査を実施させていただくこととなりました。

この調査票は、東大和市の介護保険被保険者（65歳以上の方）のうち、介護保険の要介護・要支援認定を受けている方（施設入所者を除く）から無作為に約850人を抽出させていただき、お送りしています。

なお、調査の質問項目につきましては、国から示された調査項目を基本としています。立ち入った質問等もあるかと存じますが、市では、地域の高齢者の皆様がどのような生活をして、どのようなサービスを必要としているか等、地域のニーズや課題等を的確に把握させていただき、高齢者福祉施策や介護保険事業に反映していくことで、よりきめ細かな対応をしていきたいと考えております。何卒、ご理解くださいますようお願いいたします。

ご回答いただいた調査内容は、東大和市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画策定のために利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が漏れたり、他の目的に利用することはございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年12月

東大和市長 尾崎 保夫

●問合せ先

東大和市 福祉部 高齢介護課 高齢者施策推進担当

電 話：042-563-2111（内線）1185

F A X：042-563-5930

E-mail：koureikaigo@city.higashiyamato.lg.jp

ご記入に際してのお願い

この調査票・同封の返信用封筒には、氏名・住所を記入しないでください。

1. この調査の対象者は、令和元年12月1日現在、介護保険被保険者の方です。
2. ご回答にあたっては、A票はあて名のご本人に、B票は主な介護者の方にお答えいただきますが、ご家族の方などがご本人や介護者の代わりにご回答されたり、一緒にご回答されてもかまいません。
3. ご回答は、質問の該当する答えの番号を○で囲み、数字記入欄には数字をご記入ください。「その他」に○をつけた場合は、()内に具体的な内容をご記入ください。
4. この調査で使う用語の意味は、以下のとおりです。
介護・・・介護保険のサービスを受けている場合のほか、介護認定を受けていない場合でも、常時ご家族などの援助を受けている状態。
介助・・・ご自分の意思により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態。
5. この調査票にご記入後は、3つ折りにして同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、

令和元年12月25日（水）までに投函してください。

A 票 調査対象者様ご本人について、お伺いします

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。（複数回答可）

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 調査対象者（あて名）のご本人 | 3. 主な介護者以外の家族・親族 |
| 2. 主な介護者となっている家族・親族 | 4. その他 |

問2 ご本人の性別について、ご回答ください。（1つを選択）

- | | | |
|-------|-------|---------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 選択せず |
|-------|-------|---------|

問3 ご本人の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|----------|
| 1. 65歳未満 | 3. 70～74歳 | 5. 80～84歳 | 7. 90歳以上 |
| 2. 65～69歳 | 4. 75～79歳 | 6. 85～89歳 | |

問4 ご本人の要介護度について、ご回答ください。（1つを選択）

- | | | |
|---------|---------|----------|
| 1. 要支援1 | 3. 要介護1 | 8. わからない |
| 2. 要支援2 | 4. 要介護2 | |
| | 5. 要介護3 | |
| | 6. 要介護4 | |
| | 7. 要介護5 | |

問5 ご本人の居住区について、ご回答ください。（1つを選択）

- | | | |
|--------|-------------|-----------|
| 1. 芋窪 | 8. 上北台1、2丁目 | 14. 清水 |
| 2. 蔵敷 | 9. 上北台3丁目 | 15. 仲原 |
| 3. 奈良橋 | 10. 桜が丘 | 16. 向原 |
| 4. 湖畔 | 11. 立野 | 17. 清原 |
| 5. 高木 | 12. 中央 | 18. 新堀 |
| 6. 狭山 | 13. 南街 | 19. 東大和市外 |
| 7. 多摩湖 | | |

問6 世帯類型について、ご回答ください。（1つを選択）

- | | |
|------------------|------------|
| 1. 単身世帯 ⇒次ページ問7へ | 3. 息子・娘と同居 |
| 2. 夫婦のみ世帯 | 4. その他（ ） |

問6-1 【問6で「2. 夫婦のみ世帯」「3. 息子・娘と同居」「4. その他」のいずれかと回答した方にお伺いします。】

同居されている方は、全員が65歳以上ですか。（1つを選択）

1. はい

2. いいえ

問6-2 【問6で「2. 夫婦のみ世帯」「3. 息子・娘と同居」「4. その他」のいずれかと回答した方にお伺いします。】

同居されている方が仕事などで、半日以上にわたり外出し、ご本人が自宅で一人になることがどのくらいありますか。（1つを選択）

1. 週4日以上

2. 週2～3日

3. 週1日程度

4. 半日以上、一人になることはほとんどない

5. その他（具体的に： ）

問7 ご本人の今後の生活についてどのようにお考えですか。（1つを選択）

1. 自宅

2. 子どもや親族の家

3. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

※要介護3～5の方で、常に介護が必要で自宅での生活が難しい方のための施設です。

4. 介護老人保健施設（老人保健施設）

※入所者に対してリハビリテーションなどの医療サービスを提供し、家庭への復帰を目指す施設です。

5. 認知症高齢者グループホーム

※認知症の高齢者が共同で生活する住居において、入浴、排泄、食事等の介護などの日常生活上の世話、機能訓練を行う施設です。

6. 有料老人ホーム

※入居している利用者に対して入浴・排泄・食事等の介護、その他必要な日常生活上の支援を行う施設です。

7. 介護保険を利用しながら住み続けられる高齢者向け賃貸住宅

※安否確認や生活相談など高齢者向けのサービスを提供するバリアフリー構造の住宅です。

8. その他（具体的に： ）

9. わからない

サービスの名称・内容		利用の有無		今後の利用意向
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	日中・夜間を通じて1日に複数回の定期的な訪問介護・訪問看護を行う	無	有	有・無
小規模多機能型居宅介護	通所、随時訪問、宿泊のサービスを組み合わせ、機能訓練などを行う	無	有	有・無
看護小規模多機能型居宅介護	小規模多機能型居宅介護に必要なに応じて訪問看護のサービスを組み合わせる ※現在、市内で実施している事業所はありません。	無	有	有・無

サービスの名称・内容		利用の有無		今後の利用意向
		利用なし	利用あり (1か月の利用数)	
ショートステイ	施設において、短期入所された方の介護を行う	無	有 ⇒月()日	有・無
居宅療養管理指導	医師、歯科医師、薬剤師などがお宅を訪問し、療養上の管理や指導を行う	無	有 ⇒月()回	有・無

**問16 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。
(複数選択可)**

1. 配食	7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)
2. 調理	8. 見守り、声かけ
3. 掃除・洗濯	9. サロンなどの定期的な通いの場
4. 買い物(宅配は含まない)	10. その他
5. ごみ出し	11. 利用していない
6. 外出同行(通院、買い物など)	

※ 要支援の方対象の「総合事業」に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

問17 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください。(複数選択可)

1. 配食	7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)
2. 調理	8. 見守り、声かけ
3. 掃除・洗濯	9. サロンなどの定期的な通いの場
4. 買い物(宅配は含まない)	10. その他
5. ごみ出し	11. 特になし
6. 外出同行(通院、買い物など)	

※ 介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

B 票 主な介護者の方について、お伺いします

問 1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。（複数回答可）

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 主な介護者となっている家族・親族 | 3. 主な介護者以外の家族・親族 |
| 2. 調査対象者（あて名）のご本人 | 4. その他 |

問 2 ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者様）の介護を主な理由として、過去 1 年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

- | |
|-------------------------------|
| 1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く） |
| 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く） |
| 3. 主な介護者が転職した |
| 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した |
| 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない |
| 6. わからない |

※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

問 3 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）

- | | | |
|--------|----------|----------|
| 1. 配偶者 | 3. 子の配偶者 | 5. 兄弟・姉妹 |
| 2. 子 | 4. 孫 | 6. その他 |

問 4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問 5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

- | | | |
|-----------|---------|-----------|
| 1. 20 歳未満 | 4. 40 代 | 7. 70 代 |
| 2. 20 代 | 5. 50 代 | 8. 80 歳以上 |
| 3. 30 代 | 6. 60 代 | 9. わからない |

問 6 主な介護者の方はどちらにお住まいですか（1つを選択）

- | |
|--------------------------------|
| 1. 調査対象者本人（あて名の方）と同居 |
| 2. 調査対象者本人（あて名の方）と別居（東大和市内に居住） |
| 3. 調査対象者本人（あて名の方）と別居（東大和市外に居住） |

問 1 0 【問 9 で「 1. フルタイムで働いている」「 2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。】

主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていいますか。

(複数選択可)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問 1 1 【問 9 で「 1. フルタイムで働いている」「 2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。】

主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(3つまで選択可)

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
3. 制度を利用しやすい職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）
5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護をしている従業員への経済的な支援
9. その他
10. 特にない
11. 主な介護者に確認しないと、わからない

問 1 2 【問 9 で「 1. フルタイムで働いている」「 2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。】

主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つを選択)

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 問題なく、続けていける | 4. 続けていくのは、かなり難しい |
| 2. 問題はあるが、何とか続けていける | 5. 主な介護者に確認しないと、わからない |
| 3. 続けていくのは、やや難しい | |

自由回答

ご意見等ございましたら、ご記入ください。

調査票は以上です。ご協力ありがとうございました。

ご記入もれがないか、改めてご確認をお願いいたします。

ご記入いただきました本調査票につきましては、切り離さずに3つ折りにして同封いたしました返信用封筒にて、ご返送くださいますようお願いいたします。

(※切手は不要です。)

なお、**令和元年12月25日(水)までに**郵便ポストに投函ください。

4 事業者に対する調査 調査票

東大和市高齢者福祉計画・第8期東大和市介護保険事業計画

策定のためのアンケート調査

(事業者に対する調査)

ご協力のお願い

日頃より、市政にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、東大和市では、『支え合う地域の中で 高齢者の意思が尊重され 健康で生きがいを持って暮らせるまち 東大和』を実現するため、「東大和市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画」に基づき、事業を推進しています。

現計画が令和2年度に終了することから、現計画策定後の状況の変化等を踏まえ、現在、第8期（令和3～5年度）計画の策定に向けた作業を進めています。

その一環として、東大和市内で事業を実施している事業所における、従業員の確保や育成、事業運営上の課題等に対する取り組み状況から、東大和市内の事業所の実態を把握するため、調査を実施させていただくこととなりました。

本調査では、同一法人内で複数のサービスを提供されている場合には、それぞれのサービスごとの事業所（東大和市内）宛てに送付しております。

ご回答いただいた調査内容は、東大和市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画策定のために利用させていただくものであり、個々の回答内容が漏れたり、他の目的に利用することはございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

<< ご記入に際してのお願い >>

- ご回答は、質問の該当する答えの番号を○で囲んでください。
「その他」に○をつけた場合は、() 内に具体的な内容をご記入ください。
- この調査票にご記入後は、3つ折りにして同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、令和元年12月25日（水）までに投函してください。

令和元年12月

東大和市長 尾崎 保夫

●問合せ先

東大和市 福祉部 高齢介護課 高齢者施策推進担当

電話：042-563-2111（内線）1185

F A X：042-563-5930

E-mail：koureikaigo@city.higashiyamato.lg.jp

**同一法人内で複数のサービスを（東大和市内で）
実施されている場合は、それぞれのサービスの事業所ごと
にご回答をお願いいたします。**

問1 貴事業所名をご記入ください。

貴事業所名：

問2 貴事業所のサービス種別は、以下のうちどちらですか。（○は1つ）

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 介護予防支援・居宅介護支援 | 10. 認知症対応型通所介護 |
| 2. 訪問介護 | 11. 地域密着型通所介護 |
| 3. 訪問看護 | 12. 小規模多機能型居宅介護 |
| 4. 訪問リハビリテーション | 13. 認知症対応型共同生活介護 |
| 5. 通所介護 | 14. 福祉用具 貸与・販売 |
| 6. 通所リハビリテーション | 15. 特定施設入居者生活介護 |
| 7. 短期入所生活介護 | 16. 介護老人福祉施設 |
| 8. 短期入所療養介護 | 17. 介護老人保健施設 |
| 9. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | |

問3 貴事業所の従事者数（パートタイマー等を含む）は、以下のうちどちらですか。

（○は1つ）

- | | | |
|------------|-------------|----------|
| 1. 5人未満 | 3. 10～30人未満 | 5. 50人以上 |
| 2. 5～10人未満 | 4. 30～50人未満 | |

※兼務の場合は、それぞれの事業所ごとに計上してください。

問4 貴事業所の総従事者数のうち非正規の従事者の割合は、以下のうちどちらですか。

（○は1つ）

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 1割未満 | 3. 3～5割未満 | 5. 7～9割未満 |
| 2. 1～3割未満 | 4. 5～7割未満 | 6. 9割以上 |

問5 貴事業所の介護報酬（介護保険適用外での収入は除きます。）に対する人件費の割合は、以下のうちどちらですか。（○は1つ）

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 50%未満 | 3. 70～90%未満 |
| 2. 50～70%未満 | 4. 90%以上 |

問6 雇用することが難しいと思う職種は、以下のうちどちらですか。（該当するものすべてに○）

1. 介護職員（介護福祉士）	7. 作業療法士
2. 介護職員（介護ヘルパー）	8. 事務職員
3. 看護職員	9. その他
4. 介護支援専門員	（ ）
5. 生活相談員・支援相談員等	10. 特になし
6. 理学療法士	

問7 貴事業所の「介護職員」の人材確保の状況は、いかがですか。（○は1つ）

1. 確保できている	3. やや不足している
2. おおむね確保できている	4. 不足している

※対象とならないサービスの事業所は、回答不要です。

問7-1 平成30年度の「介護職員」の離職率は、前年度と比較していかがでしたか。（○は1つ）

1. 改善された	2. 変わらない	3. 悪化した
----------	----------	---------

※対象とならないサービスの事業所は、回答不要です。

問7-2【問7で「1. 確保できている」、「2. おおむね確保できている」と回答された事業所にお聞きします。】

貴事業所のどのような方策が確保につながっているとお考えですか。（該当するものすべてに○）

1. 福祉専門学校等教育機関との連携を強めている
2. 自社で資格取得講座を開講し、修了者から採用している
3. 職員からの紹介制度を取り入れている（紹介への謝礼等）
4. 自社、自事業所のイメージアップのために定期的な広告をしている
5. 賃金を高めに設定している
6. 採用時に、労働日数や勤務時間の希望をできるだけ聞き入れている
7. 福祉専門学校等に通う学生に対して奨学金等を支給している
8. 事業所内託児室・保育所を設置している
9. 自社で就職セミナー・復職セミナーを開催している
10. 社外の就職セミナー・復職セミナーに積極的に参加している
11. その他（具体的に： ）

問8 外国介護人材の受入れを検討されていますか。（○は1つ）

1. 実際に雇用している（雇用している職員の国籍： ）
2. 外国介護人材の雇用を検討している
3. 外国介護人材の雇用は考えていない

問 9 令和元年10月の介護報酬改定に伴い、「特定処遇改善加算」が導入されました。貴事業所では、以下のうちどのような対応を行いましたか。（該当するものすべてに○）

- | | |
|-------------|---------------------|
| 1. 基本給の引き上げ | 5. その他の対応 |
| 2. 諸手当の引き上げ | () |
| 3. 一時金の支給 | 6. 加算対象とならない |
| 4. 定期昇給の実施 | 7. 加算対象だが、届出を行っていない |

問 9 - 1【問 9 で「7. 加算対象だが、届出を行っていない」と選択された事業所にお伺いします。】届出を行わない理由は、以下のうちどちらですか。（該当するものすべてに○）

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 追加の費用負担が生じるため | 5. 事務作業が負担であるため |
| 2. 利用者負担が生じるため | 6. その他 |
| 3. 賃金改善の必要性がないため | (具体的に：) |
| 4. 算定要件を満たせていないため | |

問 10 貴事業所では、職員の早期離職防止や定着促進を図るためにどのような方策を取っていますか。（該当するものすべてに○）

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 残業の減少、有給休暇の取得促進等の労働条件の改善に取り組んでいる |
| 2. 本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる |
| 3. 賃金水準を向上させている |
| 4. 能力や仕事を評価し、賃金等の処遇に反映している |
| 5. 職員の仕事内容と必要な能力等を明示している |
| 6. キャリアに応じた給与体系を整備している |
| 7. 非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている |
| 8. 新人の指導担当・アドバイザーを置いている |
| 9. 能力開発を充実させている（社内研修、社外講習等の受講・支援等） |
| 10. 能力向上に向けた教育研修に力を入れている |
| 11. 仕事内容の希望を聞いて配置している |
| 12. 悩み、不満等の相談窓口を設けている（メンタルヘルス対策を含む） |
| 13. 健康対策や健康管理に力を入れている |
| 14. 職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている |
| 15. 経営側と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている |
| 16. 業務改善や効率化等による働きやすい職場づくりに力を入れている |
| 17. 介護ロボットやITの導入等、働きやすい職場づくりに力を入れている |
| 18. 福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている |
| 19. 職場環境を整えている（休憩室、談話室等） |
| 20. 子育て支援を行っている（託児サービスの実施、保育費用支援等） |
| 21. その他（具体的に：) |
| 22. 特に方策はない |

問 1 1 平成 30 年度の貴事業所の経営状態は以下のうちどちらですか。（○は 1 つ）

1. 黒字
2. おおむね均衡
3. 赤字

**問 1 1 - 1【問 1 1 で「1. 黒字」と回答された貴事業所にお聞きます。】
その理由として該当するものは、以下のうちどちらですか。（2 つまで○）**

1. 一定以上の利用者数を確保できたため
2. 一定以上のサービス量を確保できたため（利用者ひとり当たり）
3. 地域区分が改定されたため
4. 介護報酬が改定されたため
5. 事業所支出を抑えることができたため
6. その他（具体的に： _____）

**問 1 1 - 2【問 1 1 で「3. 赤字」と回答された貴事業所にお聞きます。】
その理由として該当するものは、以下のうちどちらですか。（2 つまで○）**

1. 一定以上の利用者数を確保できなかったため
2. 一定以上のサービス量を確保できなかったため（利用者ひとり当たり）
3. 介護報酬が改定されたため
4. 事業所支出が大きかったため
5. 最低賃金が上がったため
6. その他（具体的に： _____）

**問 1 2 労働環境整備・改善のために必要な取組みは、以下のうちどちらだと思えますか。
（3 つまで○）**

1. 労働条件の改善（賃金）
2. 労働条件の改善（労働時間）
3. 柔軟な働き方の促進（子育て支援、ワークシェアリング等）
4. 介護業務に関する身体上の健康管理の実施
5. 精神面（メンタルヘルス）の健康管理を実施（相談窓口等）
6. 福利厚生の実施

問 1 3 人材育成のためにどのようなことを行っていますか。（該当するものすべてに○）

1. 教育・研修（職場内研修含む）に積極的に参加している
2. 採用時に新人向け研修等の受講を義務付けている
3. 能力の向上が認められた従事者の、配置や処遇に反映している
4. 地域の同業他社と協力、ノウハウを共有して育成に取り組んでいる
5. 地域ケア会議等の機会を積極的に活用している
6. その他（具体的に： _____）

問 1 3 – 1【問 1 3で「1. 教育・研修（職場内研修含む）に積極的に参加している」と回答した貴事業所にお聞きます。】

従事者にはどのような研修を実施していますか。（該当するものすべてに○）

1. 介護技術の向上（介護に関する知識の習得）に関する研修
2. 医療的な知識に関する研修
3. 介護福祉士等の資格取得に向けた研修
4. コミュニケーション能力等、ビジネススキルに関する研修
5. リスクマネジメント等、管理能力に関する研修
6. その他（具体的に： _____）

問 1 4 職場でのキャリアアップに関する整備状況はいかがですか。（○は1つ）

1. 昇進等の条件を明確に定めている
2. 大枠では決めているが、明確には定めていない
3. 定めていない
4. その他（具体的に： _____）

問 1 5 貴事業所を運営する上での課題は、以下のうちどちらですか。（3つまで○）

1. 従事者の確保・定着のための賃金体系
2. 従事者の介護業務に関する知識や技術
3. 従事者の意欲や接遇
4. 管理者の指導・管理能力
5. 教育・研修の時間
6. 従事者間のコミュニケーション
7. 利用者や利用者家族の介護サービスに対する理解
8. 介護保険の改正等についての情報収集
9. 介護サービス提供に関する書類作成の煩雑さ

問 2 0 【介護予防支援・居宅介護支援事業所にお聞きします。】

介護保険適用以外のサービスでニーズの高いと思うものは、以下のうちどちらですか。
(特に該当するもののうち3つに○)

1. 配食・調理
2. 掃除・洗濯
3. 買いもの
4. ゴミだし
5. 外出同行（通院等）
6. 声掛け・見守り
7. サロン等の定期的な通い
8. 移送（介護タクシー等）
9. その他（具体的に： _____)

問 2 1 【介護予防支援・居宅介護支援事業所にお聞きします。】

貴事業所からみて不足しているサービスは、以下のうちどちらだと思えますか。
(3つまで○)

1. 訪問介護
2. 訪問入浴介護
3. 訪問看護
4. 訪問リハビリテーション
5. 通所介護
6. 通所リハビリテーション
7. 短期入所生活介護
8. 短期入所療養介護
9. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
10. 夜間対応型訪問介護
11. 認知症対応型通所介護
12. 地域密着型通所介護
13. 小規模多機能型居宅介護
14. 認知症対応型共同生活介護
15. 特定施設入居者生活介護
16. 介護老人福祉施設
17. 介護老人保健施設
18. 特になし

問 2 2 今後、保険者としての市に対し、貴事業者として特に望むことは、以下のうちどちらですか。（3つまで○）

1. 介護保険法改正、介護報酬改定等に関する情報提供
2. サービス需要量や利用者ニーズ等の情報提供
3. 事業者やケアマネジャーのための相談体制の充実
4. 事業者が行う研修への支援、事業者向け研修の充実
5. 事業者間の情報交換や連絡調整を行う連絡会の開催
6. 介護保険制度の趣旨普及と適正なサービス利用の啓発
7. 介護予防の取組みの強化
8. その他（具体的に： _____ ）

自由にご意見をご記入ください。

調査票は以上です。ご協力ありがとうございました。

ご記入もれがないか、改めてご確認をお願いいたします。

ご記入いただきました本調査票につきましては、切り離さずに3つ折りにして同封いたしました返信用封筒にて、ご返送くださいますようお願いいたします。

（切手は不要です。）

なお、**令和元年12月25日（水）までに**郵便ポストに投函ください。

東大和市
第8期介護保険事業計画準備調査
報告書

令和2年3月

発行 東大和市
東京都東大和市中心 3-930
編集 東大和市福祉部高齢介護課